

統一地方選挙に関する世論調査

平成20年3月

杉並区選挙管理委員会

は し が き

平成19年4月8日執行の東京都知事選挙、同年4月22日執行の杉並区議会議員選挙と杉並区長選挙に関し、世論調査を実施しました。

調査内容は、有権者の各選挙に対する意識、投票行動、政治、地域への関心、選挙制度や選挙啓発の周知状況などを中心としたものです。

この調査の実施にあたりまして、ご協力をいただきました多くの皆様に、心から感謝申し上げます。

この報告書が、選挙に携わる方々はもとより、広く選挙に関心を寄せられる方のご参考になれば幸いです。

平成20年3月

杉並区選挙管理委員会

目 次

I	調査実施の概要	1
1	調査目的	3
2	調査の内容	3
3	調査の設計	3
4	回収結果	4
5	地域区分	4
6	報告書のみかた	5
7	標本構成	6
II	調査結果の詳細	9
1.	投票率の評価	11
(1)	区議会議員・区長選挙・都知事選挙の投票率の評価	13
(2)	区議会議員・区長選挙・都知事選挙で投票率が前回より 上昇した原因	17
2.	有権者の投票行動	23
(1)	区議会議員及び区長選挙の投票状況	25
(2)	区議会議員及び区長選挙の投票理由	30
(3)	区議会議員及び区長選挙の候補者への投票理由	32
(4)	区議会議員及び区長選挙の候補者選定に役立ったもの	34
(5)	区議会議員及び区長選挙に投票しなかった理由	37
(6)	都知事選挙の投票状況	39
(7)	都知事選挙の投票理由	44
(8)	都知事選挙の候補者への投票理由	46
(9)	都知事選挙の候補者選定に役立ったもの	48
(10)	都知事選挙に投票しなかった理由	51
3.	有権者の関心	53
(1)	各選挙への関心度	55
(2)	政治への関心度	58
(3)	現在関心を持っていること	62
4.	地方政治・地域への関心	67
(1)	区政・都政への関心度	69
(2)	区議会議員・区長選挙の投票率が低い理由	77
(3)	地域活動への参加状況	83
5.	選挙制度について	89
(1)	期日前投票所1箇所（高円寺北区民集会所）増加の 認知状況	91
(2)	期日前投票所増加を知った方法	94
(3)	「選挙公報」閲読状況	97
(4)	「選挙公報」の入手方法	105

6.	若者の低投票率について	107
	(1) 若者の低投票率の原因	109
	(2) 若者の投票率向上のための具体案	114
7.	選挙啓発について	119
	(1) 選挙啓発について	121
	(2) インターネット利用度	127
	(3) 公式ホームページ及びモバイル版ホームページの 「選挙特集」の閲覧度	129
	(4) 「選挙特集」の閲覧状況	131
	(5) 「選挙特集」に載せてほしい情報	132
	(6) 「明るい選挙推進委員」の周知状況	133
8.	開票について	135
	(1) 区議会議員選挙・区長選挙時の翌日開票について	137
	(2) 翌日開票は経費削減になることの周知状況	138
	(3) 経費と即日開票の関係	138
9.	投票所のバリアフリーについて	139
	(1) 投票所のバリアフリーについて	141
	(2) 投票所のバリアフリーに必要なこと	143
Ⅲ	相 関 表	145
Ⅳ	調 査 票	201

I 調査実施の概要

I 調査実施の概要

1 調査目的

平成19年4月に執行した統一地方選挙における投票状況、有権者の選挙に関する意識等を調査し、今後の選挙の執行・管理及び選挙啓発事業の参考とすることを目的とする。

2 調査の内容

- (1) 投票率の評価
- (2) 有権者の投票行動
- (3) 有権者の関心
- (4) 地方政治・地域への関心
- (5) 選挙制度について
- (6) 若者の低投票率について
- (7) 選挙啓発について
- (8) 開票について
- (9) 投票所のバリアフリーについて

3 調査の設計

- (1) 調査地域・・・杉並区全域
- (2) 調査対象者・・・杉並区議会議員・杉並区長選挙時の選挙人名簿登録者で調査実施期間現在、登録時と同一の住所にあるもの。
- (3) 標本数・・・1,400標本
- (4) 地点数・・・70地点、1地点20標本
- (5) 抽出方法・・・層化二段無作為抽出法
- (6) 調査方法・・・調査員による配布留置・回収
- (7) 調査時期・・・平成19年12月1日～12月17日
- (8) 調査機関・・・株式会社 サーベイリサーチセンター

4 回収結果

(1) 有効回収数 1, 1 3 1 (有効回収率 80.8%)

(2) 地域別回収結果

	対象者人口(構成比)	標本数	有効回収数	有効回収率
区 全 体	433,514 (100.0%)	1,400	1,131	80.8%
井 草 地 域	32,703 (7.5)	119	96	80.7%
西 荻 地 域	59,340 (13.7)	193	177	91.7%
荻 窪 地 域	69,290 (16.0)	231	172	74.5%
阿 佐 ヶ 谷 地 域	75,450 (17.4)	220	199	90.5%
高 円 寺 地 域	69,126 (15.9)	223	172	77.1%
高 井 戸 地 域	67,587 (15.6)	186	134	72.0%
方 南 ・ 和 泉 地 域	60,018 (13.8)	228	181	79.4%

5 地域区分

杉並区基本計画と同じく、下図のとおり7地域に区分した。



表 各地域の位置

井 草 地 域	西武線を中軸とする圏域
西 荻 地 域	中央線西荻窪駅を核とする圏域
荻 窪 地 域	中央線荻窪駅を核とする圏域
阿 佐 ヶ 谷 地 域	中央線阿佐ヶ谷駅を核とする圏域
高 円 寺 地 域	中央線高円寺駅を核とする圏域
高 井 戸 地 域	井の頭線西部の圏域
方 南 ・ 和 泉 地 域	井の頭線東部の圏域

6 報告書のみかた

- (1) 図表の中のnとは回答者総数（または該当質問の該当者数）を表している。
- (2) 比率はnを100%とした百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入した。そのために、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがある。
- (3) 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記では、場合によっては語句を短縮・省略化している。
- (5) クロス集計時に、nが小さい数字になる場合は統計的誤差が生じる可能性が高いので注意が必要である。そのため、場合によっては文章を省略しているところもある。
- (6) この調査の標本誤差は次の式によって得られる。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数（サンプル数）
 P = 回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

回答比率(P) n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,131	± 2.52%	± 3.36%	± 3.85%	± 4.12%	± 4.21%
800	± 3.00%	± 4.00%	± 4.58%	± 4.90%	± 5.00%
600	± 3.46%	± 4.62%	± 5.29%	± 5.66%	± 5.77%
400	± 4.24%	± 5.66%	± 6.48%	± 6.93%	± 7.07%
200	± 6.00%	± 8.00%	± 9.17%	± 9.80%	±10.00%
100	± 8.49%	±11.31%	±12.96%	±13.86%	±14.14%

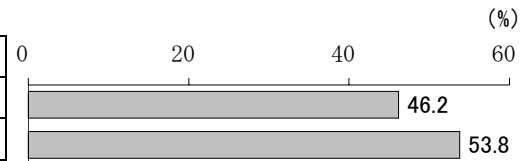
※ 上表は $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

(注) この表のみかたは次のとおりである。「ある設問の回答者が、1,131人（n）であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%（P=0.6）であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±4.12%以内である。」

7 標本構成

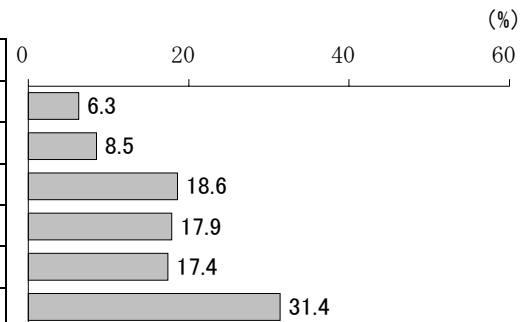
(1) F1 性別

	基数	構成比
1 男性	522	46.2%
2 女性	609	53.8
全 体	1131	100.0



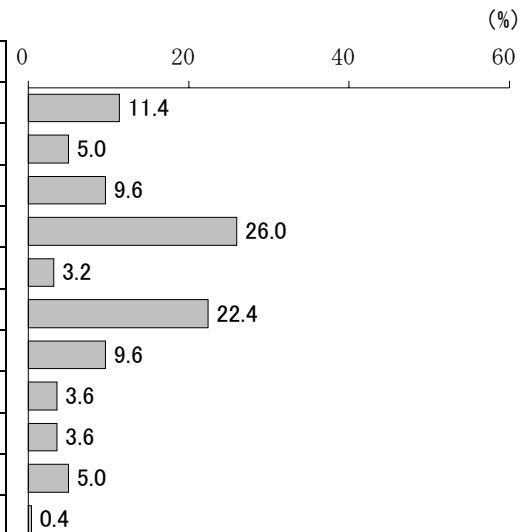
(2) F2 年齢

	基数	構成比
1 20～24歳	71	6.3%
2 25～29歳	96	8.5
3 30～39歳	210	18.6
4 40～49歳	202	17.9
5 50～59歳	197	17.4
6 60歳以上	355	31.4
全 体	1131	100.0



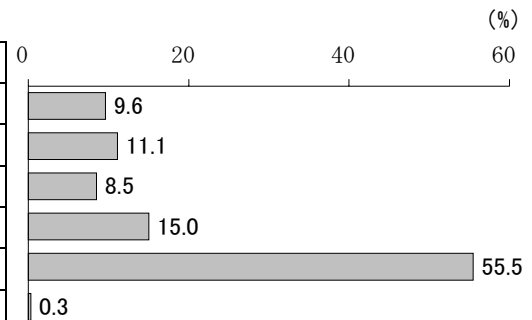
(3) F3 職業

	基数	構成比
1 商工・サービス業	129	11.4%
2 自由業	57	5.0
3 経営・管理職	109	9.6
4 事務職・専門技術職	294	26.0
5 労務職	36	3.2
6 主婦	253	22.4
7 年金生活者	109	9.6
8 フリーター	41	3.6
9 学生	41	3.6
10 その他	57	5.0
(無回答)	5	0.4
全 体	1131	100.0



(4) F4 区内居住年数

	基数	構成比
1 3年未満	109	9.6%
2 3～6年	125	11.1
3 7～10年	96	8.5
4 11年～19年	170	15.0
5 20年以上	628	55.5
(無回答)	3	0.3
全 体	1131	100.0



(5) F5 支持政党の有無



II 調査結果の詳細

1. 投票率の評価

-
- (1) 区議会議員・区長選挙・都知事選挙の投票率の評価
 - (2) 区議会議員・区長選挙・都知事選挙で投票率が前回より上昇した原因
-

1. 投票率の評価

(1) 区議会議員・区長選挙・都知事選挙の投票率の評価

○杉並区議会議員・杉並区長選挙

◇「低いほうである」が5割を超える

今年4月に行われた杉並区議会議員・杉並区長選挙及び東京都知事選挙の投票率についてうかがいます。

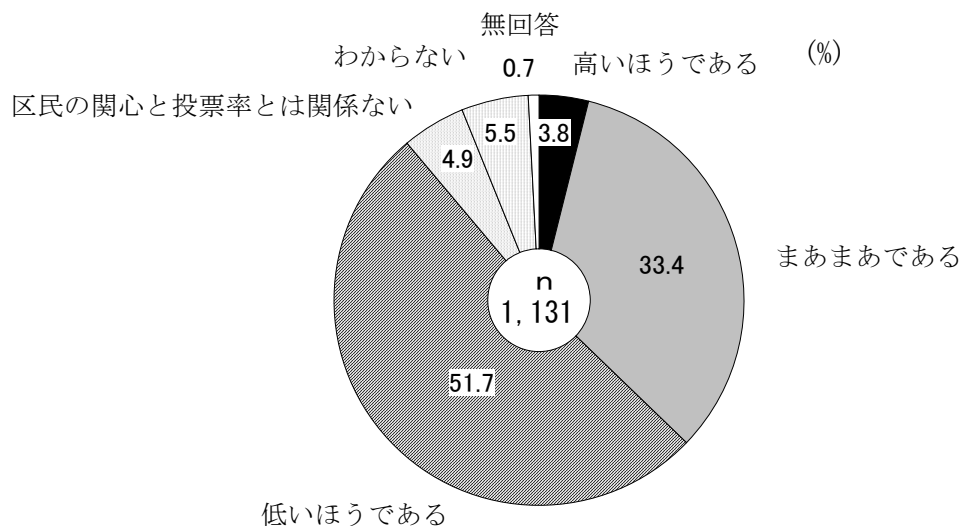
今回の杉並区における各選挙の投票率は以下のとおりでした。

選挙名	投票率 (今回)	H15年 (前回)	H11年 (前々回)
杉並区議会議員選挙	42.10%	39.82%	42.87%
杉並区長選挙	42.10%	39.81%	42.85%
東京都知事選挙	54.28%	44.69%	57.40%

問1 あなたは、この投票率の結果を見て、区民の関心の程度をどのように思いますか。
(ア)と(イ)の項目について、それぞれ1つずつ選んでください。

(ア) 杉並区議会議員・杉並区長選挙

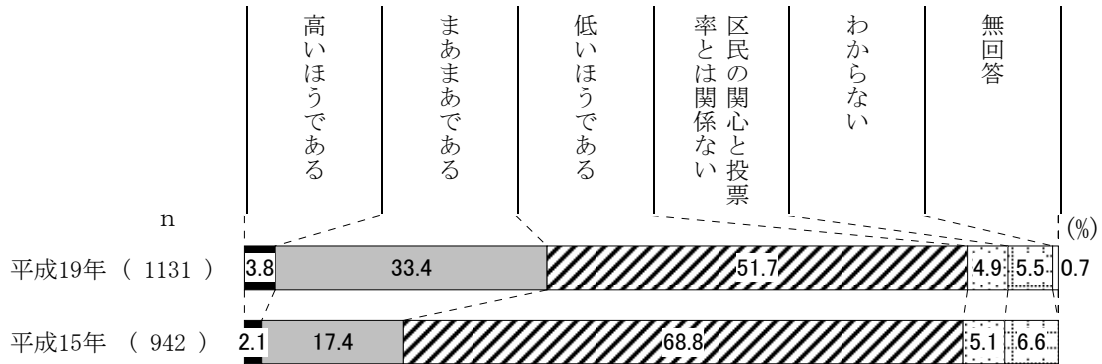
<図表1-1-1>



今年4月22日に行われた杉並区議会議員・杉並区長選挙の投票率の結果を見て、区民の関心の程度をどのように思うかを聞いたところ、「低いほうである」(51.7%)が最も高く5割を超える。次いで、「まあまあである」(33.4%)が3割台半ばとなっている。(図表1-1-1)

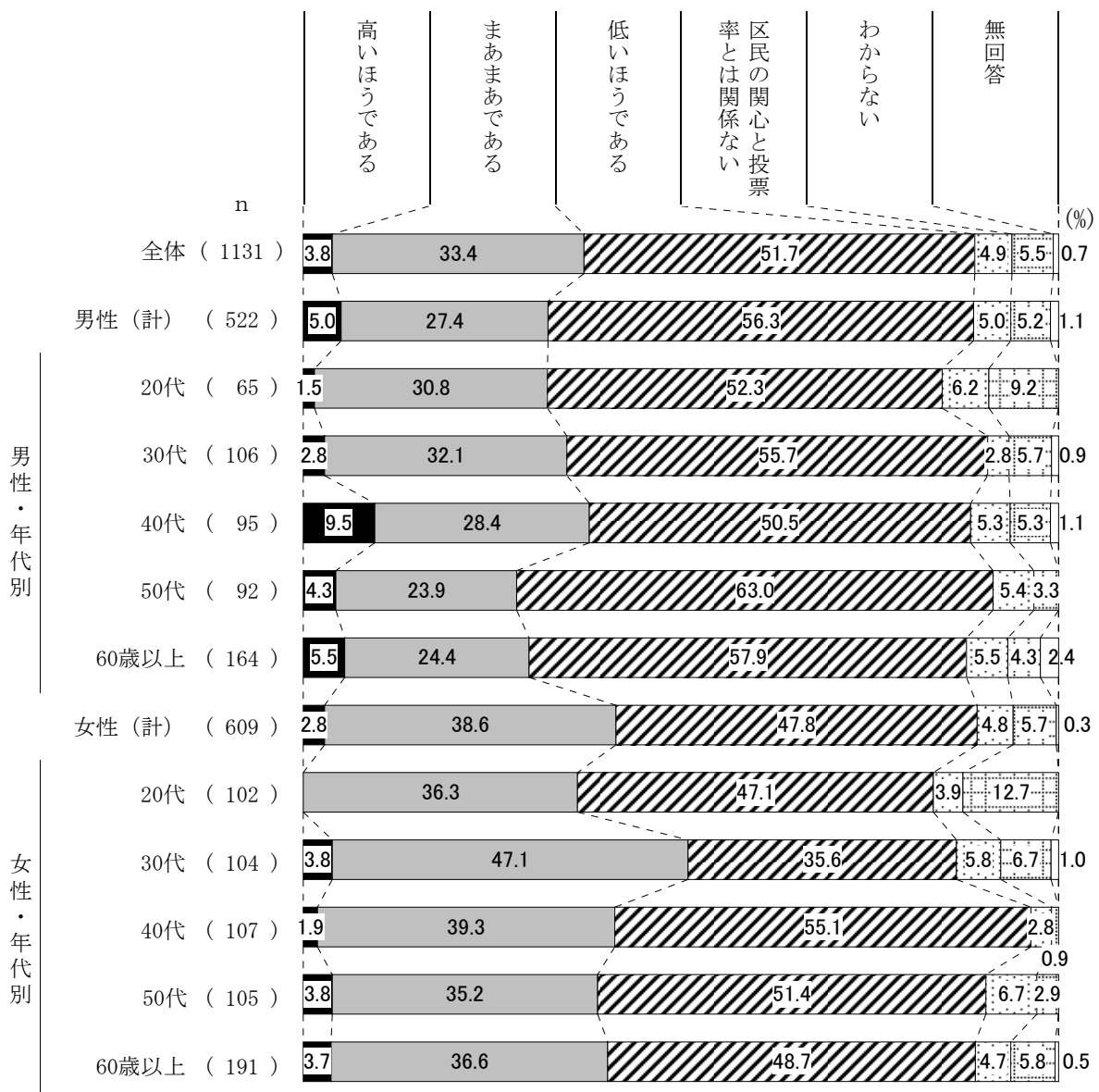
平成15年の調査結果と比較すると、「まあまあである」が16ポイント増加し、逆に、「低いほうである」が約17ポイント減少している。(図表1-1-2)

<図表1-1-2> 投票率の評価<<杉並区議会議員・杉並区長選挙>>/経年比較



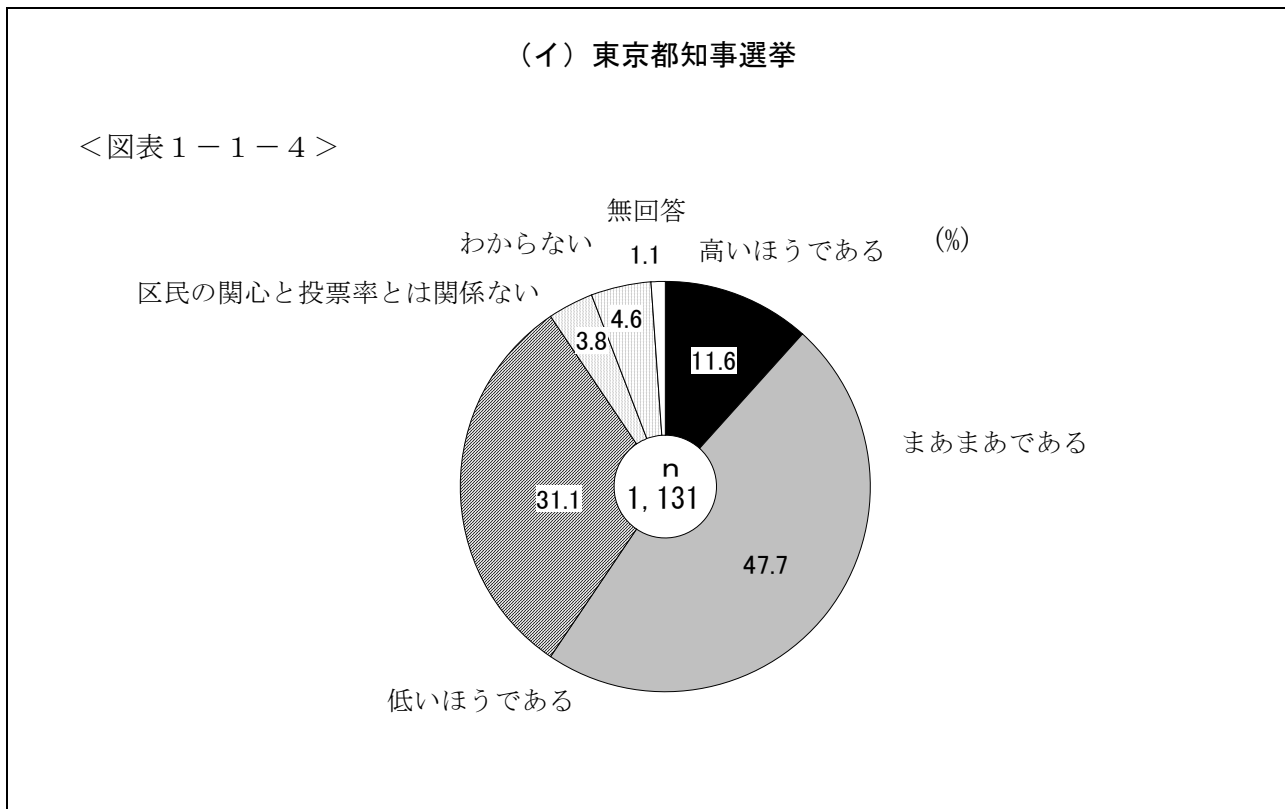
性・年代別で見ると、「低いほうである」は男性の方が女性よりも高く、特に、男性の50代では6割台半ばとなっている。一方、「まあまあである」は女性の方が男性よりも高く、とりわけ女性の30代は約5割である。(図表1-1-3)

<図表1-1-3> 投票率の評価<<杉並区議会議員・杉並区長選挙>>/性・年代別



○東京都知事選挙

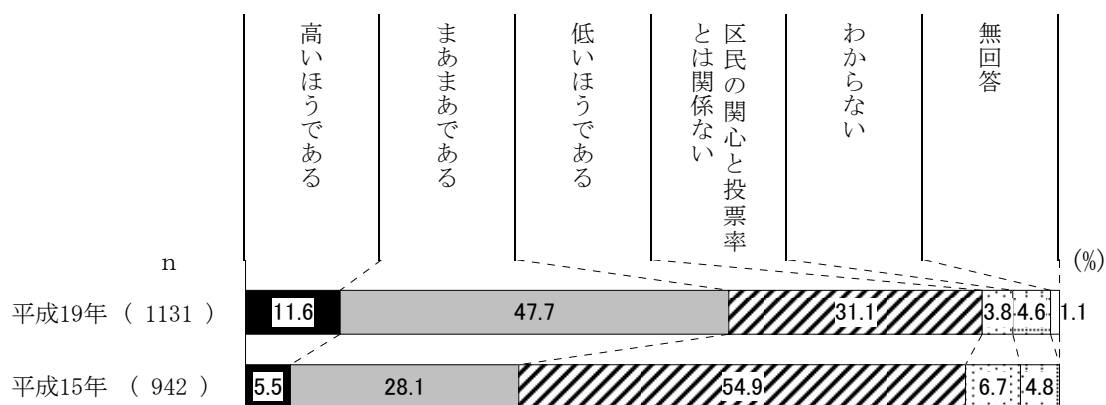
◇「まあまあである」が約5割



東京都知事選挙の投票率の結果を見て、区民の関心の程度をどのように思うかを聞いたところ、「まあまあである」(47.7%)が最も高く約5割となっている。次いで、「低いほうである」(31.1%)が3割を超える。(図表1-1-4)

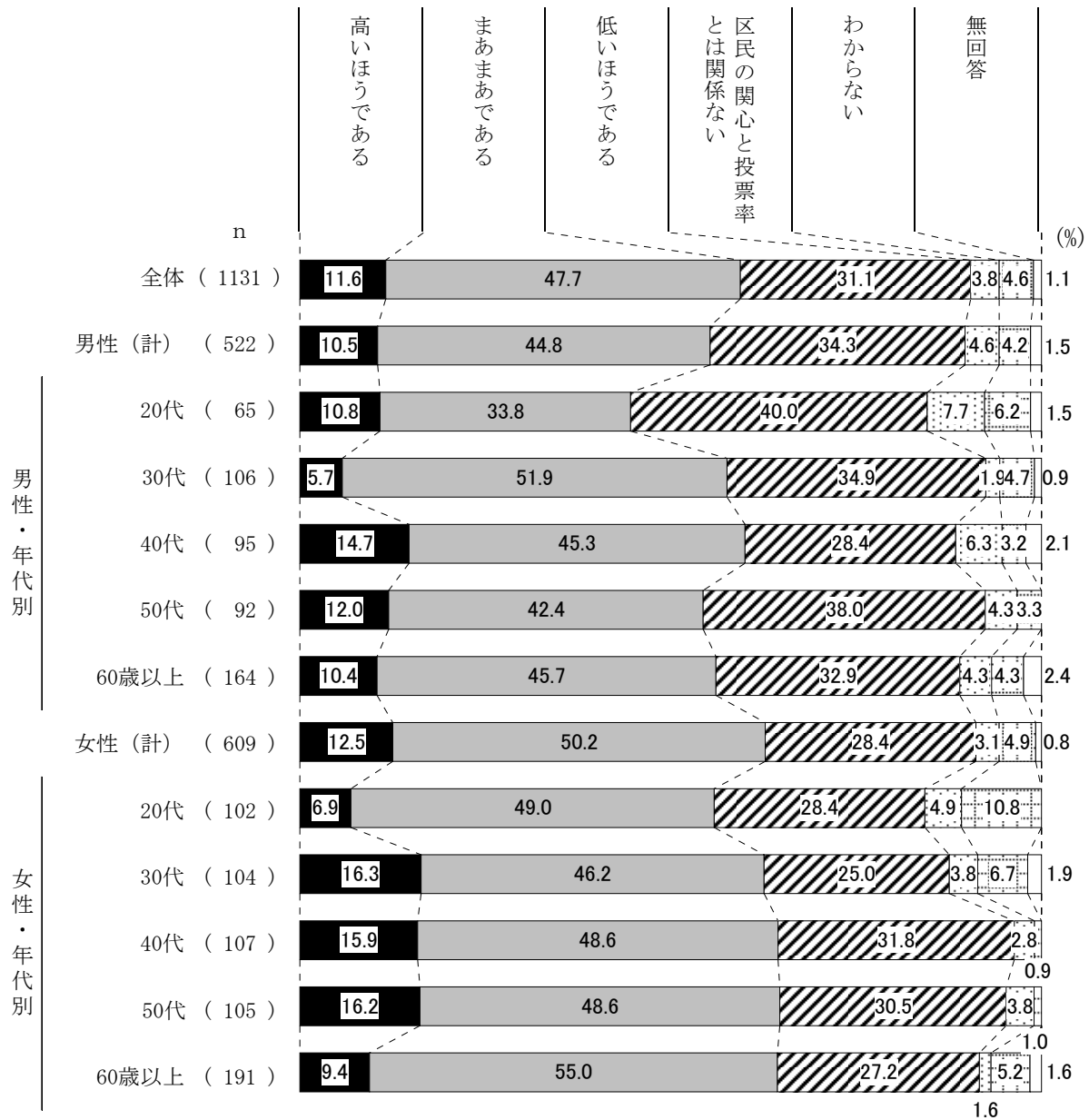
平成15年の調査結果と比較すると、「高いほうである」が約6ポイント、「まあまあである」が約20ポイント増加している。そのため、逆に「低いほうである」は約24ポイント減少している。(図表1-1-5)

<図表1-1-5> 投票率の評価<<東京都知事選挙>>/経年比較



性・年代別で見ると、「まあまあである」は、男性の30代で5割を超え、女性の60歳以上で5割台半ばと高くなっている。「低いほうである」は、男性の20代で4割と高い。(図表1-1-6)

<図表1-1-6> 投票率の評価《区議会議員・区長選挙》／性・年代別



(2) 区議会議員・区長選挙・都知事選挙で投票率が前回より上昇した原因

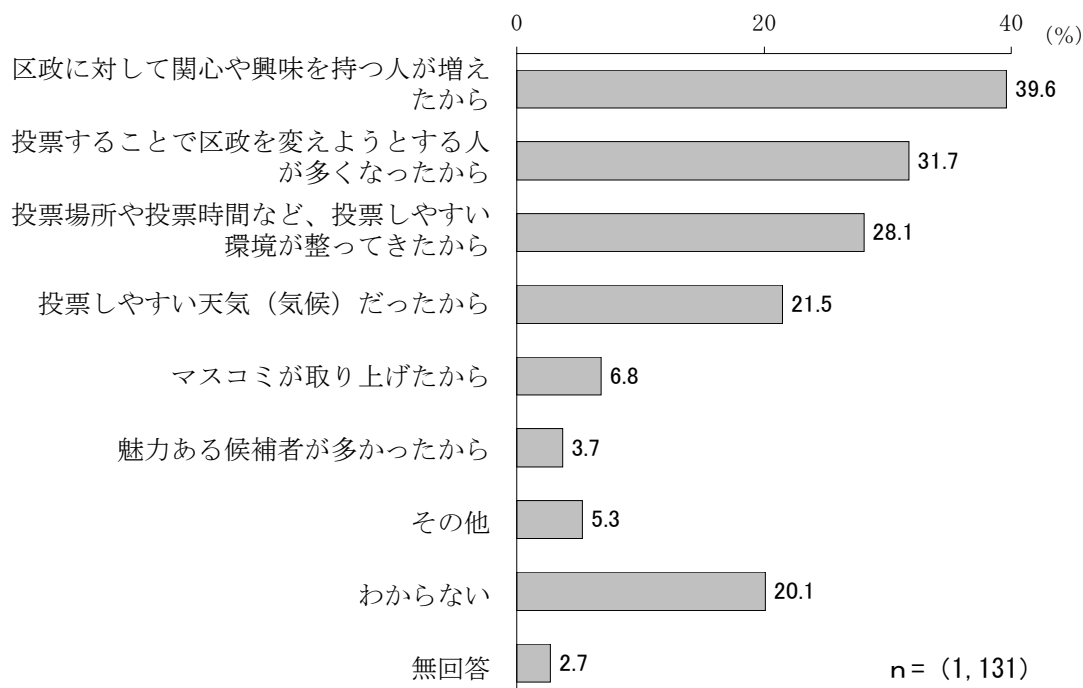
○杉並区議会議員選挙の投票率が上がった原因

◇「区政に対して関心や興味を持つ人が増えたから」が約4割

問2 今回の選挙では、前回（平成15年）と比較して投票率が上昇しましたが、あなたは、投票率が上昇したのはどのような要因によるものと思われますか。以下の3つの設問についてそれぞれお答えください。

①杉並区議会議員選挙の投票率が上がった原因（いくつでも○）

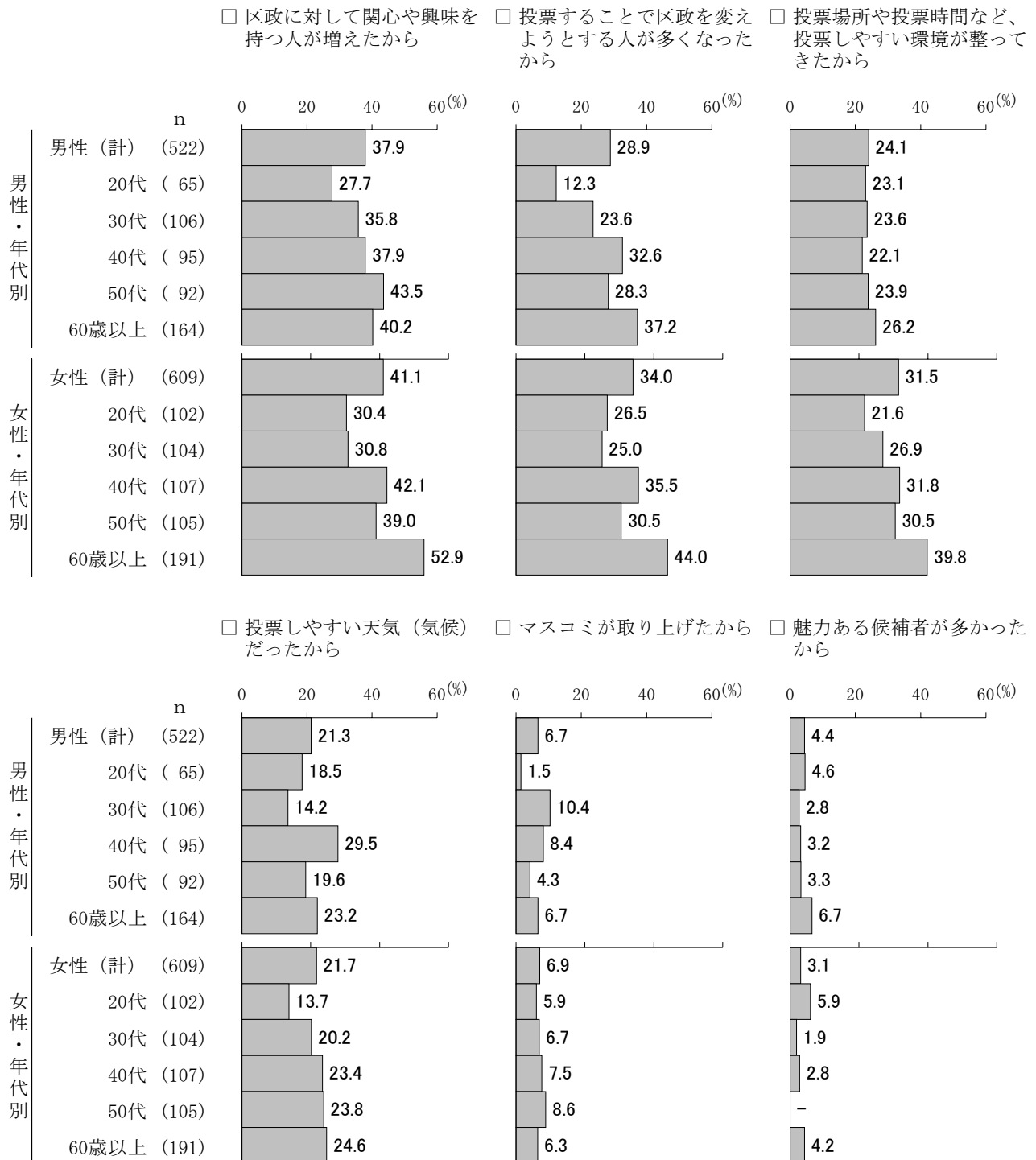
<図表1-2-1>



杉並区議会議員選挙では、前回（平成15年）と比較して投票率が上昇したが、どのような原因があると思うかを聞いたところ、「区政に対して関心や興味を持つ人が増えたから」（39.6%）が最も高く約4割となっている。次いで、「投票することで区政を変えようとする人が多くなったから」（31.7%）が3割を超え、区政に対する関心の高まりを回答者は推測している。そのほか、「投票場所や投票時間など、投票しやすい環境が整ってきたから」（28.1%）は約3割である。（図表1-2-1）

性・年代別でみると、「区政に対して関心や興味を持つ人が増えたから」、「投票することで区政を変えようとする人が多くなったから」、「投票場所や投票時間など、投票しやすい環境が整ってきたから」の3項目は、いずれも女性の60歳以上で高く、中でも、「区政に対して関心や興味を持つ人が増えたから」では5割を超えている。(図表1-2-2)

<図表1-2-2> 杉並区議会議員選挙の投票率が上がった原因/性・年代別 (全項目)

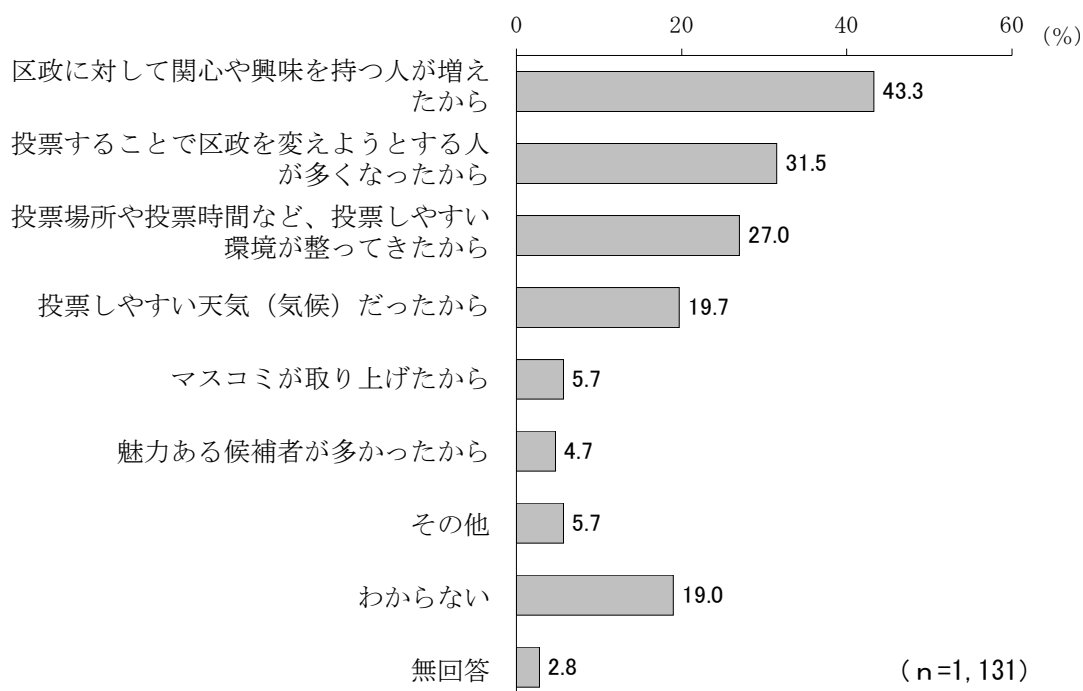


○杉並区長選挙の投票率が上がった原因

◇「区政に対して関心や興味を持つ人が増えたから」が4割台半ば

②杉並区長選挙の投票率が上がった原因（いくつでも○）

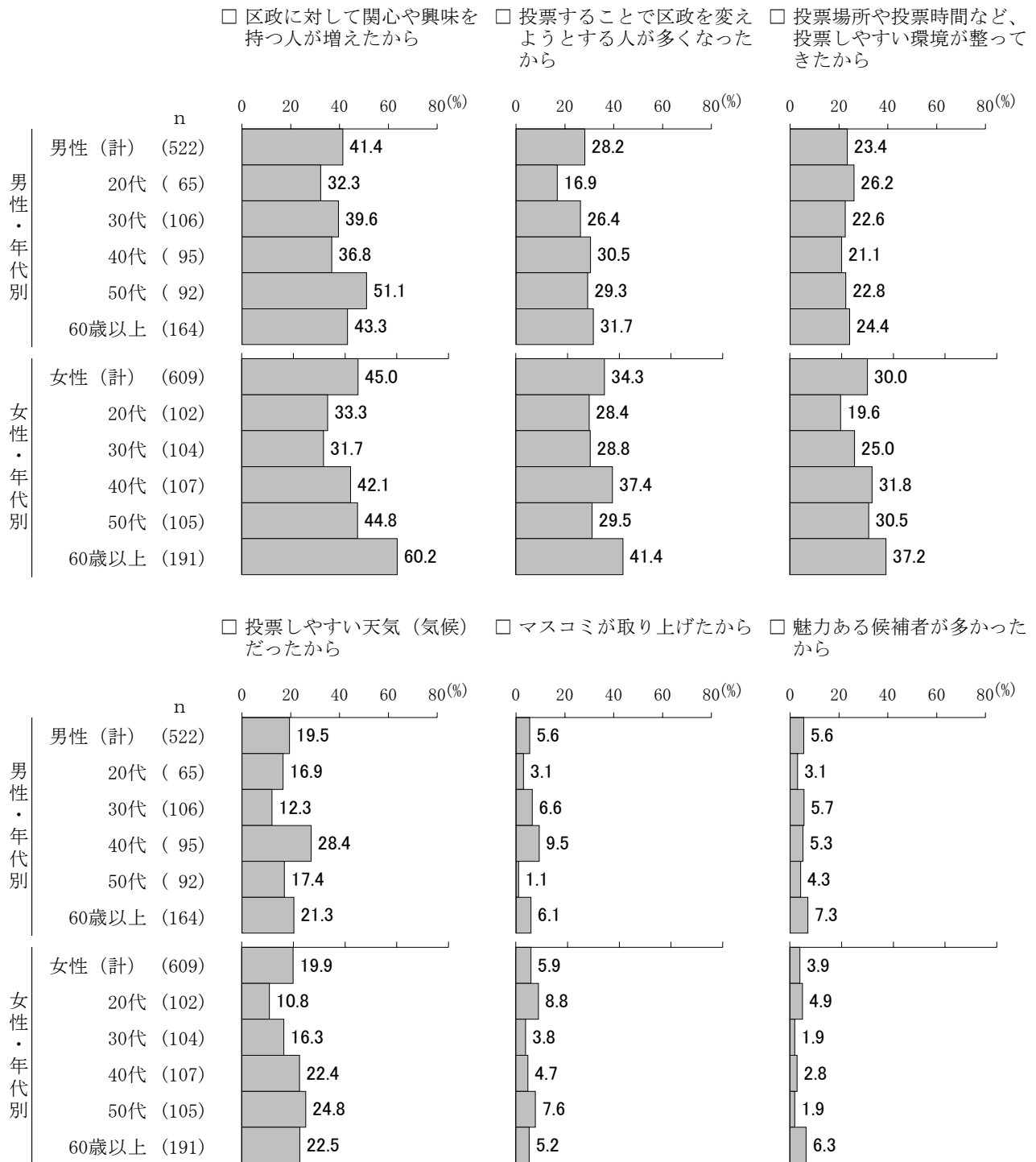
<図表1-2-3>



杉並区長選挙でも、前回（平成15年）と比較して投票率が上昇したが、どのような原因があると思うかを聞いたところ、「区政に対して関心や興味を持つ人が増えたから」（43.3%）が4割台半ばと最も高くなっている。次いで、「投票することで区政を変えようとする人が多くなったから」（31.5%）が3割を超える。このほか、「投票場所や投票時間など、投票しやすい環境が整ってきたから」（27.0%）が約3割となっている。（図表1-2-3）

性・年代別でみると、「区政に対して関心や興味を持つ人が増えたから」、「投票することで区政を変えようとする人が多くなったから」、「投票場所や投票時間など、投票しやすい環境が整ってきたから」の3項目は、いずれも女性の60歳以上で高く、中でも、「区政に対して関心や興味を持つ人が増えたから」では6割となっている。(図表1-2-4)

<図表1-2-4> 杉並区長選挙の投票率が上がった原因/性・年代別 (全項目)

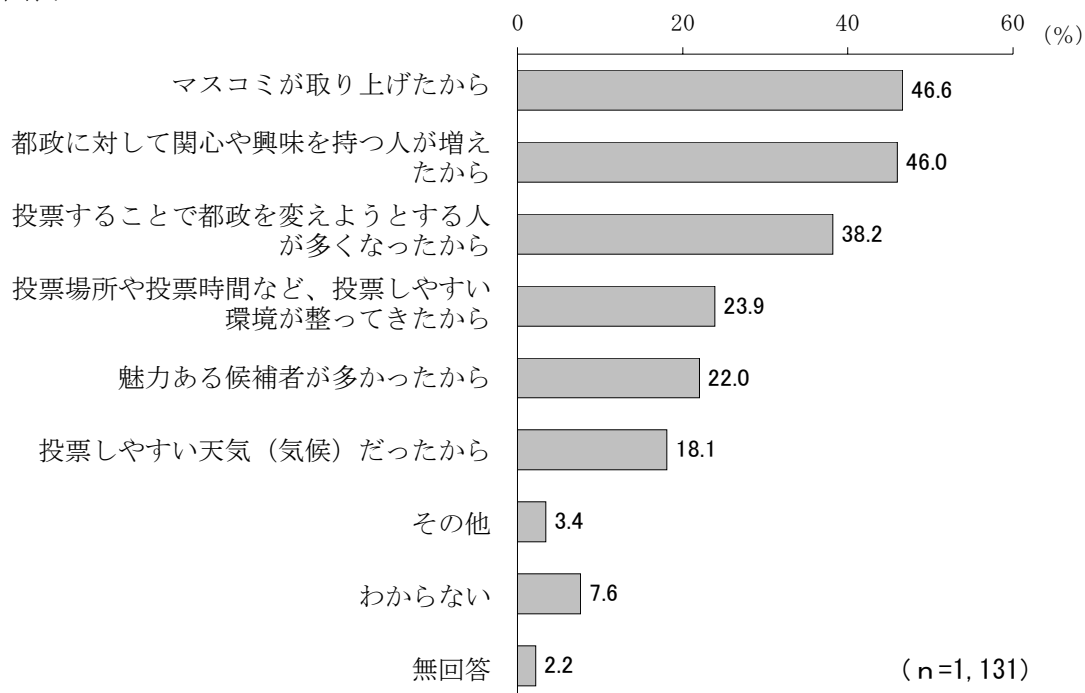


○東京都知事選挙の投票率が上がった原因

◇「マスコミが取り上げた」と「都政に対して関心や興味を持つ人が増えた」が4割台半ば

③東京都知事選挙の投票率が上がった原因（いくつでも○）

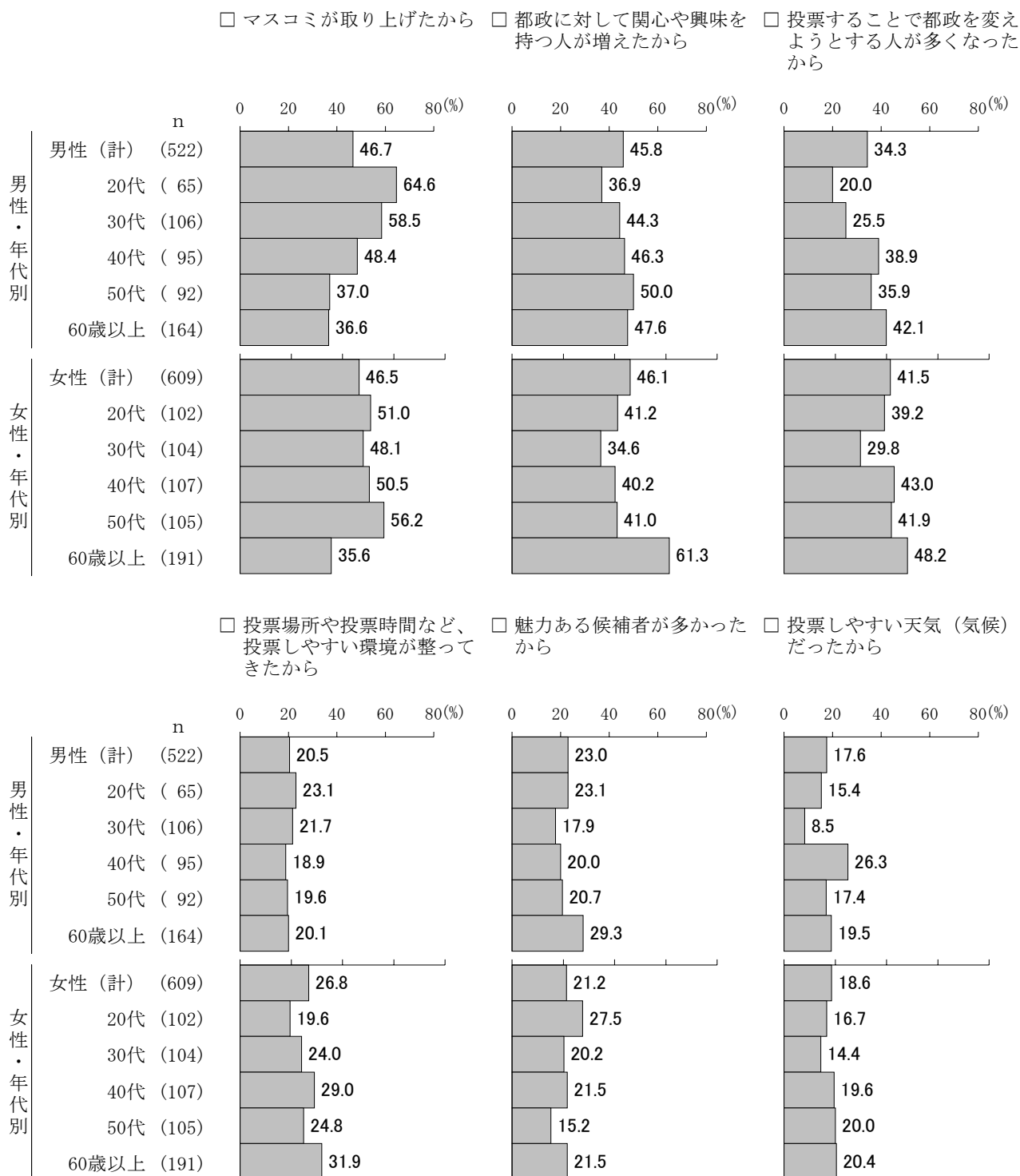
<図表 1-2-5>



東京都知事選挙でも、前回（平成15年）と比較して投票率が上昇したが、どのような原因があると思うかを聞いたところ、「マスコミが取り上げたから」（46.2%）と「都政に対して関心や興味を持つ人が増えたから」（46.0%）が4割台半ばと高く並ぶ。次いで、「投票することで都政を変えようとする人が多くなったから」（38.2%）が約4割となっている。（図表 1-2-5）

性・年代別でみると、「マスコミが取り上げたから」は、男性では20代で6割台半ばと最も高く、年代が上がるほど減少している。女性では50代で5割台半ばを超え最も高い。また、「都政に対して関心や興味を持つ人が増えたから」、「投票することで都政を変えようとする人が多くなったから」、「投票場所や投票時間など、投票しやすい環境が整ってきたから」は女性の60歳以上で高く、中でも、「都政に対して関心や興味を持つ人が増えたから」は6割を超える。(図表1-2-6)

<図表1-2-6> 東京都知事選挙の投票率が上がった原因／性・年代別 (全項目)



2. 有権者の投票行動

-
- (1) 区議会議員及び区長選挙の投票状況
 - (2) 区議会議員及び区長選挙の投票理由
 - (3) 区議会議員及び区長選挙の候補者への投票理由
 - (4) 区議会議員及び区長選挙の候補者選定に役立ったもの
 - (5) 区議会議員及び区長選挙に投票しなかった理由
 - (6) 都知事選挙の投票状況
 - (7) 都知事選挙の投票理由
 - (8) 都知事選挙の候補者への投票理由
 - (9) 都知事選挙の候補者選定に役立ったもの
 - (10) 都知事選挙に投票しなかった理由
-

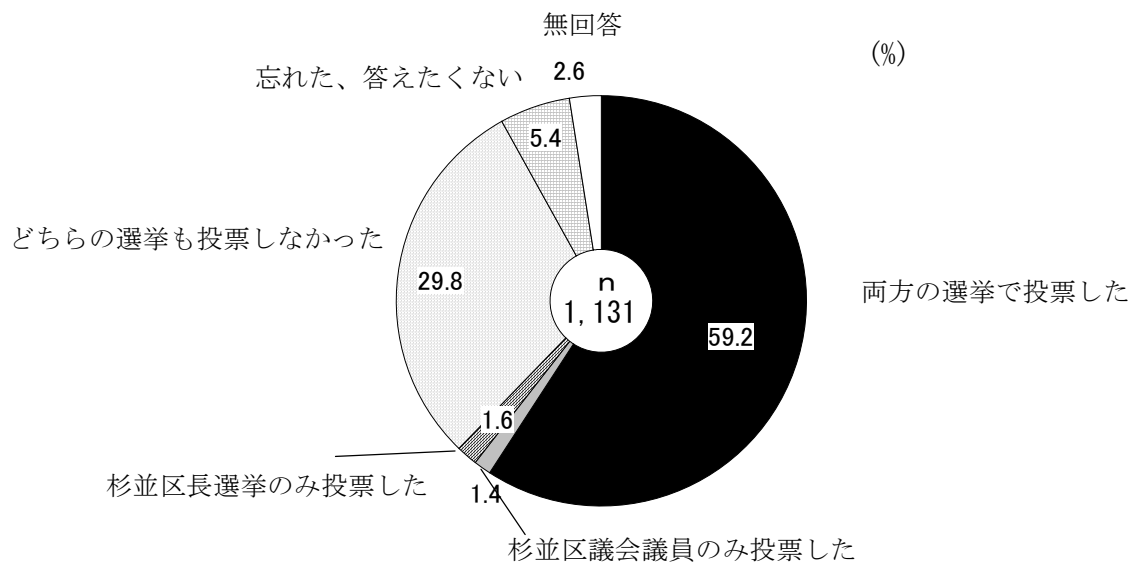
2. 有権者の投票行動

(1) 区議会議員及び区長選挙の投票状況

◇「両方の選挙で投票した」が約6割

問3 杉並区議会議員・杉並区長選挙についてうかがいます。あなたは、それぞれの選挙に投票しましたか。(1つだけ○)

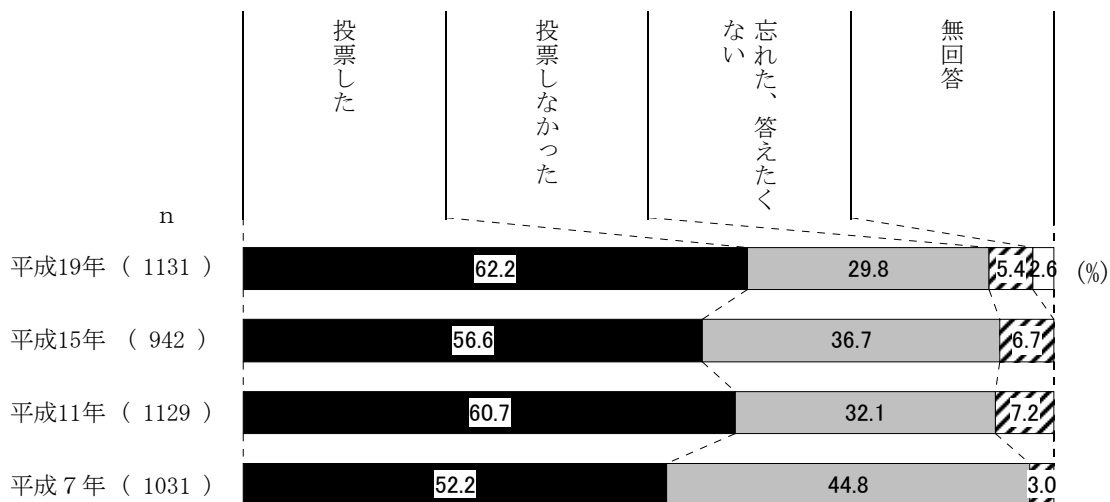
<図表2-1-1>



杉並区議会議員選挙及び杉並区長選挙のそれぞれに投票したかを聞いたところ、「両方の選挙で投票した」(59.2%)が最も高く約6割となっている。一方、「どちらの選挙も投票しなかった」(29.8%)は約3割である。(図表2-1-1)

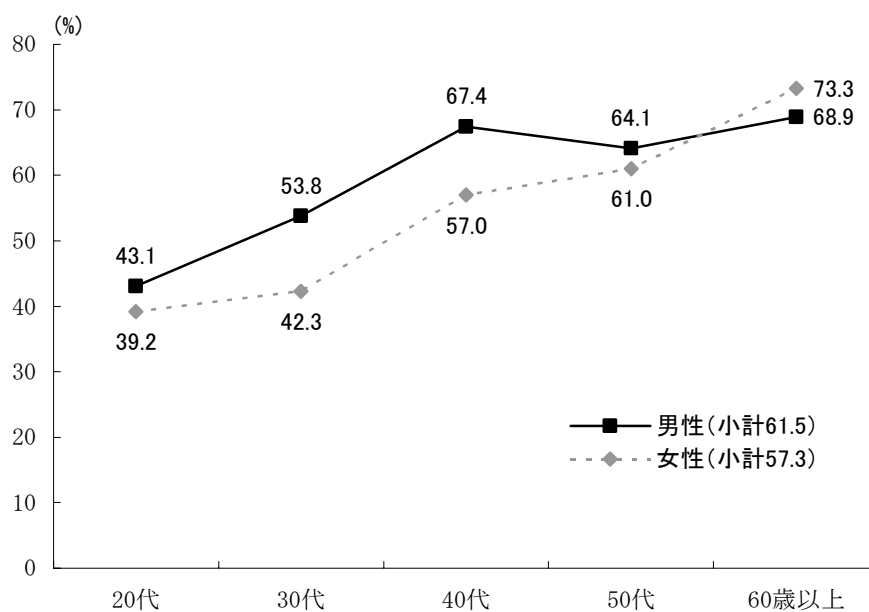
平成7年以降の調査結果と比較すると、「投票した」は前回（平成15年）よりも約6ポイント増加しており、平成7年以降で最も高くなっている。一方、「投票しなかった」は前回（平成15年）よりも約7ポイント減少しており、平成7年以降で最も低い。（図表2-1-2）

<図表2-1-2> 区議会議員及び区長選挙の投票状況／経年比較



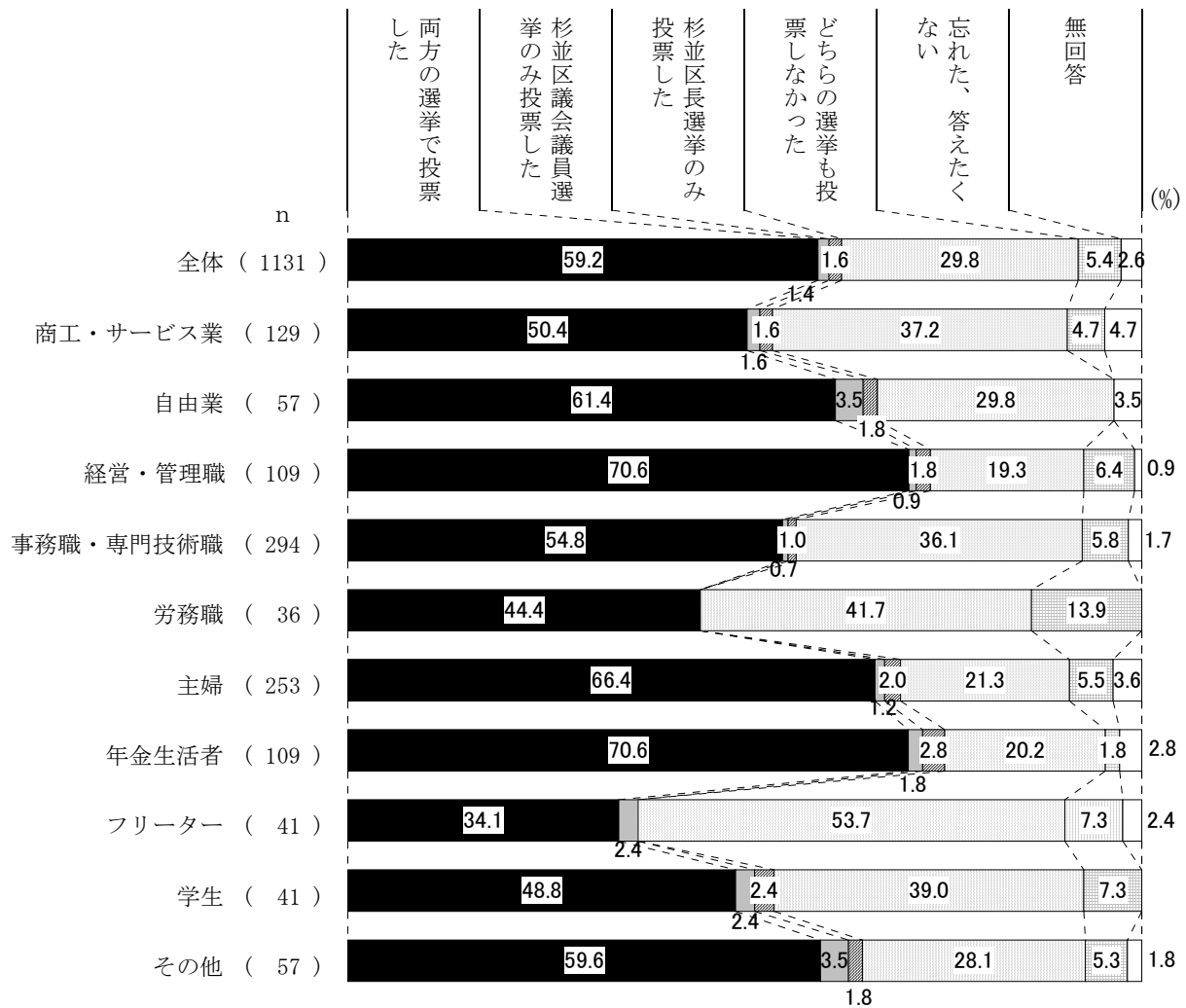
性・年代別でみると、「両方の選挙で投票した」人の率は、女性では年代が上がるほど漸増する傾向がみられる。一方、男性は、40代～60歳以上でほぼ横ばいとなっている。（図表2-1-3）

<図表2-1-3> 区議会議員及び区長選挙の投票状況<<「両方の選挙で投票した」人の率>>／性・年代別



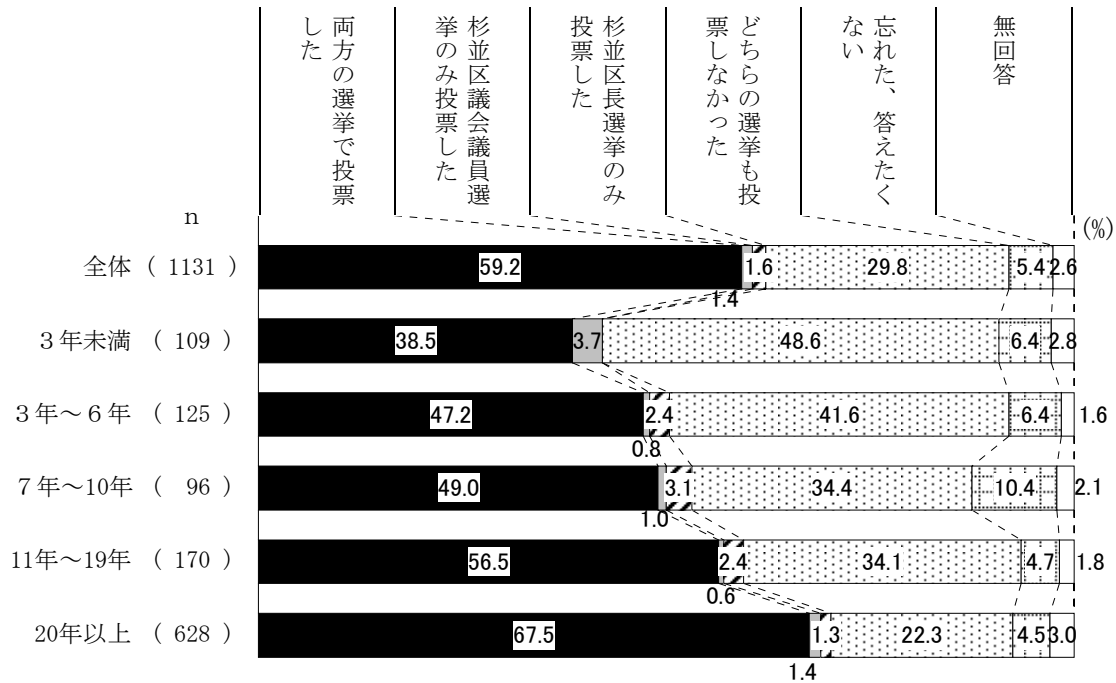
職業別でみると、「両方の選挙で投票した」は、経営・管理職と年金生活者で7割と高く、次いで、主婦で6割台半ばとなっている。一方、「どちらの選挙も投票しなかった」はフリーターで5割台半ばと最も高く、次いで、労務職で4割を超える。(図表2-1-4)

<図表2-1-4> 区議会議員及び区長選挙の投票状況／職業別



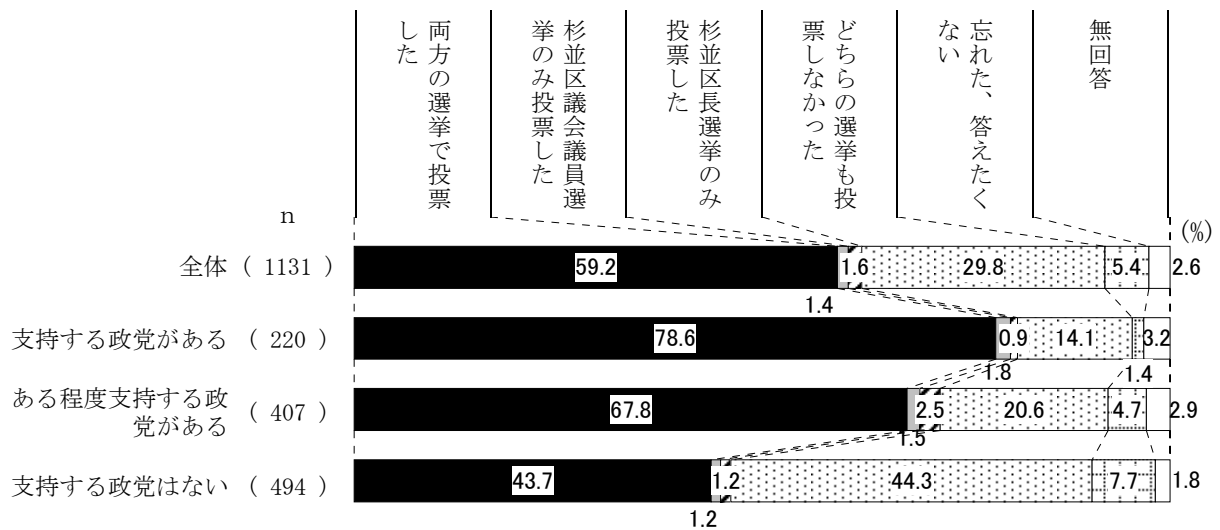
居住年数別でみると、「両方の選挙で投票した」は居住年数が長くなるほど高く、20年以上で約7割となる。一方、「どちらの選挙も投票しなかった」は、居住年数が短いほど高く、3年未満で約5割となっている。(図表2-1-5)

<図表2-1-5> 区議会議員及び区長選挙の投票状況／居住年数別



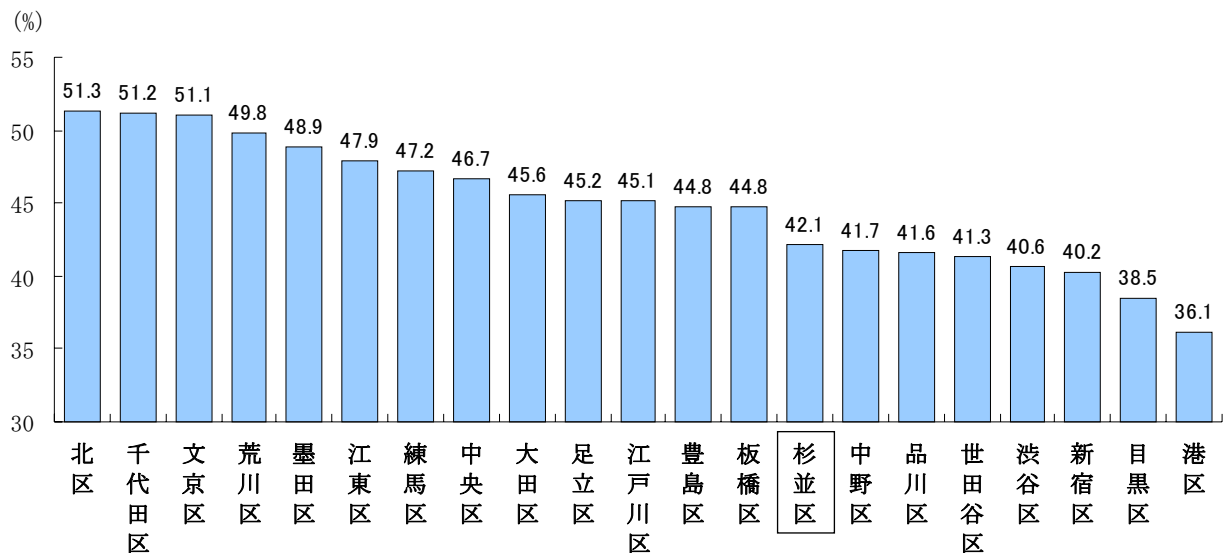
支持政党の有無別でみると、「両方の選挙で投票した」は、支持する政党がある人で約8割と高くなっている。一方、「どちらの選挙も投票しなかった」は、支持する政党はない人で4割台半ばである。(図表2-1-6)

<図表2-1-6> 区議会議員及び区長選挙の投票状況／支持政党の有無別



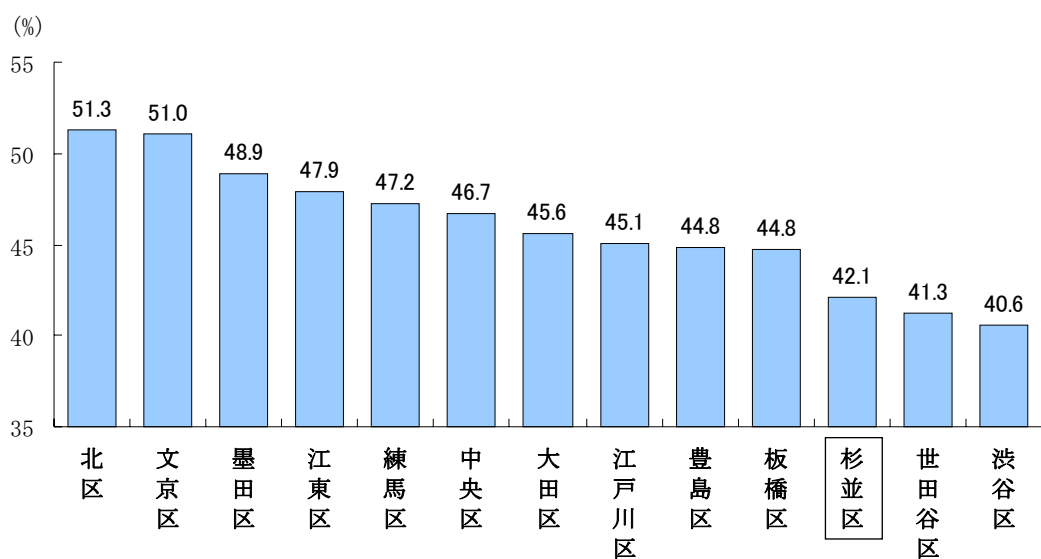
区議会議員選挙の投票状況を他区と比較すると、杉並区の投票状況（42.1%）は23区全体（21区実施）で14番目である。（図表2-1-7）

<図表2-1-7> 区議会議員選挙の投票状況／他区との比較



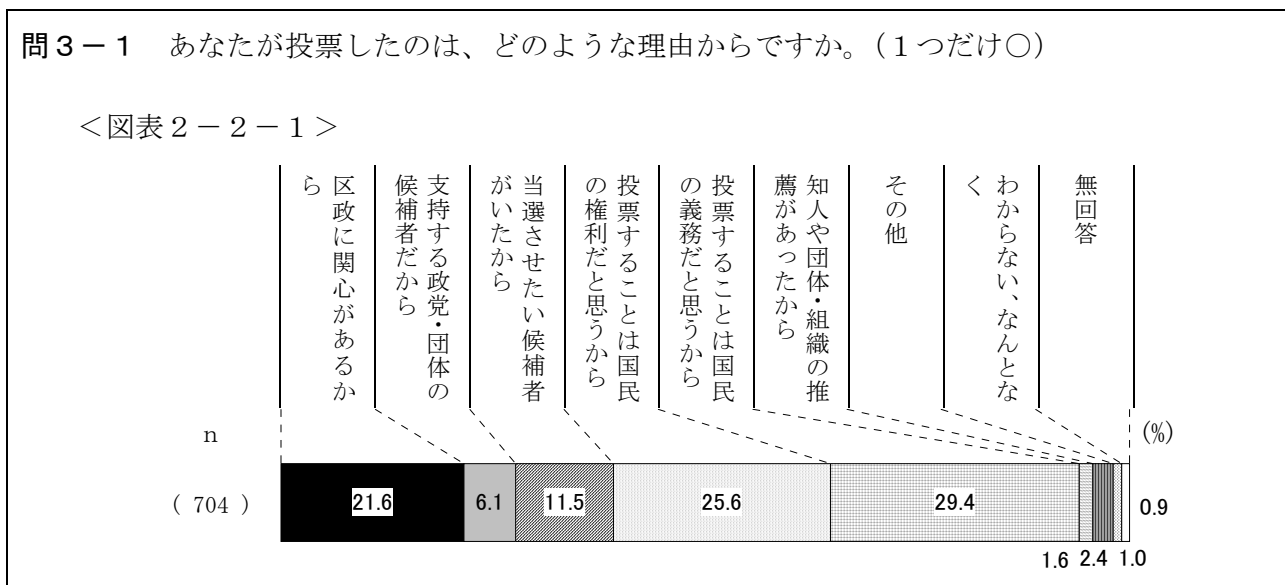
区長選挙の投票状況を他区と比較すると、杉並区の投票状況（42.1%）は23区全体（13区実施）で11番目である。（図表2-1-8）

<図表2-1-8> 区長選挙の投票状況／他区との比較



(2) 区議会議員及び区長選挙の投票理由

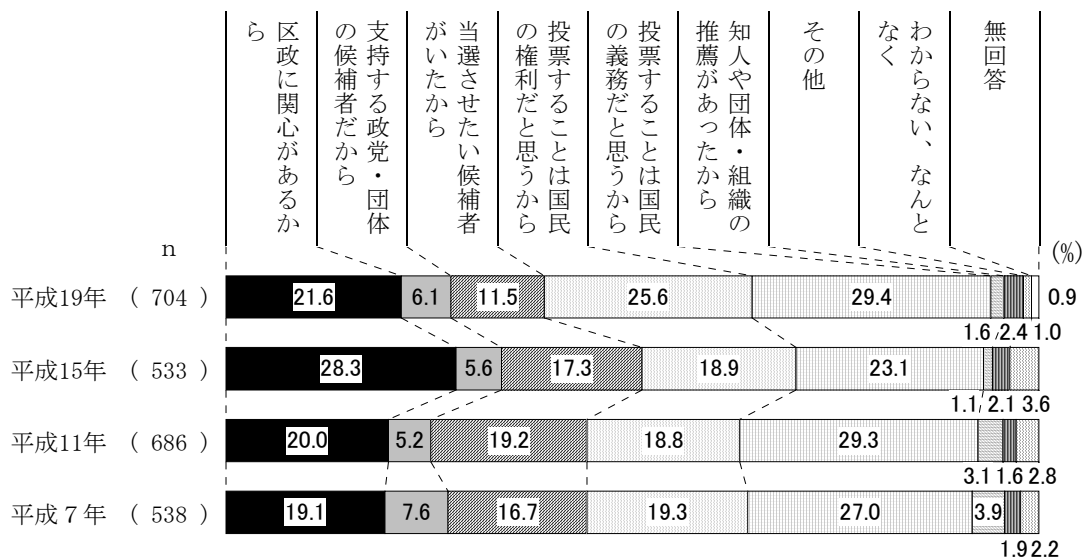
◇「投票することは国民の義務だと思うから」が約3割



杉並区議会議員選挙及び区長選挙の両方またはどちらかの選挙に投票した人に、投票した理由を聞いたところ、「投票することは国民の義務だと思うから」(29.4%)が約3割で最も高くなっている。次いで、「投票することは国民の権利だと思うから」(25.6%)が2割台半ば、「区政に関心があるから」(21.6%)が2割を超え続く。(図表2-2-1)

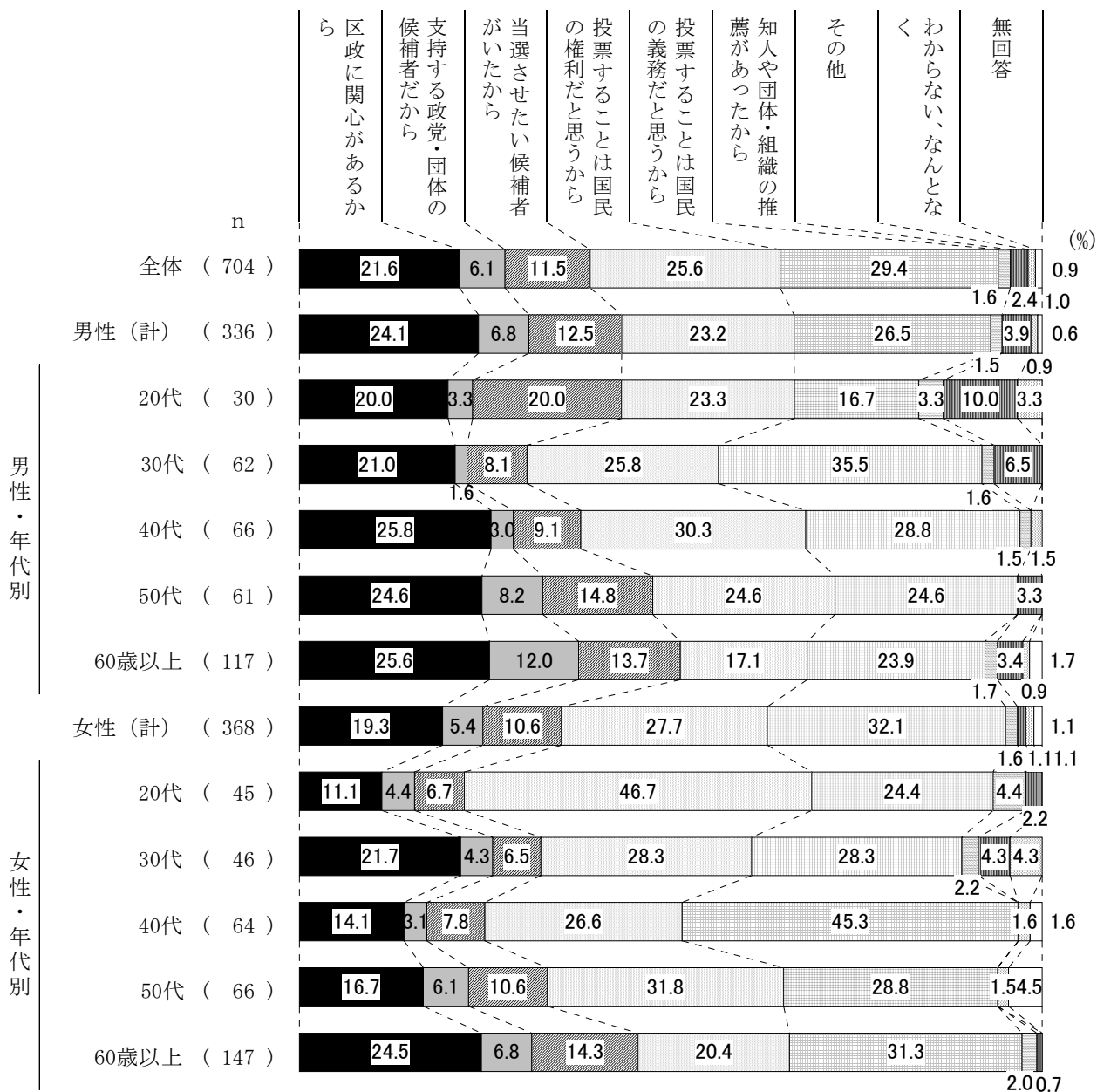
平成7年以降の調査結果と比較すると、前回(平成15年)よりも「投票することは国民の権利だと思うから」が約7ポイント、「投票することは国民の義務だと思うから」が約6ポイント増加しており、2つの項目とも平成7年以降で最も高くなっている。一方、「当選させたい候補者がいたから」は、前回(平成15年)よりも約6ポイント減少し、平成7年以降で最も低い。(図表2-2-2)

<図表2-2-2> 区議会議員及び区長選挙の投票理由/経年比較



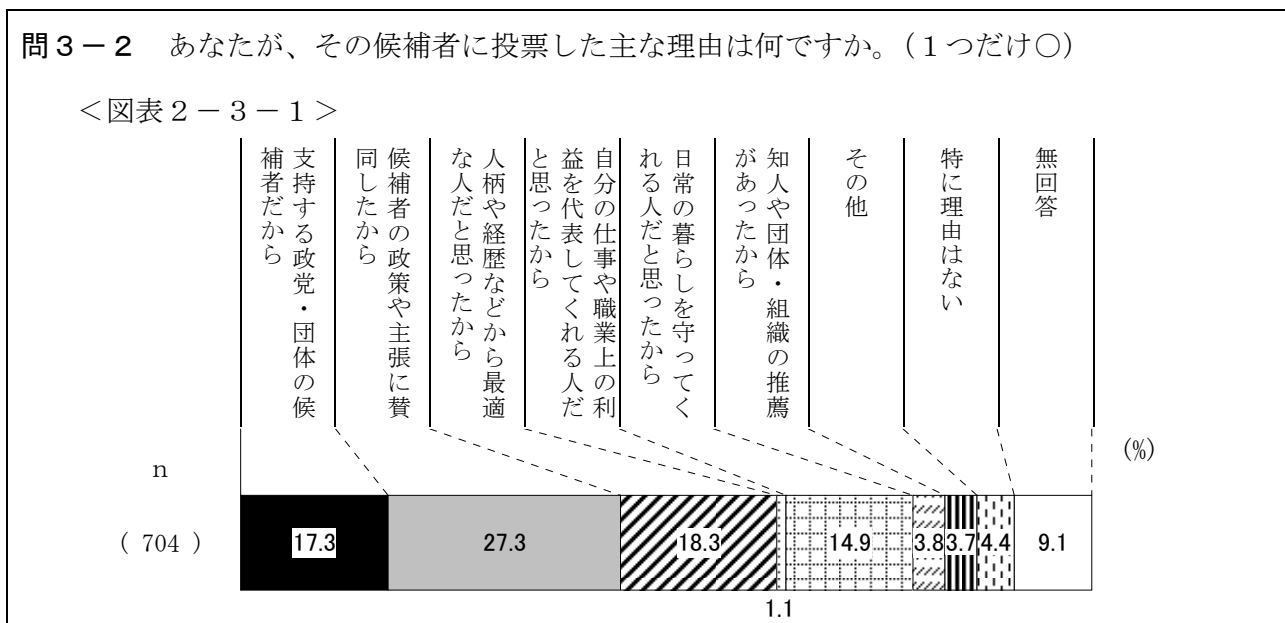
性・年代別でみると、「区政に関心があるから」は男性の40歳以上、女性の60歳以上で2割台半ばと比較的高い。「投票することは国民の権利だと思うから」は女性の20代で、「投票することは国民の義務だと思うから」は女性の40代で、それぞれ4割台半ばと高くなっている。(図表2-2-3)

<図表2-2-3> 区議会議員及び区長選挙の投票理由／性・年代別



(3) 区議会議員及び区長選挙の候補者への投票理由

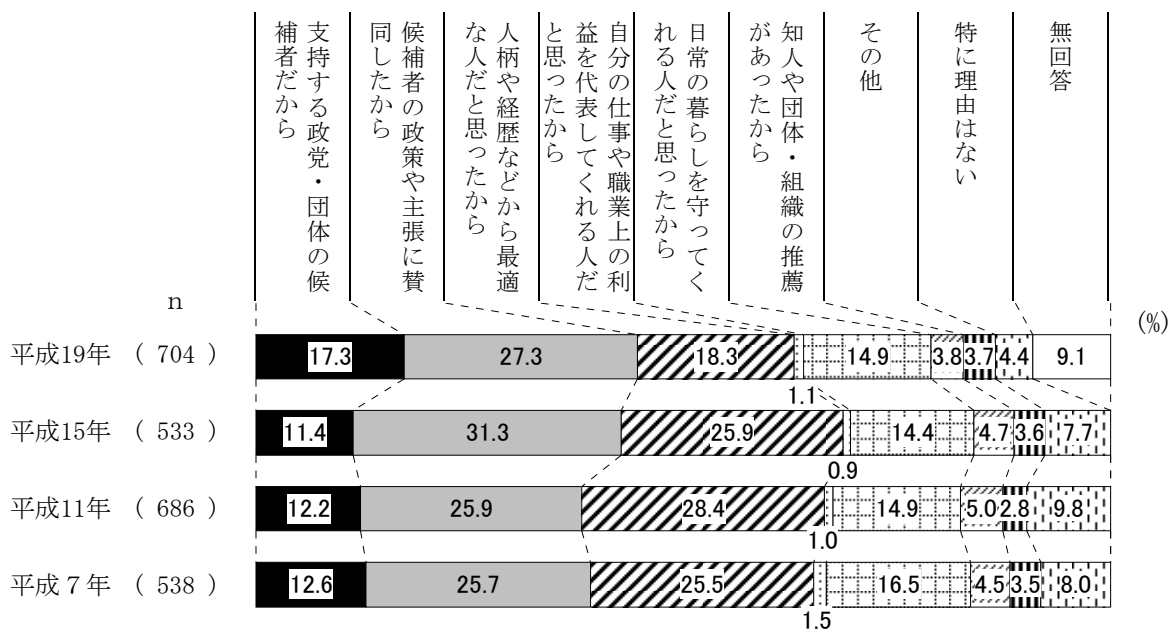
◇「候補者の政策や主張に賛同したから」が約3割



杉並区議会議員選挙及び区長選挙に両方またはどちらかの選挙に投票した人に、自分が投票した候補者へ投票した理由を聞いたところ、「候補者の政策や主張に賛同したから」(27.3%)が約3割で最も高くなっている。次いで、「人柄や経歴などから最適な人だと思ったから」(18.3%)が約2割となっている。(図表2-3-1)

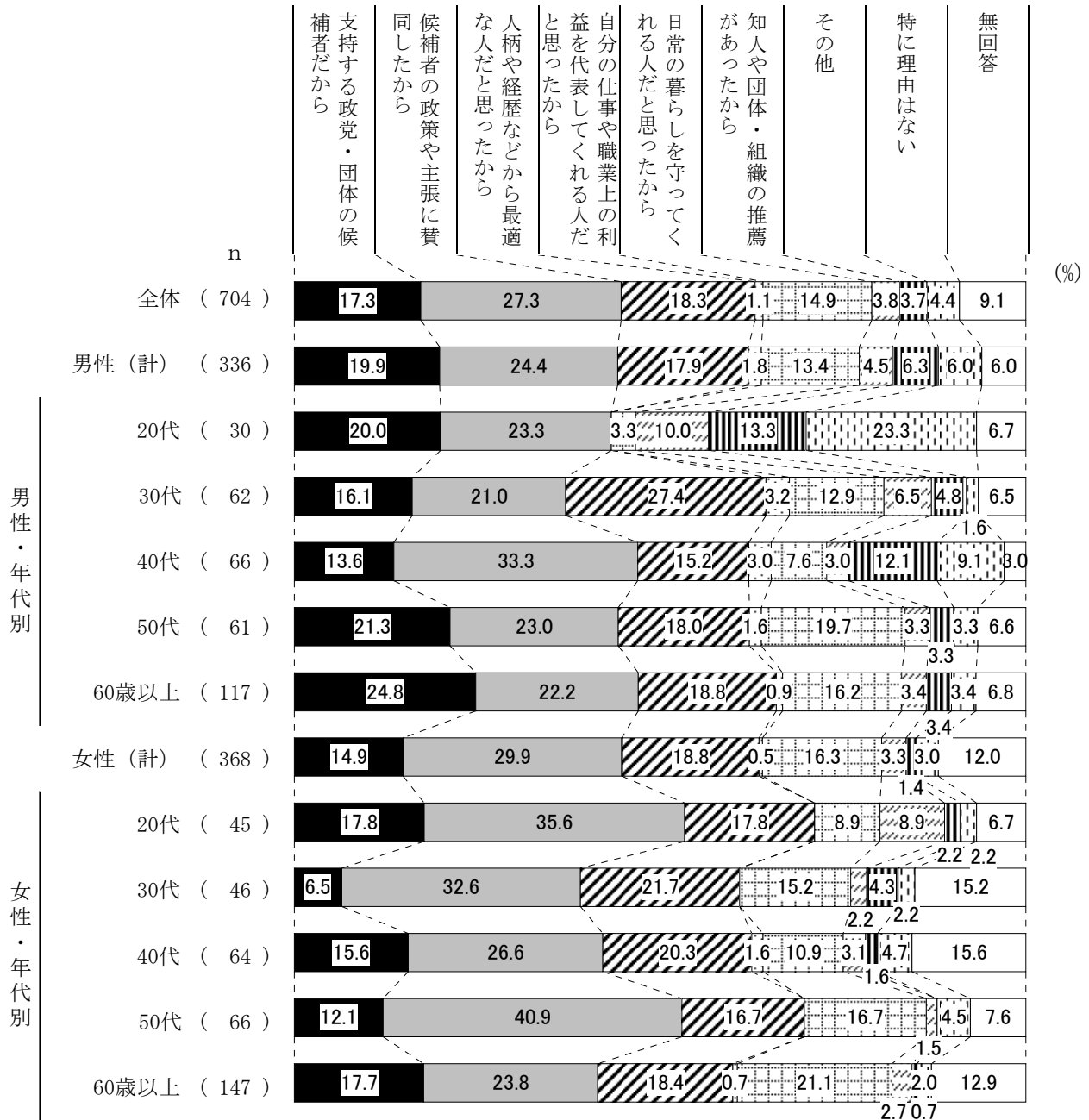
平成7年以降の調査結果と比較すると、「支持する政党・団体の候補者だから」が前回(平成15年)よりも約6ポイント増加し、平成7年以降で最も高くなっている。一方、「人柄や経歴などから最適な人だと思ったから」は、前回(平成15年)よりも約8ポイント減少し、平成7年以降で最も低い。(図表2-3-2)

<図表2-3-2> 区議会議員及び区長選挙の候補者への投票理由/経年比較



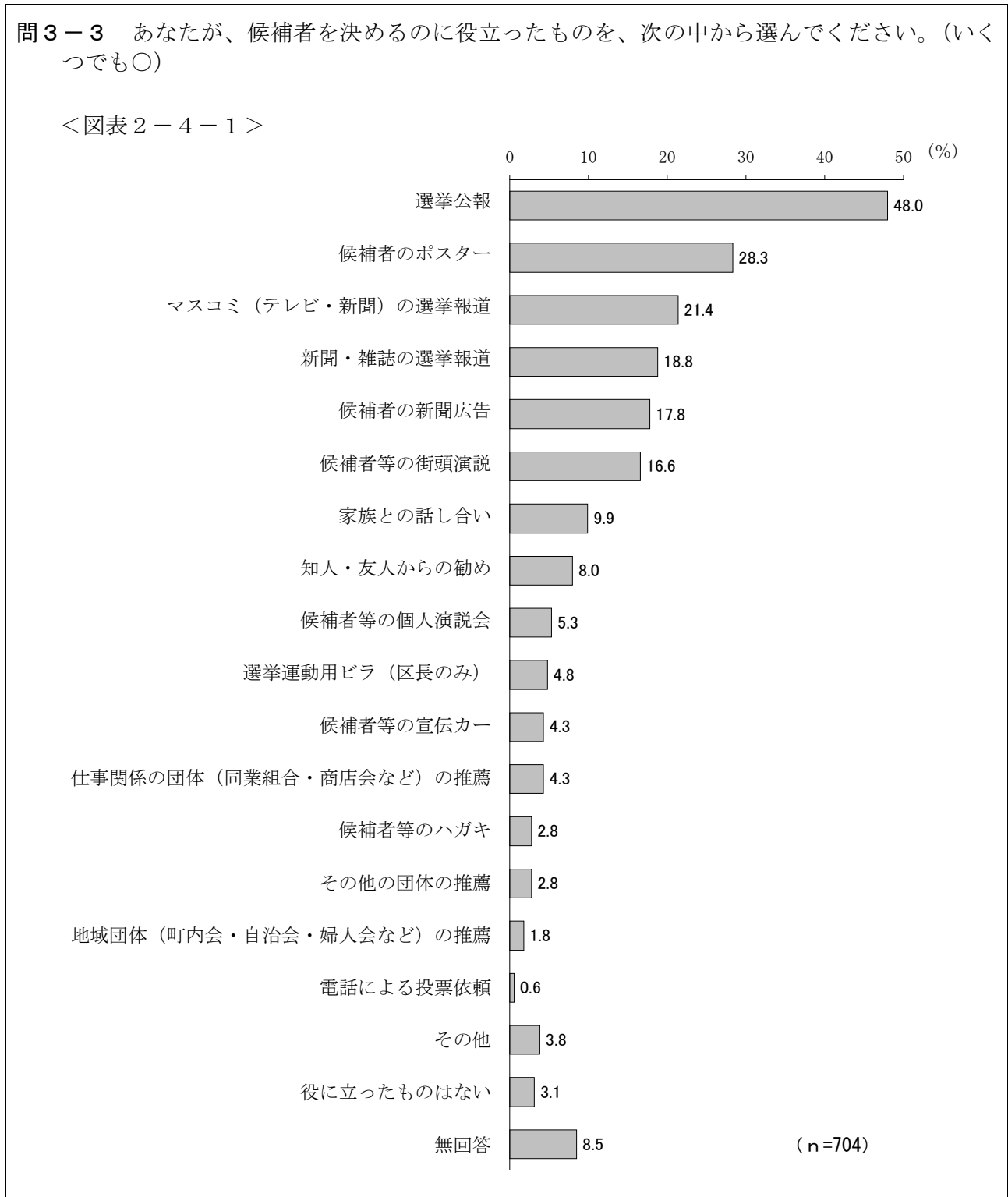
性・年代別で見ると、「支持する政党・団体の候補者だから」は男性の60歳以上で2割台半ばと比較的高い。「候補者の政策や主張に賛同したから」は女性の50代で4割と高く、男性の40代と女性の20代で3割台半ばとなっている。また、「人柄や経歴などから最適な人だと思ったから」は男性の30代で約3割と最も高い。一方、「特に理由はない」が男性の20代で2割台半ばとなっている。(図表2-3-3)

<図表2-3-3> 区議会議員及び区長選挙の候補者への投票理由／性・年代別



(4) 区議会議員及び区長選挙の候補者選定に役立ったもの

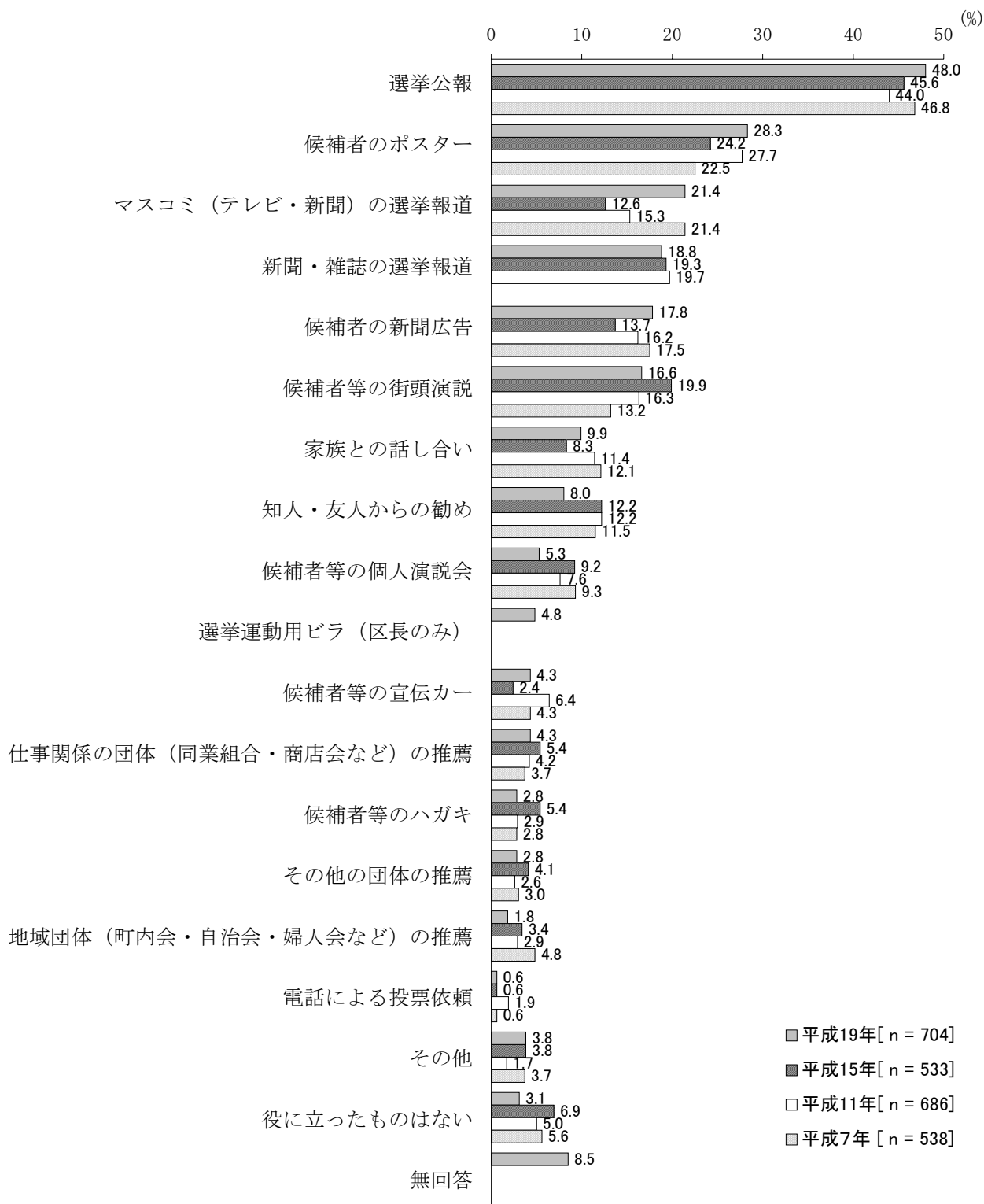
◇「選挙公報」が約5割で最も高い



杉並区議会議員選挙及び区長選挙に両方またはどちらかの選挙に投票した人に、候補者を決めるのに役立ったものを聞いたところ、「選挙公報」(48.0%)が約5割と顕著に高い。以下、「候補者のポスター」(28.3%)、「マスコミ(テレビ・新聞)の選挙報道」(21.4%)、「新聞・雑誌の選挙報道」(18.8%)の順で続く。(図表2-4-1)

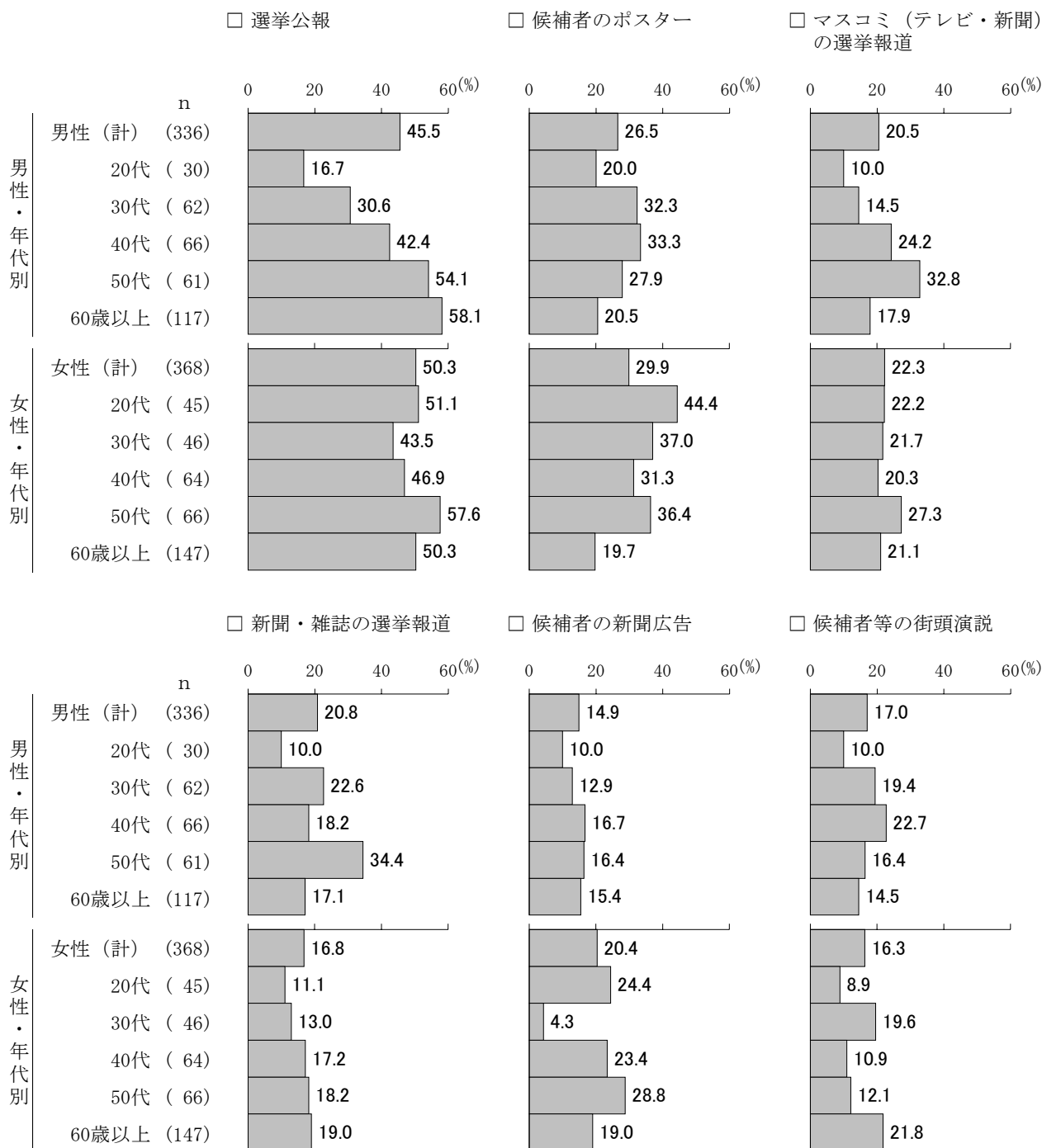
選択肢数が増えていることから参考としてはあるが、平成7年以降の調査結果と比較すると、「マスコミ（テレビ・新聞）の選挙報道」は前回（平成15年）よりも約9ポイントと大きく増加している。なお、「選挙運動用ビラ（区長のみ）」は今選挙より始まった制度で、新たに選択肢を加えたものであり、結果は第10位で4.8%となっている。（図表2-4-2）

＜図表2-4-2＞区議会議員及び区長選挙の候補者選定に役立ったもの／経年比較



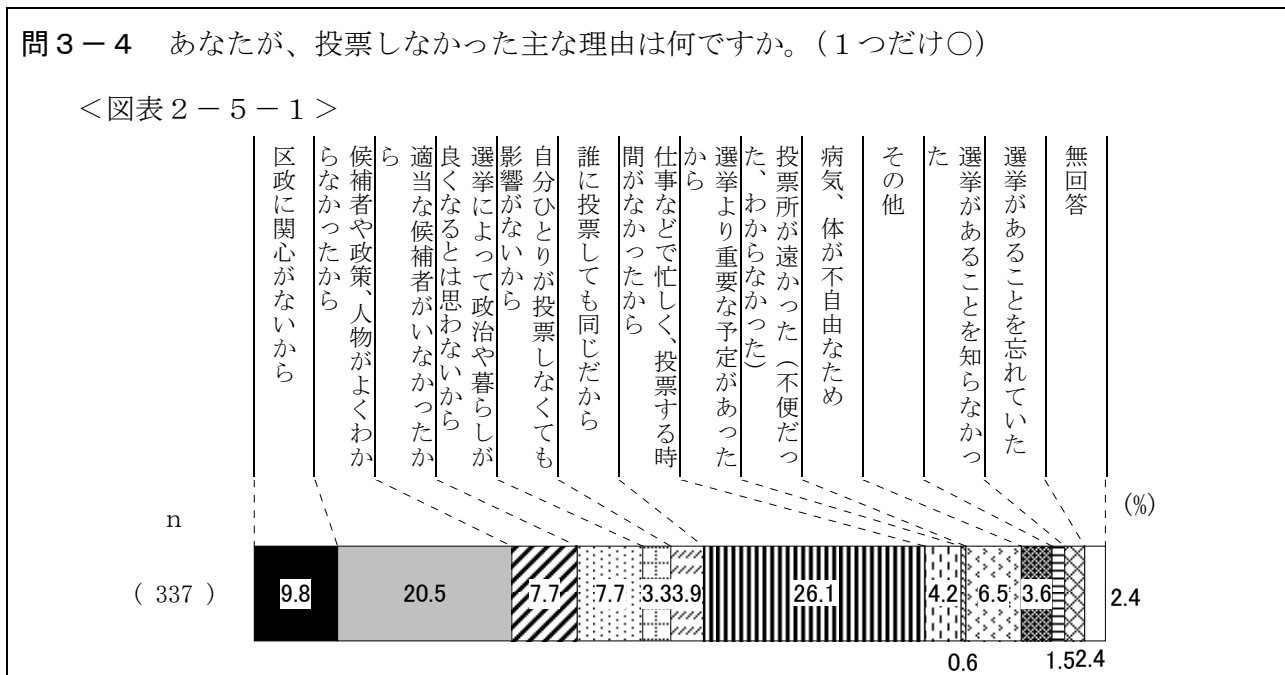
性・年代別でみると、「選挙公報」は男性の60歳以上と女性の50代で約6割と高く、特に、男性では年齢が上がるほど高くなる傾向がみられる。「候補者のポスター」は女性の20代で4割台半ばと最も高い。また、「マスコミ（テレビ・新聞）の選挙報道」は男女ともに50代で高い傾向がみられ、特に、男性は3割を超える。このほか、「新聞・雑誌の選挙報道」は男性の50代で3割台半ば、「候補者の新聞広告」は女性の50代で約3割と高くなっている。（図表2-4-3）

<図表2-4-3> 区議会議員及び区長選挙の候補者選定に役立ったもの／性・年代別（上位6項目）



(5) 区議会議員及び区長選挙に投票しなかった理由

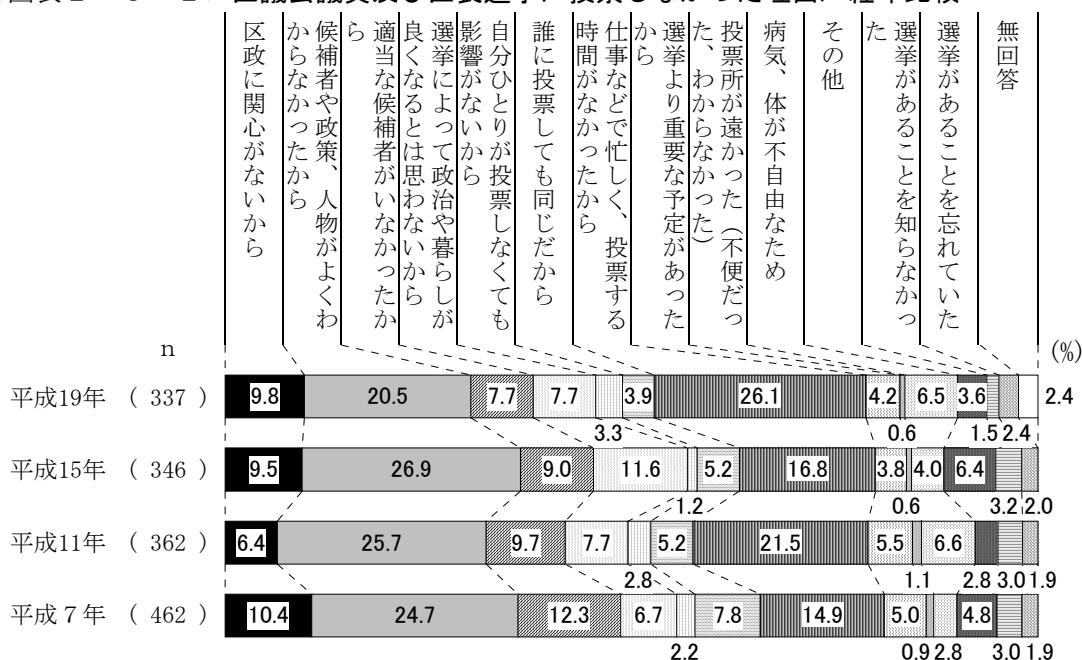
◇「仕事などで忙しく、投票する時間がなかったから」が2割台半ば



杉並区議会議員選挙及び区長選挙に投票しなかった人にその理由を聞いたところ、「仕事などで忙しく、投票する時間がなかったから」(26.1%)が2割台半ばで最も高くなっている。次いで、「候補者の政策・人物がよくわからなかったから」(20.5%)が2割を超える。(図表2-5-1)

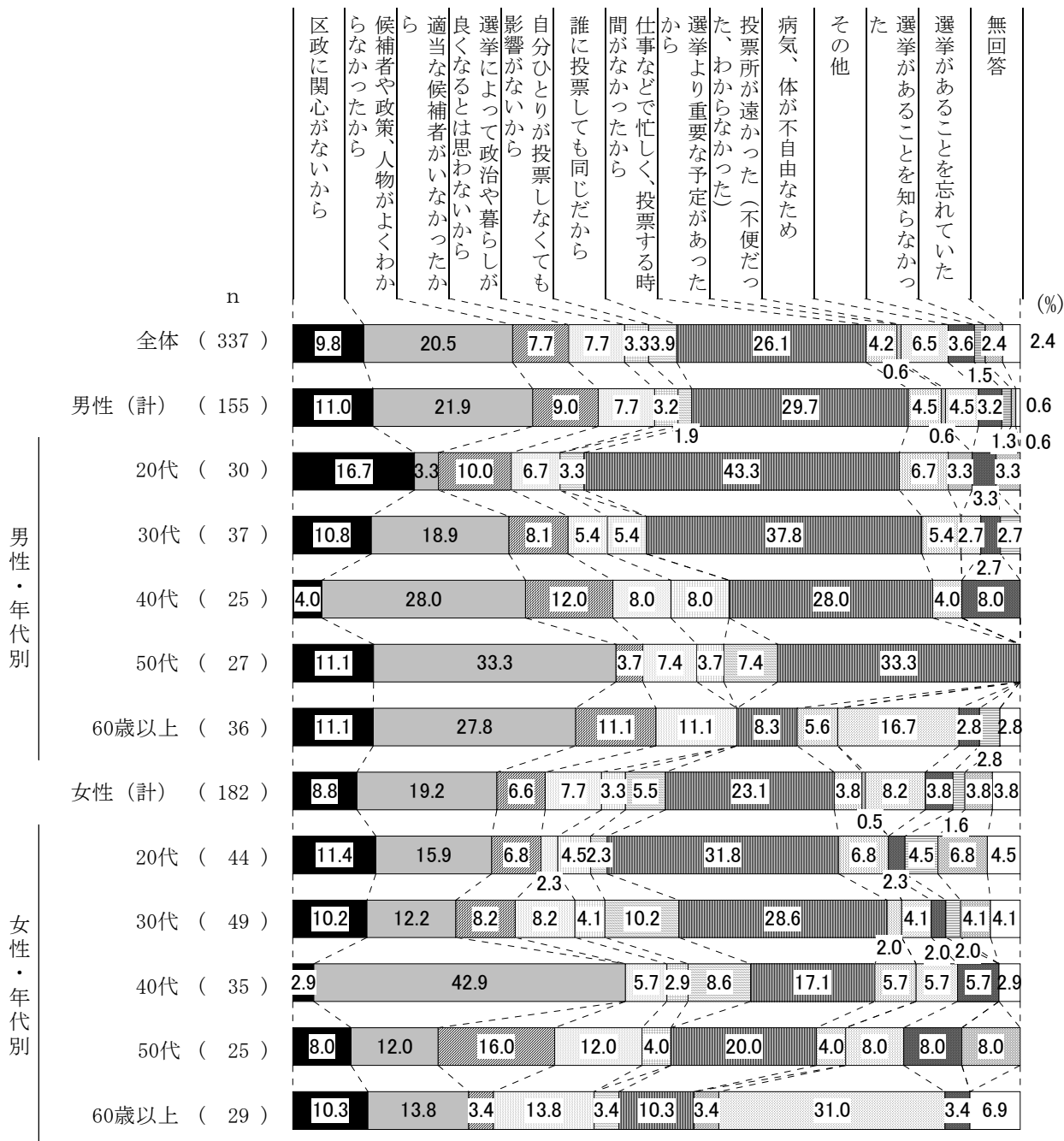
平成7年以降の調査結果と比較すると、「仕事などで忙しく、投票する時間がなかったから」は前回(平成15年)よりも約10ポイント増加し、平成7年以降で最も高くなっている。一方、「候補者の政策・人物がよくわからなかったから」は前回(平成15年)よりも約6ポイント減少し、平成7年以降で最も低い。(図表2-5-2)

<図表2-5-2> 区議会議員及び区長選挙に投票しなかった理由/経年比較



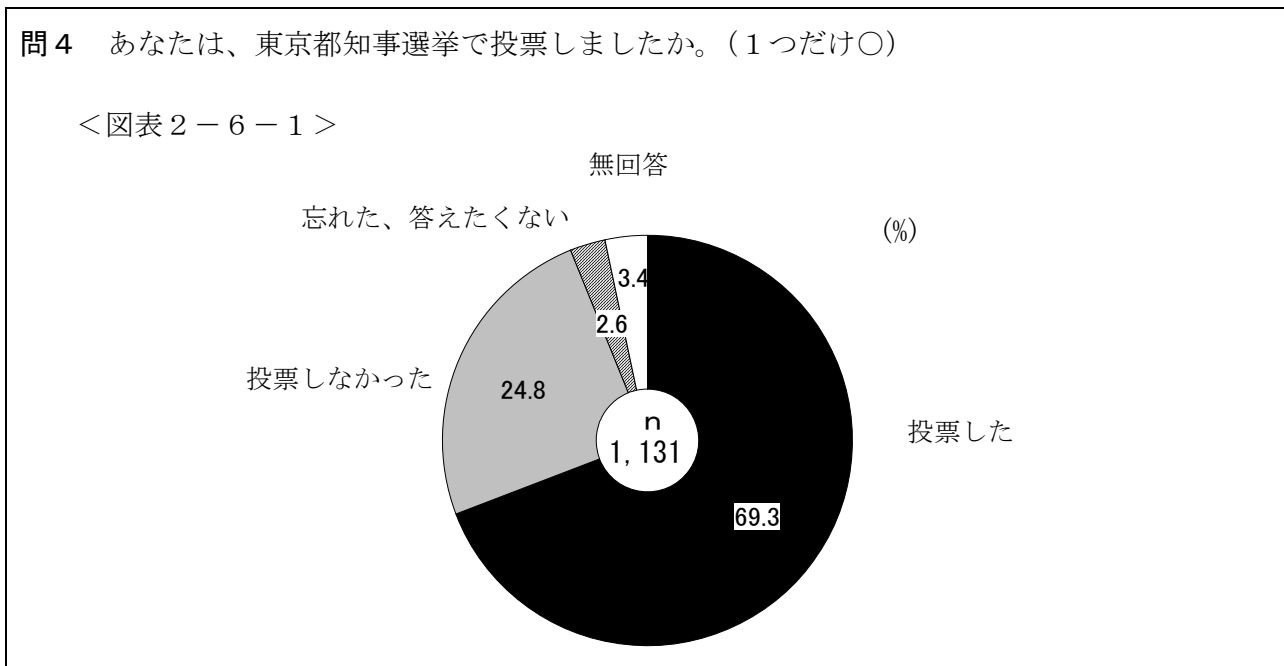
性・年代別でみると、「候補者の政策・人物がよくわからなかったから」は女性の40代で4割を超え高く、男性の50代で3割台半ばとなっている。「仕事などで忙しく、投票する時間がなかったから」は、男女ともに20代で高く、特に、男性は4割台半ばとなっている。また、「病気、体が不自由なため」が女性の60歳以上で3割を超えている。(図表2-5-3)

＜図表2-5-3＞区議会議員及び区長選挙に投票しなかった理由／性・年代別



(6) 都知事選挙の投票状況

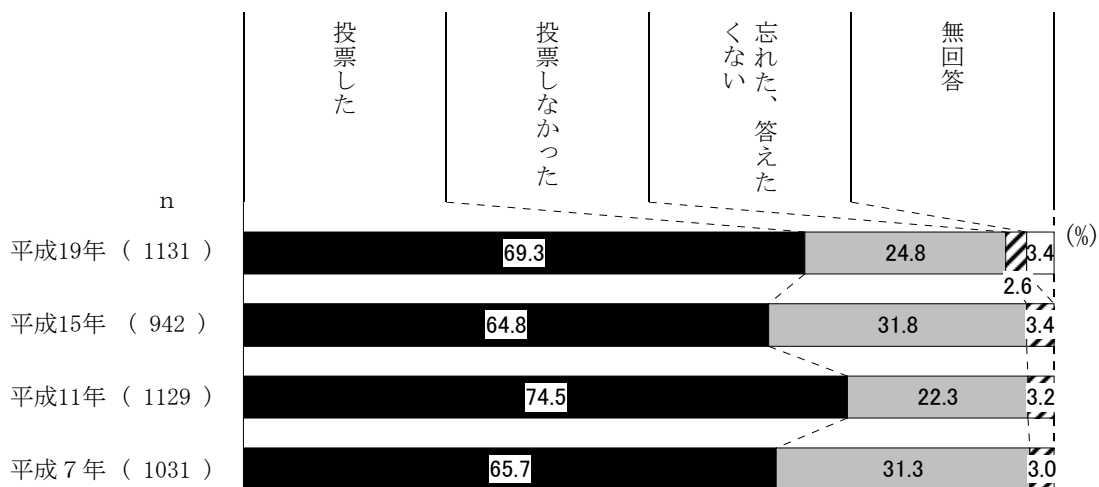
◇「投票した」が約7割



東京都知事選挙について、選挙に投票したかを聞いたところ、「投票した」(69.3%)が約7割と多数を占めている。一方、「投票しなかった」(24.8%)は2割台半ばである。(図表2-6-1)

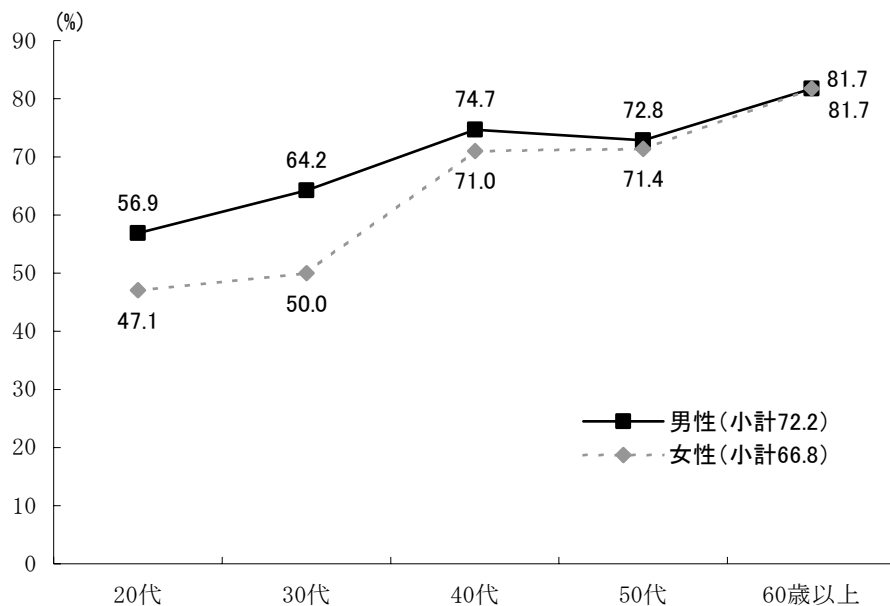
平成7年以降の調査結果と比較すると、「投票した」が前回(平成15年)よりも約5ポイント増加している。(図表2-6-2)

<図表2-6-2> 都知事選挙の投票状況/経年比較



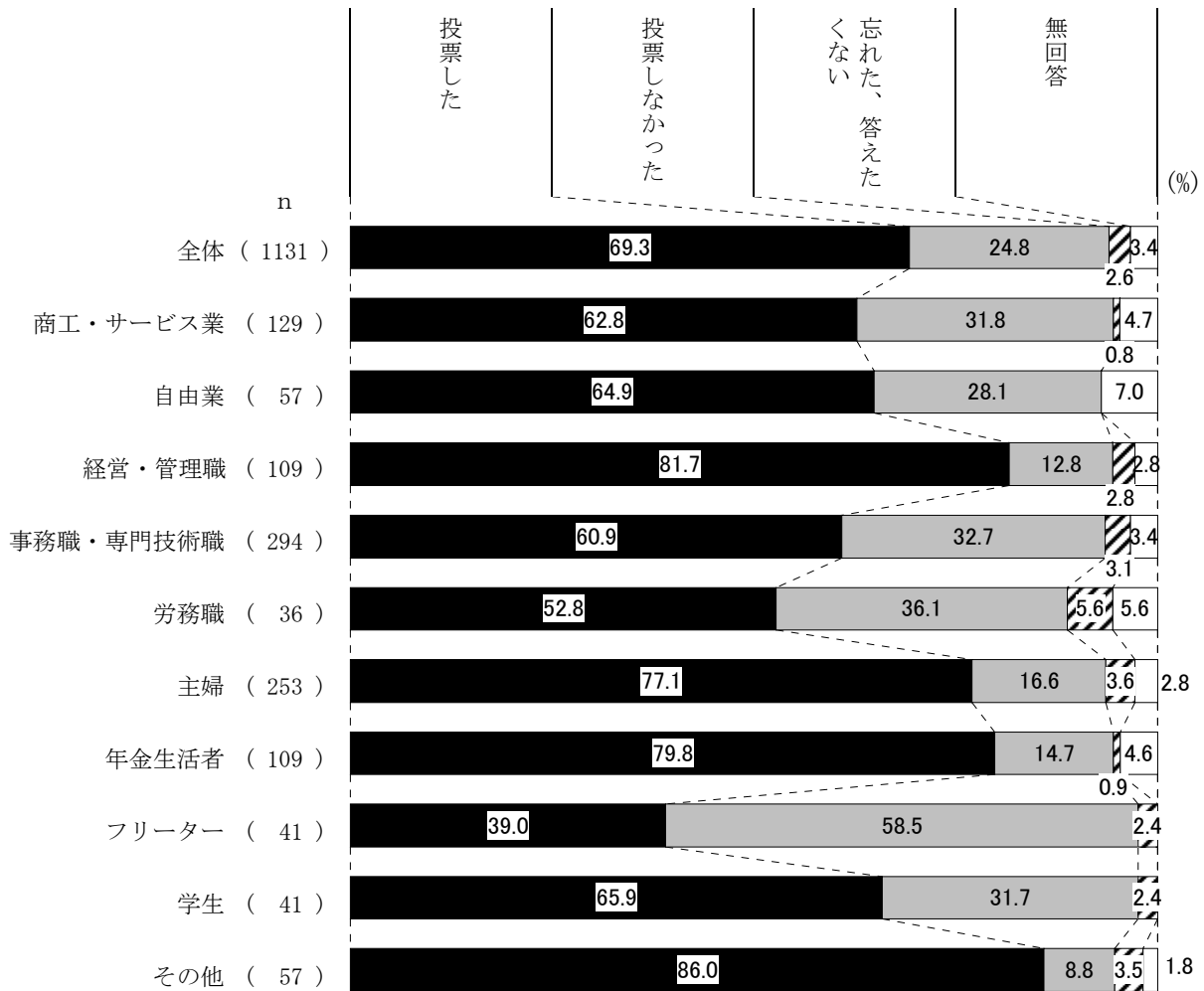
性・年代別でみると、「投票した」率は男性の方が女性よりも高く、約5ポイントの開きがある。また、男女ともに年代が上がるほど高くなる傾向にあり、60歳以上で8割を超える。(図表2-6-3)

<図表2-6-3> 都知事選挙の投票状況<<「投票した」人の率>>/性・年代別



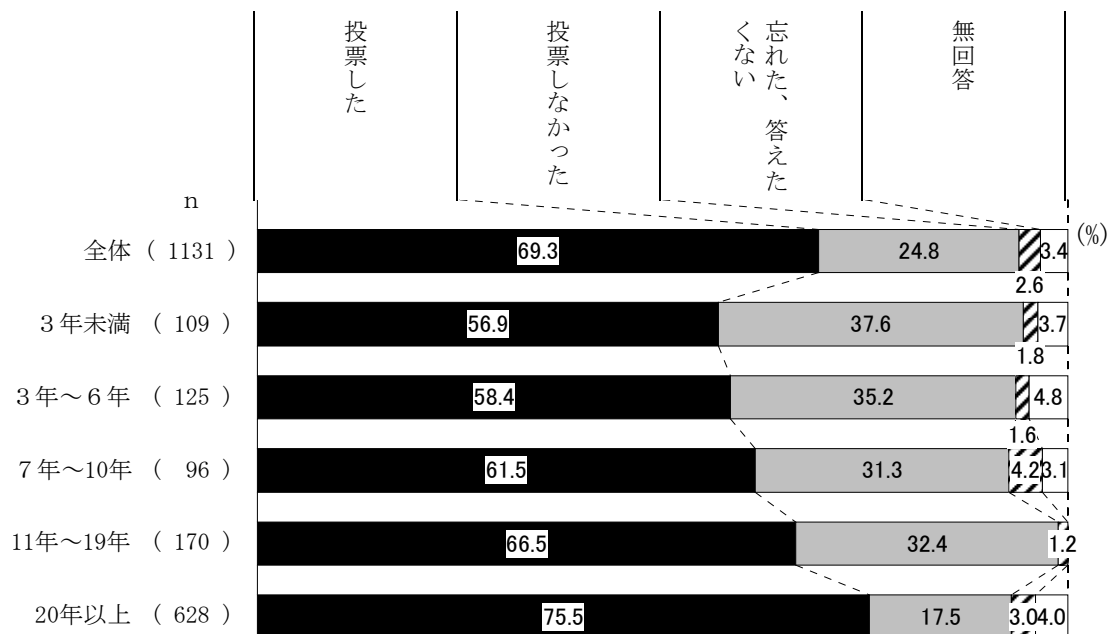
職業別でみると、「投票した」はその他で8割台半ばと最も高く、次いで、経営・管理職で8割を超える。また、年金生活者と主婦も約8割と高い。一方、「投票しなかった」はフリーターで約6割と突出している。(図表2-6-4)

<図表2-6-4> 都知事選挙の投票状況／職業別



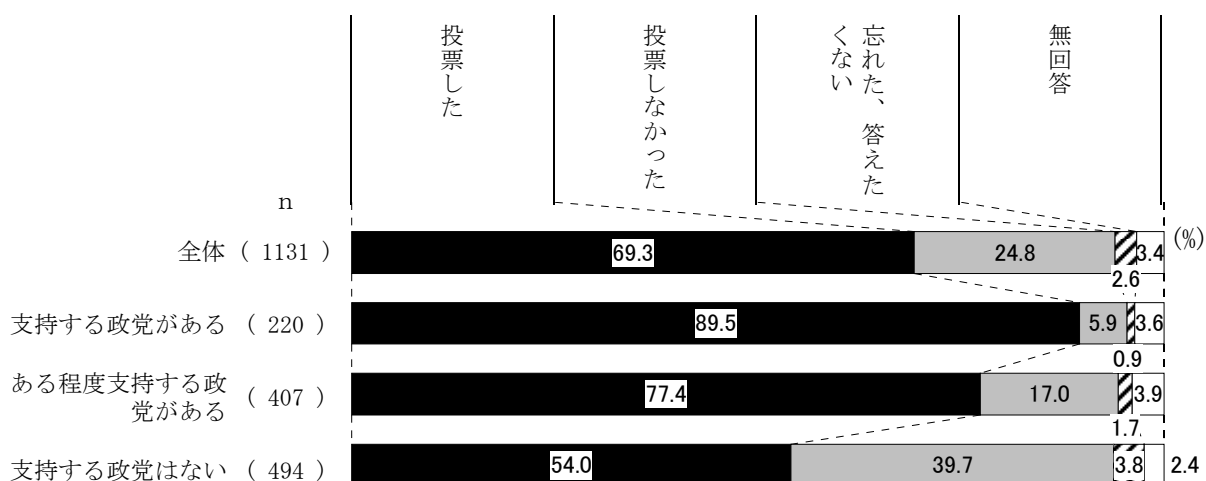
居住年数別でみると、「投票した」は、居住年数が長くなるほど高く、20年以上で7割台半ばとなる。一方、「投票しなかった」は居住年数が短いほど高く、3年未満で約4割、3年～6年で3割台半ばとなっている。(図表2-6-5)

<図表2-6-5> 都知事選挙の投票状況／居住年数別



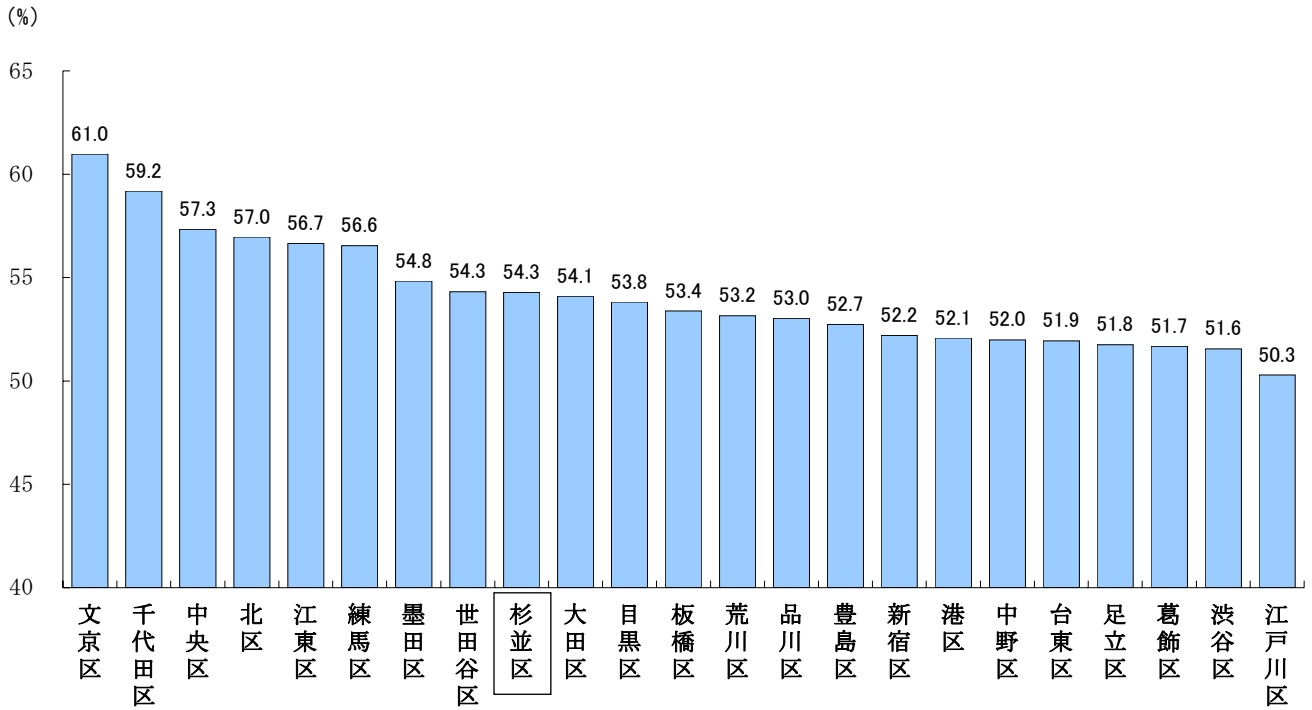
支持政党の有無別でみると、「投票した」は、支持する政党がある人で約9割と高い。一方、「投票しなかった」は、支持する政党はない人で約4割となっている。(図表2-6-6)

<図表2-6-6> 都知事選挙の投票状況／支持政党の有無別



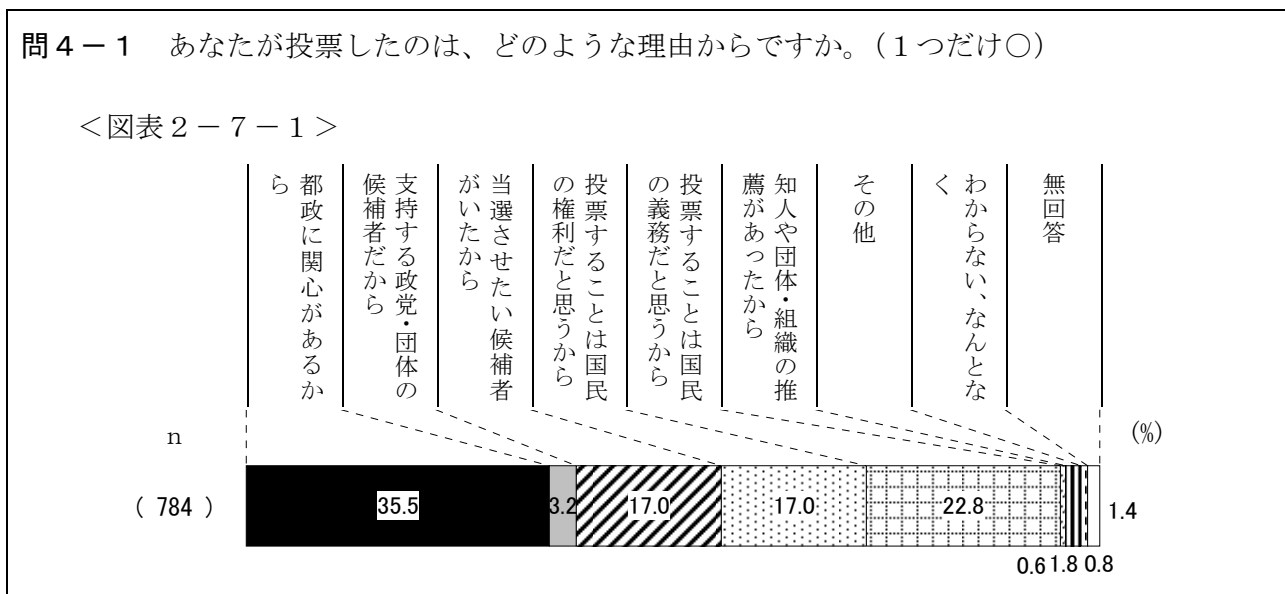
参考までに、実際の投票率を23区で比較してみると、杉並区の投票状況（54.3%）は23区全体で8番目である。（図表2-6-7）

<図表2-6-7>都知事選挙の投票状況／他区との比較



(7) 都知事選挙の投票理由

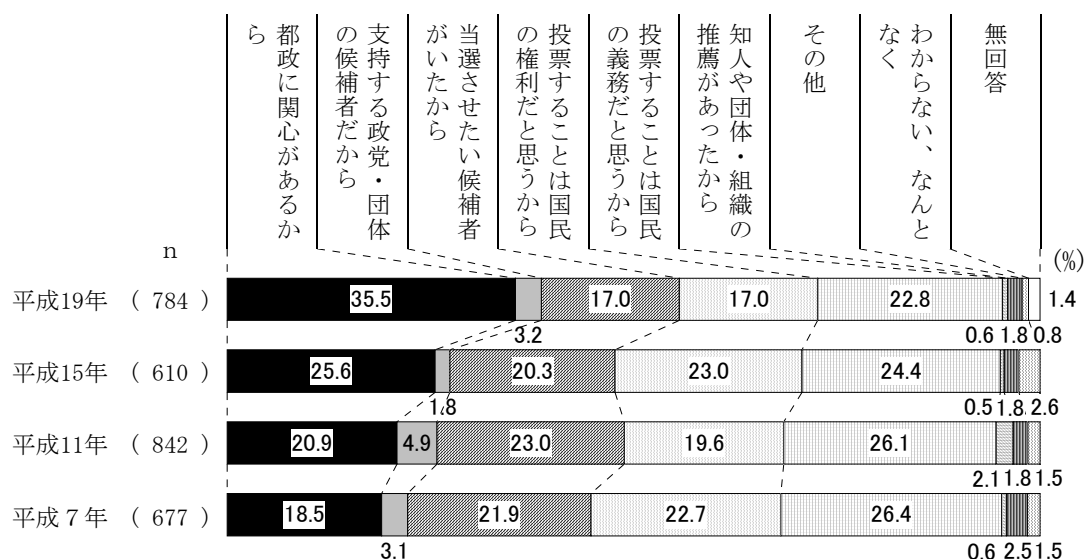
◇「都政に関心があるから」が3割台半ば



東京都知事選挙に投票した人に、投票した理由を聞いたところ、「都政に関心があるから」(35.5%)が3割台半ばで最も高くなっている。次いで、「投票することは国民の義務だと思うから」(22.8%)が2割を超え、「投票することは国民の権利だと思うから」(17.0%)と「当選させたい候補者がいたから」(17.0%)が約2割で続く。(図表2-7-1)

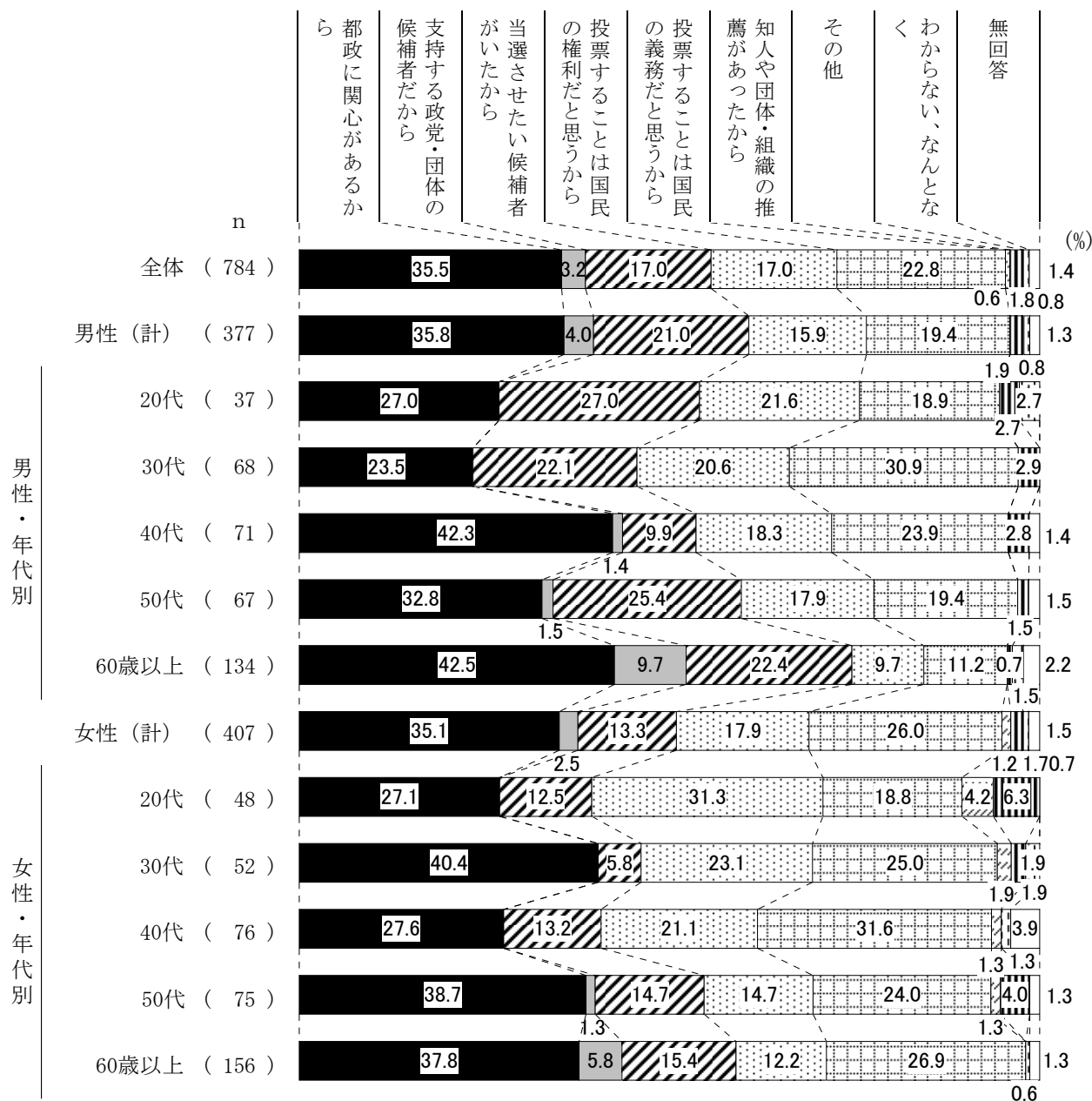
平成7年以降の調査結果と比較すると、「都政に関心があるから」は、調査ごとに高くなっており、前回(平成15年)よりも約10ポイント増加している。逆に、「当選させたい候補者がいたから」は平成11年以降、「投票することは国民の義務だと思うから」は平成7年以降、調査ごとに低くなってきている。(図表2-7-2)

<図表2-7-2> 都知事選挙の投票理由／経年比較



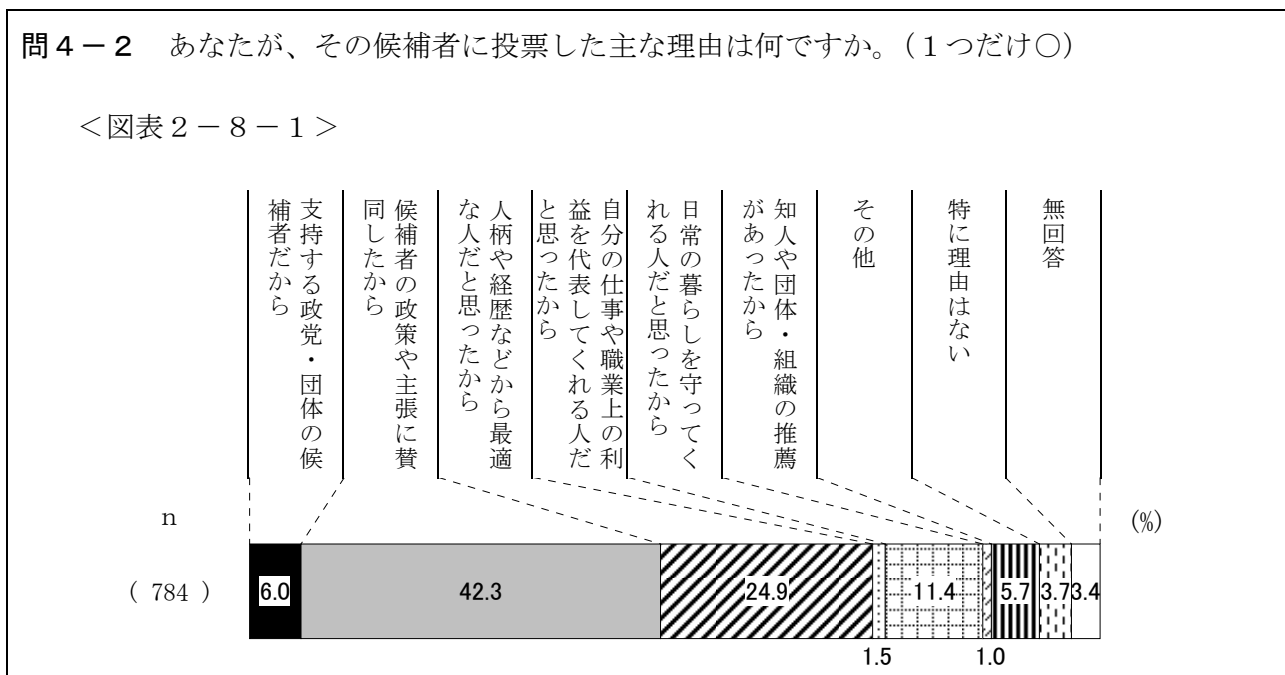
性・年代別でみると、「都政に関心があるから」は、男性では40代と60歳以上で4割を超え、女性では30代および50歳以上で約4割と高くなっている。「当選させたい候補者がいたから」は男性の20代で約3割、男性の50代で2割台半ばと比較的高い。また、「投票することは国民の権利だと思うから」は女性の20代で、「投票することは国民の義務だと思うから」は男性の30代と女性の40代で、それぞれ3割を超え比較的高くなっている。(図表2-7-3)

<図表2-7-3> 都知事選挙の投票理由／性・年代別



(8) 都知事選挙の候補者への投票理由

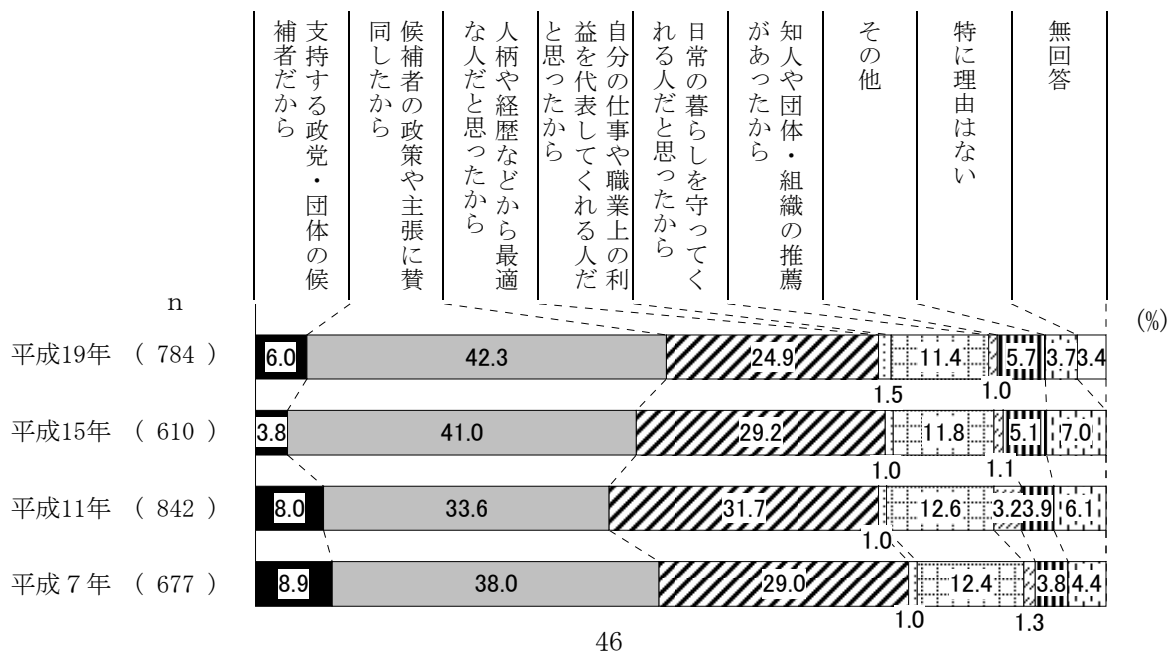
◇「候補者の政策や主張に賛同したから」が4割を超える



東京都知事選挙に投票した人に、その候補者に投票した理由を聞いたところ、「候補者の政策や主張に賛同したから」(42.3%)が4割を超え最も高くなっている。次いで、「人柄や経歴などから最適な人だと思ったから」(24.9%)が2割台半ばとなっている。(図表2-8-1)

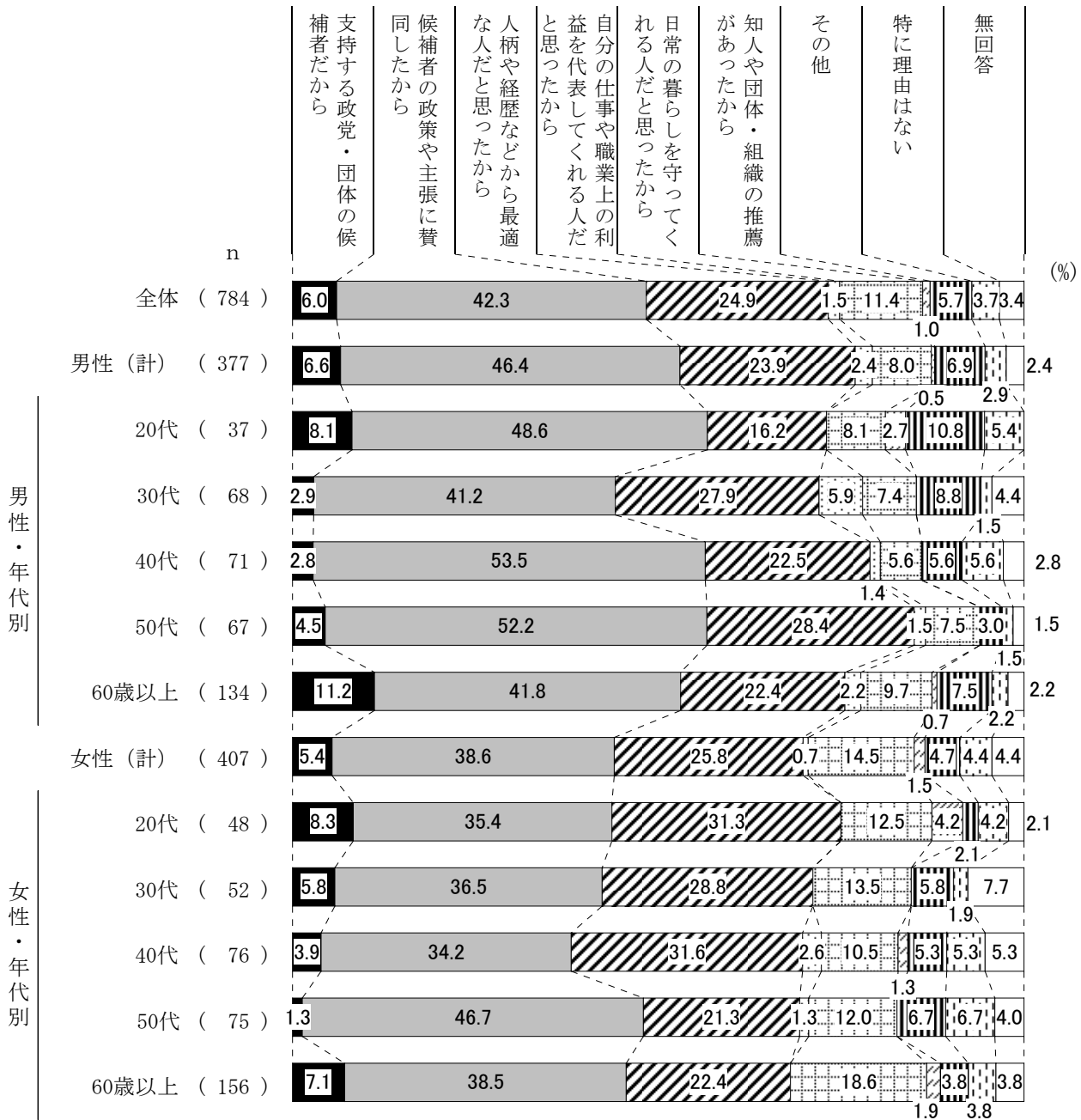
平成7年以降の調査結果と比較すると、前回(平成15年)からの大きな変化はみられない。ただし、平成11年以降で「候補者の政策や主張に賛同したから」は増加傾向にあり、逆に、「人柄や経歴などから最適な人だと思ったから」は減少傾向がみられる。(図表2-8-2)

<図表2-8-2> 都知事選挙の候補者への投票理由／経年比較



性・年代別でみると、「候補者の政策や主張に賛同したから」は男性の40代～50代で5割を超え高くなっている。また、「人柄や経歴などから最適な人だと思ったから」は、女性の20代と40代で3割を超え比較的高くなっている。(図表2-8-3)

<図表2-8-3> 都知事選挙の候補者への投票理由／性・年代別

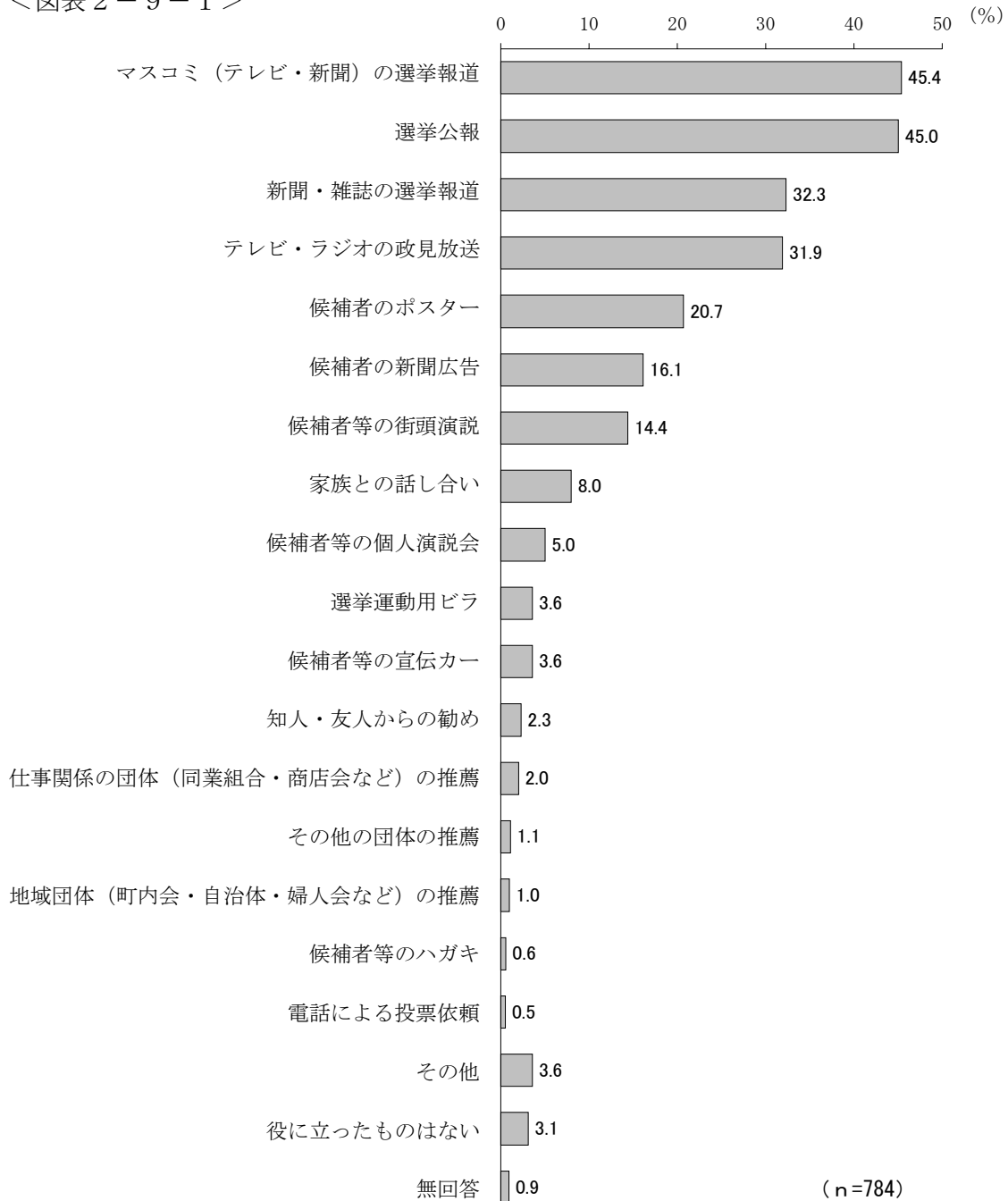


(9) 都知事選挙の候補者選定に役立ったもの

◇「マスコミ（テレビ・新聞）の選挙報道」と「選挙公報」が4割台半ばで並ぶ

問4-3 あなたが、候補者を決めるのに役立ったものは何ですか。(いくつでも○)

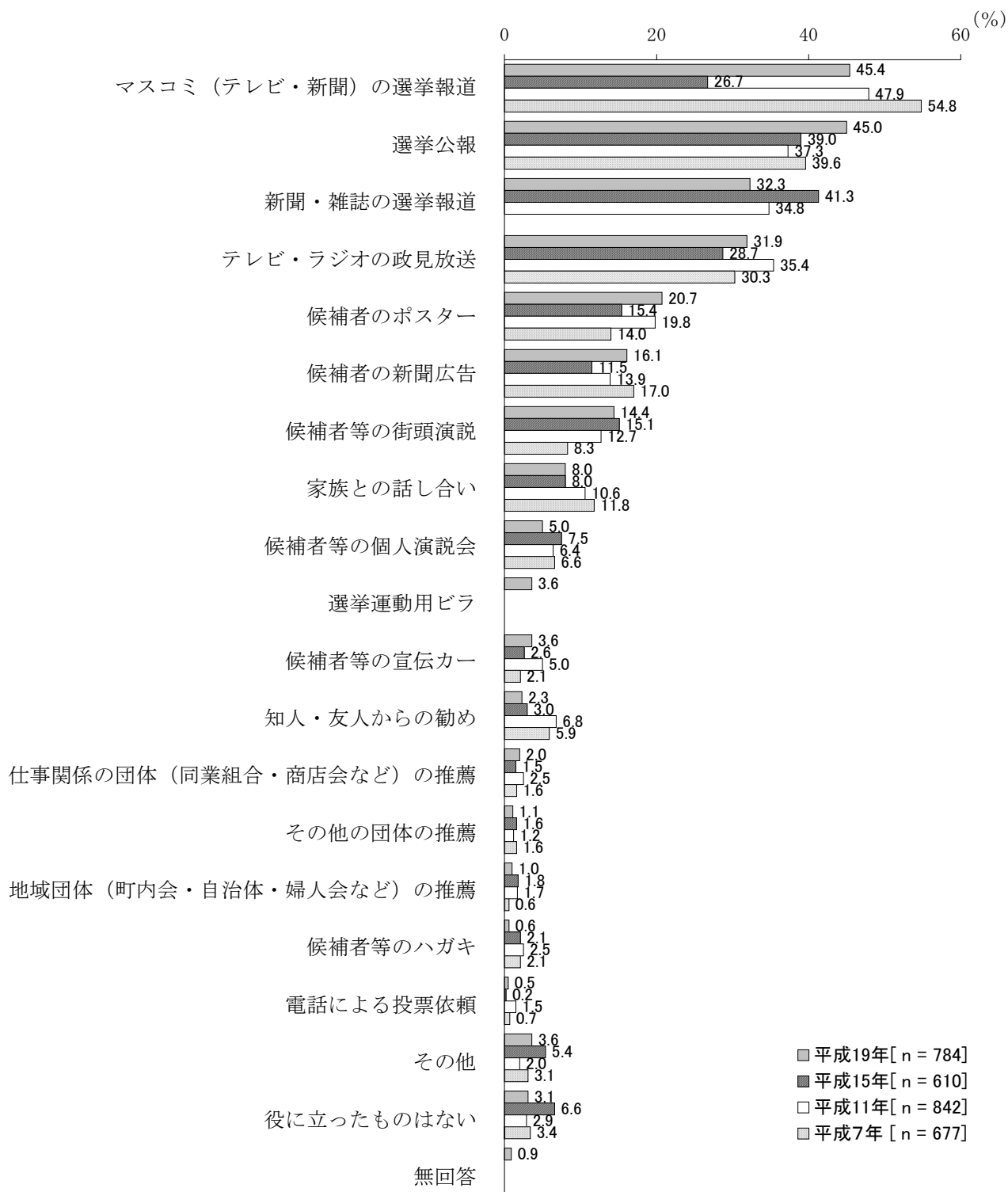
<図表2-9-1>



東京都知事選挙に投票した人に候補者を決めるのに役立ったものを聞いたところ、上位2項目は「マスコミ（テレビ・新聞）の選挙報道」（45.4%）と「選挙公報」（45.0%）で4割台半ばと並ぶ。次いで、「新聞・雑誌の選挙報道」（32.3%）と「テレビ・ラジオの政見放送」（31.9%）が3割を超える。以下、「候補者のポスター」（20.7%）、「候補者等の新聞広告」（16.1%）、「候補者等の街頭演説」（14.4%）などと続く。（図表2-9-1）

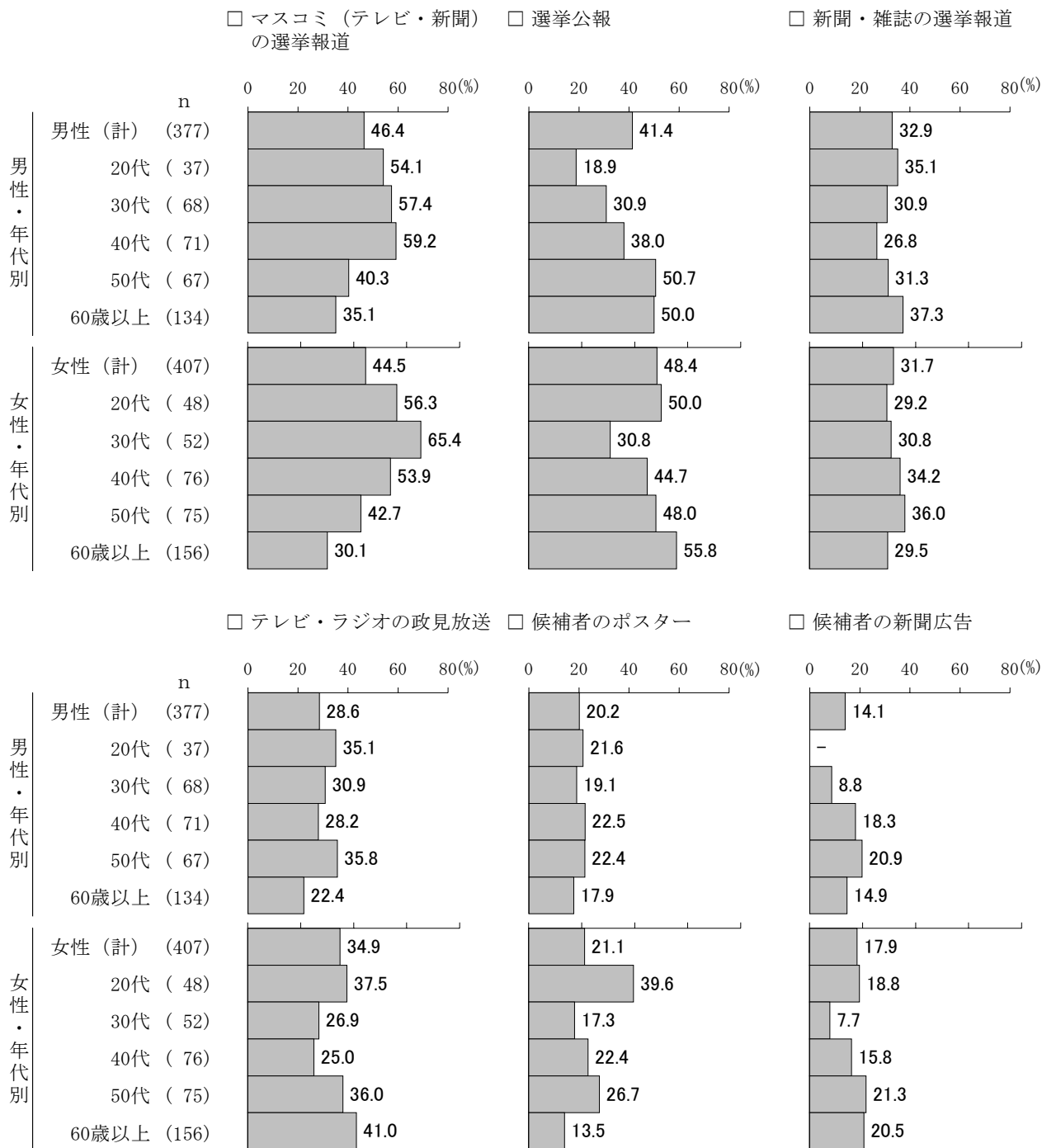
選択肢数が変化していることから参考としてではあるが、平成7年以降の調査結果と比較すると、「マスコミ（テレビ・新聞）の選挙報道」は、これまで減少傾向にあったが、前回（平成15年）よりも約19ポイント増加している。（ただし、前回は「テレビの選挙報道」に限定されている。）このほか、「選挙公報」は約6ポイント、「候補者のポスター」と「候補者の新聞広告」が約5ポイント、前回（平成15年）よりも増加している。なお、「選挙運動用ビラ」は今選挙より始まった制度で、新たに選択肢を加えたものであり、結果は第10位で3.6%となっている。（図表2-9-2）

<図表2-9-2> 都知事選挙の候補者選定に役立ったもの／経年比較



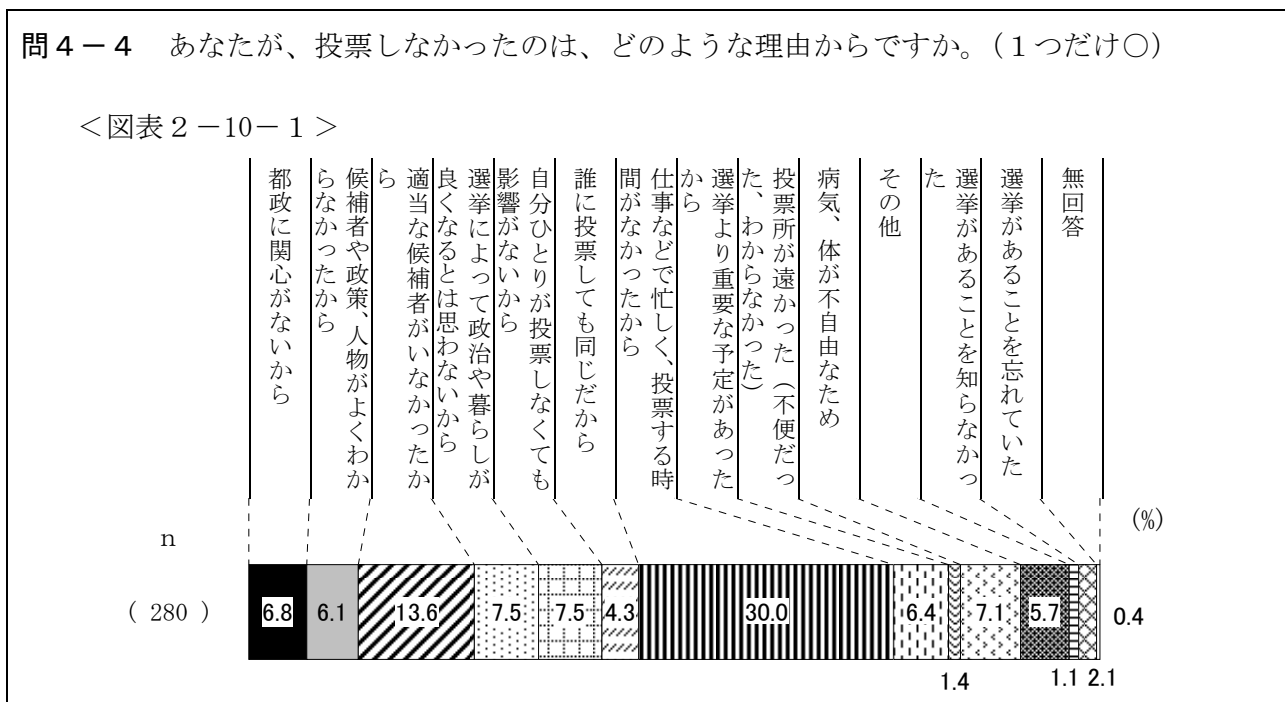
性・年代別で見ると、「マスコミ（テレビ・新聞）の選挙報道」は女性の30代で6割台半ばと最も高くなっている。「選挙公報」は、男性でおおむね年代が上がるほど増加し50歳以上で5割となり、女性は20代で5割、60歳以上で5割台半ばと高い。また、「候補者のポスター」は女性の20代で約4割と目立つ。（図表2-9-3）

<図表2-9-3> 都知事選挙の候補者選定に役立ったもの／性・年代別（上位6項目）



(10) 都知事選挙に投票しなかった理由

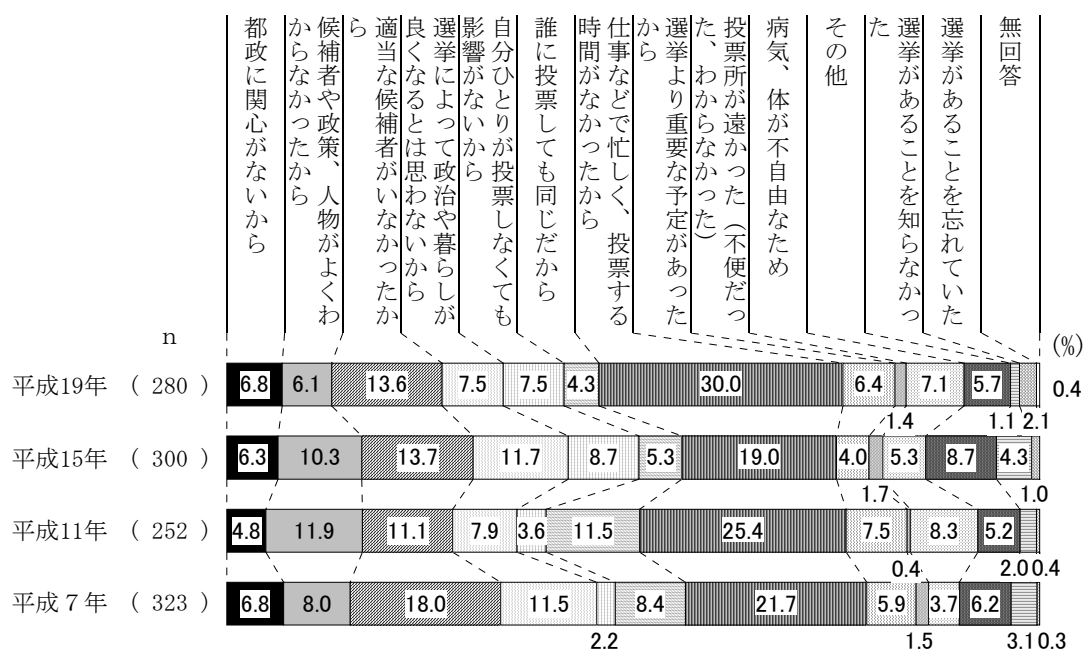
◇「仕事などで忙しく、投票する時間がなかったから」が3割



東京都知事選挙に投票しなかった人にその理由を聞いたところ、「仕事などで忙しく、投票する時間がなかったから」(30.0%)が3割で最も高い。次いで、「適切な候補者がいなかったから」(13.6%)が1割台半ばとなっている。(図表2-10-1)

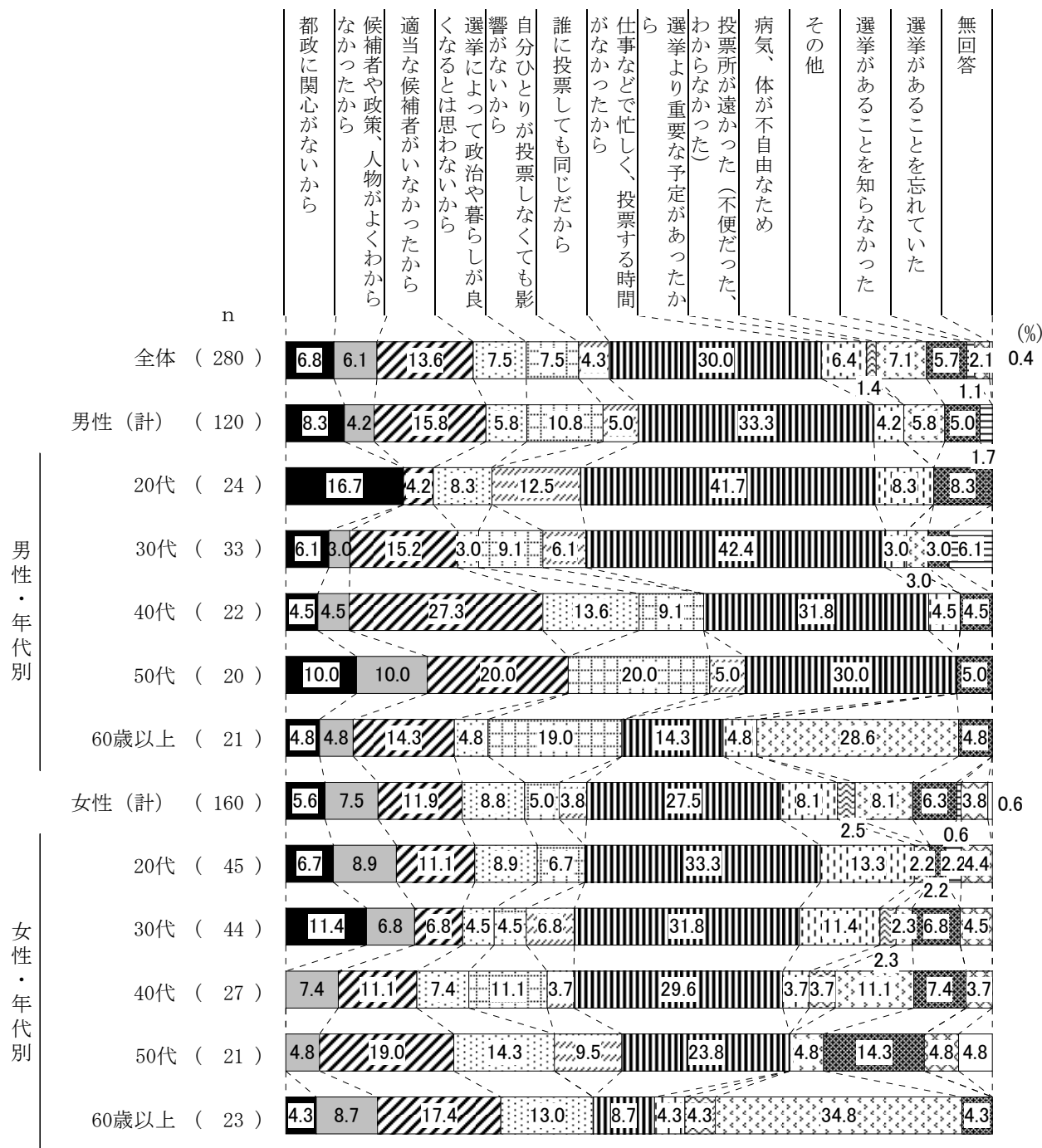
平成7年以降の調査結果と比較すると、「仕事などで忙しく、投票する時間がなかったから」が、前回(平成15年)よりも11ポイント増加し、これまでで最も高くなっている。(図表2-10-2)

<図表2-10-2> 都知事選挙に投票しなかった理由/経年比較



性・年代別でみると、「適切な候補者がいなかったから」は男性の40代で約3割と高くなっている。「仕事などで忙しく、投票する時間がなかったから」は、男性の20代～30代で4割を超え高く、男女ともに年代が上がるほど減少している。また、「病気、体が不自由なため」は女性の60歳以上で3割台半ばである。(図表2-10-3)

＜図表2-10-3＞都知事選挙に投票しなかった理由／性・年代別



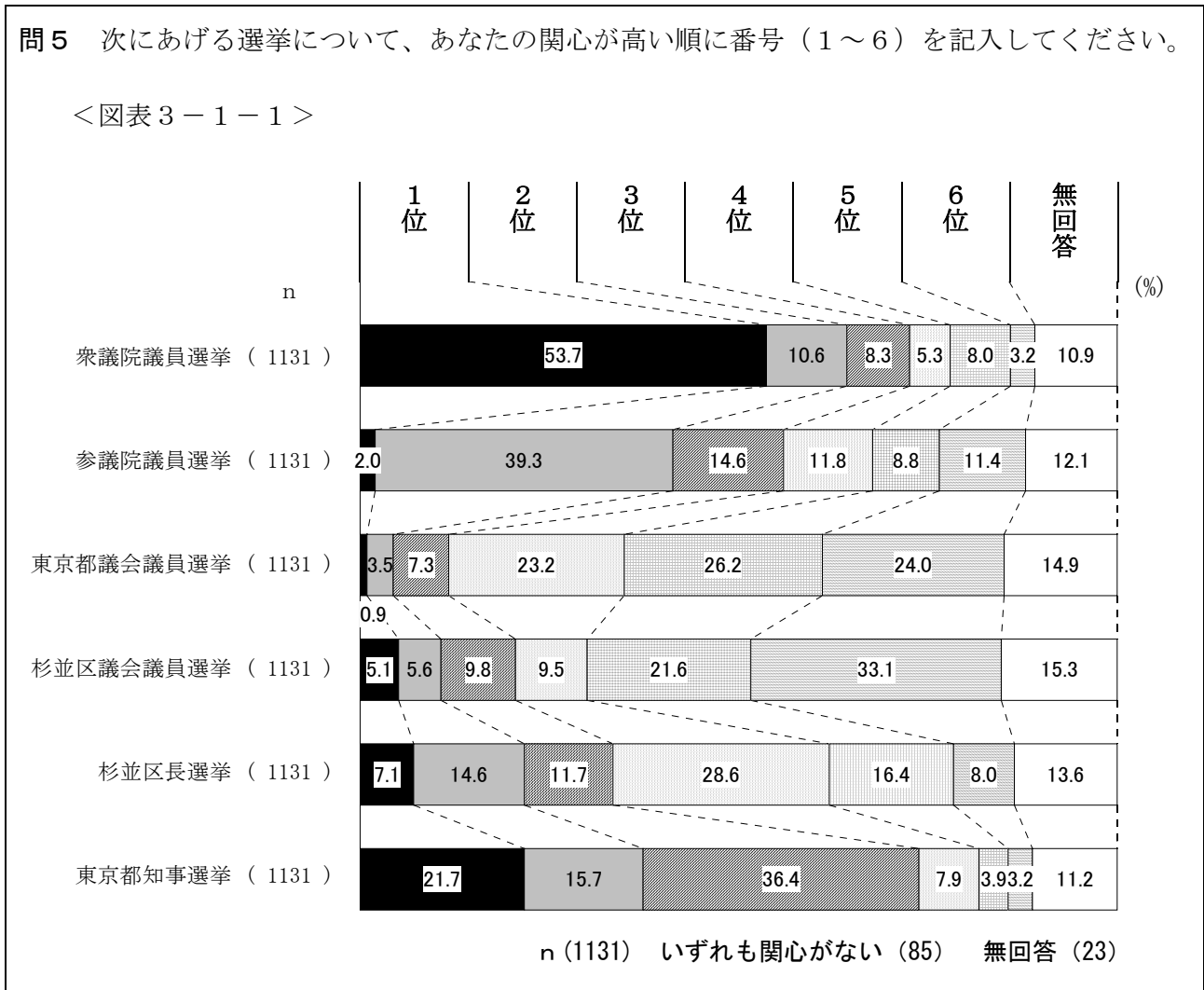
3. 有権者の関心

-
- (1) 各選挙への関心度
 - (2) 政治への関心度
 - (3) 現在関心を持っていること
-

3. 有権者の関心

(1) 各選挙への関心度

◇一番関心が高いのは〔衆議院議員選挙〕で5割を超えている



① 1位を獲得した選挙の順番

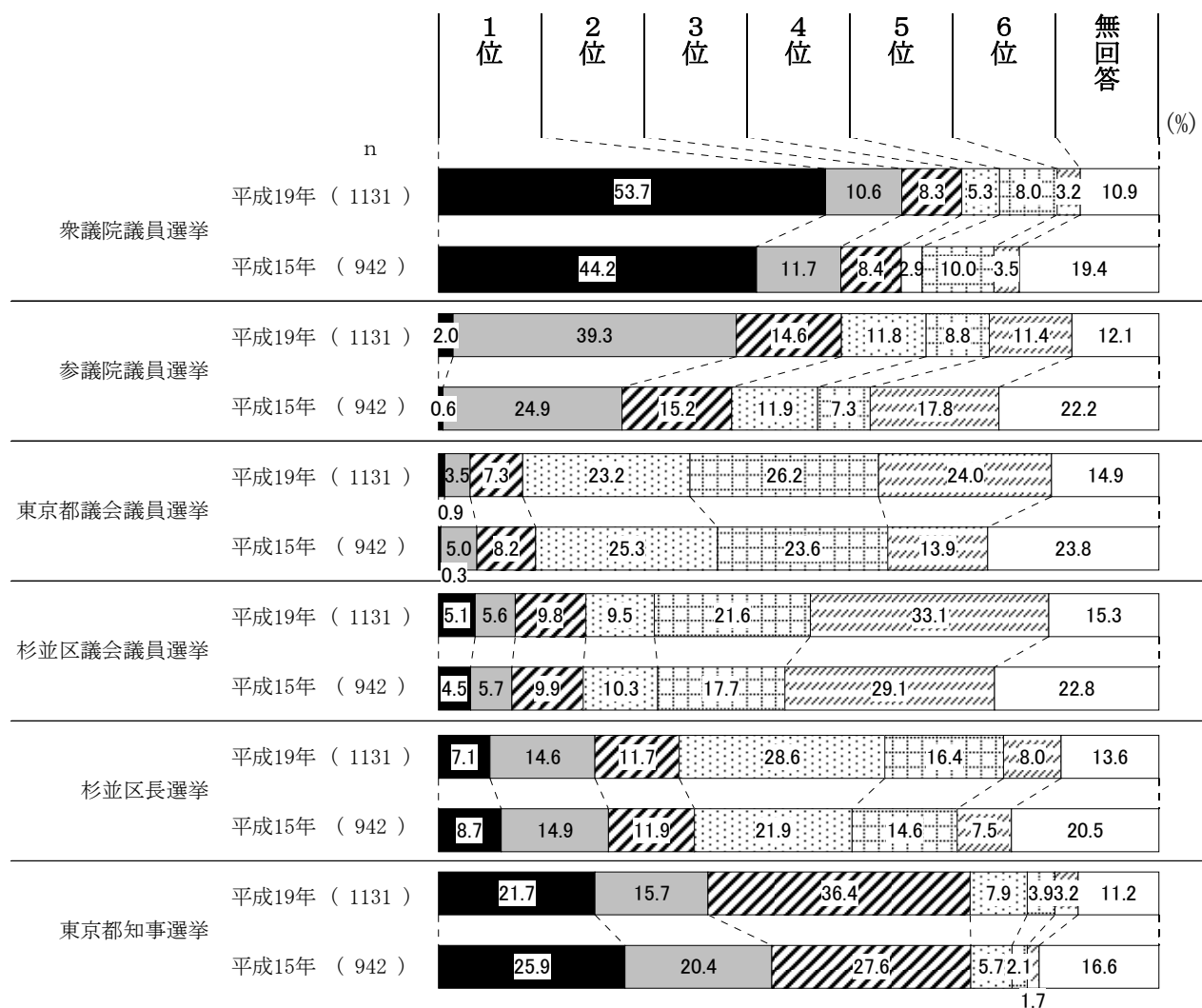
各選挙への関心が高い順番を聞いたところ、各選挙のうちで一番関心が高いのは、〔衆議院議員選挙〕(53.7%)で5割を超えている。次いで、〔東京都知事選挙〕(21.7%)、〔杉並区長選挙〕(7.1%)の順となっている。

② 順位ごとの割合

各選挙について、最も比率の高い順位をみると、〔衆議院議員選挙〕は「1位」(53.7%)、〔参議院議員選挙〕は「2位」(39.3%)、〔東京都議会議員選挙〕は「5位」(26.2%)、〔杉並区議会議員選挙〕は「6位」(33.1%)、〔杉並区長選挙〕は「4位」(28.6%)、〔東京都知事選挙〕は「3位」(36.4%)となっている。(図表3-1-1)

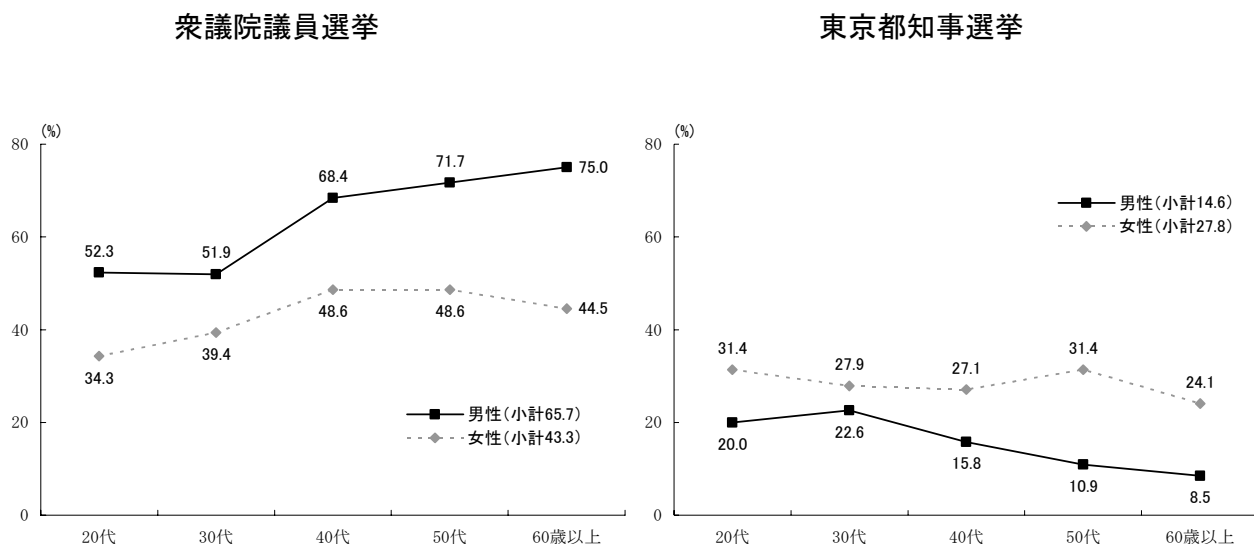
平成15年の調査結果と比較すると、〔衆議院議員選挙〕は「1位」が約10ポイント増加し、〔参議院議員選挙〕は「2位」が約14ポイント増加するなど、国政選挙において高い順位での増加が目立つ。（図表3-1-2）

<図表3-1-2>各選挙への関心度／経年比較



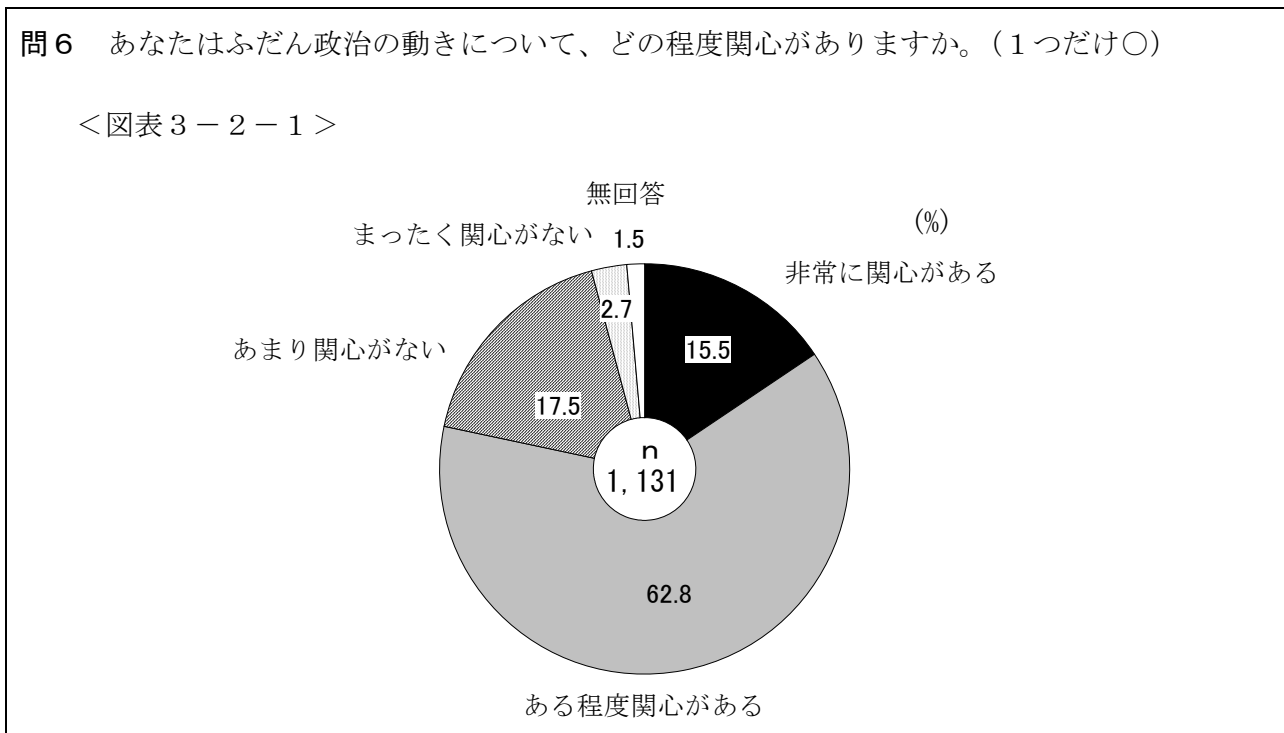
性・年代別でみると、〔衆議院議員選挙〕で「1位」と答えた人の率は、男性の方が女性よりも圧倒的に高く、その差は22ポイントみられる。特に、男性では、おおむね年代が上がるほど増加しており、60歳以上では7割半ばとなる。一方、〔東京都知事選挙〕で「1位」と答えた人の率は、女性の方が男性よりも約13ポイント高く、女性の20代と50代で3割を超えている。(図表3-1-3)

＜図表3-1-3＞各選挙への関心度「1位」と答えた人の率／性・年代別



(2) 政治への関心度

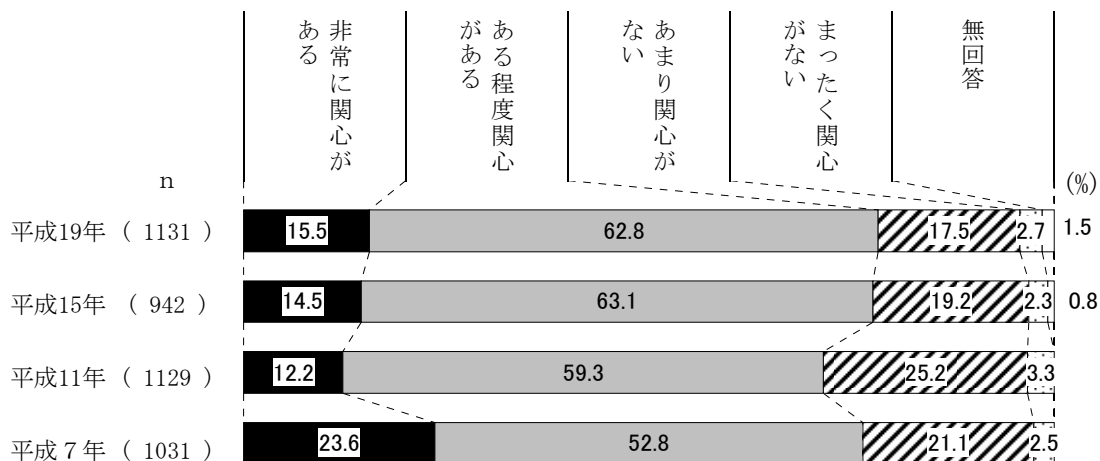
◇《関心がある》は約8割。一方、《関心がない》は2割



ふだん政治の動きについて、どの程度関心があるか聞いたところ、「ある程度関心がある」(62.8%)が6割を超えて最も高く、これに「非常に関心がある」(15.5%)を合わせると、《関心がある》(78.3%)は約8割となる。一方、「あまり関心がない」(17.5%)と「まったく関心がない」(2.7%)を合わせた《関心がない》(20.2%)は2割であり、《関心がある》人の方が圧倒的に多い。(図表3-2-1)

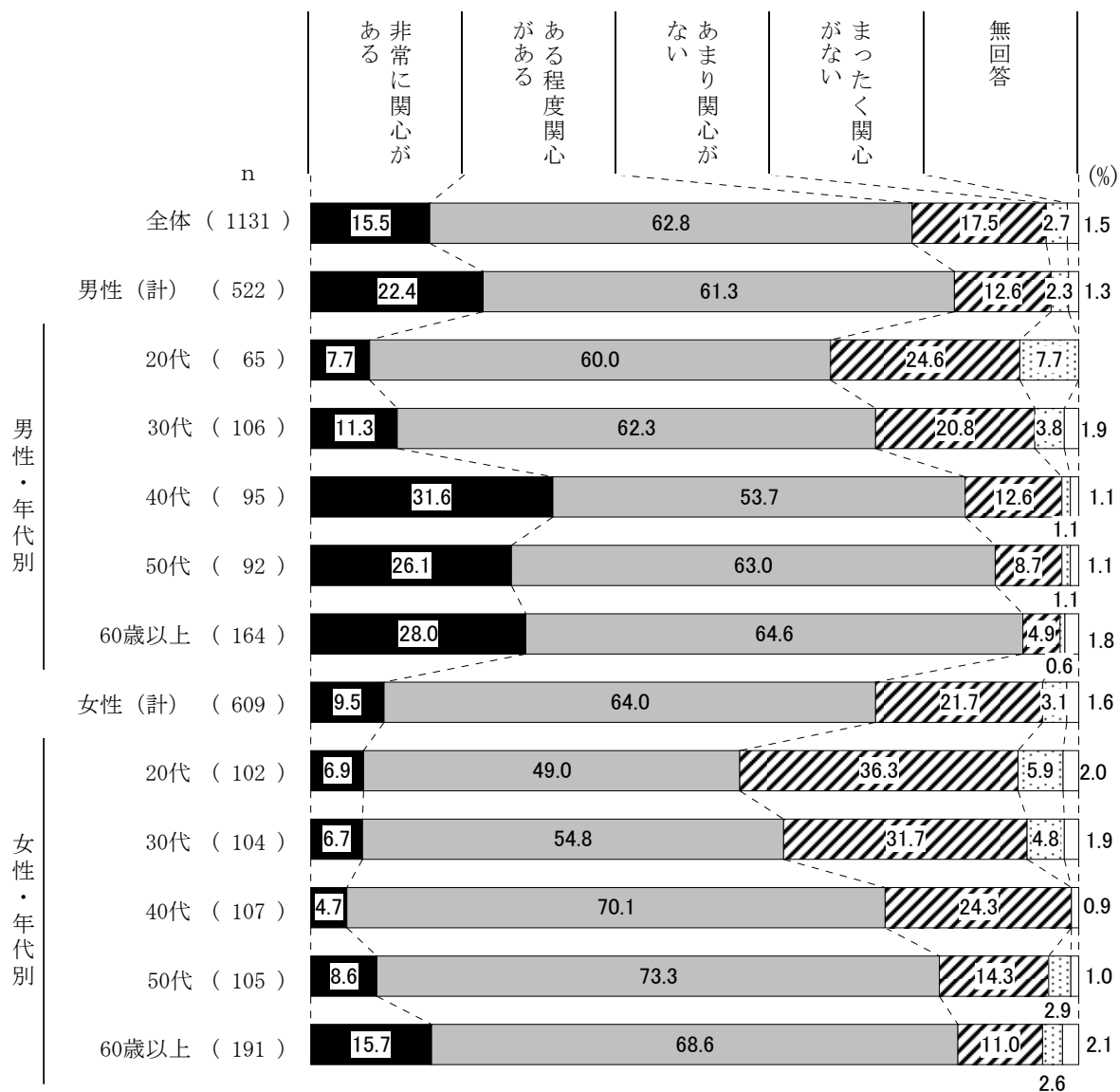
平成7年以降の調査結果と比較すると、《関心がある》は前回(平成15年)とほぼ同水準である。(図表3-2-2)

<図表3-2-2> 政治への関心度/経年比較



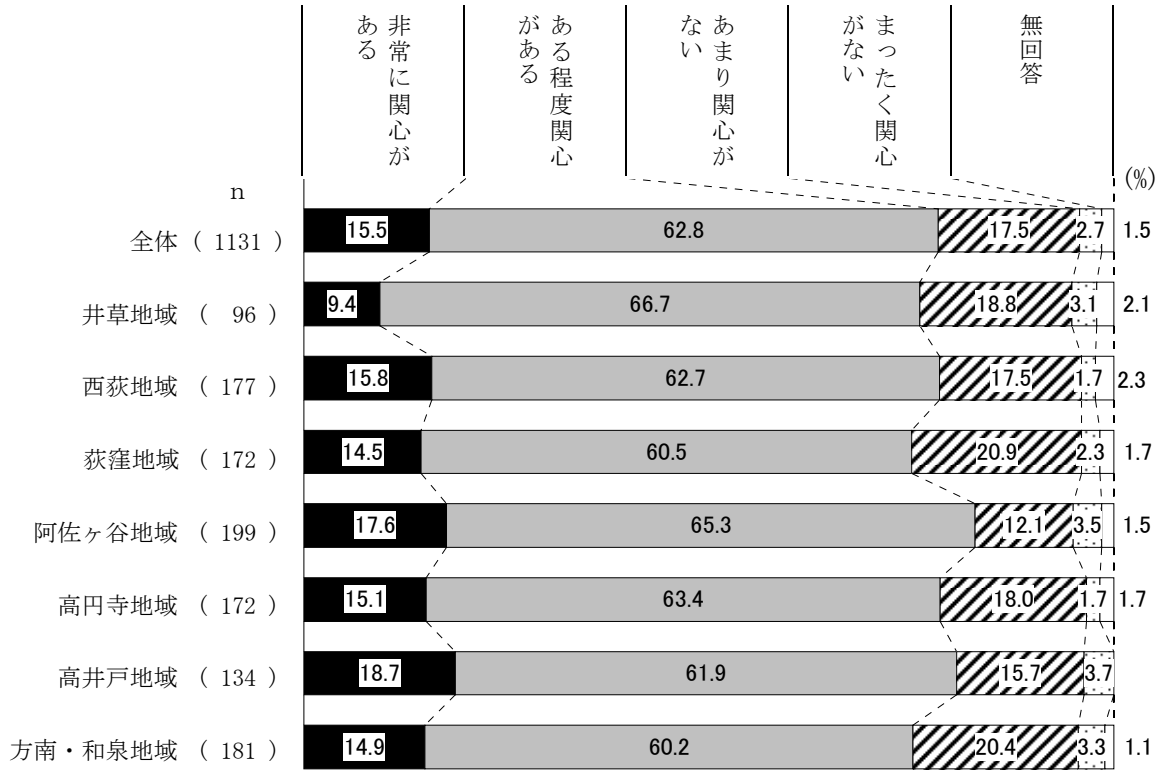
性・年代別でみると、「関心がある」は、男女ともに年代が上がるほど増加する傾向にあり、男性の60歳以上で9割を超え、女性の60歳以上で8割台半ばとなっている。一方、「関心がない」は、男女ともに年代が低いほど高く、特に、女性の20代は4割を超える。(図表3-2-3)

<図表3-2-3> 政治への関心度／性・年代別



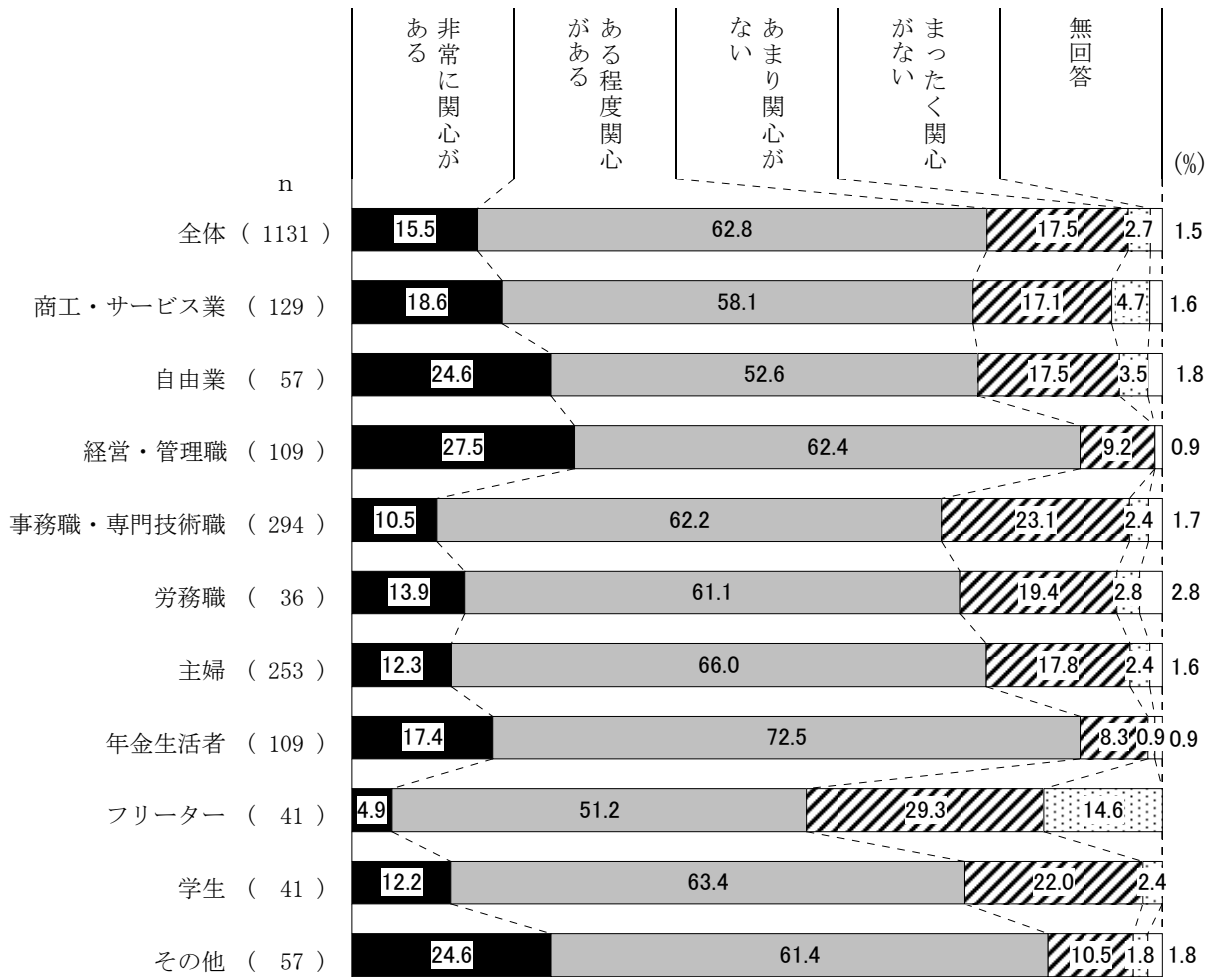
地域別でみると、「関心がある」は、阿佐ヶ谷地域で8割を超え最も高く、僅差で高井戸地域が続く。
 (図表3-2-4)

<図表3-2-4> 政治への関心度/地域別



職業別でみると、《関心がある》は、経営・管理職と年金生活者が約9割で並び、次いで、その中で8割台半ばとなっている。一方、《関心がない》は、“フリーター”が4割台半ばで最も高く、事務職・専門技術職と学生で2割台半ばとなっている。(図表3-2-5)

<図表3-2-5> 政治への関心度／職業別

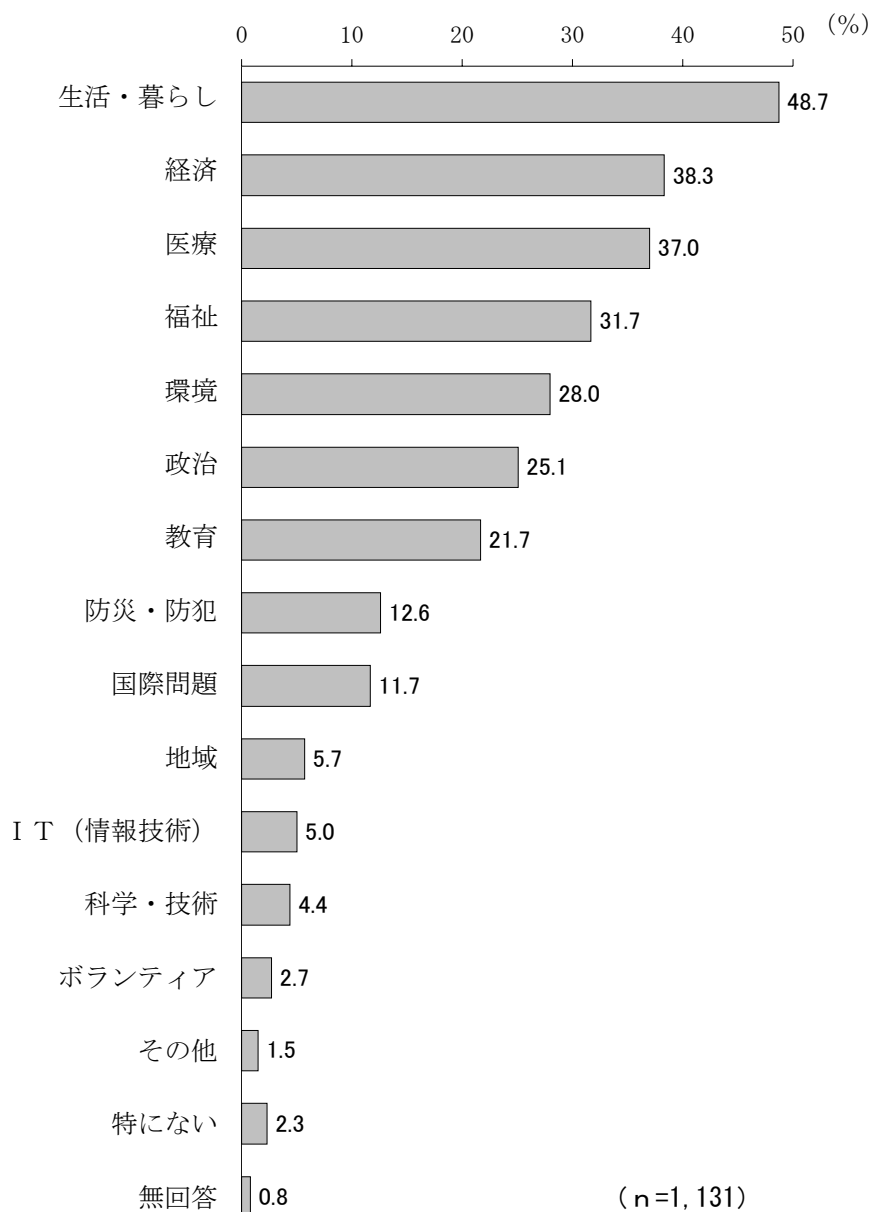


(3) 現在関心を持っていること

◇「生活・暮らし」が約5割で最も高い

問7 あなたが現在関心を持っていることは何ですか。(3つまで○)

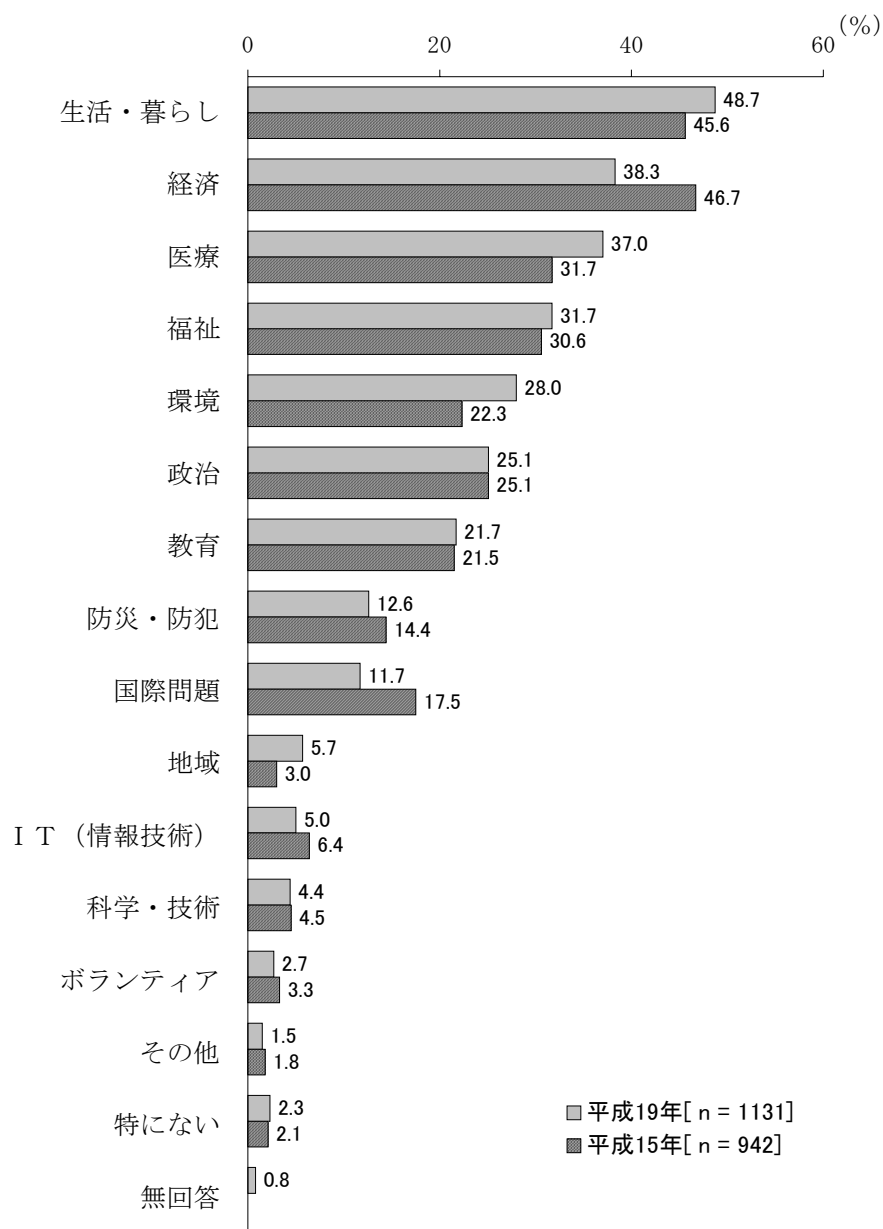
<図表3-3-1>



現在関心を持っていることについて聞いたところ、「生活・暮らし」(48.7%)が約5割で最も高くなっている。次いで、「経済」(38.3%)と「医療」(37.0%)が約4割である。以下、「福祉」(31.7%)、「環境」(28.0%)、「政治」(25.1%)、「教育」(21.7%)などと続く。(図表3-3-1)

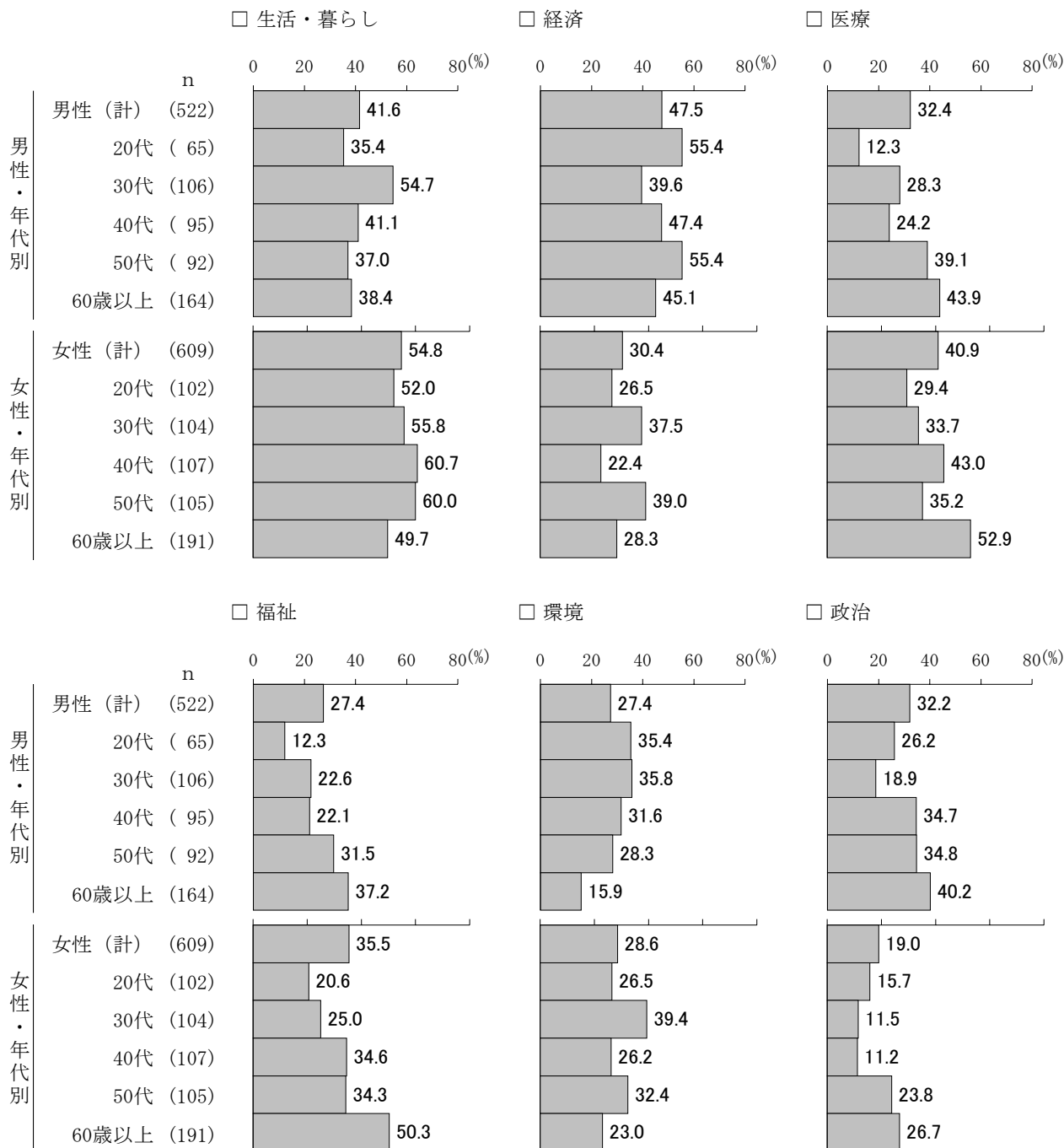
平成15年の調査結果と比較すると、「環境」が約6ポイント、「医療」が約5ポイント増加している。逆に、「経済」は約8ポイント減少しており、また、「国際問題」は約6ポイント減少している。(図表3-3-2)

<図表3-3-2> 現在関心を持っていること／経年比較



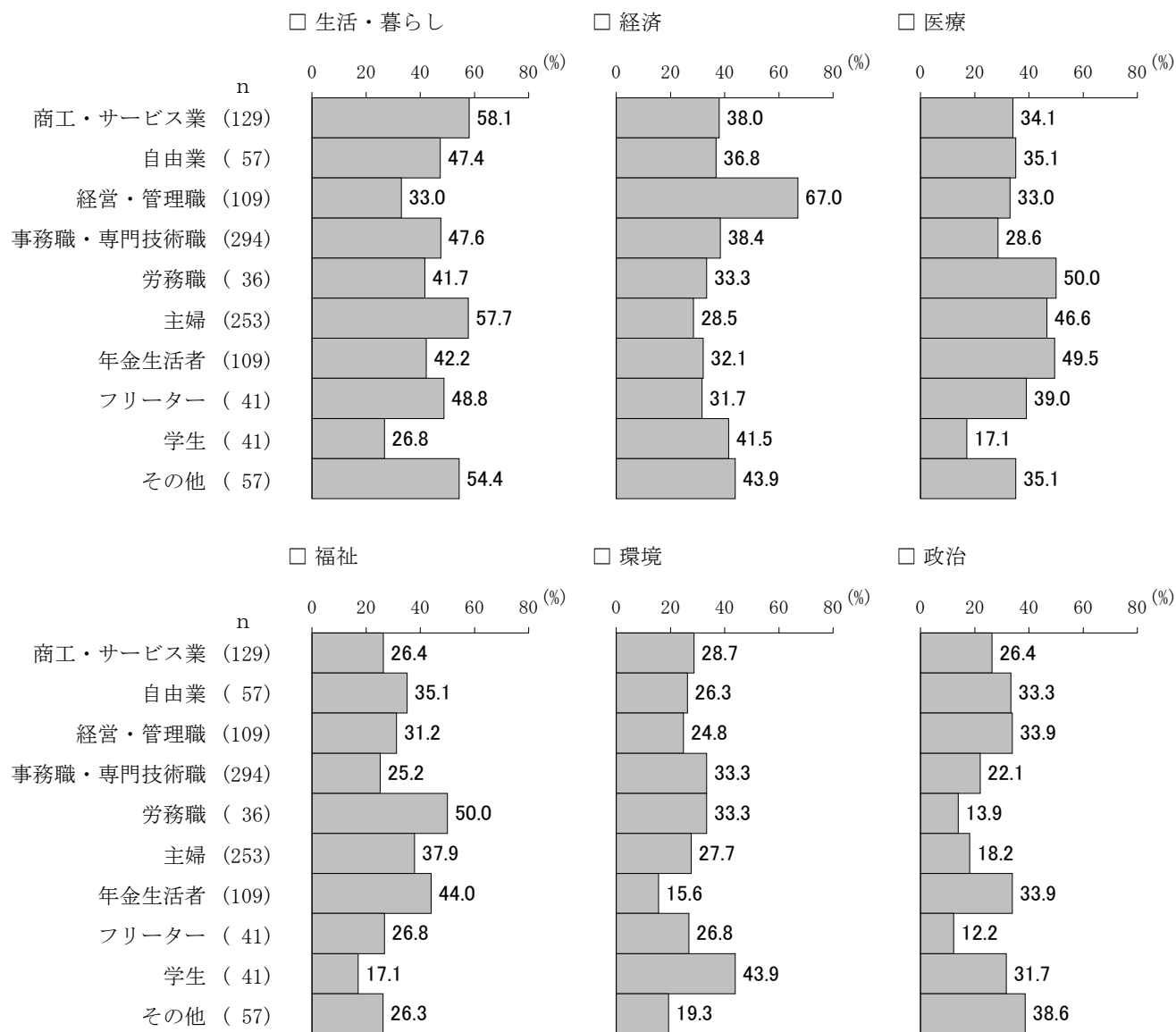
性・年代別でみると、「生活・暮らし」は女性の40代～50代で6割、「経済」は男性の20代と50代で5割台半ばと、それぞれ高くなっている。「医療」と「福祉」は女性の60歳以上で5割を超え最も高い。また、「環境」は、男性では20代～30代が3割台半ばで年代が上がるほど減少し、女性では30代で約4割と高くなっている。(図表3-3-3)

<図表3-3-3> 現在関心を持っていること／性・年代別 (上位6項目)



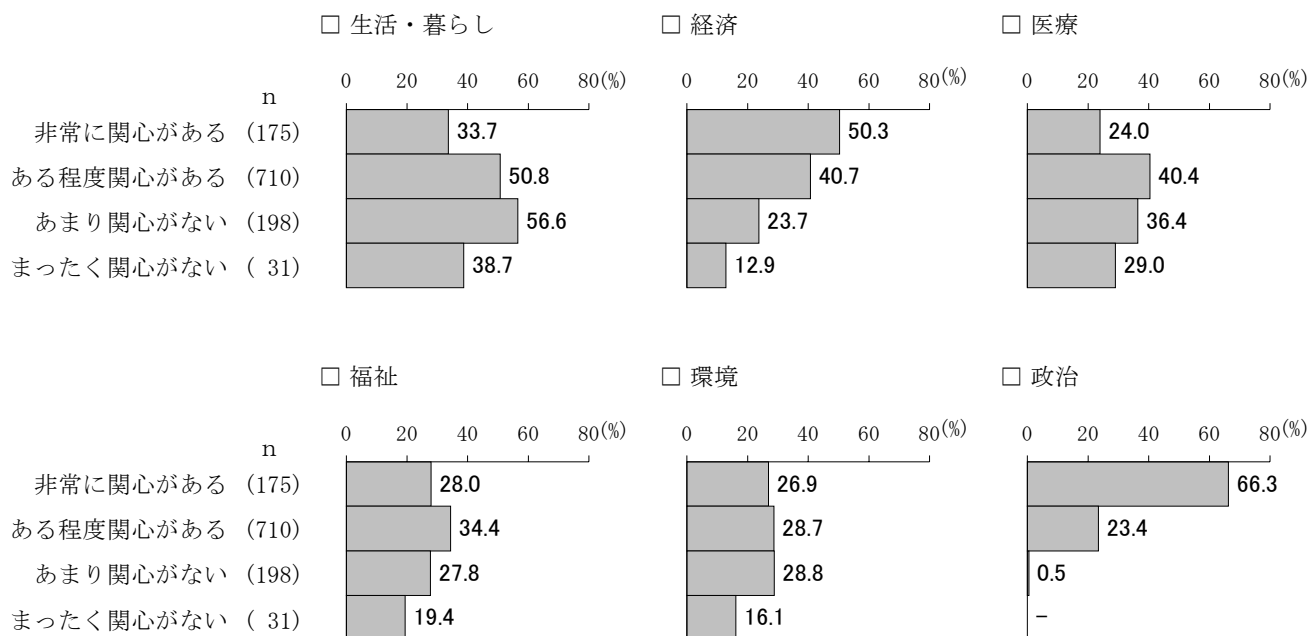
職業別でみると、「生活・暮らし」は、商工・サービス業と主婦で約6割と高く、「経済」は経営・管理職で約7割と突出している。また、「医療」と「福祉」は、労務職、主婦、年金生活者で高い傾向がみられる。(図表3-3-4)

<図表3-3-4>現在関心を持っていること／職業別(上位6項目)



政治への関心度別でみると、「経済」と「政治」は、政治への関心度が高いほど比率が高くなっている。一方、「生活・暮らし」では、あまり関心がない人で5割台半ばを超え高くなっている。（図表3-3-5）

<図表3-3-5> 現在関心を持っていること／政治への関心度別（上位6項目）



4. 地方政治・地域への関心

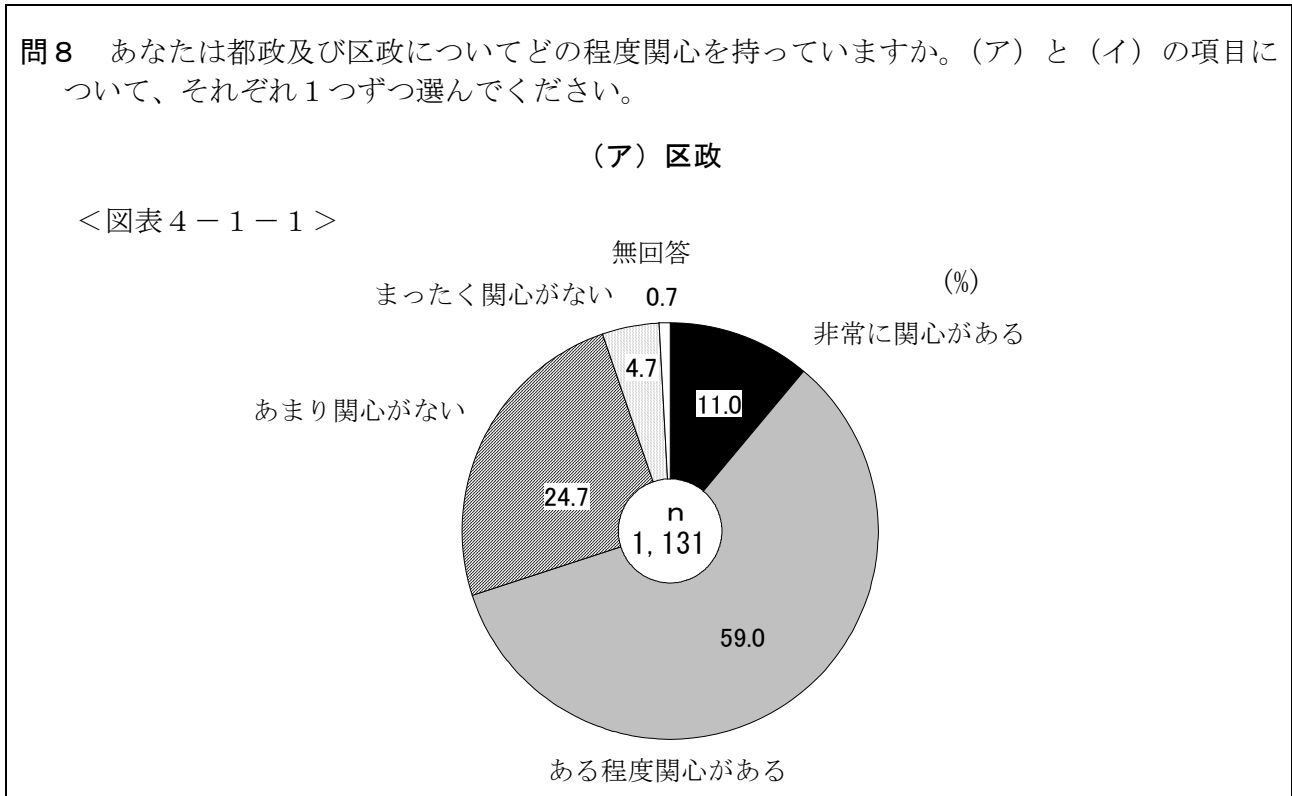
-
- (1) 区政・都政への関心度
 - (2) 区議会議員・区長選挙の投票率が低い理由
 - (3) 地域活動への参加状況
-

4. 地方政治・地域への関心

(1) 区政・都政への関心度

○区政

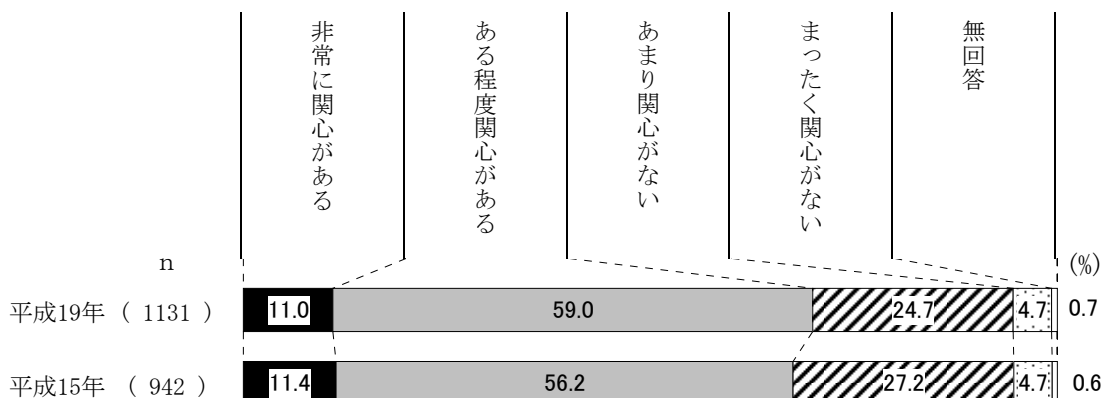
◇《関心がある》は7割。一方、《関心がない》は約3割



区政についてどの程度関心を持っているのかを聞いたところ、「ある程度関心がある」(59.0%)が約6割と最も高く、これに「非常に関心がある」(11.0%)を合わせると、《関心がある》(70.0%)は7割となる。一方、「あまり関心がない」(24.7%)と「まったく関心がない」(4.7%)を合わせた《関心がない》(29.4%)は約3割である。(図表4-1-1)

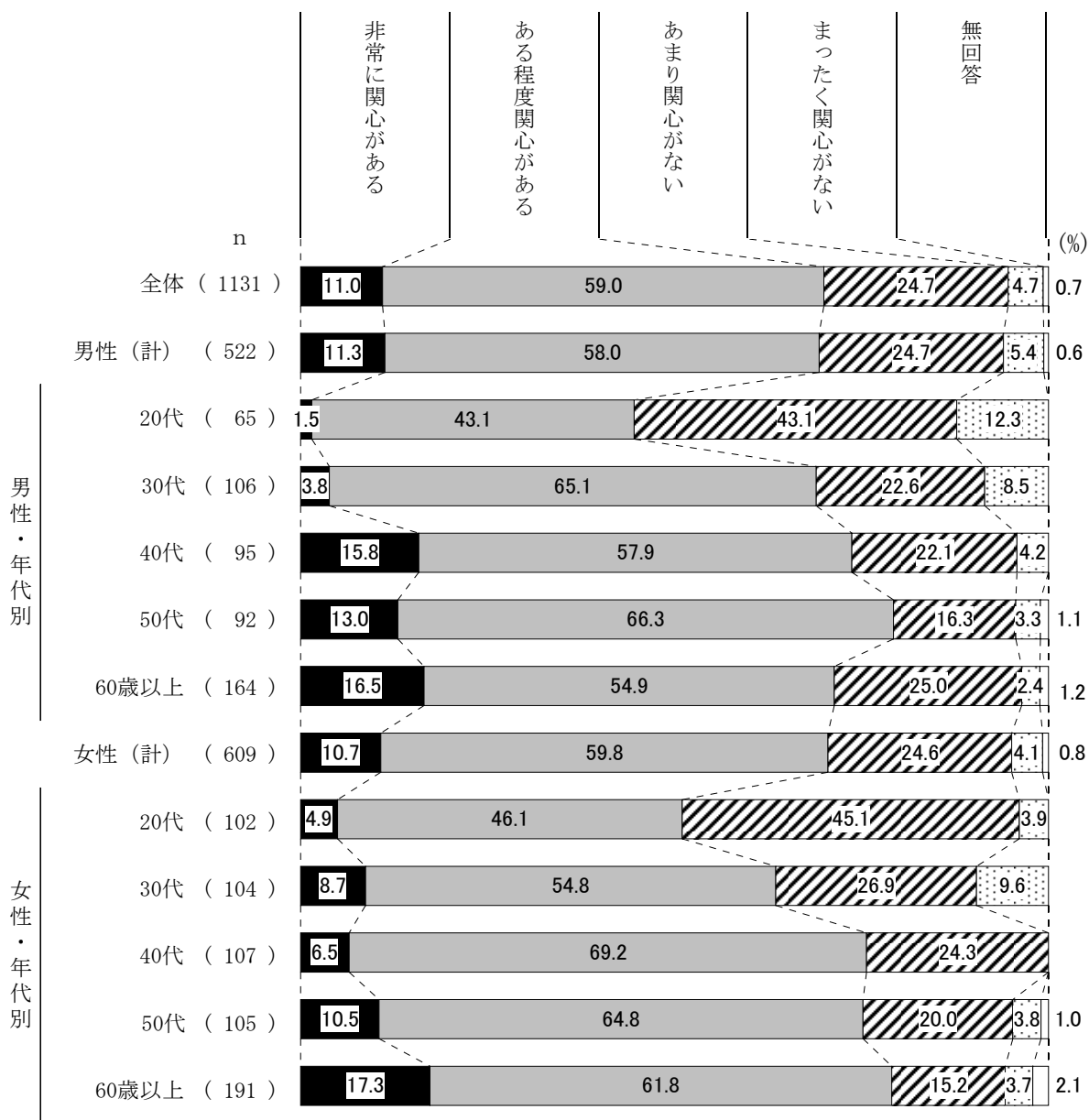
平成15年の調査結果と比較したところ、特に大きな違いはみられない。(図表4-1-2)

<図表4-1-2> 区政への関心度/経年比較



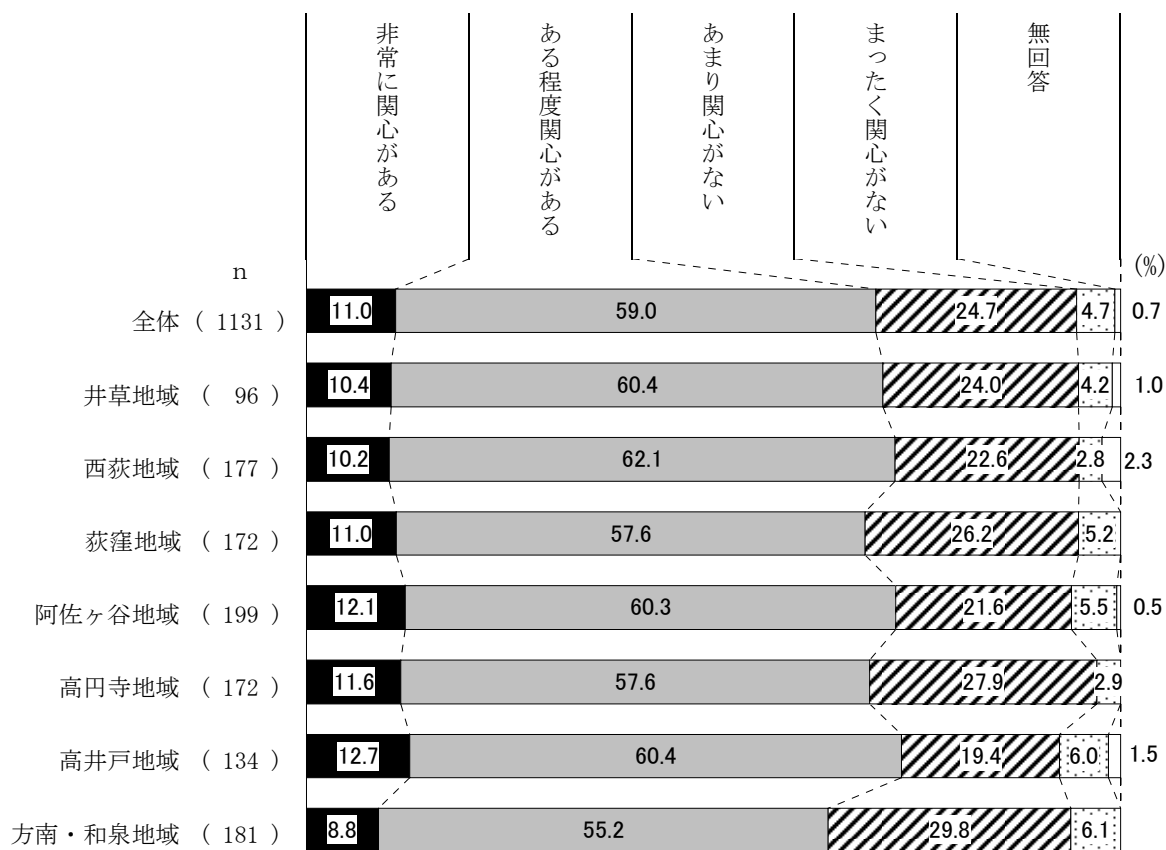
性・年代別で見ると、《関心がある》は、男性では50代で最も高く約8割となっている。女性では、おおむね年代が上がるほど増加し、60歳以上で約8割となる。一方、《関心がない》は男女ともに20代で高く、男性で5割台半ば、女性で約5割となっている。(図表4-1-3)

<図表4-1-3> 区政への関心度／性・年代別



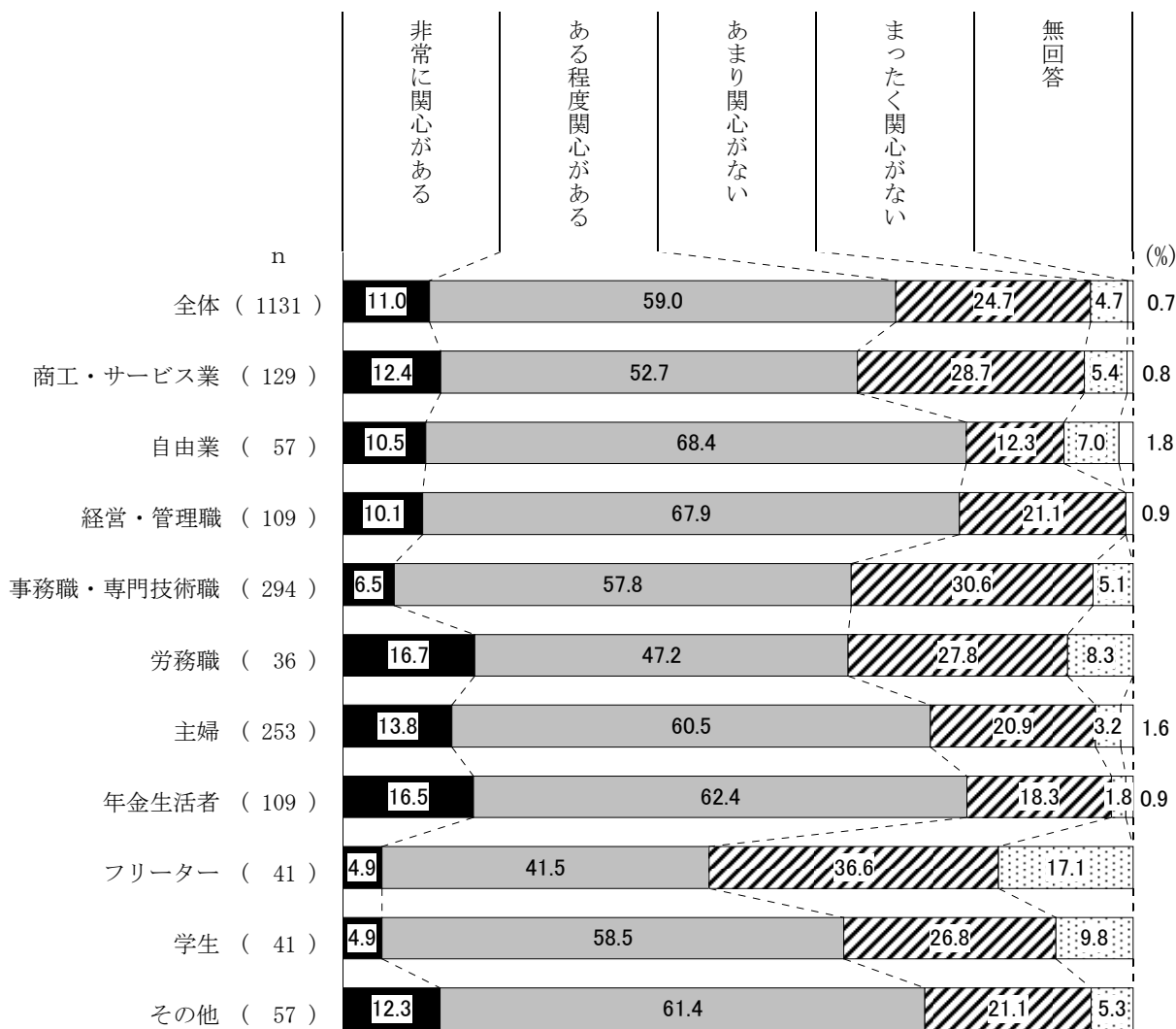
地域別でみると、「関心がある」は、高井戸地域、西荻地域、阿佐ヶ谷地域で7割を超え比較的高くなっている。一方、「関心がない」は、方南・和泉地域で3割台半ばと最も高い。(図表4-1-4)

<図表4-1-4> 区政への関心度/地域別



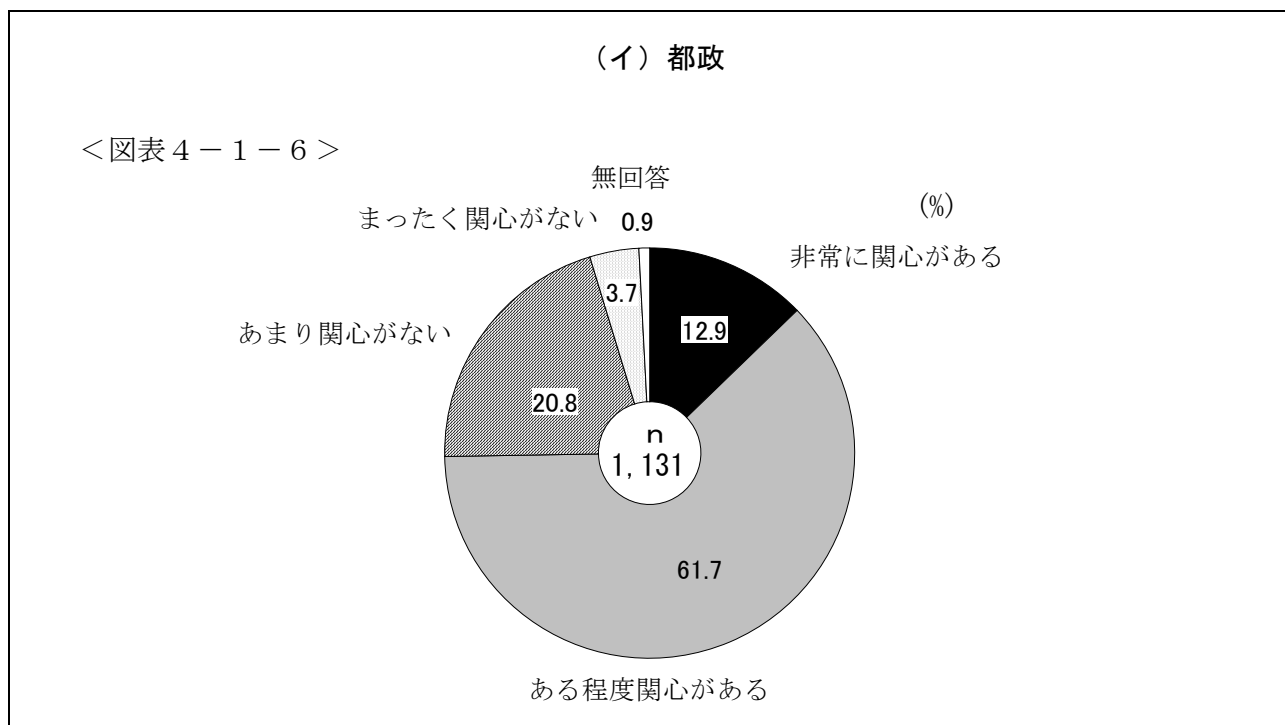
職業別でみると、「関心がある」は、自由業と年金生活者、経営・管理職で約8割と高く、次いで、主婦が7割台半ばとなっている。一方、「関心がない」はフリーターで5割台半ばと最も高い。(図表4-1-5)

<図表4-1-5> 区政への関心度／職業別



○都政

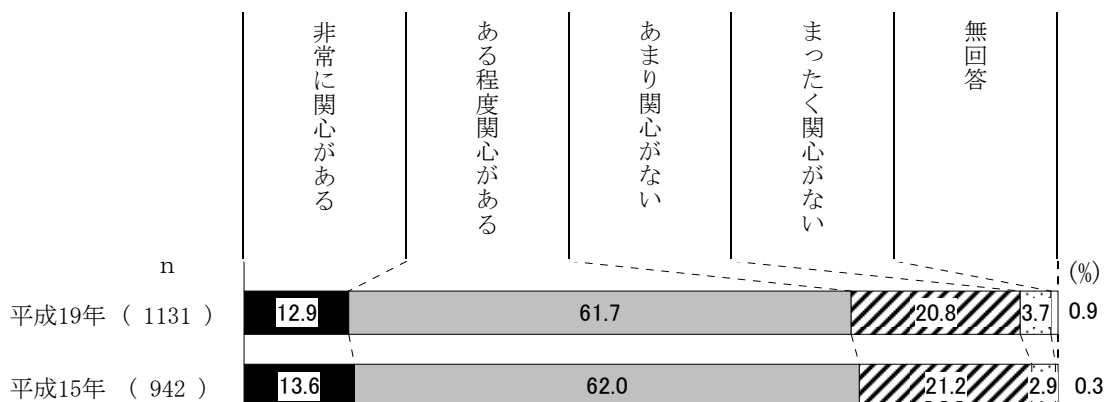
◇《関心がある》は7割台半ば。一方、《関心がない》は2割台半ば



都政についてどの程度関心を持っているのかを聞いたところ、「ある程度関心がある」(61.7%)が6割を超えて最も高く、これに「非常に興味がある」(12.9%)を合わせると、《関心がある》(74.6%)は7割台半ばとなる。一方、「あまり関心がない」(20.8%)と「まったく関心がない」(3.7%)を合わせた《関心がない》(24.5%)は2割台半ばである。(図表4-1-6)

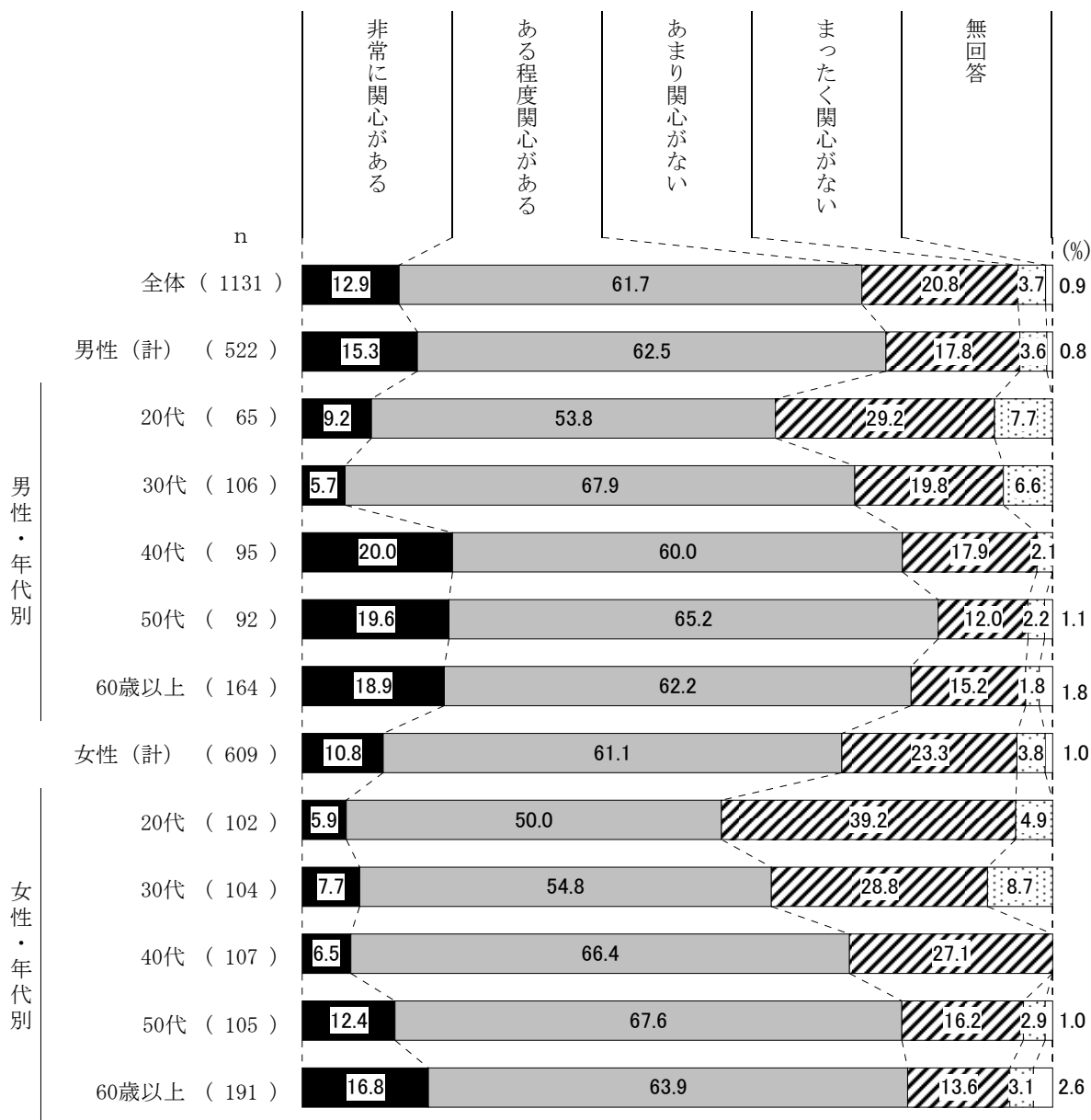
平成15年度の調査結果と比較したところ、特に大きな違いはみられない。(図表4-1-7)

<図表4-1-7> 都政への関心度/経年比較



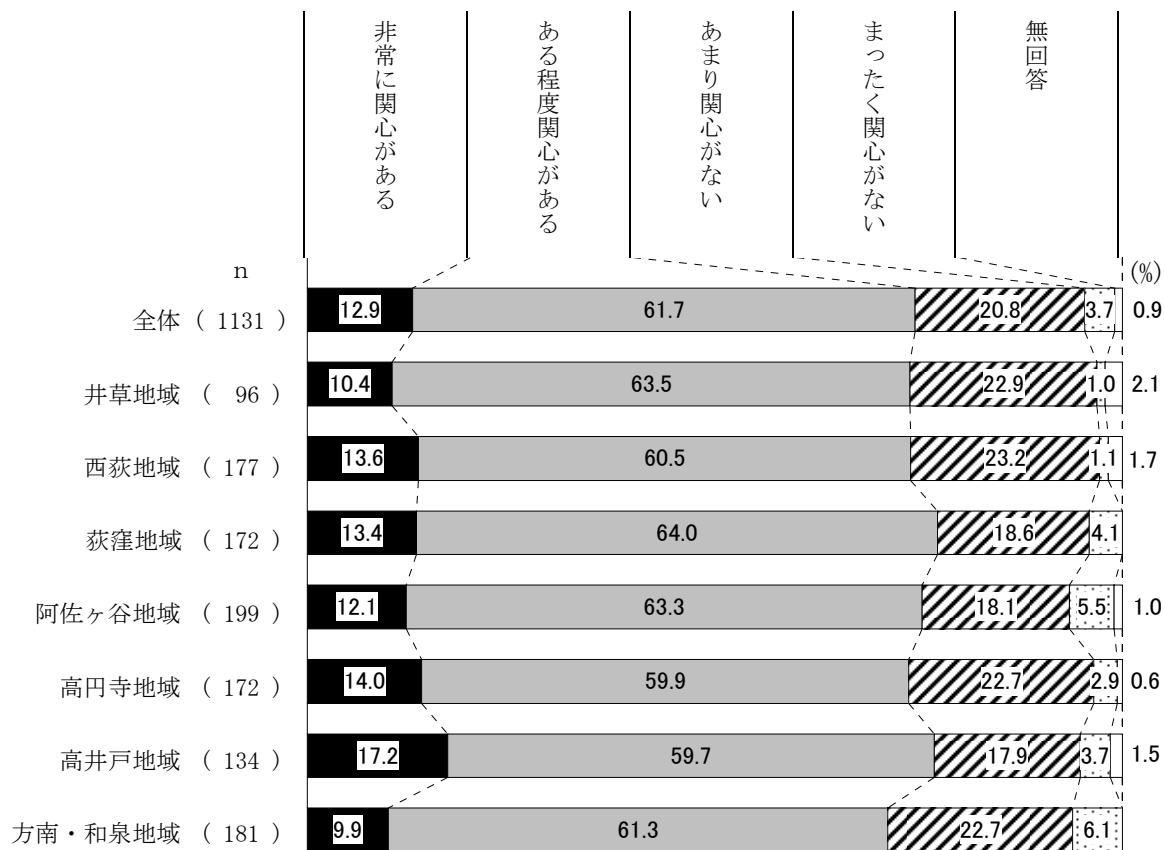
性・年代別でみると、「関心がある」は、男性では50代で最も高く8割台半ばとなっている。女性では年代が上がるほど増加しており、60歳以上で8割となっている。一方、「関心がない」は、男女ともに20代で高く、特に、女性の20代は4割台半ばとなっている。(図表4-1-8)

<図表4-1-8> 都政への関心度／性・年代別



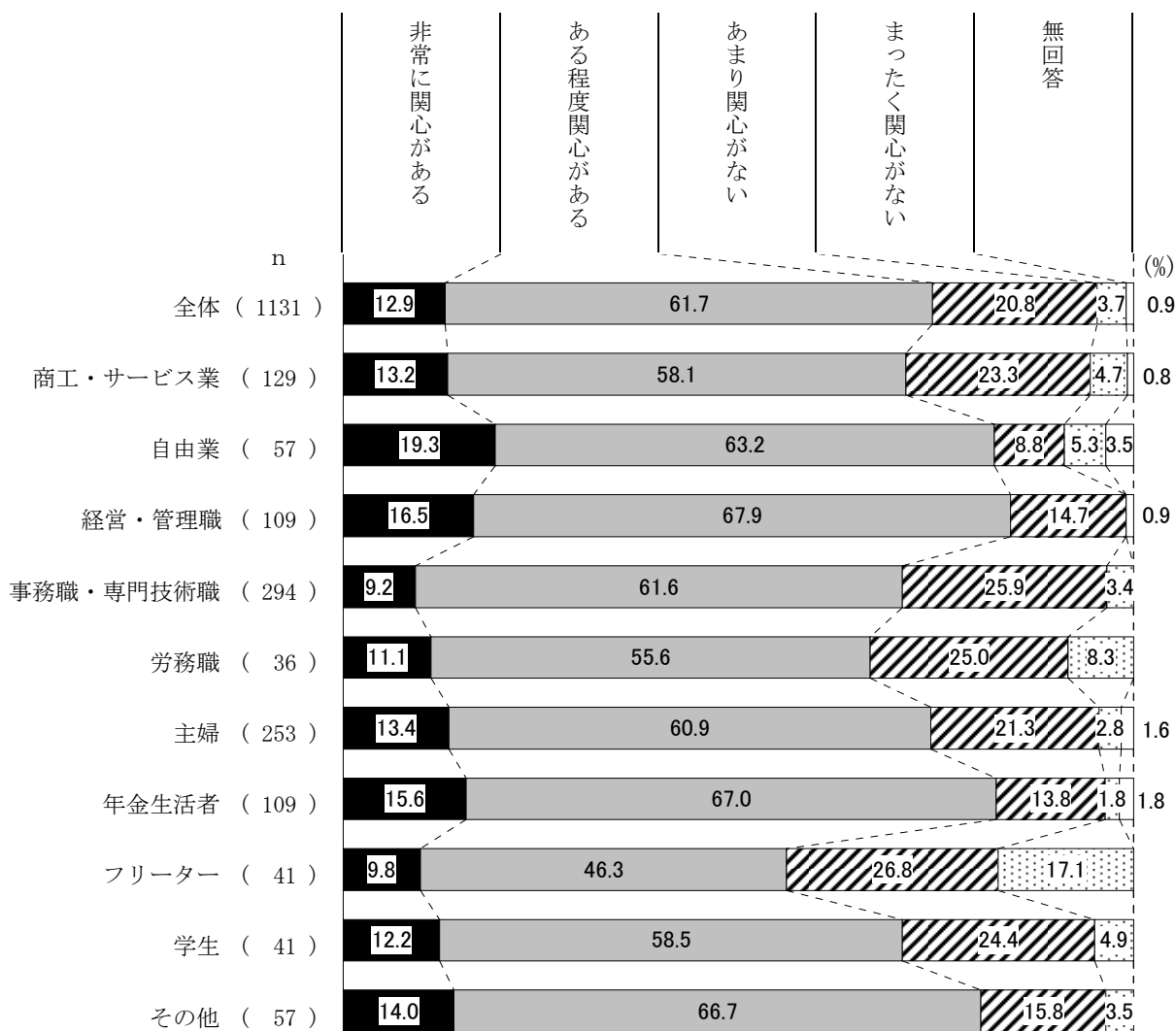
地域別でみると、「関心がある」は、荻窪地域と高井戸地域で約8割と比較的高い。一方、「関心がない」は方南・和泉地域で約3割である。(図表4-1-9)

<図表4-1-9> 都政への関心度/地域別



職業別でみると、「関心がある」は、経営・管理職で8割台半ばと最も高く、次いで、年金生活者と自由業で8割を超える。一方、「関心がない」はフリーターで4割台半ばと最も高くなっている。(図表4-1-10)

<図表4-1-10> 都政への関心度／職業別

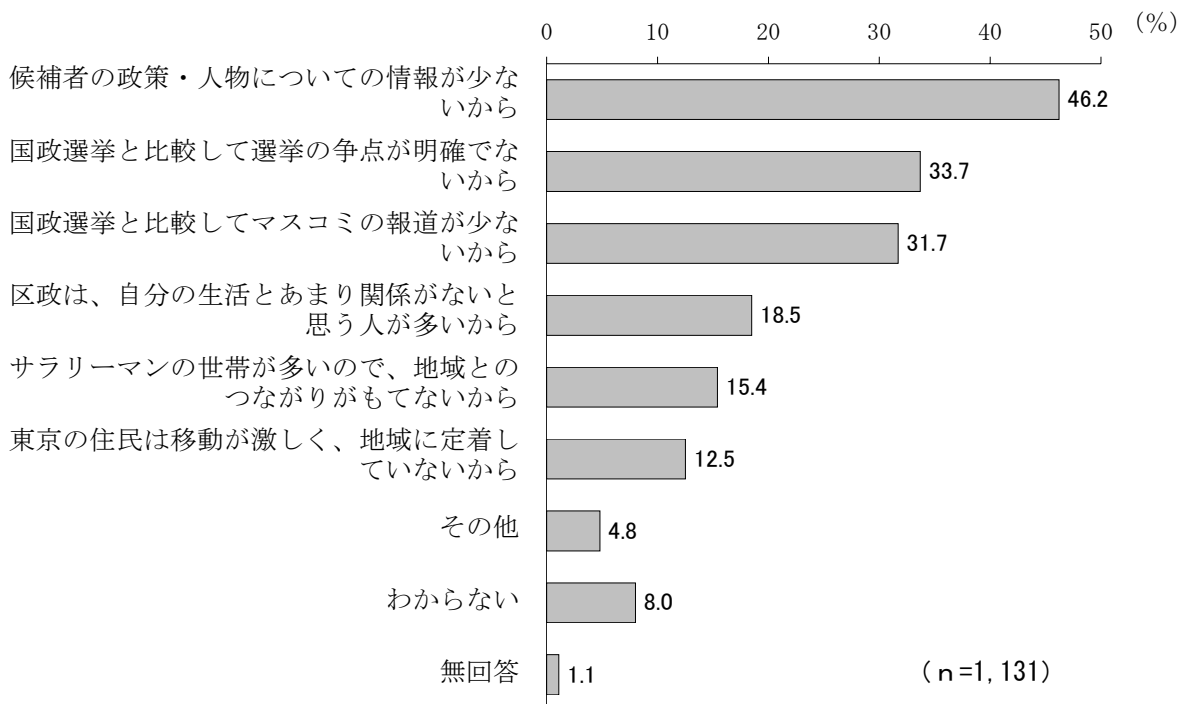


(2) 区議会議員・区長選挙の投票率が低い理由

◇「候補者の政策・人物についての情報が少ないから」が4割台半ばで最も高い

問9 区議会議員・区長選挙は、国政選挙と比較して、投票率が低い傾向にあります。この原因として考えられることは何だと思えますか。(2つまで○)

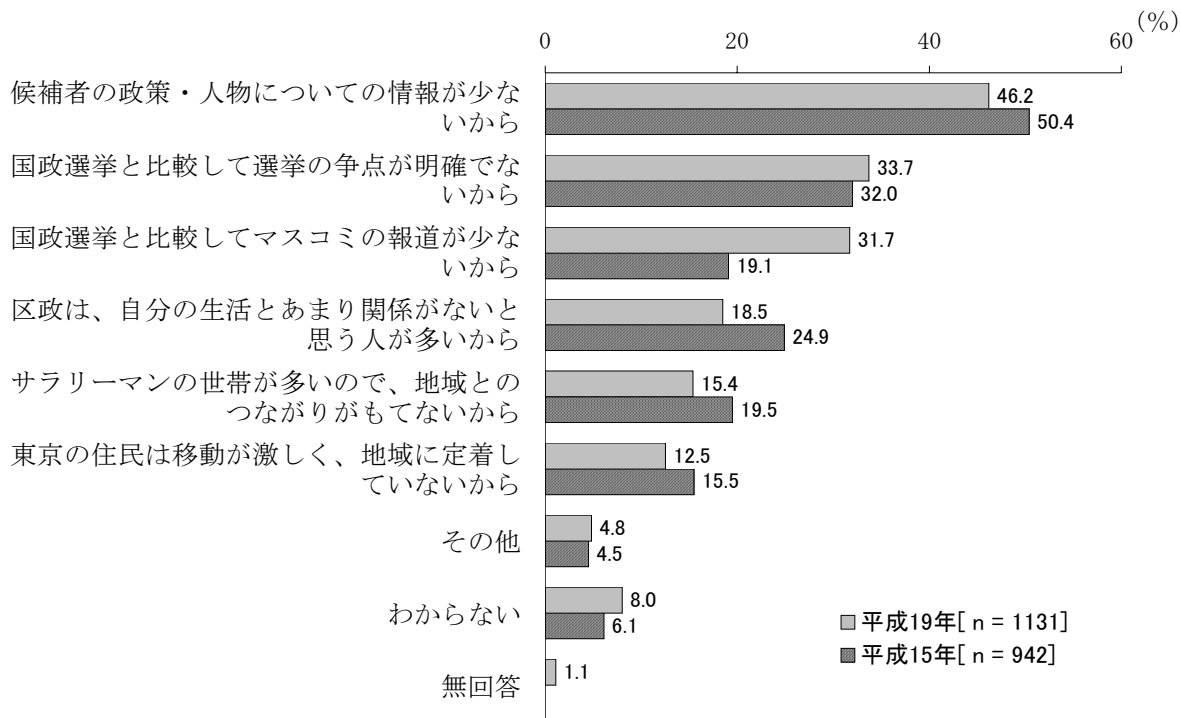
<図表4-2-1>



区議会議員・区長選挙の投票率が、国政選挙と比較して低い傾向にある理由と考えられるものとしては、「候補者の政策・人物についての情報が少ないから」(46.2%)が4割台半ばで最も高くなっている。次いで、「国政選挙と比較して選挙の争点が明確でないから」(33.7%)が3割台半ば、「国政選挙と比較してマスコミの報道が少ないから」(31.7%)が3割を超える。(図表4-2-1)

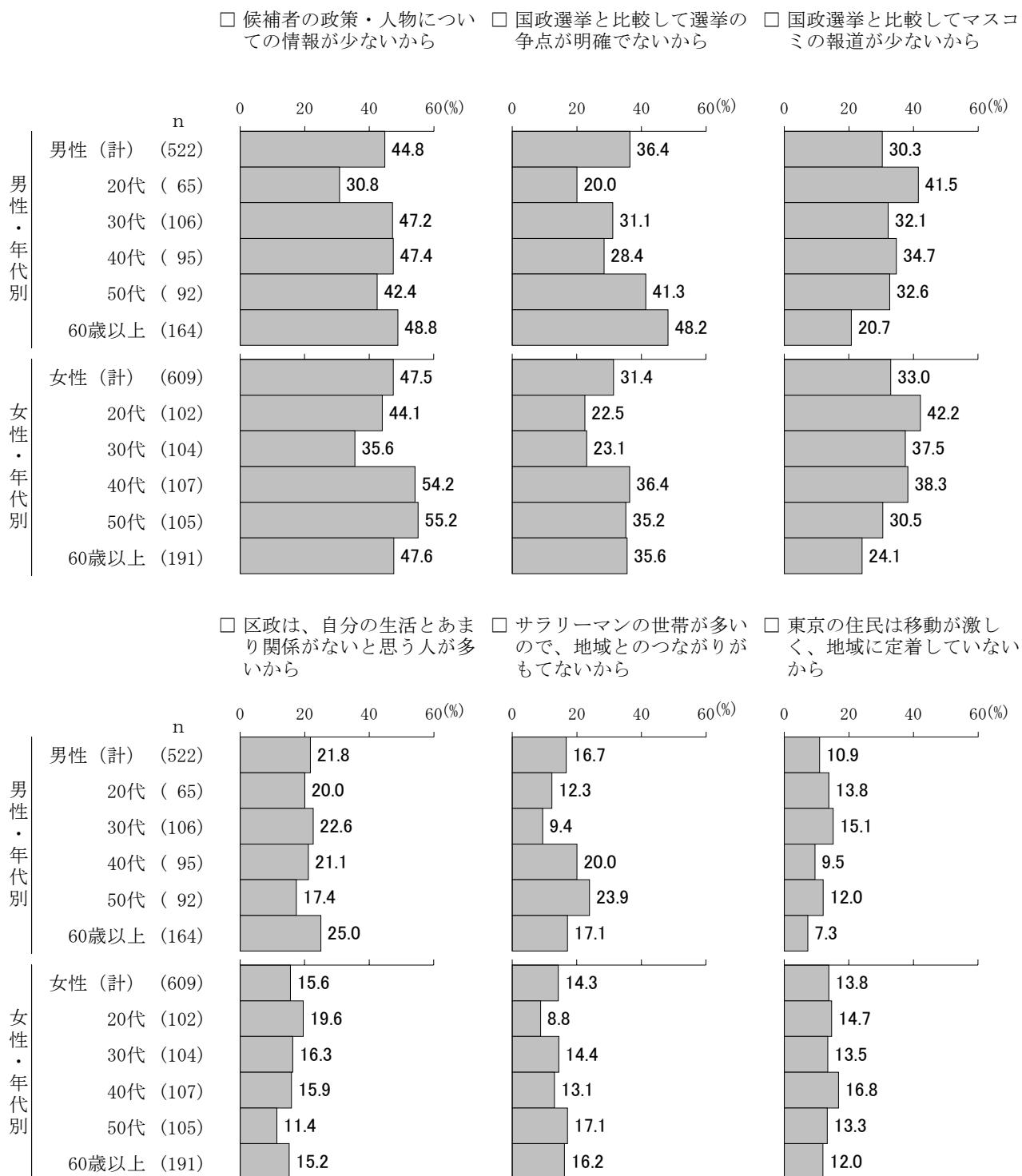
平成15年の調査結果と比較すると、「国政選挙と比較してマスコミの報道が少ないから」が約13ポイントと大きく増加している。逆に、「区政は、自分の生活とあまり関係がないと思う人が多いから」が約6ポイント減少している。(図表4-2-2)

<図表4-2-2> 区議会議員・区長選挙の投票率が低い理由／経年比較



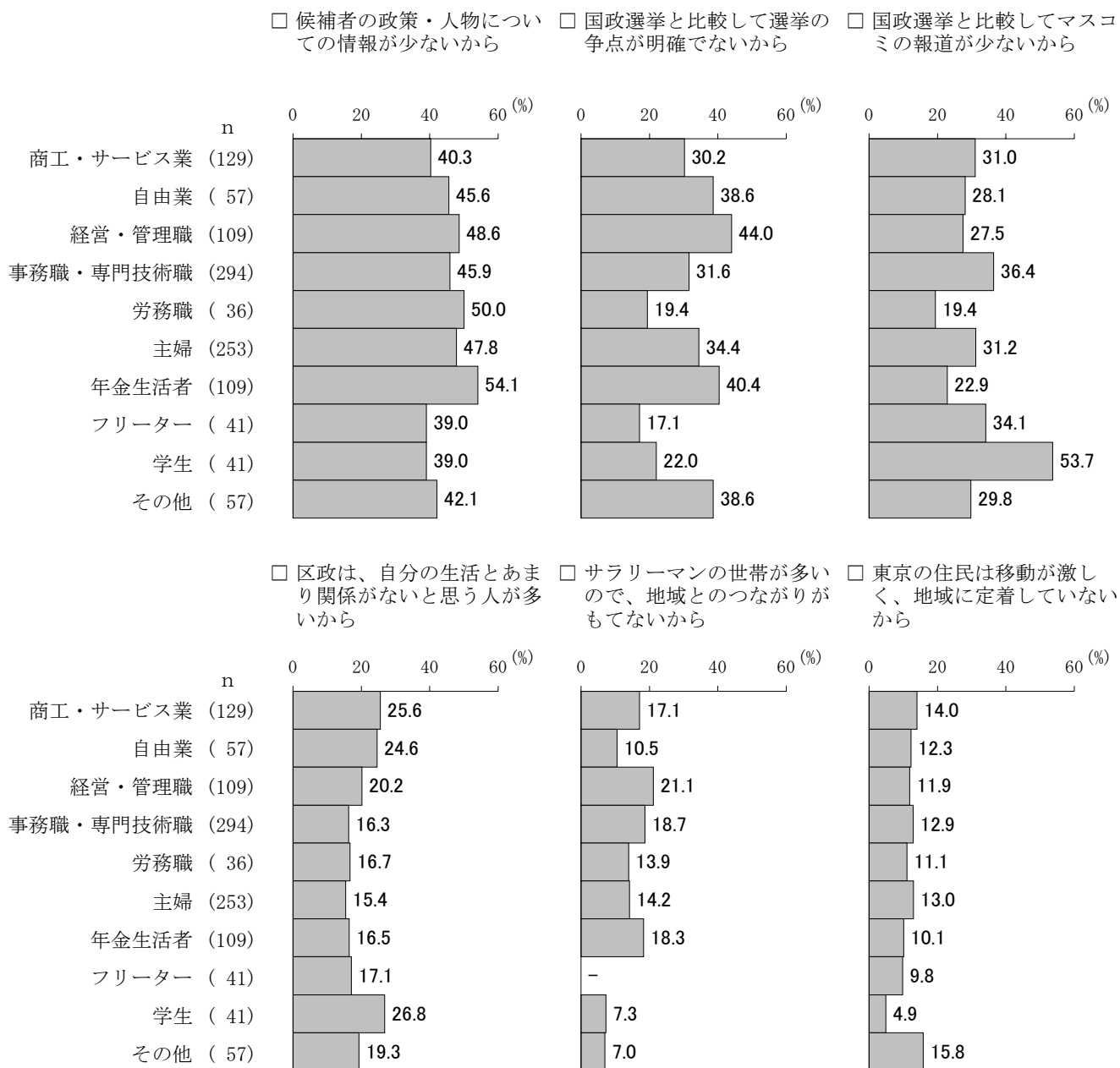
性・年代別でみると、「候補者の政策・人物についての情報が少ないから」は、女性の40代～50代で5割台半ばと高くなっている。「国政選挙と比較して選挙の争点が明確でないから」は、男性でおおむね年代が上がるほど増加する傾向がみられ、60歳以上で約5割となる。女性では40歳以上で3割台半ばと並ぶ。また、「国政選挙と比較してマスコミの報道が少ないから」は、男女ともに20代で高く4割を超える。(図表4-2-3)

<図表4-2-3> 区議会議員・区長選挙の投票率が低い理由／性・年代別（上位6項目）



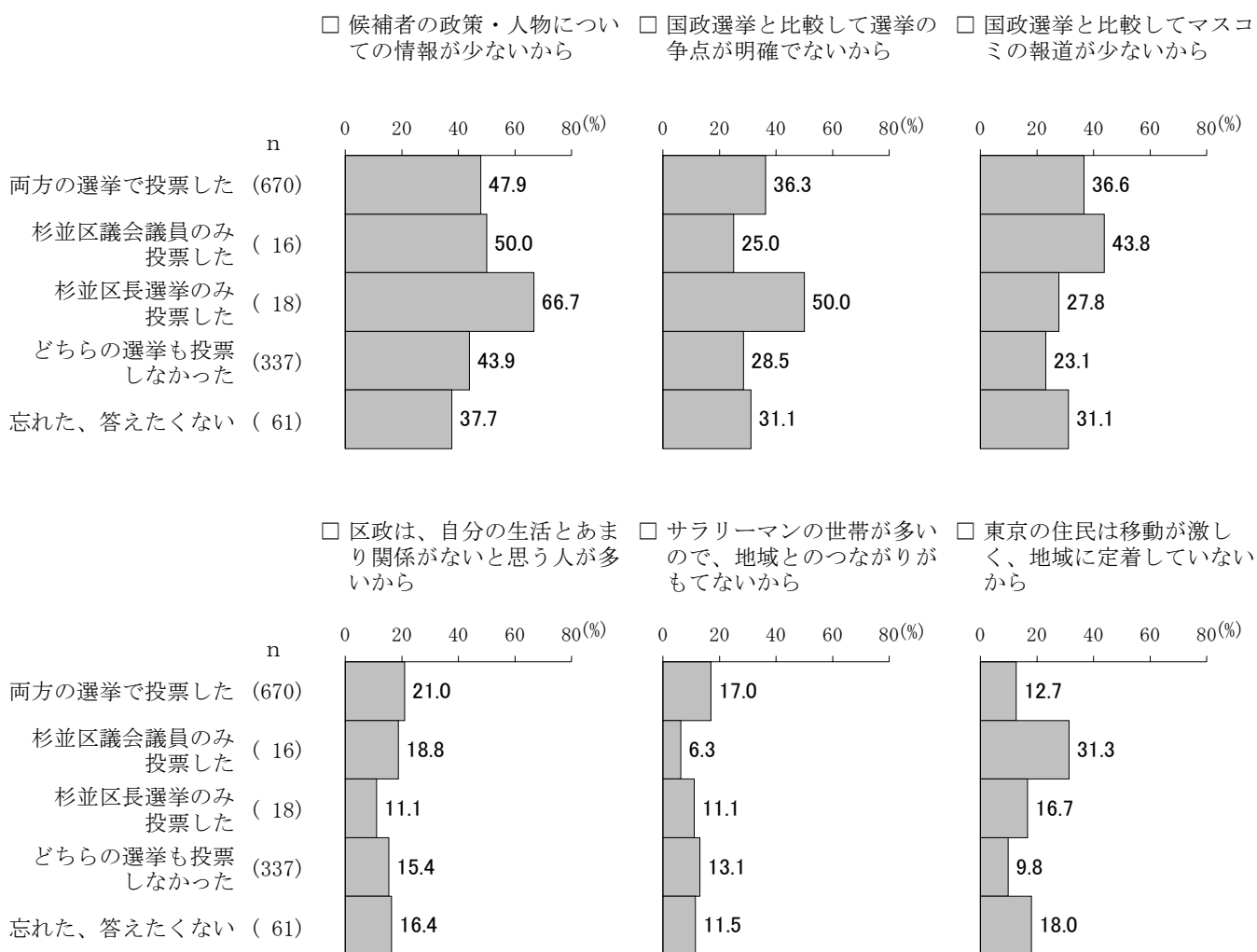
職業別でみると、「候補者の政策・人物についての情報が少ないから」は年金生活者で5割台半ば、「国政選挙と比較して選挙の争点が明確でないから」は経営・管理職で4割台半ばと、それぞれ最も高くなっている。また、「国政選挙と比較してマスコミの報道が少ないから」は学生で5割台半ばと突出している。(図表4-2-4)

<図表4-2-4> 区議会議員・区長選挙の投票率が低い理由／職業別（上位6項目）



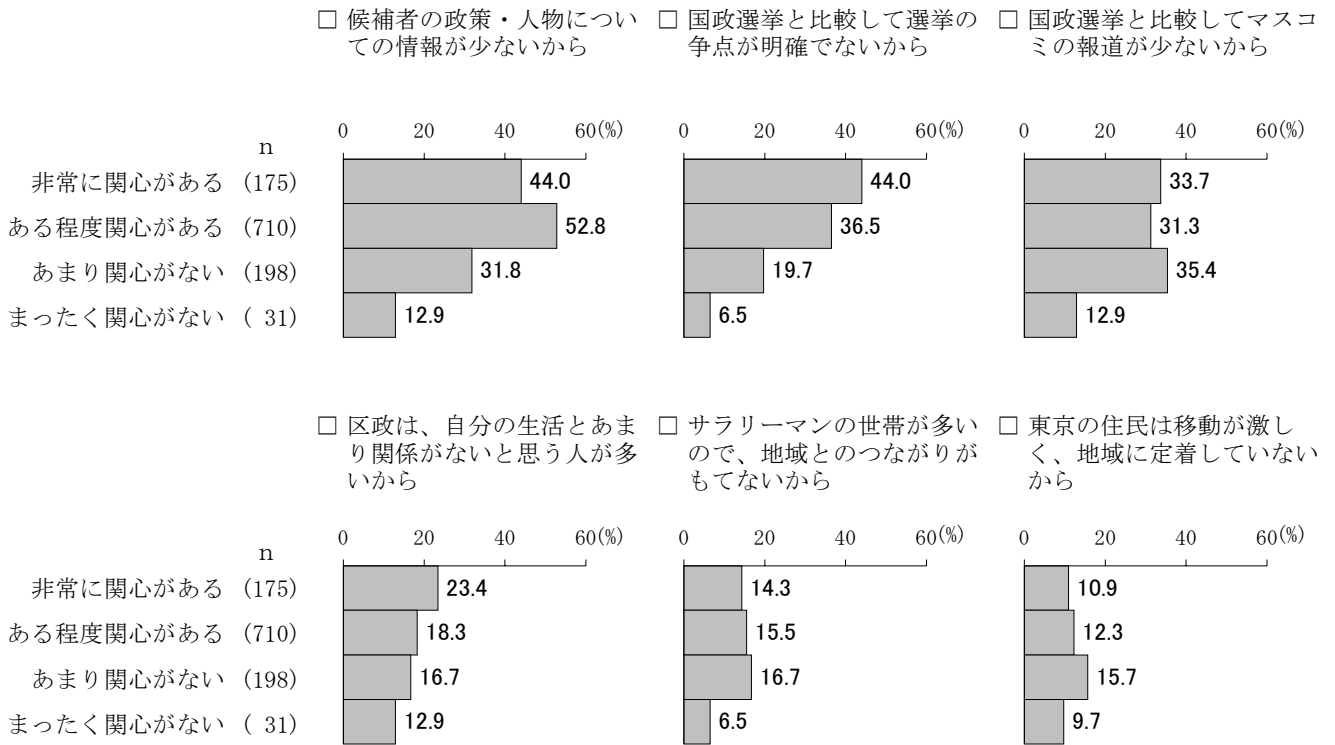
区議会議員及び区長選挙の投票状況別にみると、「候補者の政策・人物についての情報が少ないから」と「国政選挙と比較して選挙の争点が明確でないから」は、杉並区長選挙のみ投票した人で最も高く、特に、「候補者の政策・人物についての情報が少ないから」は6割台半ばとなっている。また、「国政選挙と比較してマスコミの報道が少ないから」と「東京の住民は移動が激しく、地域に定着していないから」は、杉並区議会議員選挙のみ投票した人で高い。(図表4-2-5)

<図表4-2-5> 区議会議員・区長選挙の投票率が低い理由／区議会議員及び区長選挙の投票状況別
(上位6項目)



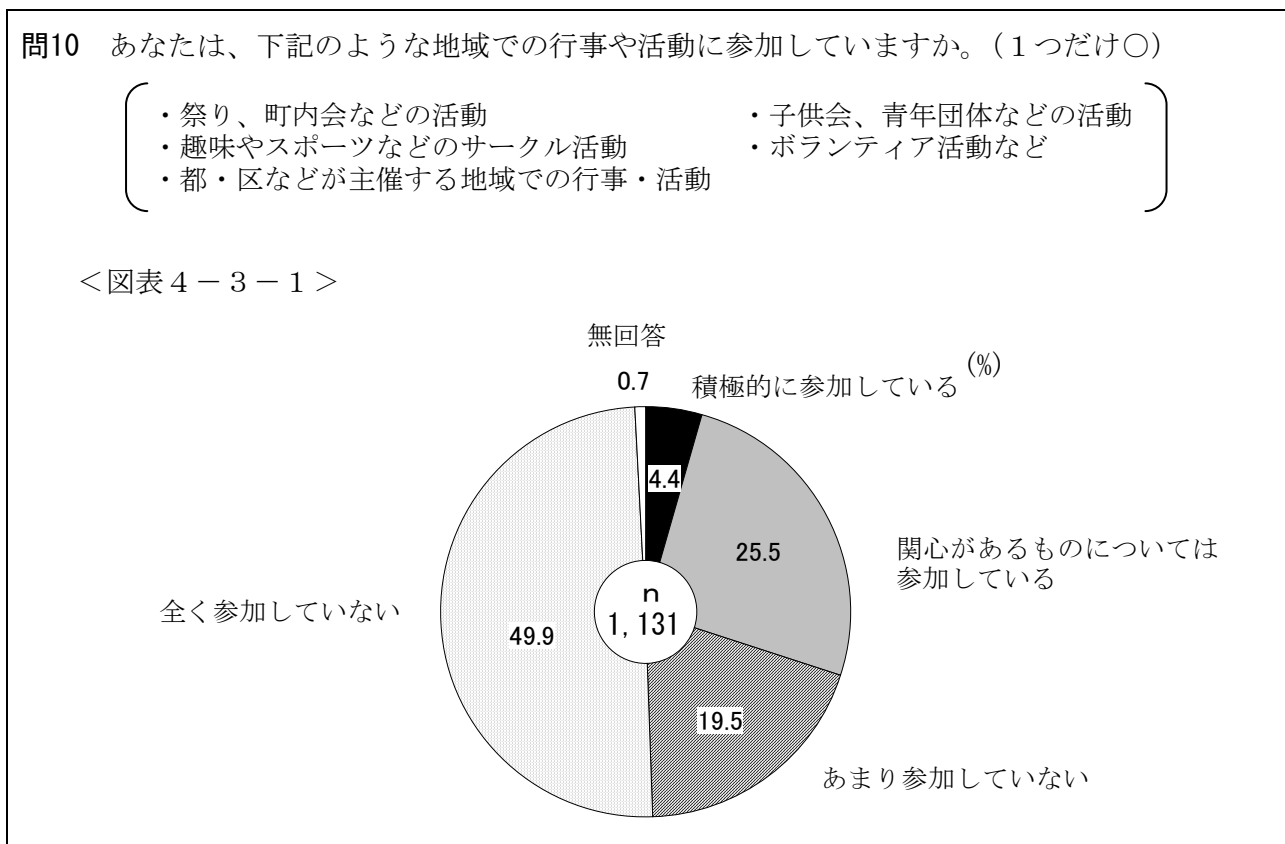
政治への関心度別にみると、「国政選挙と比較して選挙の争点が明確でないから」と「区政は、自分の生活とあまり関係がないと思う人が多いから」は、政治に関心がある人ほど高くなっている。また、「候補者の政策・人物についての情報が少ないから」は、ある程度関心がある人で最も高く5割を超えている。(図表4-2-6)

<図表4-2-6> 区議会議員・区長選挙の投票率が低い理由／政治への関心度別（上位6項目）



(3) 地域活動への参加状況

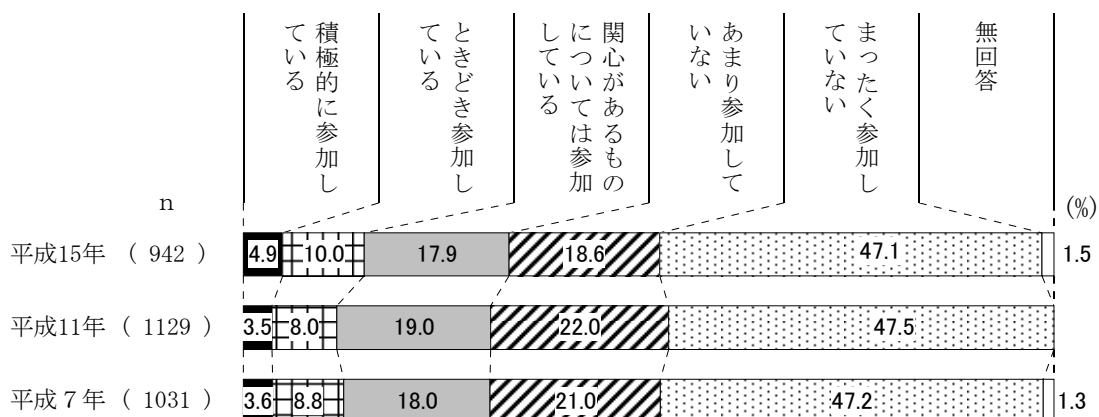
◇《参加している》が約3割で、《参加していない》が7割と高い



地域での行事や活動に参加しているかを聞いたところ、「積極的に参加している」(4.4%)と「関心があるものについては参加している」(25.5%)を合わせて、《参加している》(29.9%)は約3割となっている。一方、「あまり参加していない」(19.5%)は約2割で、「まったく参加していない」(49.9%)が約5割と最も高い。これらを合わせると、《参加していない》(69.4%)は約7割と高い。(図表4-3-1)

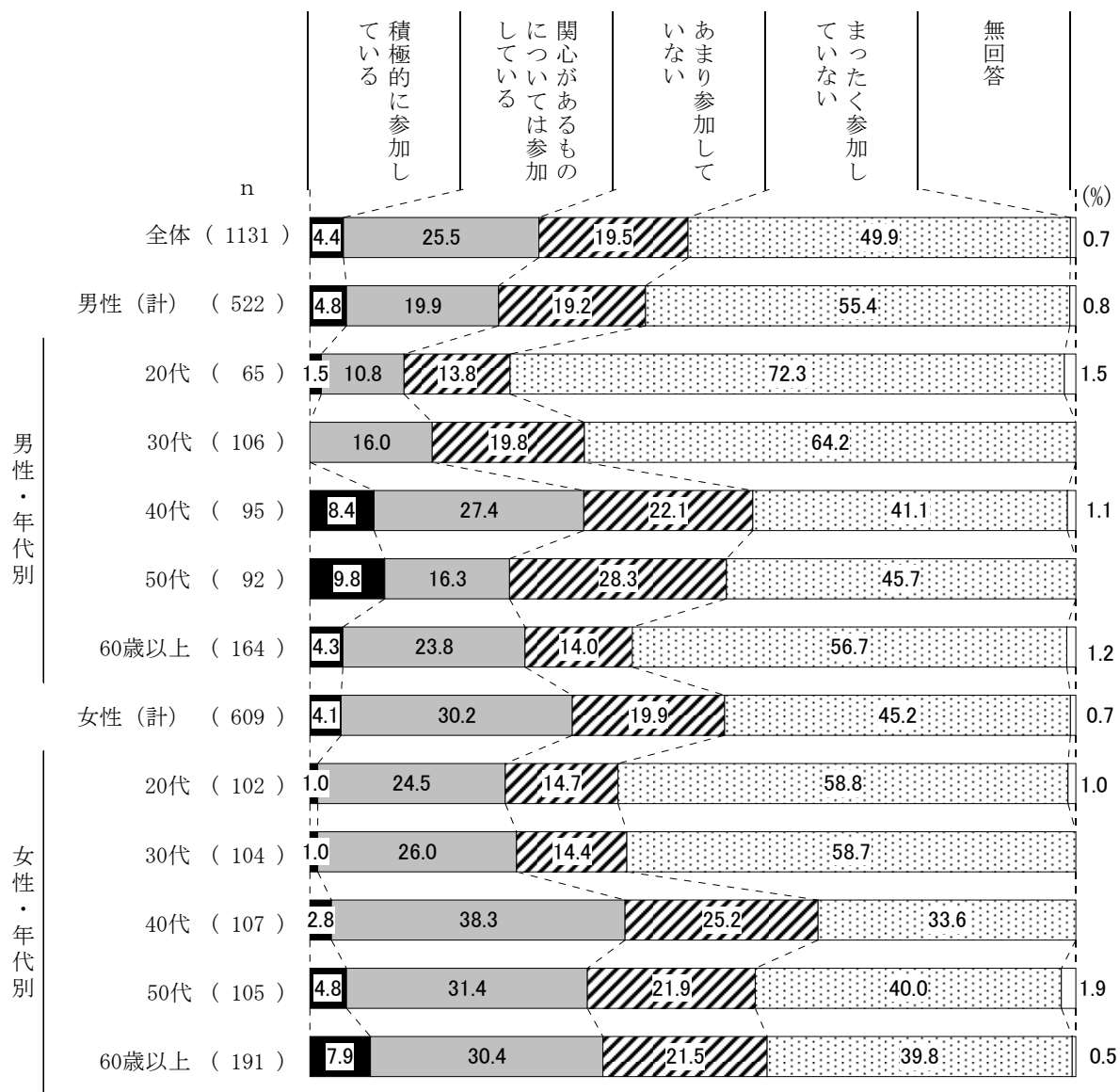
平成7年以降の調査結果との比較については、今回の調査で選択肢数を改変しているため、参考までに図示しておくにとどめる。(図表4-3-2)

<図表4-3-2>地域活動への参加状況/経年比較



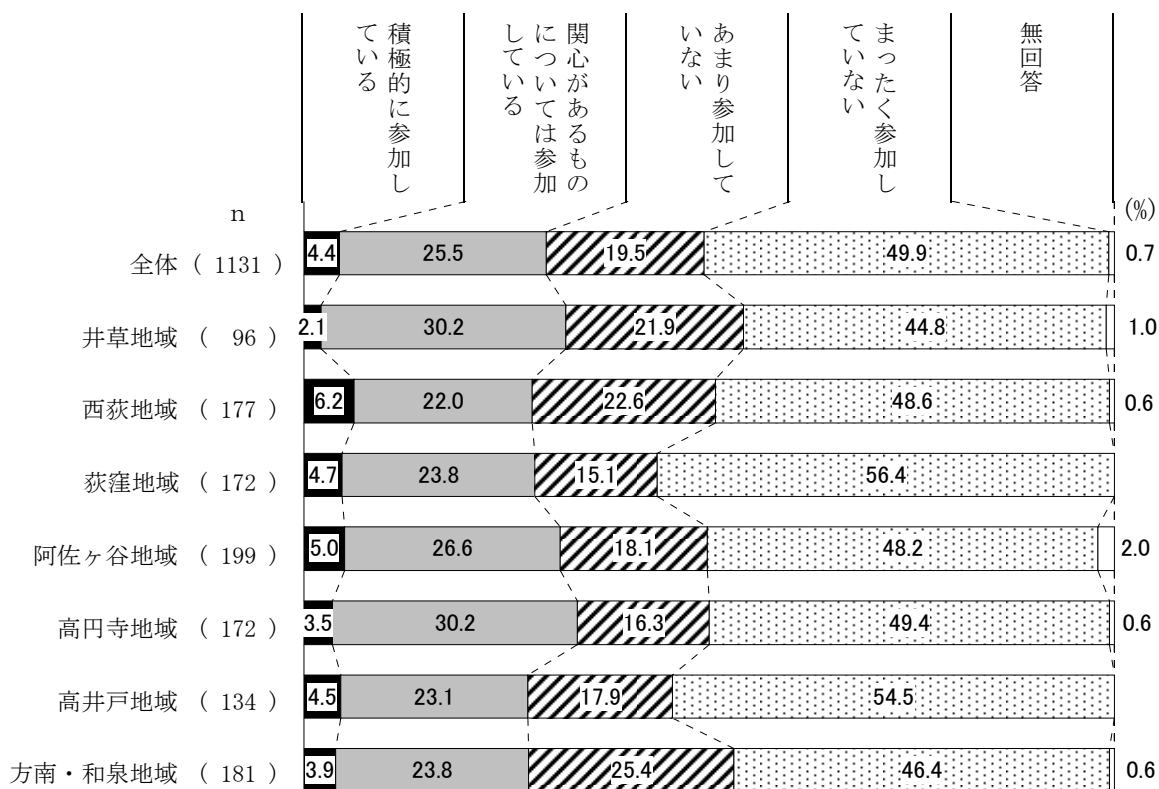
性・年代別でみると、《参加している》は、男性では40代で3割台半ばとなっている。女性では40代で4割を超え最も高く、50代で3割台半ば、60歳以上で約4割となっている。一方、《参加していない》は、男女ともに20代～30代で高く、特に、男性では8割台半ばとなっている。（図表4-3-3）

<図表4-3-3> 地域活動への参加状況／性・年代別



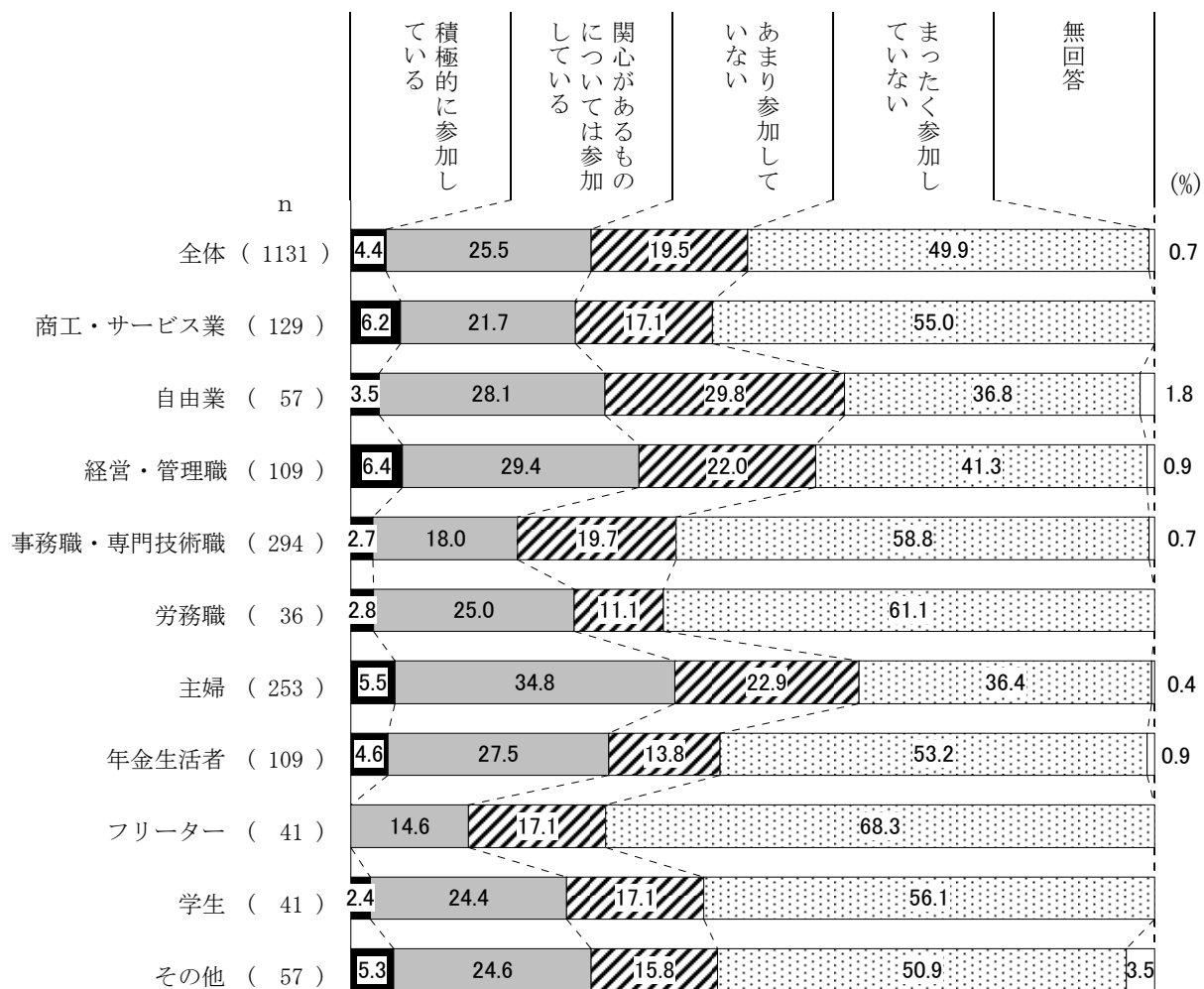
地域別でみると、「参加している」は高円寺地域で3割台半ばと最も高く、僅差で井草地域、阿佐ヶ谷地域が続く。一方、「参加していない」は、高井戸地域、方南・和泉地域、荻窪地域、西荻地域で7割を超えている。(図表4-3-4)

<図表4-3-4> 地域活動への参加状況／地域別



職業別でみると、「参加している」は主婦で4割と最も高く、次いで、経営・管理職が3割台半ばとなっている。一方、「参加していない」は、フリーターで8割台半ばと最も高く、事務職・専門技術職が約8割で続く。(図表4-3-5)

<図表4-3-5> 地域活動への参加状況／職業別



区政への関心度別にみると、区政への関心度が高いほど《参加している》は高く、非常に関心がある人では5割を超える。逆に、区政への関心度が低いほど《参加していない》は高く、まったく関心がない人で9割となっている。(図表4-3-6)

<図表4-3-6> 地域活動への参加状況／区政への関心度別



5. 選挙制度について

-
- (1) 期日前投票所1箇所（高円寺北区民集会所）増加の認知状況
 - (2) 期日前投票所増加を知った理由
 - (3) 「選挙公報」 閲読状況
 - (4) 「選挙公報」 の入手方法
-

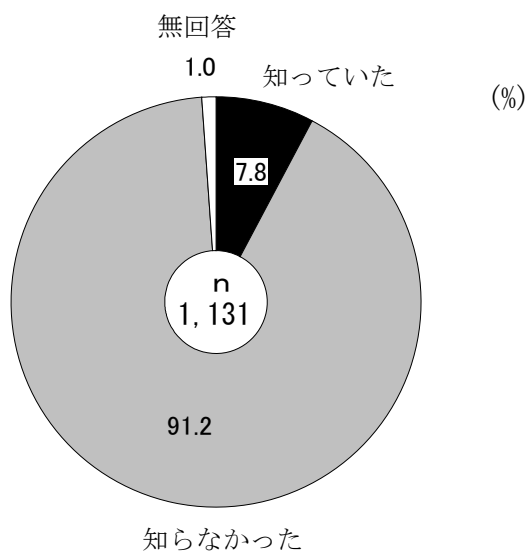
5. 選挙制度について

(1) 期日前投票所1箇所（高円寺北区民集会所）増加の認知状況

◇「知らなかった」が9割を超える

問11 今回の統一地方選挙から、高円寺北区民集会所を期日前投票所として指定し、従来の13箇所から14箇所にしました。あなたはご存知でしたか。（どちらかに○）

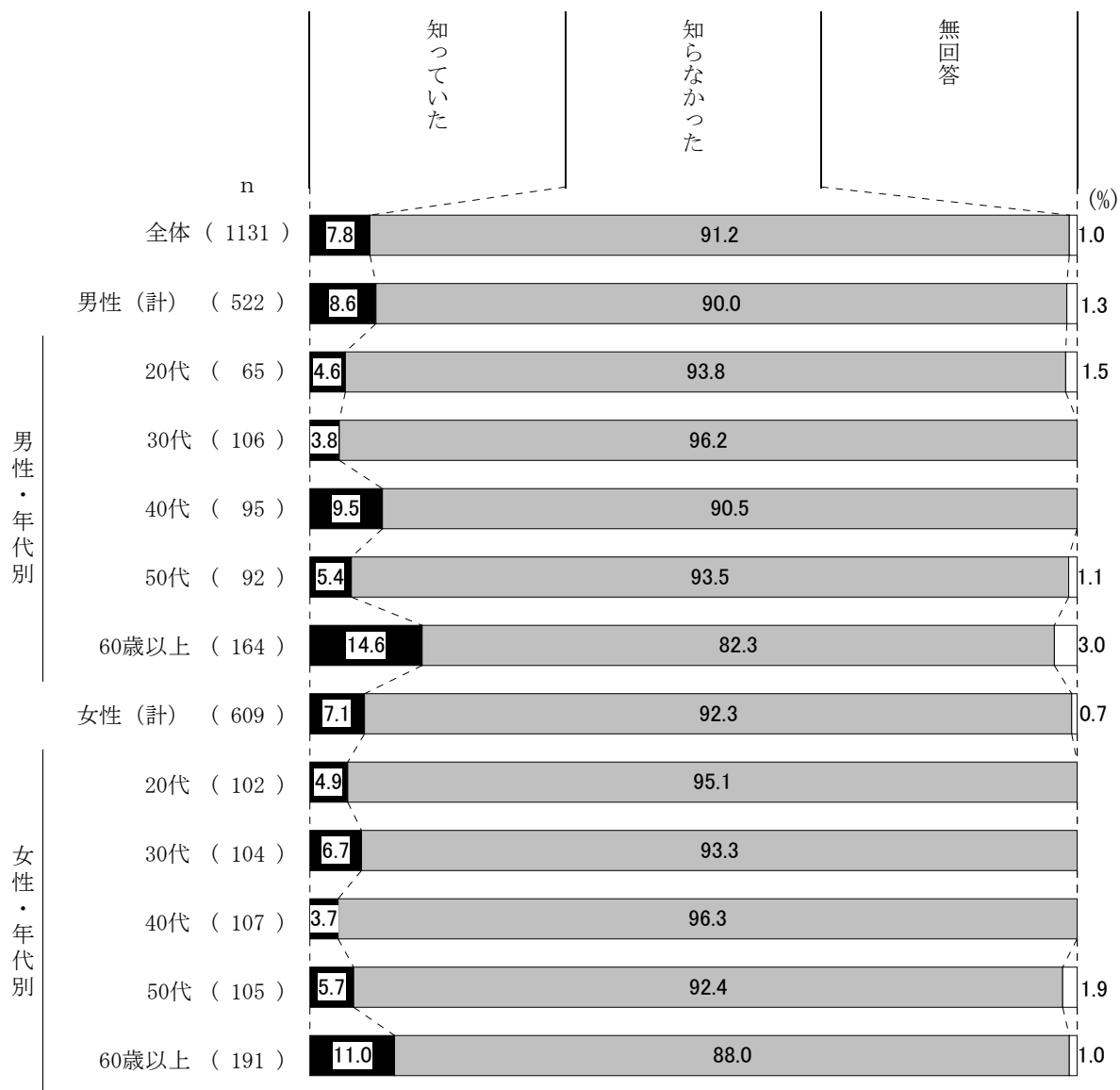
<図表5-1-1>



期日前投票所1箇所（高円寺北区民集会所）増加の認知状況について聞いたところ、「知らなかった」（91.2%）が9割を超え多数を占める。（図表5-1-1）

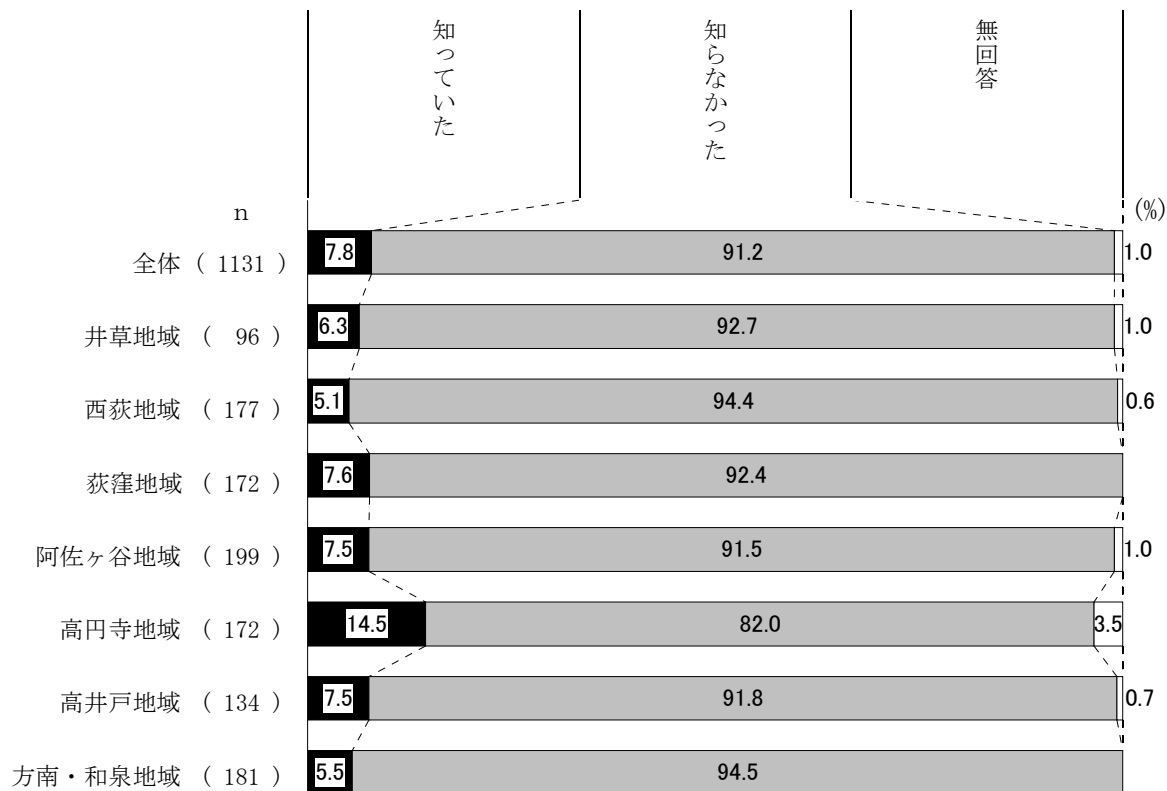
性・年代別でみると、いずれの年代でも「知らなかった」は多数を占めているが、「知っていた」は男女ともに60歳以上で高く、特に、男性で1割台半ばとなっている。(図表5-1-2)

<図表5-1-2>期日前投票所増加の認知状況／性・年代別



地域別でみると、いずれの年代でも「知らなかった」は多数を占めている。「知っていた」は高円寺地域で最も高く1割台半ばである。(図表5-1-3)

<図表5-1-3> 期日前投票所増加の認知状況／地域別

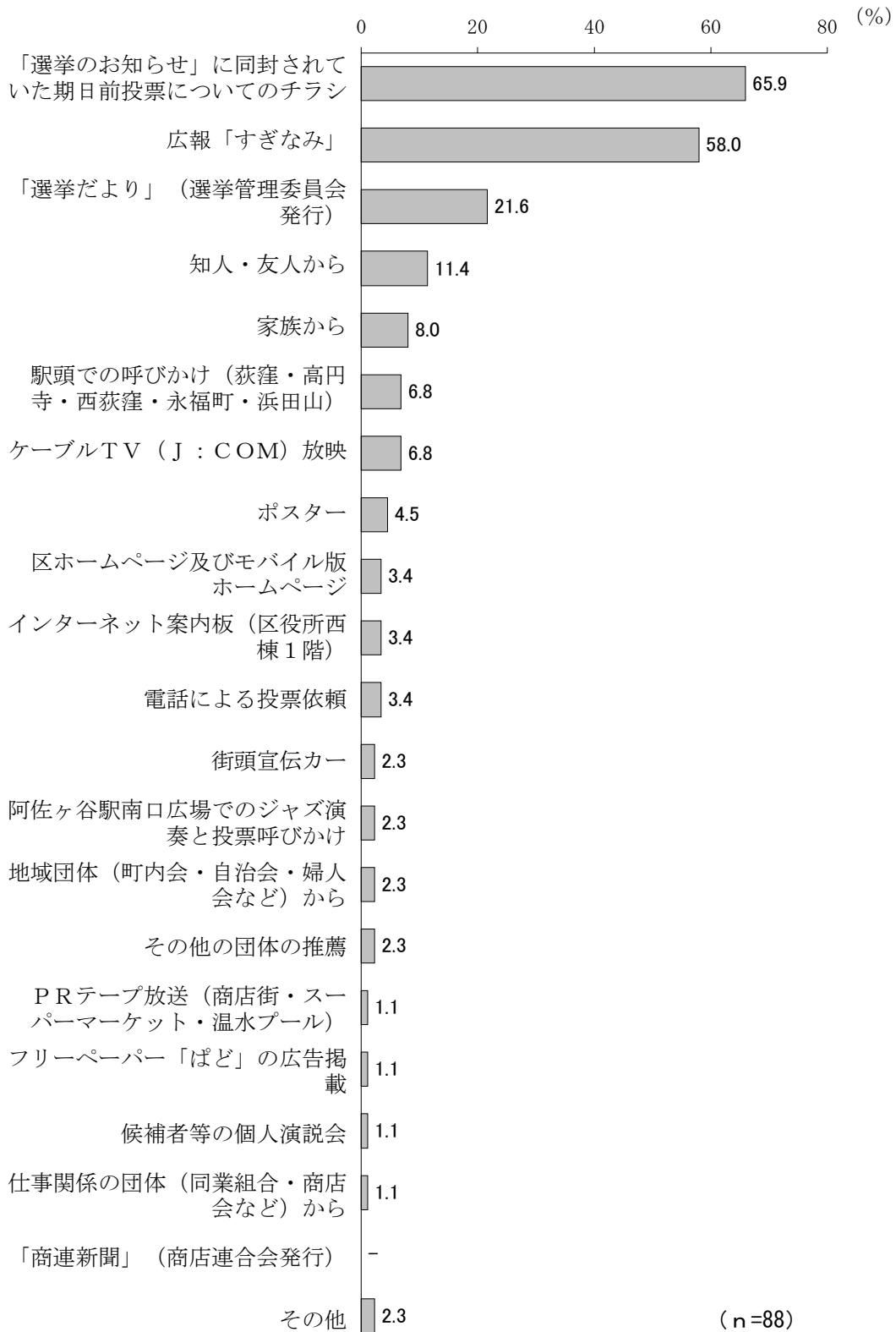


(2) 期日前投票所増加を知った方法

◇『「選挙のお知らせ」に同封されていた期日前投票についてのチラシ」が6割台半ばで最も高い

問11-1 あなたは、そのことを何によって知りましたか。(いくつでも○)

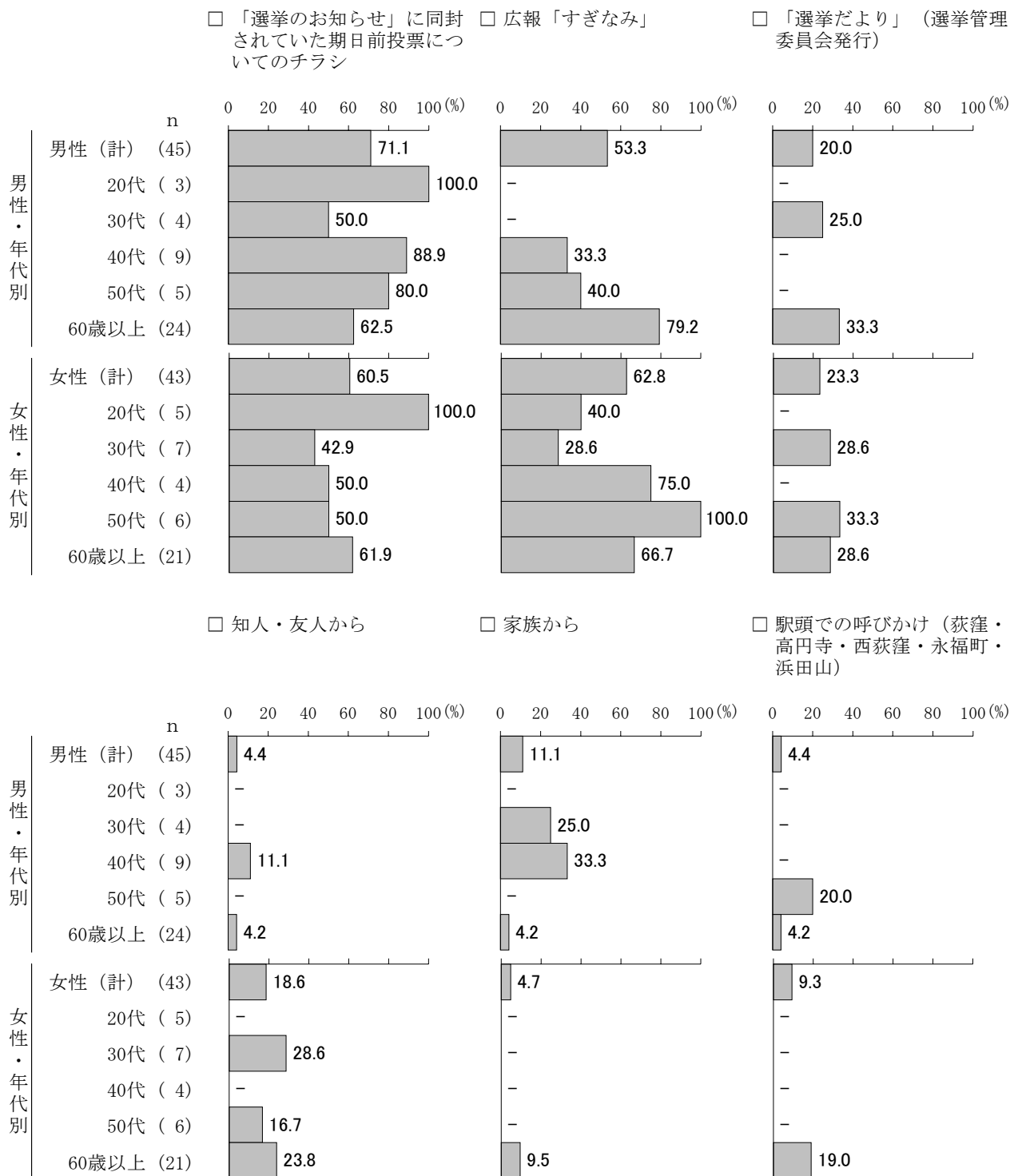
<図表5-2-1>



期日前投票所増加を知っていた人に、増加したことを知った方法を聞いたところ、「『選挙のお知らせ』に同封されていた期日前投票についてのチラシ」(65.9%)が6割台半ばで最も高く、続く「広報『すぎなみ』」(58.0%)が約6割で、これら上位2項目が目立つ。このほか、「『選挙だより』(選挙管理委員会発行)」(21.6%)が2割を超える。(図表5-2-1)

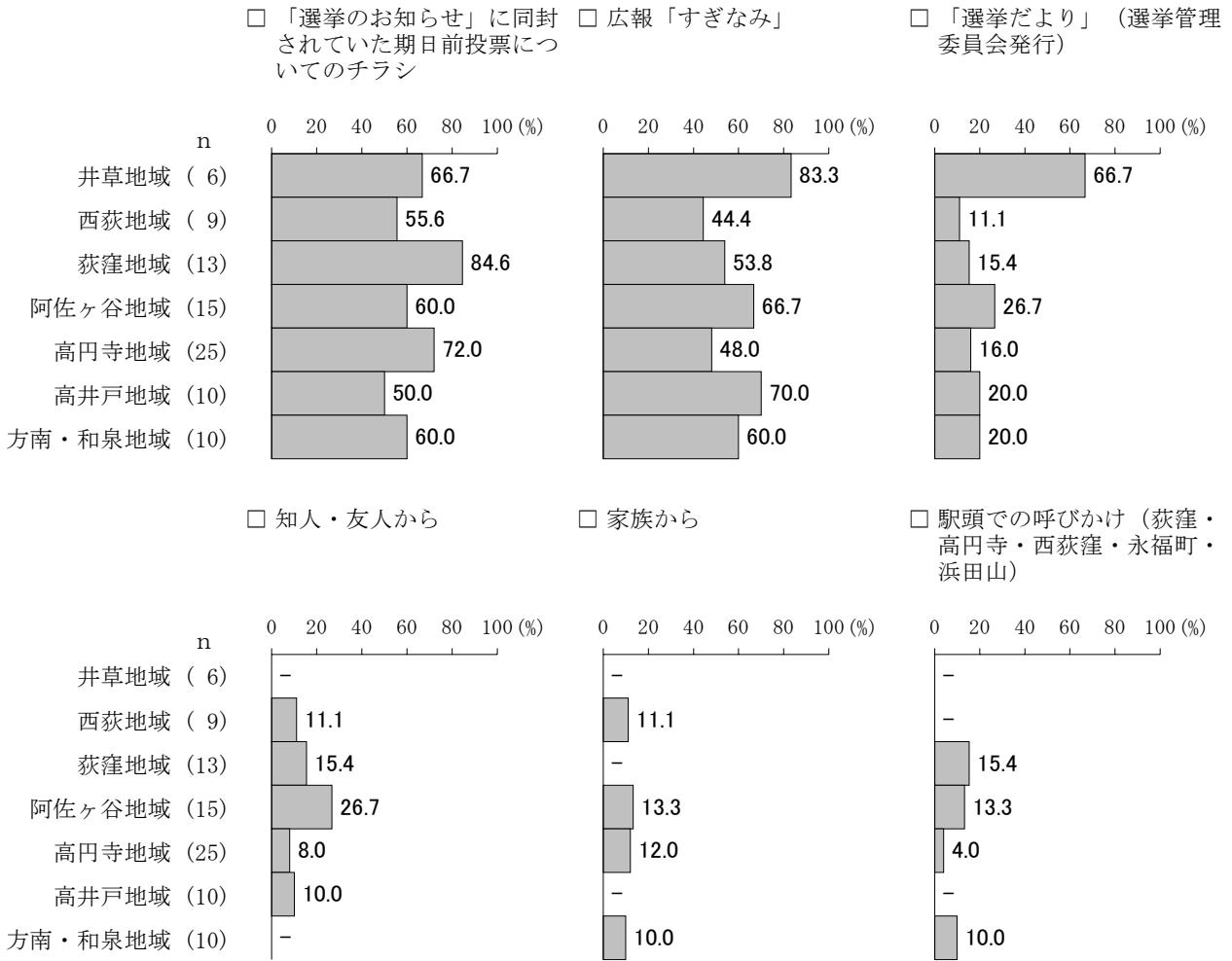
性・年代別については、nが少ないため参考までに図示するにとどめる。(図表5-2-2)

<図表5-2-2> 期日前投票所増加を知った方法／性・年代別



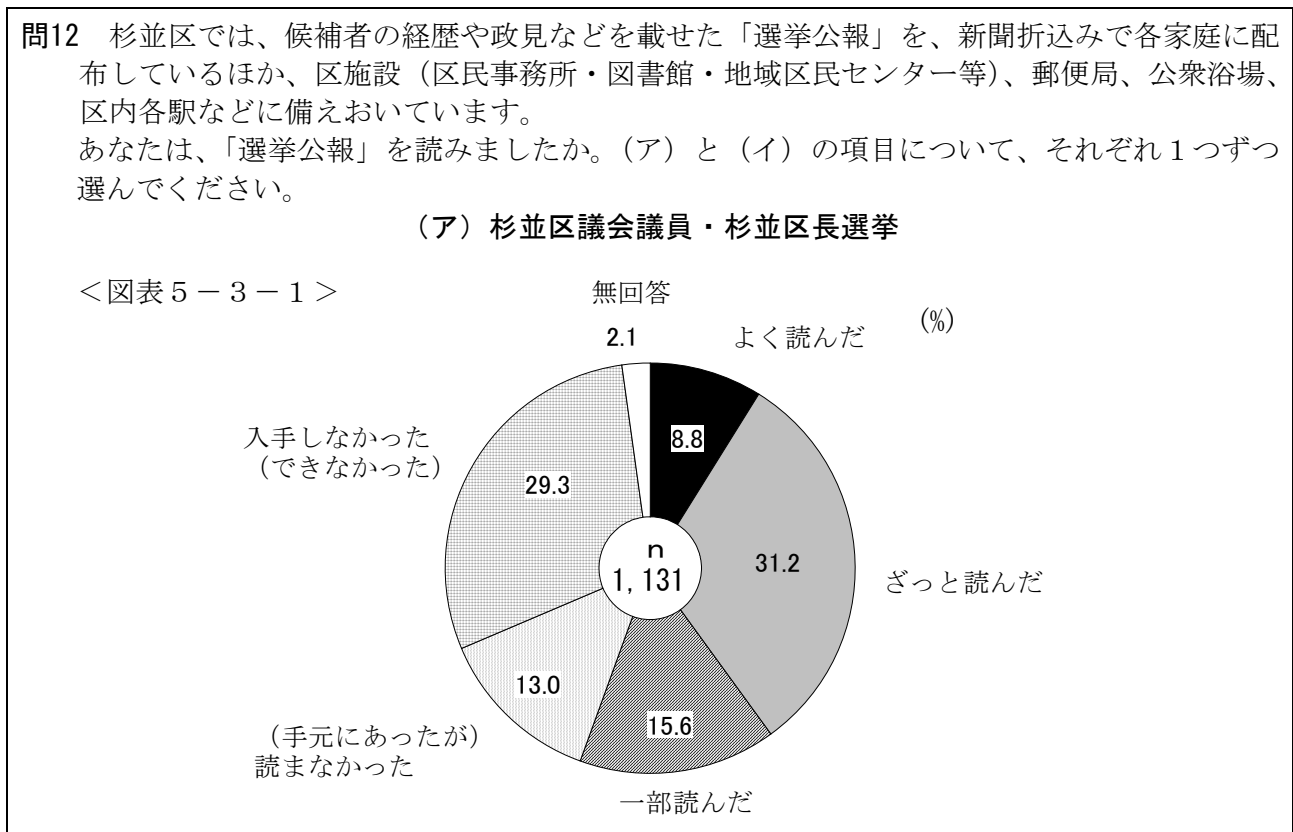
地域別については、nが少ないため参考までに図示するにとどめる。(図表5-2-3)

<図表5-2-3> 期日前投票所増加を知った方法/地域別



(3) 「選挙公報」 閲読状況

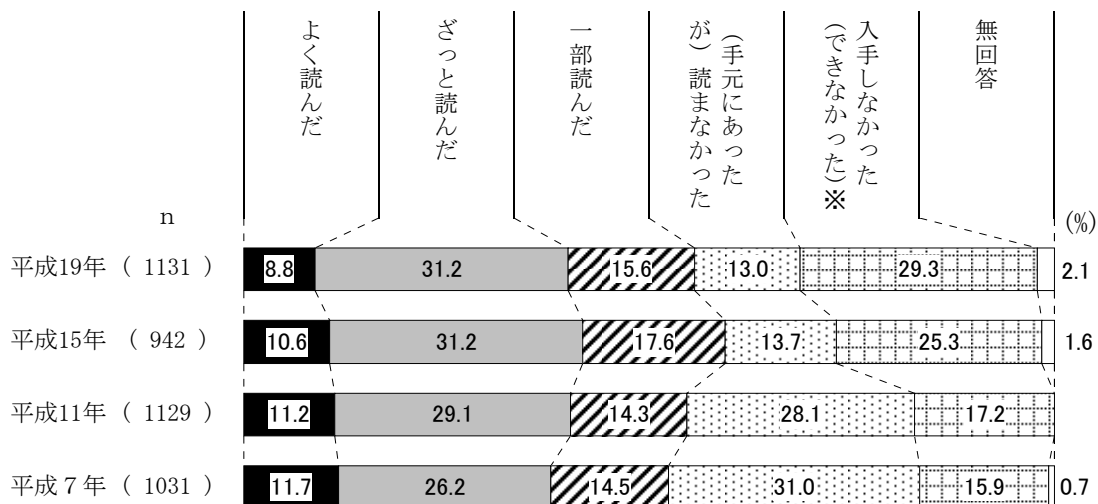
◇「読んだ」は5割台半ば



杉並区議会議員及び杉並区長選挙において、「選挙公報」を読んだかどうかを聞いたところ、「ざっと読んだ」(31.2%)が3割を超えて最も高くなっている。これに「よく読んだ」(8.8%)と「一部読んだ」(15.6%)を合わせると、「読んだ」(55.6%)は5割台半ばとなっている。一方、「(手元にあったが) 読まなかった」(13.0%)は1割台半ば、「入手しなかった (できなかった)」(29.3%)は約3割となっている。(図表5-3-1)

平成7年以降の調査結果と比較すると、「(手元にあったが) 読まなかった」が調査ごとに減少している。(図表5-3-2)

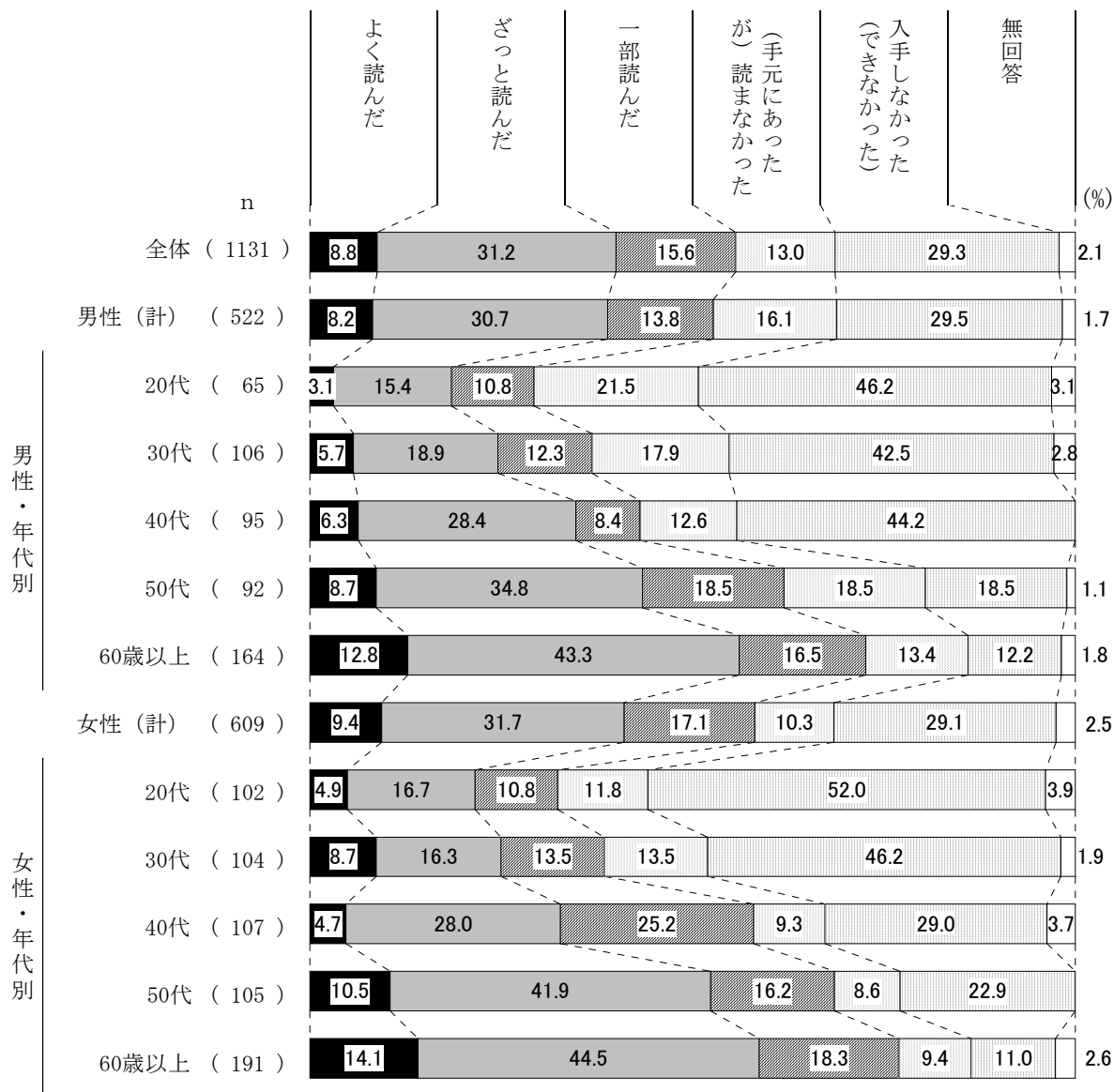
<図表5-3-2> 「選挙公報」 閲読状況<杉並区議会議員・杉並区長選挙> / 経年比較



※平成11年と平成7年での選択肢は「気づかなかった」

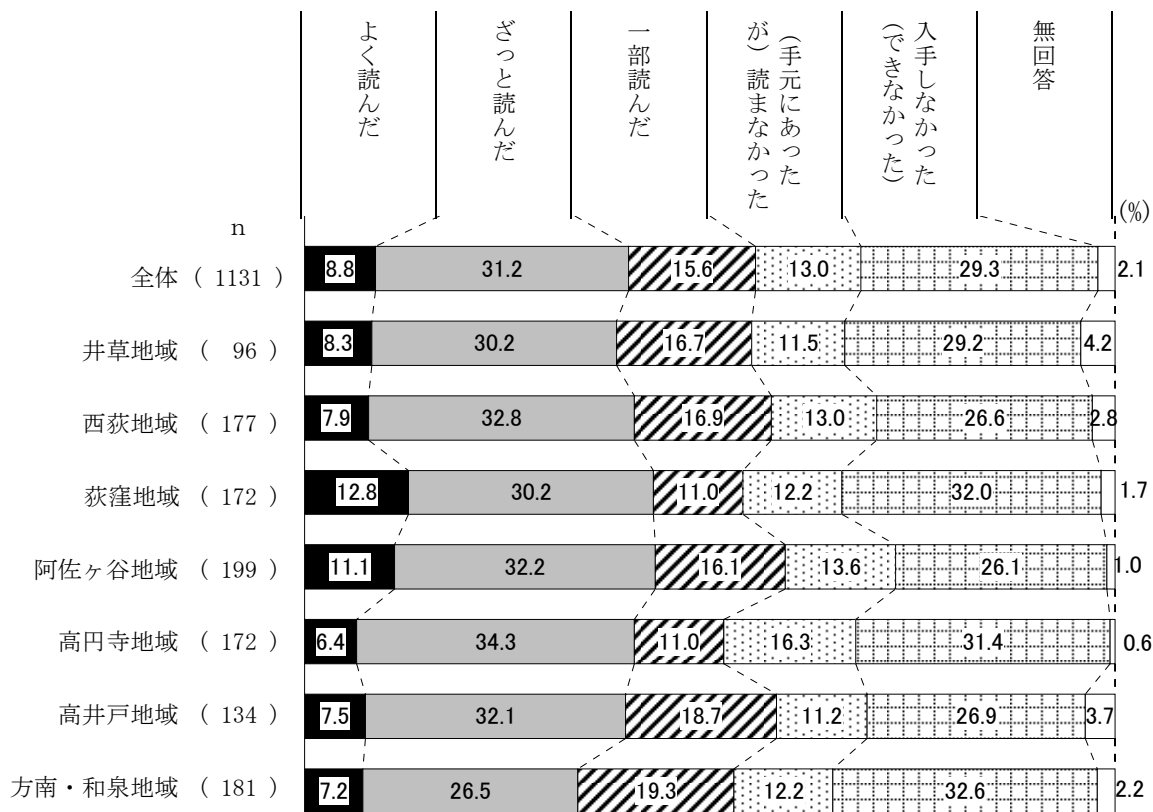
性・年代別でみると、「読んだ」は、男女ともに年代が上がるほど増加しており、男性の60歳以上で7割を超え、女性の60歳以上で7割台半ばとなっている。一方、「入手しなかった（できなかった）」は、男性の20代～40代で4割台半ば前後と高い。女性では20代で5割を超え、30代で4割台半ばと高く、年代が上がるほど減少している。（図表5-3-3）

＜図表5-3-3＞「選挙公報」読読状況《杉並区議会議員・杉並区長選挙》／性・年代別



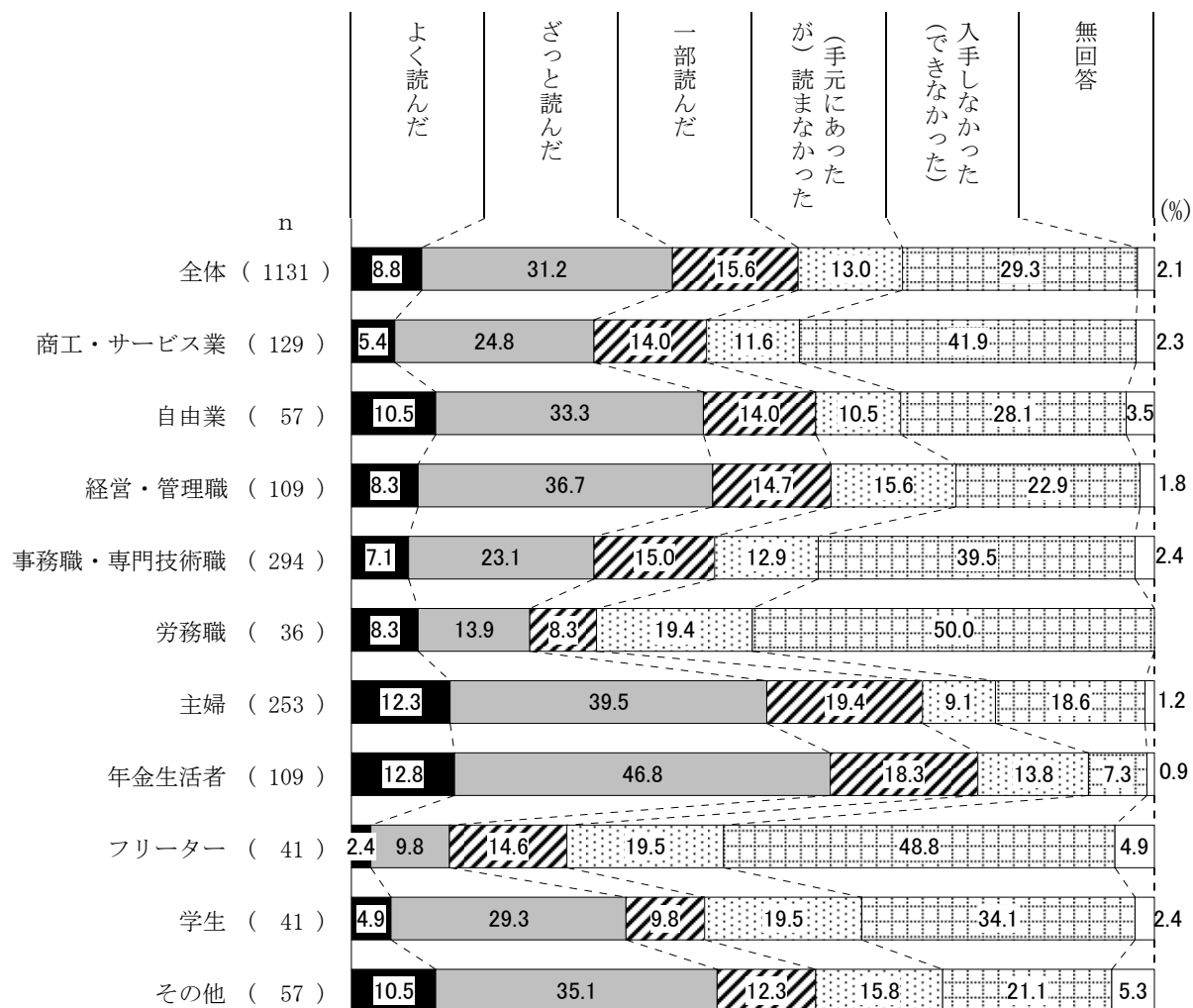
地域別でみると、「読んだ」は、阿佐ヶ谷地域、高井戸地域、西荻地域で約6割となっている。一方、「入手しなかった（できなかった）」は、方南・和泉地域、荻窪地域、高円寺地域で3割を超える。（図表5-3-4）

<図表5-3-4> 「選挙公報」 閲読状況<<杉並区議会議員・杉並区長選挙>>/地域別

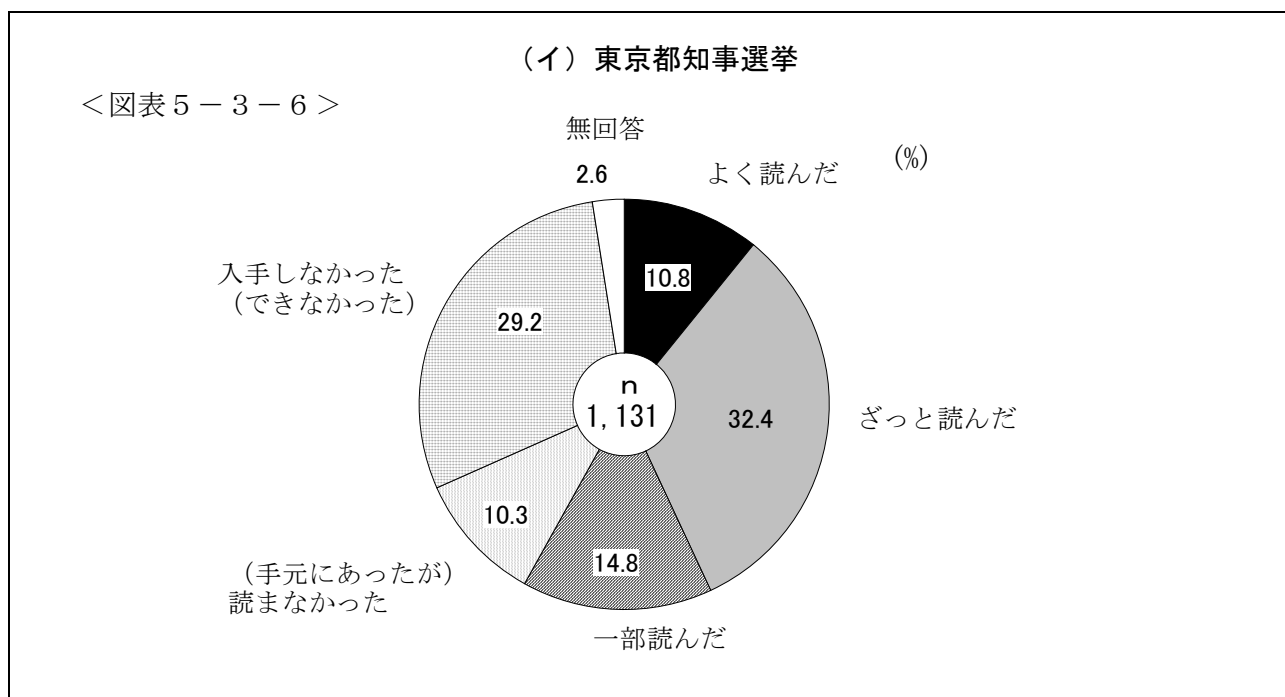


職業別でみると、「読んだ」は、年金生活者で約8割と最も高く、次いで、主婦が7割を超える。一方、「入手しなかった（できなかった）」は、労務職で5割と最も高く、僅差でフリーターが続く。（図表5-3-5）

<図表5-3-5> 「選挙公報」 閲読状況<<杉並区議会議員・杉並区長選挙>>/職業別



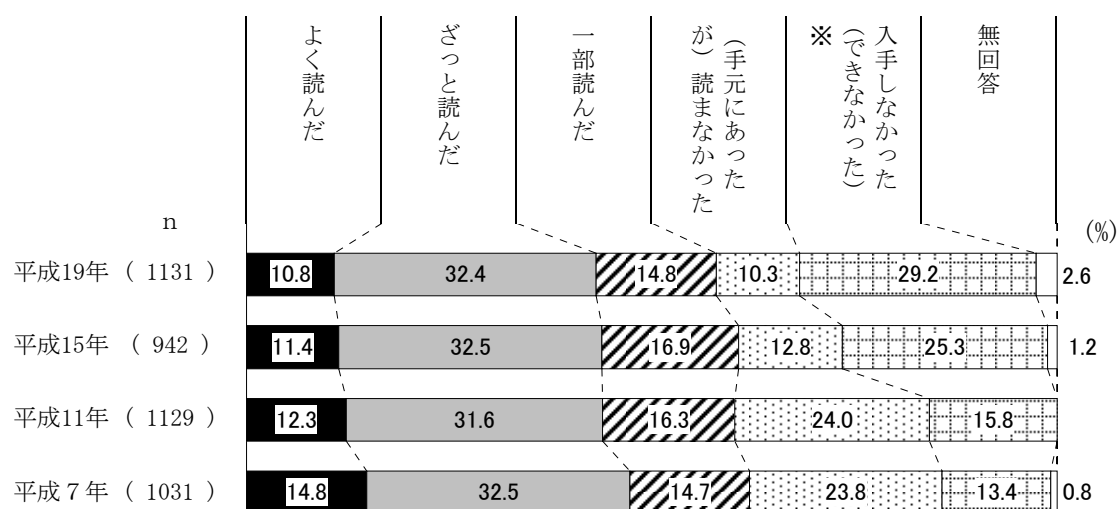
◇「読んだ」は約6割



東京都知事選挙において「選挙公報」を読んだかどうかを聞いたところ、「ざっと読んだ」(32.4%)が3割を超えて最も高くなっている。これに「よく読んだ」(10.8%)と「一部読んだ」(14.8%)を合わせると、「読んだ」(58.0%)は約6割となっている。一方、「(手元にあったが)読まなかった」(10.3%)は1割、「入手しなかった(できなかった)」(29.2%)は約3割となっている。(図表5-3-6)

平成7年以降の調査結果と比較すると、「(手元にあったが)読まなかった」が調査ごとに減少している。(図表5-3-7)

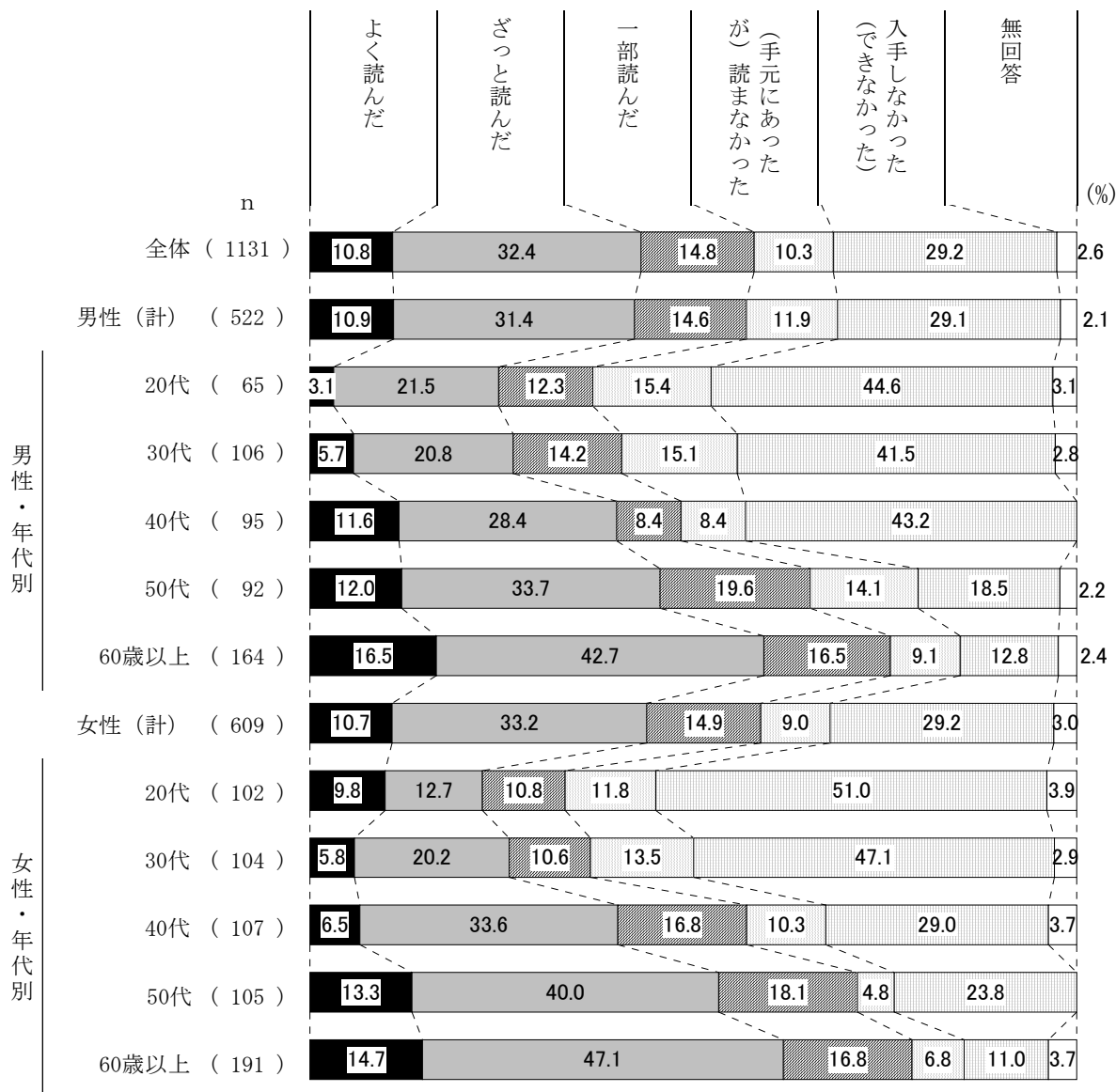
<図表5-3-7> 「選挙公報」 閲読状況<東京都知事選挙>/経年比較



※平成11年と平成7年での選択肢は「気づかなかった」

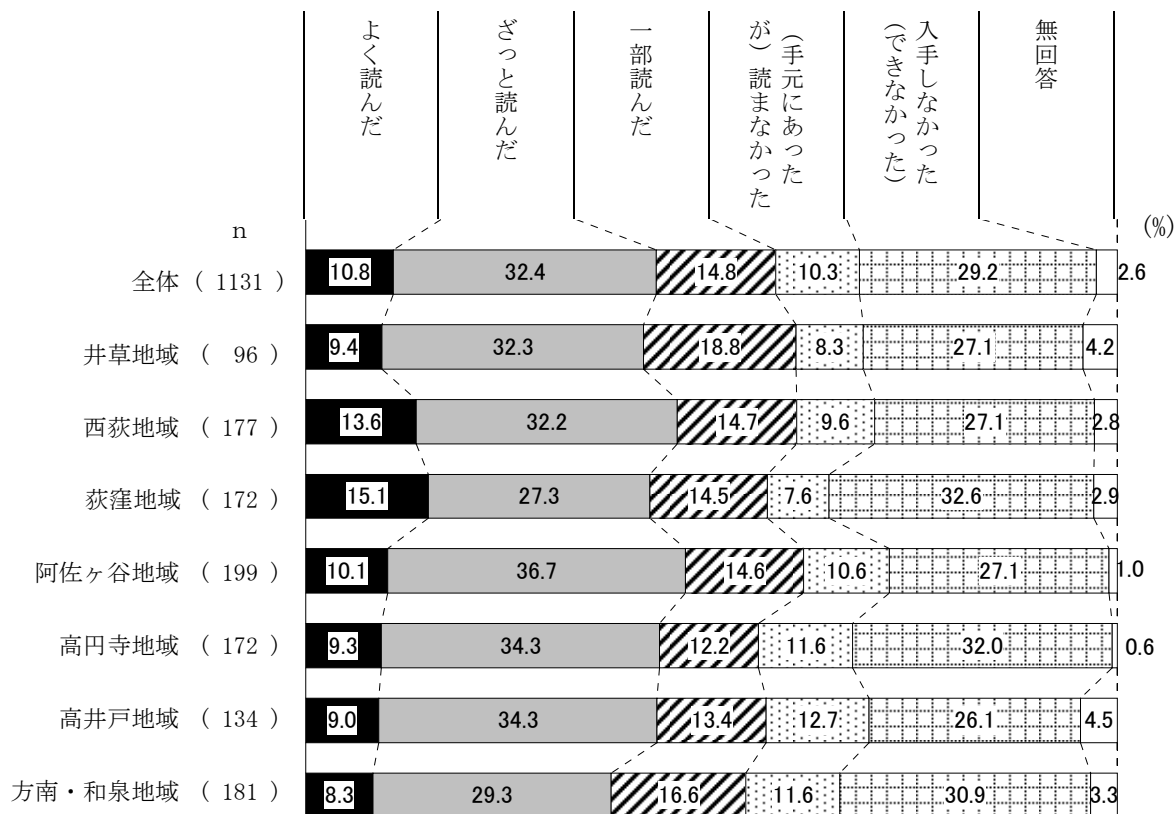
性・年代別でみると、「読んだ」は、男女ともに年代が上がるほど増加しており、男性の60歳以上で7割台半ば、女性の60歳以上で約8割となっている。一方、「入手しなかった（できなかった）」は、男性では20代と40代で4割台半ば、30代では4割を超え高い。女性では20代で5割を超え、30代で約5割と高く、年代が上がるほど減少している。（図表5-3-8）

<図表5-3-8> 「選挙公報」 閲読状況<東京都知事選挙> / 性・年代別



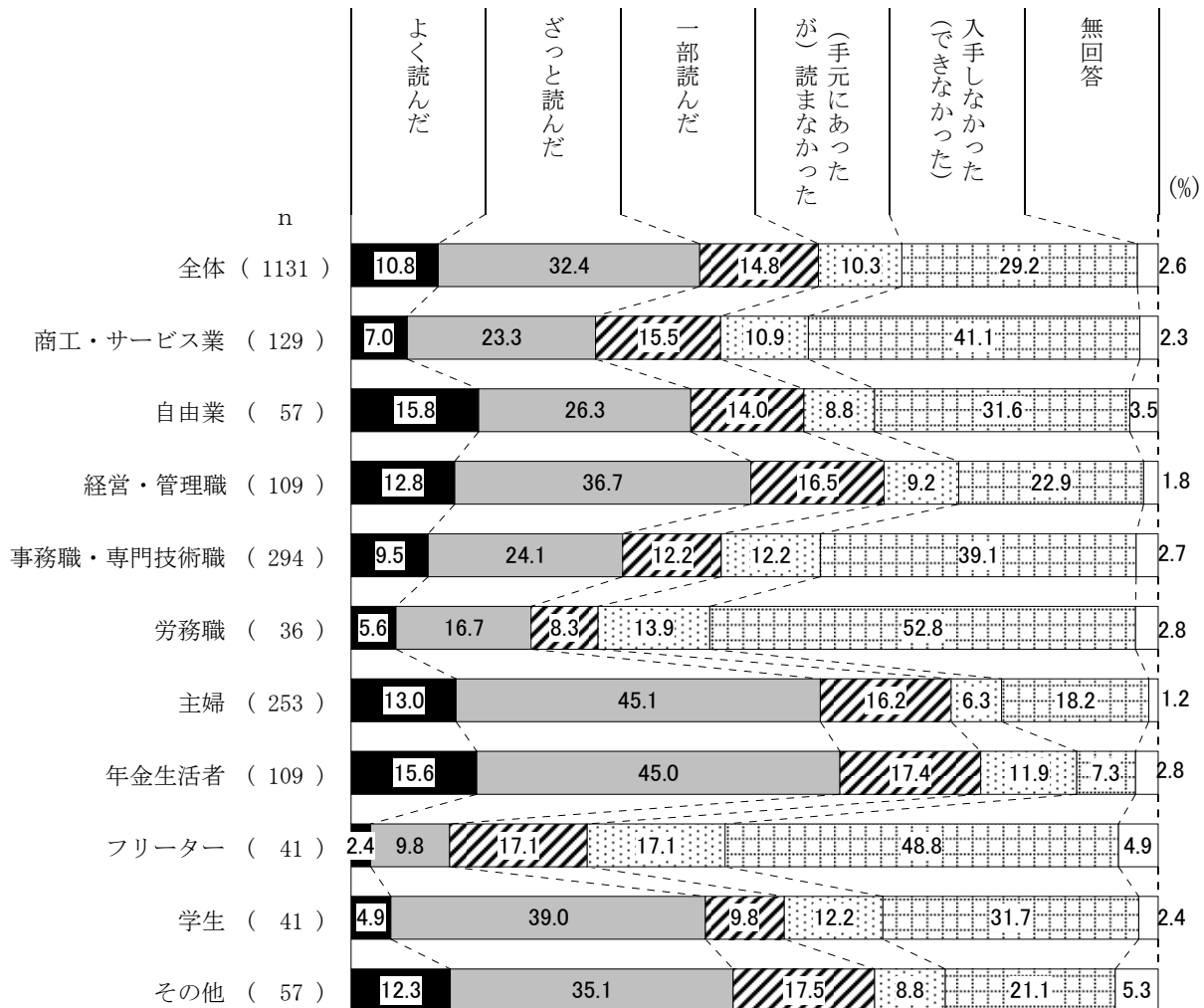
地域別でみると、「読んだ」は、阿佐ヶ谷地域で6割を超え最も高く、僅差で井草地域、西荻地域が続く。一方、「入手しなかった（できなかった）」は、荻窪地域、高円寺地域、方南・和泉地域で3割を超える。（図表5-3-9）

<図表5-3-9> 「選挙公報」 閲読状況<東京都知事選挙> / 地域別



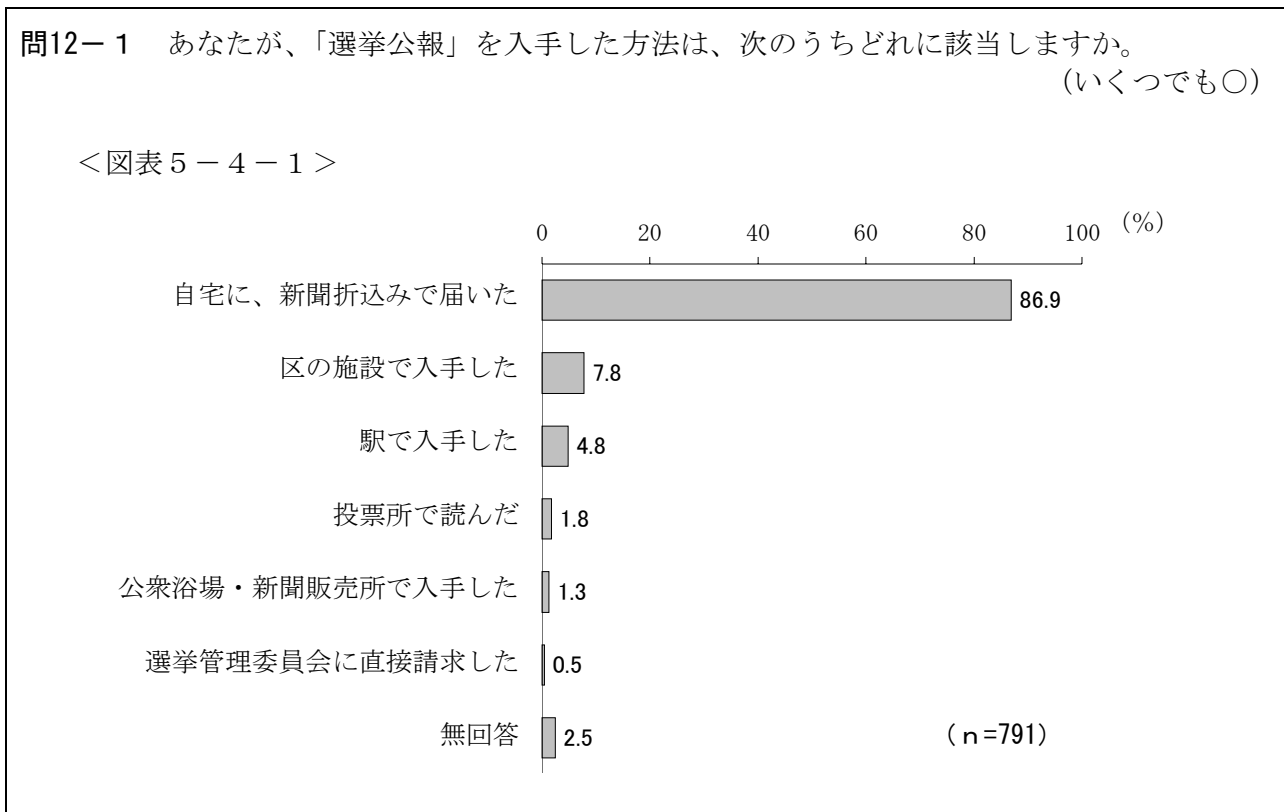
職業別でみると、「読んだ」は、年金生活者で約8割と最も高く、次いで、主婦が7割台半ばとなっている。一方、「入手しなかった（できなかった）」は、労務職で5割を超え、フリーターで約5割となっている。（図表5-3-10）

<図表5-3-10> 「選挙公報」 閲読状況<東京都知事選挙>/職業別



(4) 「選挙公報」の入手方法

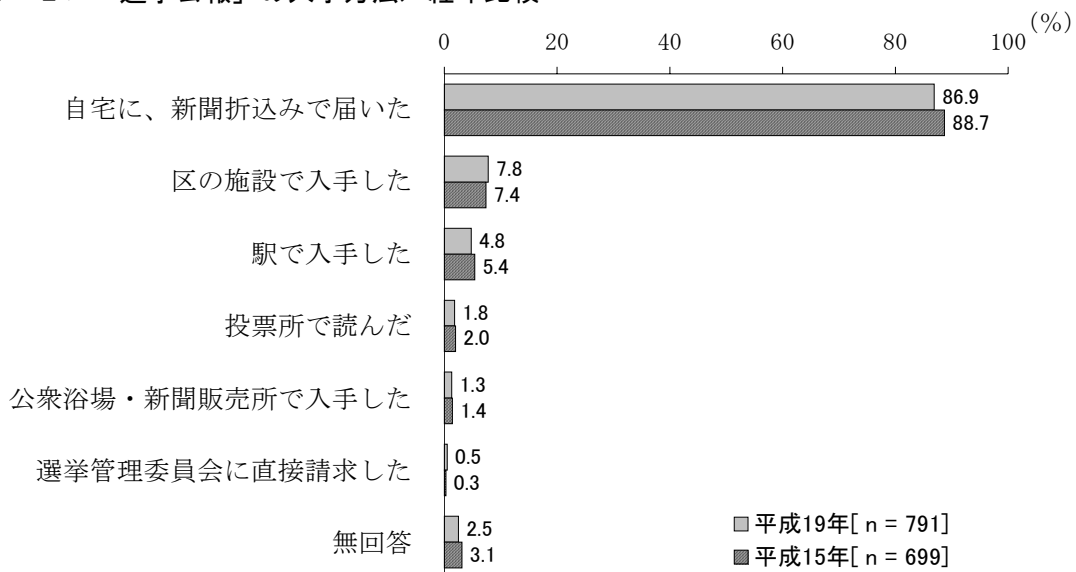
◇「自宅に新聞折込みで届いた」が8割台半ばで突出



杉並区議会議員・杉並区長選挙または東京都知事選挙で「選挙公報」を入手した人に、その方法を聞いたところ、「自宅に新聞折込みで届いた」(86.9%)が8割台半ばと突出している。(図表5-4-1)

平成15年の調査結果と比較しても、特に大きな違いはみられない。(図表5-4-2)

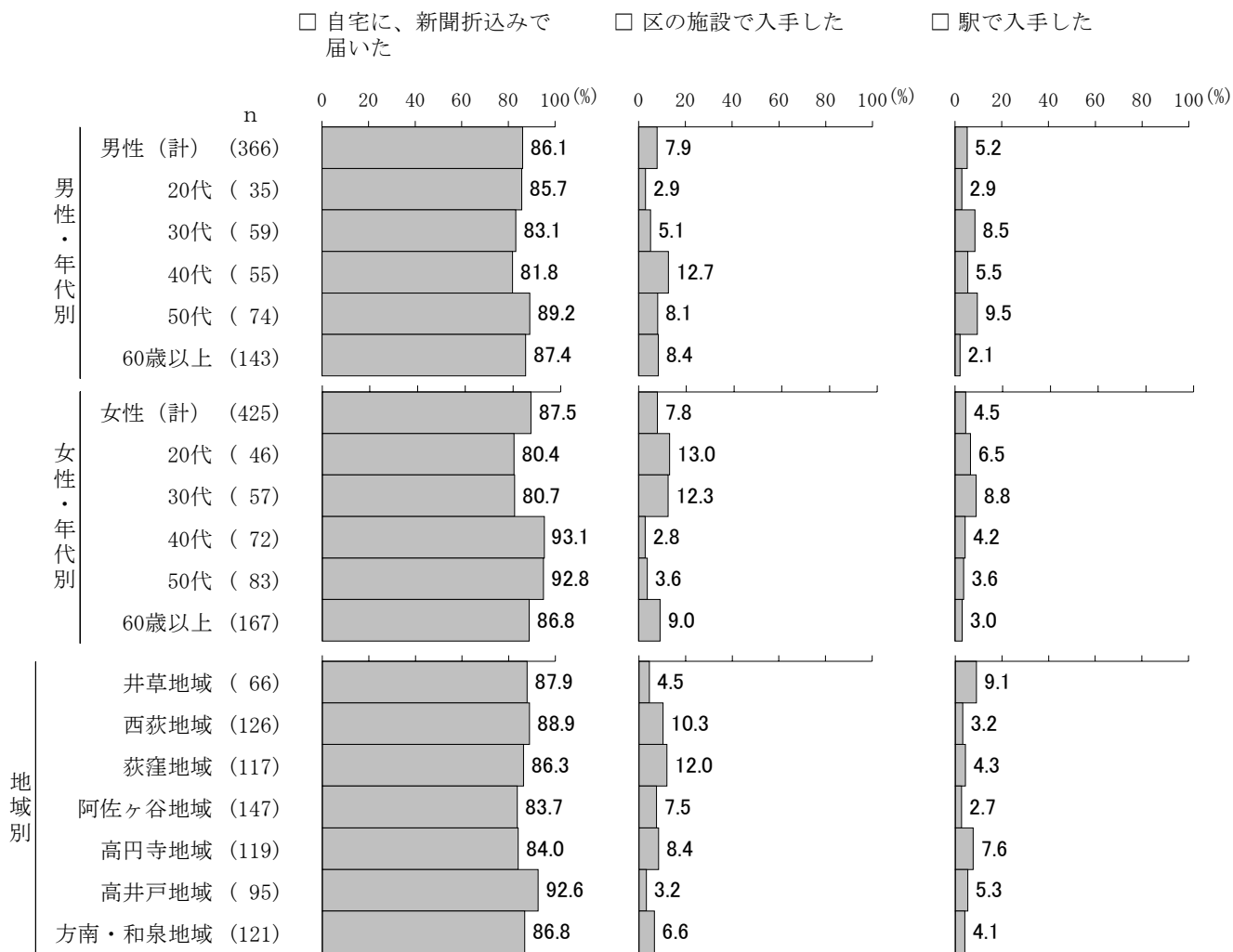
<図表5-4-2> 「選挙公報」の入手方法／経年比較



性・年代別で見ると、「自宅に、新聞折込みで届いた」は、女性の40代～50代で9割を超え高くなっている。

地域別で見ると、「自宅に、新聞折込みで届いた」は高井戸地域で唯一9割を超えている。(図表5-4-3)

<図表5-4-3> 「選挙公報」の入手方法／性・年代別、地域別（上位3項目）



6. 若者の低投票率について

-
- (1) 若者の投票率低下の原因
 - (2) 若者の投票率向上のための具体案
-

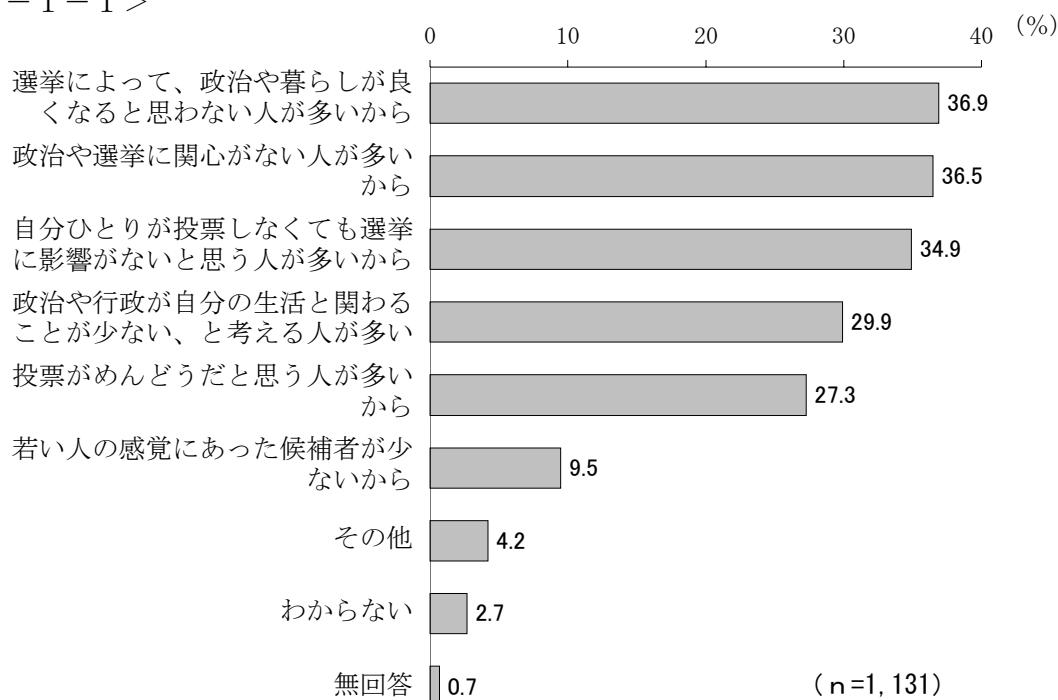
6. 若者の低投票率について

(1) 若者の低投票率の原因

- ◇「選挙によって、政治や暮らしが良くなると思わない人が多いから」、「政治や選挙に関心がない人が多いから」、「自分ひとりが投票しなくても選挙に影響がないと思う人が多いから」の3つがそれぞれ3割台半ば

問13 今回の杉並区議会議員選挙では、40歳以上の投票率が約53%であるのに対して、20歳代の若者の投票率は約20%という結果が出ています。あなたは、若い人の投票率が低い原因は何だと思いますか。(2つまで○)

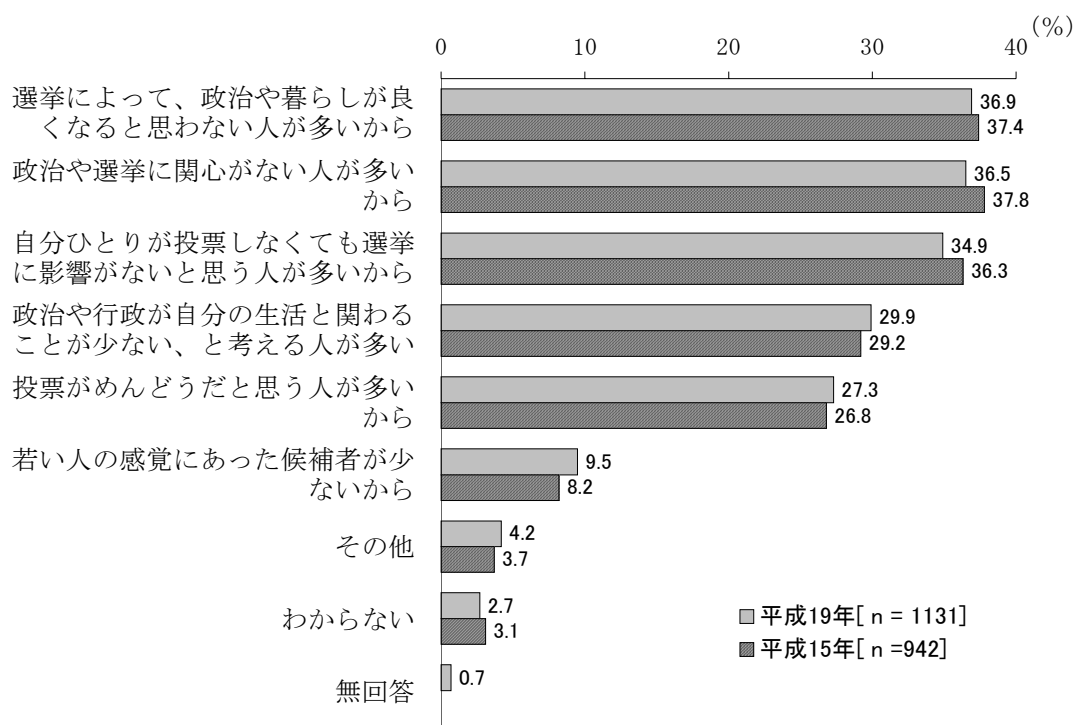
<図表6-1-1>



若者の低投票率の原因を聞いたところ、「選挙によって、政治や暮らしが良くなると思わない人が多いから」(36.9%)、「政治や選挙に関心がない人が多いから」(36.5%)、「自分ひとりが投票しなくても選挙に影響がないと思う人が多いから」(34.6%)の3つが高く、それぞれ3割台半ばとなっている。次いで、「政治や行政が自分の生活と関わるのが少ないと考える人が多い」(29.9%)と「投票がめんどろだと思っ人が多いから」(27.3%)が約3割である。(図表6-1-1)

平成15年の調査結果と比較しても、特に大きな違いはみられない。(図表6-1-2)

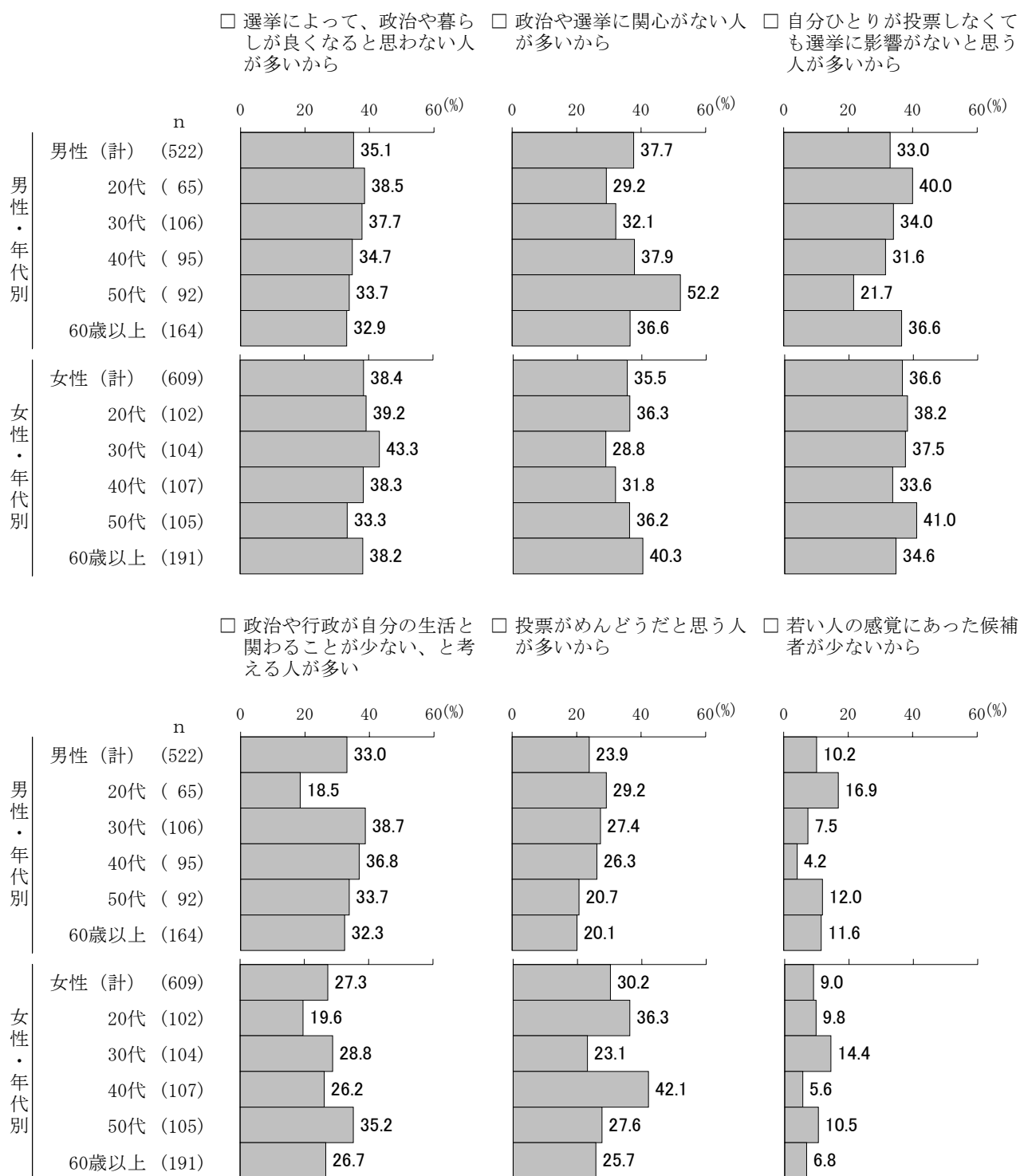
<図表6-1-2> 若者の低投票率の原因/経年比較



性・年代別でみると、「選挙によって、政治や暮らしが良くなると思わない人が多いから」は女性の30代で4割台半ば、「政治や選挙に関心がない人が多いから」は男性の50代で5割を超え、それぞれ最も高くなっている。また、「自分ひとりが投票しなくても選挙に影響がないと思う人が多いから」は、男性の20代と女性の50代で4割と高い。このほか、「投票がめんどろうだと思う人が多いから」は、男性では20代で約3割と比較的高く、年代が上がるほど減少している。女性では40代で4割を超え最も高い。

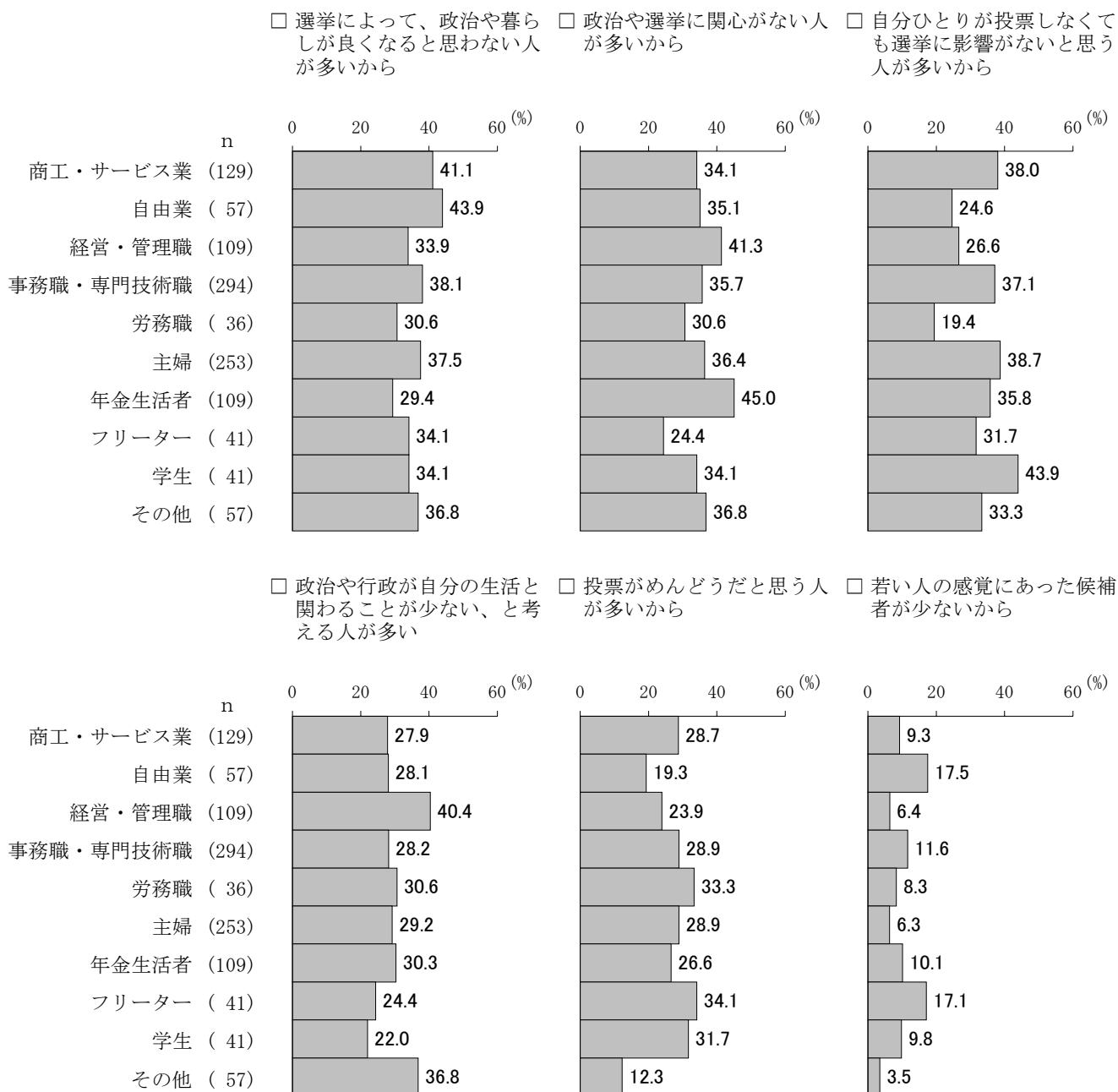
(図表6-1-3)

<図表6-1-3>若者の低投票率の原因／性・年代別（上位6項目）



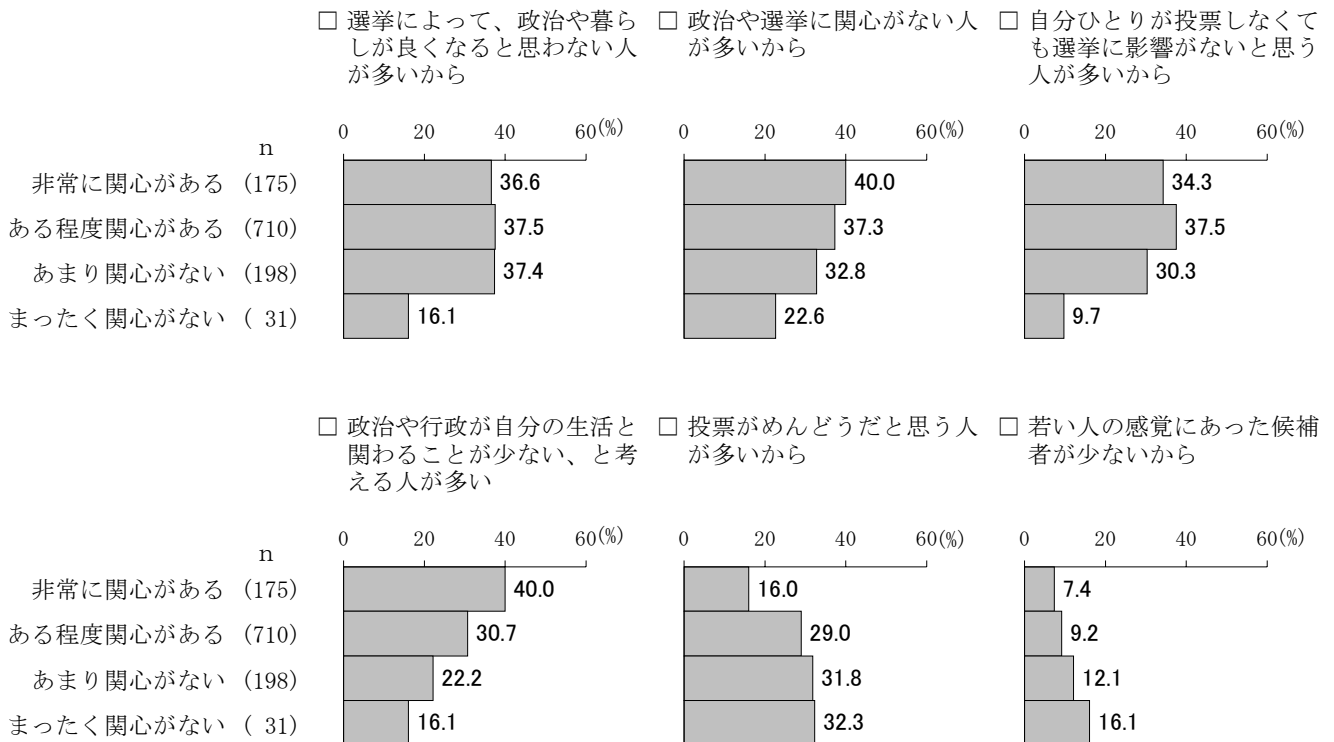
職業別でみると、「選挙によって、政治や暮らしが良くなると思わない人が多いから」は自由業で、「政治や選挙に関心がない人が多いから」は年金生活者で4割台半ばと最も高い。また、「自分ひとりが投票しなくても選挙に影響がないと思う人が多いから」は学生で4割台半ばとなっている。このほか、「政治や行政が自分の生活と関わるのが少ない、と考える人が多い」は、経営・管理職で4割と最も高く、その他が3割台半ばで続く。(図表6-1-4)

<図表6-1-4>若者の低投票率の原因／職業別（上位6項目）



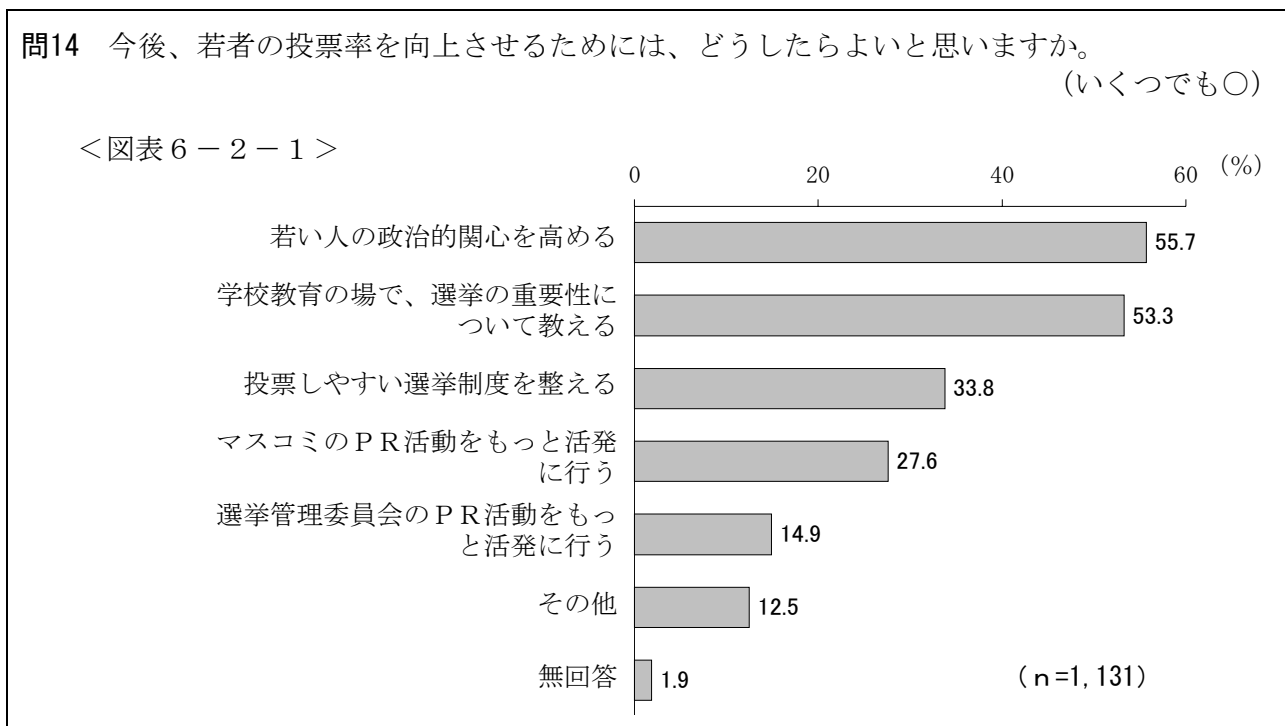
政治への関心度別で見ると、「政治や選挙に関心がない人が多いから」と「政治や行政が自分の生活と関わるのが少ない、と考える人が多い」は、政治への関心度が高いほど比率も高く、非常に関心がある人で4割となっている。また、「投票がめんどうだと思ふ人が多いから」と「若い人の感覚にあった候補者が少ないから」は、政治への関心度が低いほど比率が高くなっている。(図表6-1-5)

<図表6-1-5> 若者の低投票率の原因／政治への関心度別 (上位6項目)



(2) 若者の投票率向上のための具体案

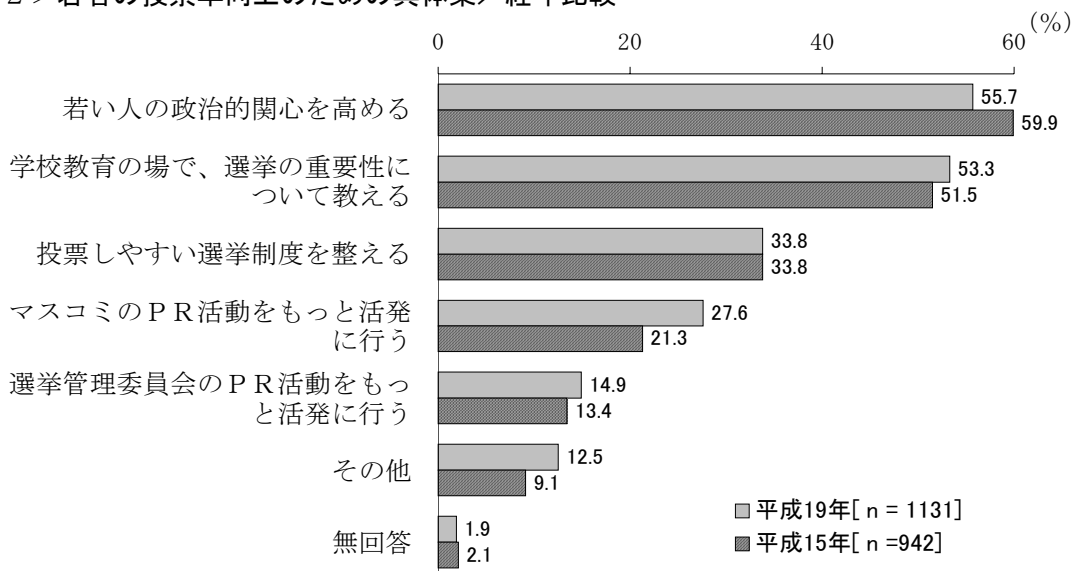
◇「若い人の政治的関心を高める」、「学校の教育の場で、選挙の重要性について教える」の2つがそれぞれ5割台半ば



今後、若者の投票率を向上させるためにはどのようにしたらよいかを聞いたところ、「若い人の政治的関心を高める」(55.7%)と「学校の教育の場で、選挙の重要性について教える」(53.3%)の上位2項目が5割台半ばと高くなっている。次いで、「投票しやすい選挙制度を整える」(33.8%)が3割台半ば、「マスコミのPR活動をもっと活発に行う」(27.6%)が約3割となっている。(図表6-2-1)

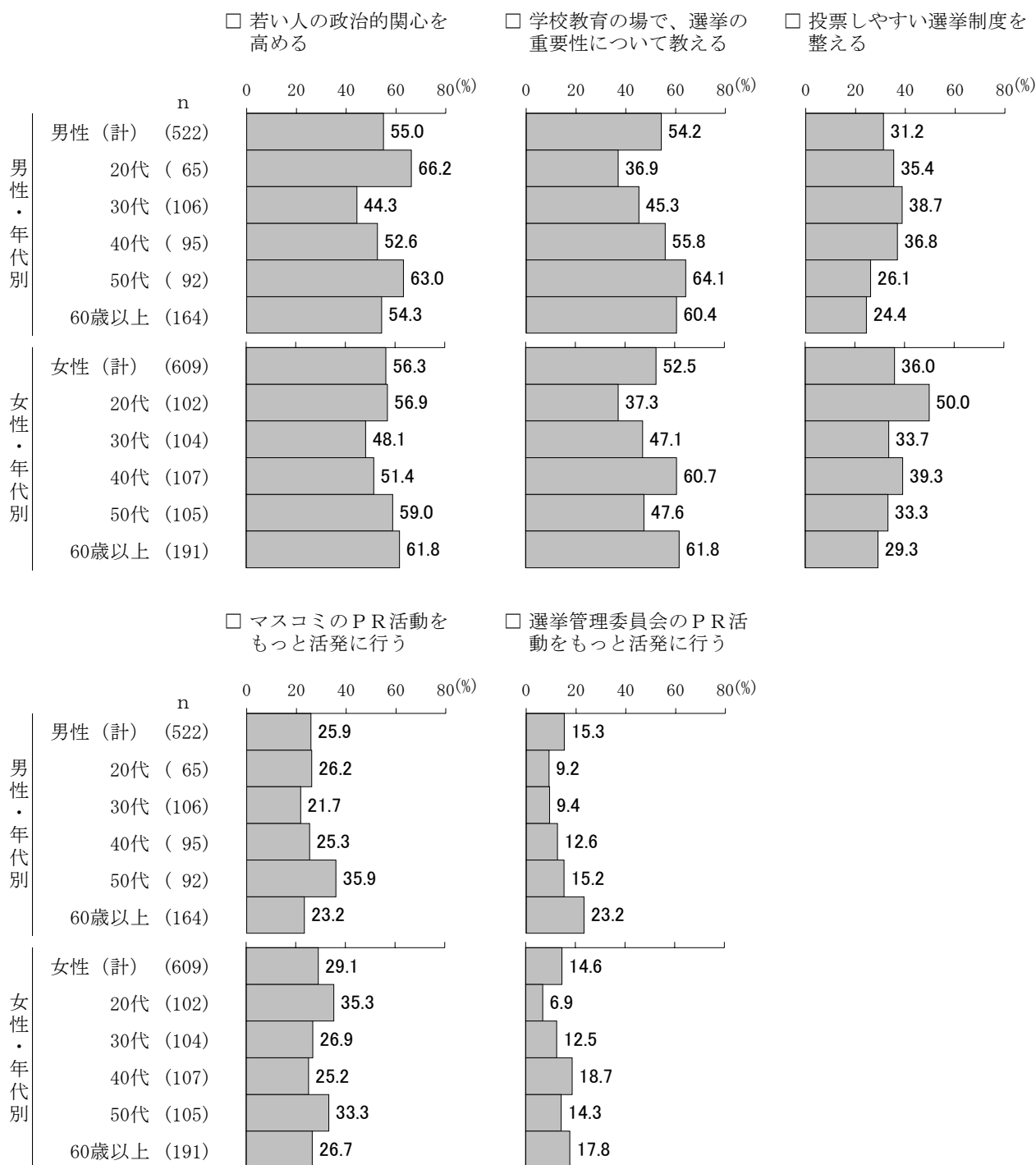
平成15年の調査結果と比較すると、「マスコミのPR活動をもっと活発に行う」が6ポイント増加している。(図表6-2-2)

<図表6-2-2>若者の投票率向上のための具体案/経年比較



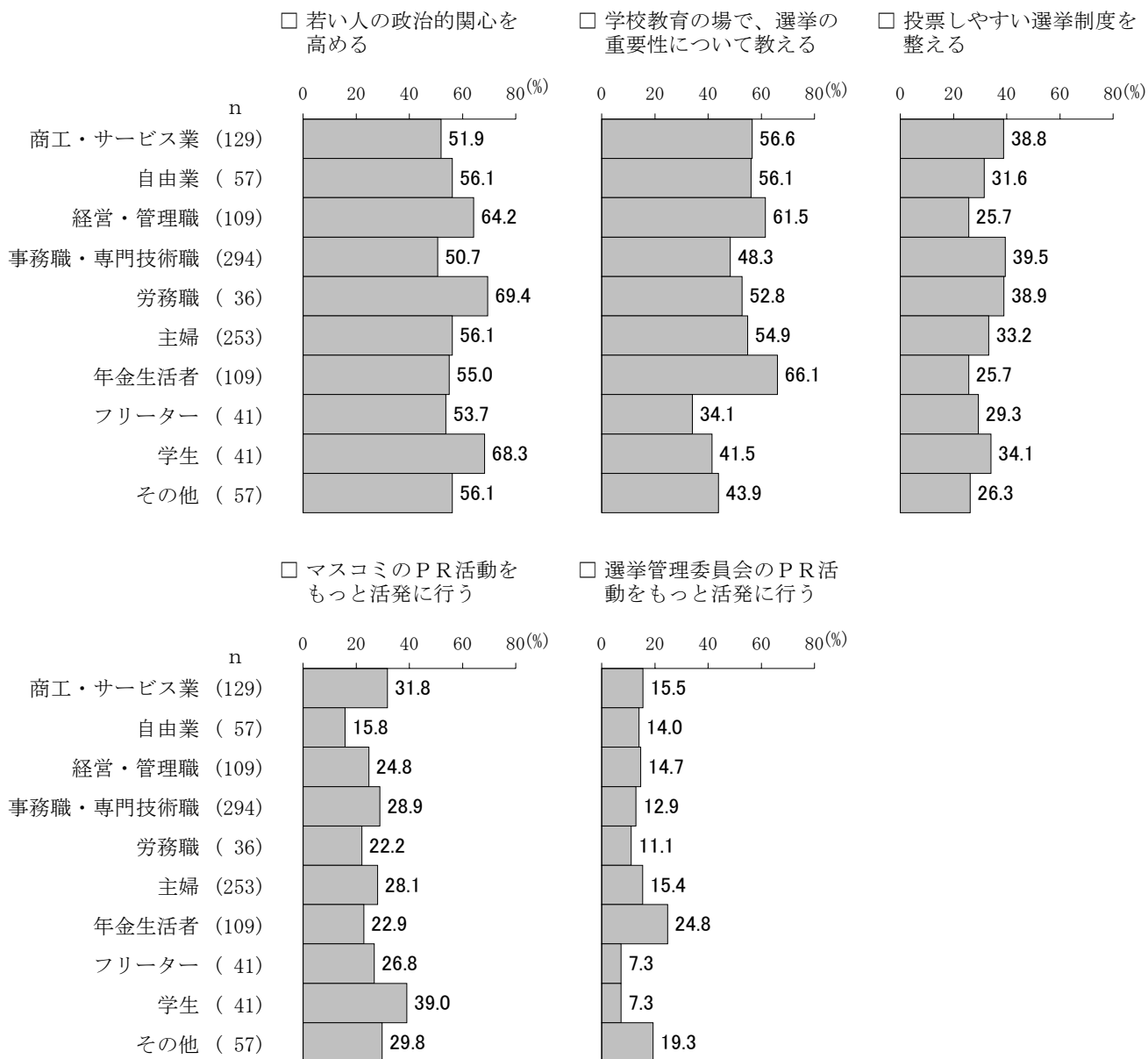
性・年代別でみると、「若い人の政治的関心を高める」は男性の20代と50代で6割台半ば、女性の60歳以上で6割を超え高くなっている。「学校教育の場で、選挙の重要性について教える」は、男性ではおおむね年代が上がるほど増加する傾向がみられ、特に、50代は6割台半ばとなっている。女性では40代と60歳以上で6割を超える。また、「投票しやすい選挙制度を整える」は女性の20代で5割と高い。
 (図表6-2-3)

<図表6-2-3>若者の投票率向上のための具体案／性・年代別（全項目）



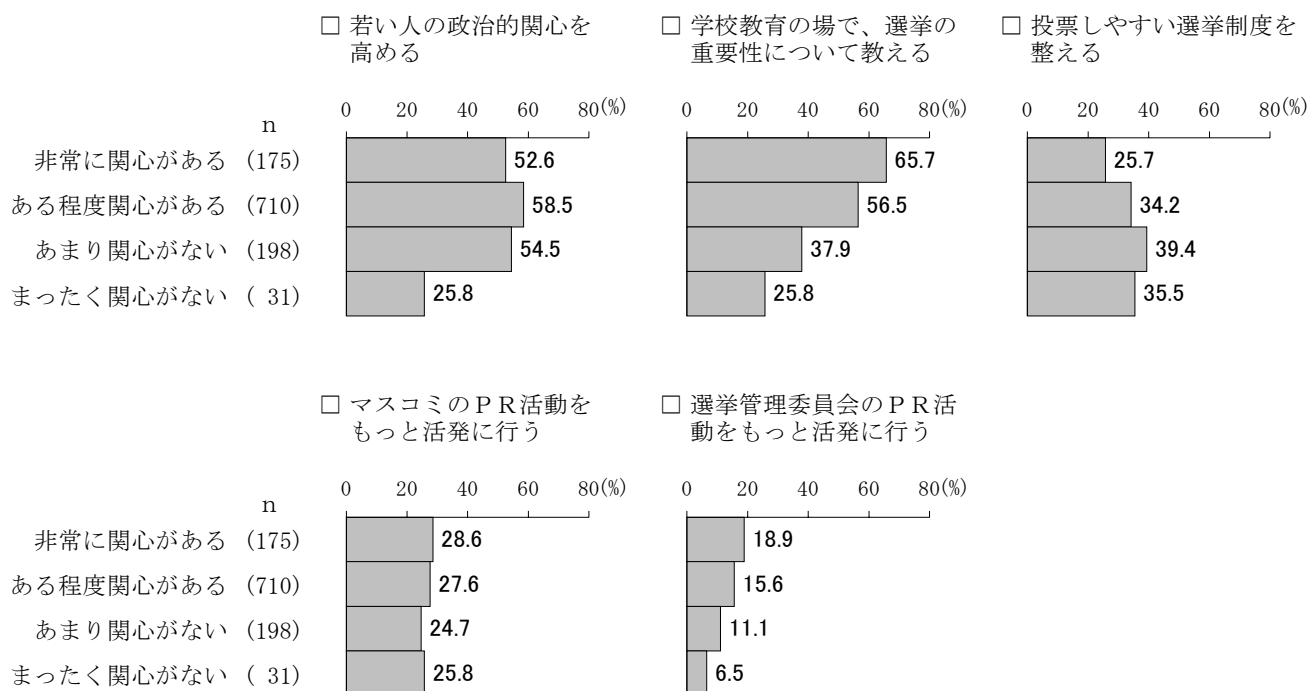
職業別でみると、「若い人の政治的関心を高める」は労務職と学生で約7割と高く、次いで、経営・管理職が6割台半ばとなっている。また、「学校教育の場で、選挙の重要性について教える」は年金生活者で6割台半ばと最も高く、次いで、経営・管理職で6割を超える。(図表6-2-4)

<図表6-2-4>若者の投票率向上のための具体案/職業別(全項目)



政治への関心度別でみると、「学校教育の場で、選挙の重要性について教える」と「選挙管理委員会のPR活動をもっと活発に行う」は、政治への関心度が高いほど比率も高く、特に、「学校教育の場で、選挙の重要性について教える」では非常に関心がある人で6割台半ばとなっている。(図表6-2-5)

<図表6-2-5> 若者の投票率向上のための具体案／政治への関心度別 (全項目)



7. 選挙啓発について

-
- (1) 選挙啓発について
 - (2) インターネット利用度
 - (3) 公式ホームページ及びモバイル版ホームページの「選挙特集」の閲覧度
 - (4) 「選挙特集」の閲覧状況
 - (5) 「選挙特集」に載せてほしい情報
 - (6) 「明るい選挙推進委員」の周知状況
-

7. 選挙啓発について

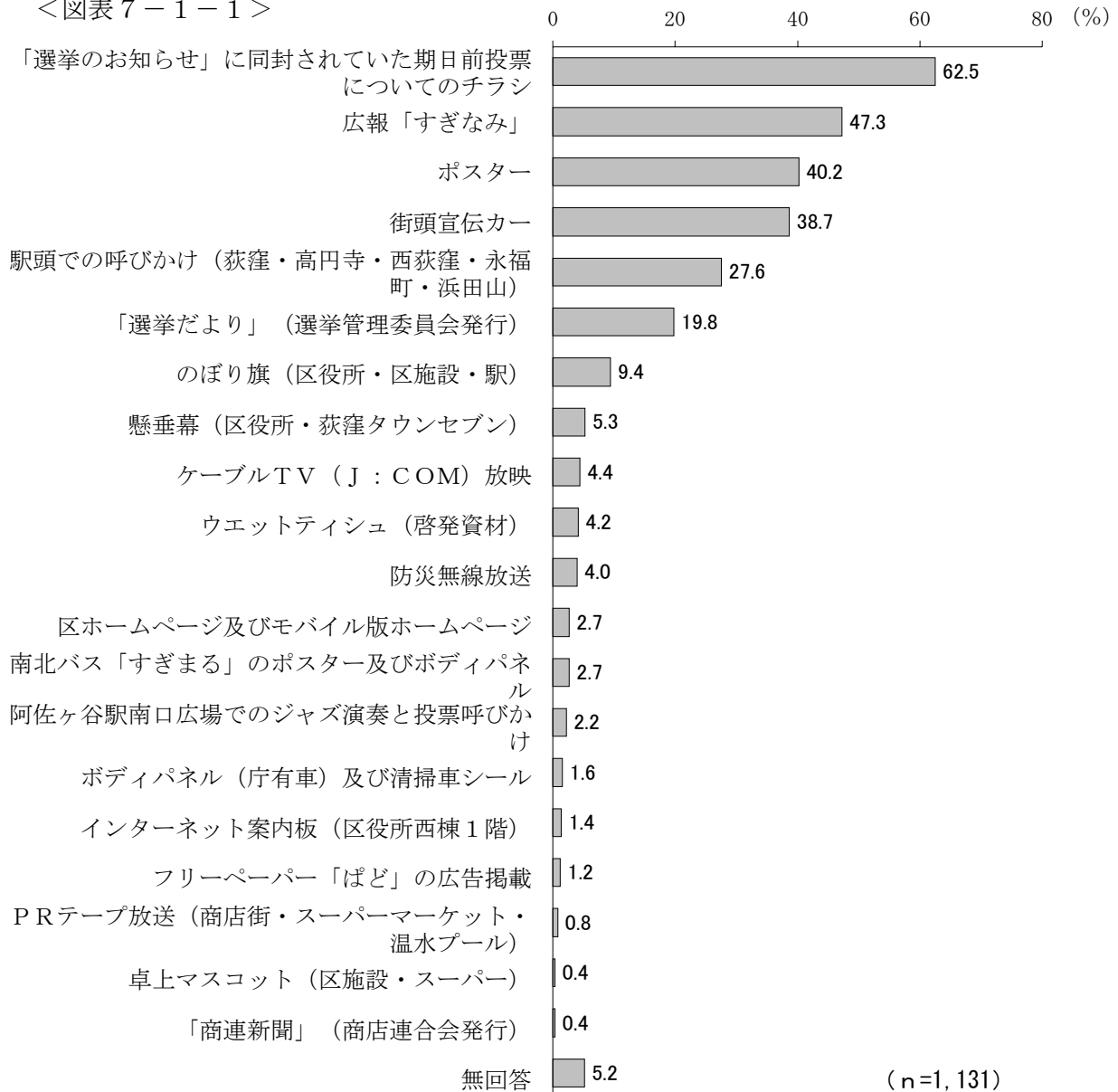
(1) 選挙啓発について

◇『選挙のお知らせ』に同封されていた期日前投票についてのチラシ」が6割を超える

問15 杉並区では、今回の選挙で次のような種々の啓発事業を行いました。以下の3つの設問についてそれぞれお答えください。

設問(1) あなたは、今回の選挙の投票日や選挙に関する情報は何かから知りましたか。(いくつでも○)

<図表7-1-1>

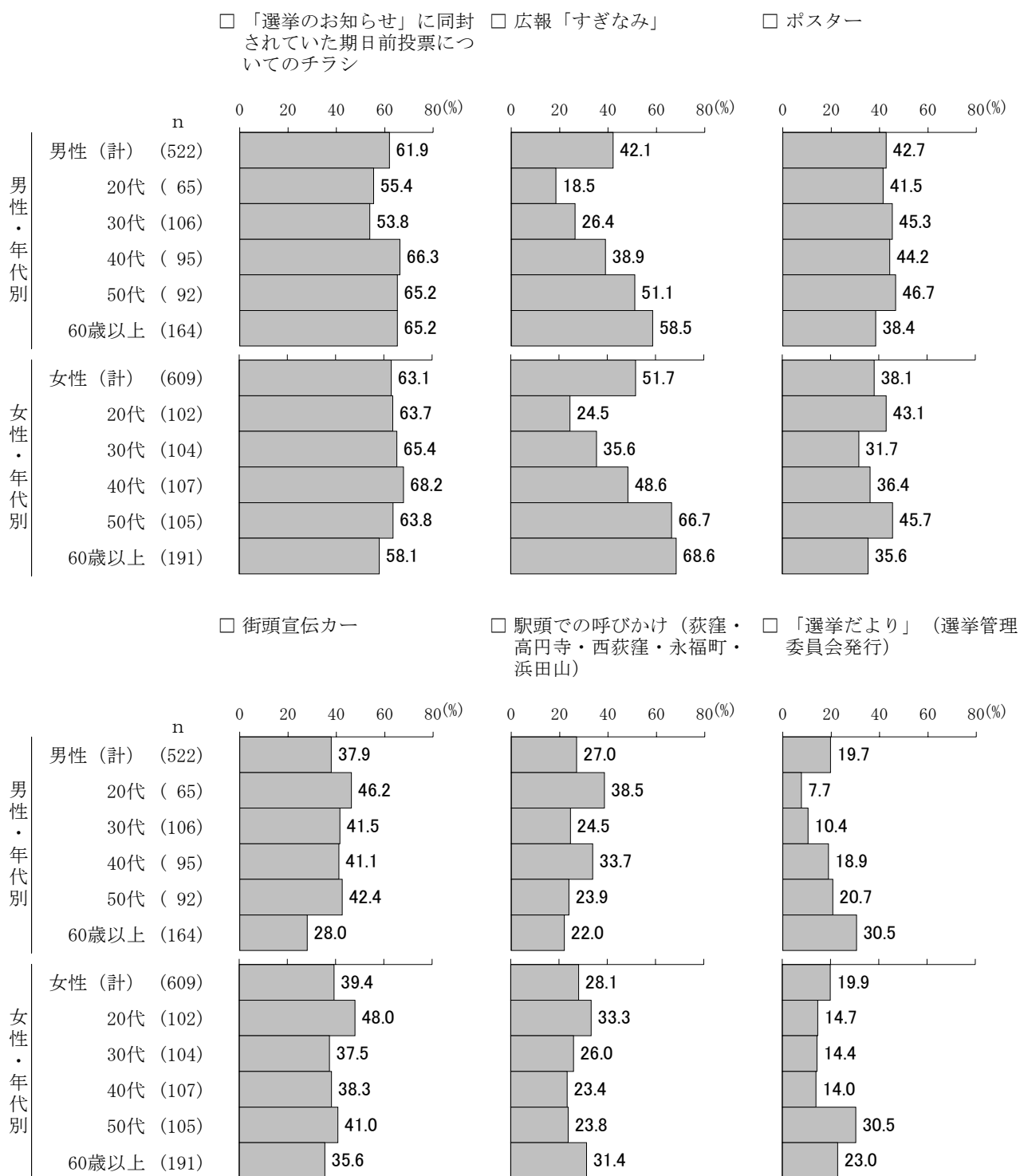


※モバイル版ホームページ：携帯電話版ホームページのこと。

選挙の投票日や選挙に関する情報を何かから知ったか聞いたところ、「『選挙のお知らせ』に同封されていた期日前投票についてのチラシ」(62.5%)が6割を超え最も高くなっている。次いで、「広報『すぎなみ』」(47.3%)が約5割、「ポスター」(40.2%)が4割となっている。このほか、「街頭宣伝カー」(38.7%)、「駅頭での呼びかけ(荻窪・高円寺・西荻窪・永福町・浜田山)」(27.6%)、「『選挙だより』(選挙管理委員会発行)」(19.8%)などと続く。(図表7-1-1)

性・年代別でみると、「『選挙のお知らせ』に同封されていた期日前投票についてのチラシ」は、男女ともにいずれの年代も過半数となっている。「広報『すぎなみ』」は、男女ともに年代が上がるほど増加しており、男性の60歳以上で約6割、女性の50歳以上で約7割である。また、「街頭宣伝カー」と「駅頭での呼びかけ（荻窪・高円寺・西荻窪・永福町・浜田山）」は男女ともに20代で高い傾向がみられ、「『選挙だより』（選挙管理委員会発行）」は男性の60歳以上と女性の50代で3割となっている。（図表7-1-2）

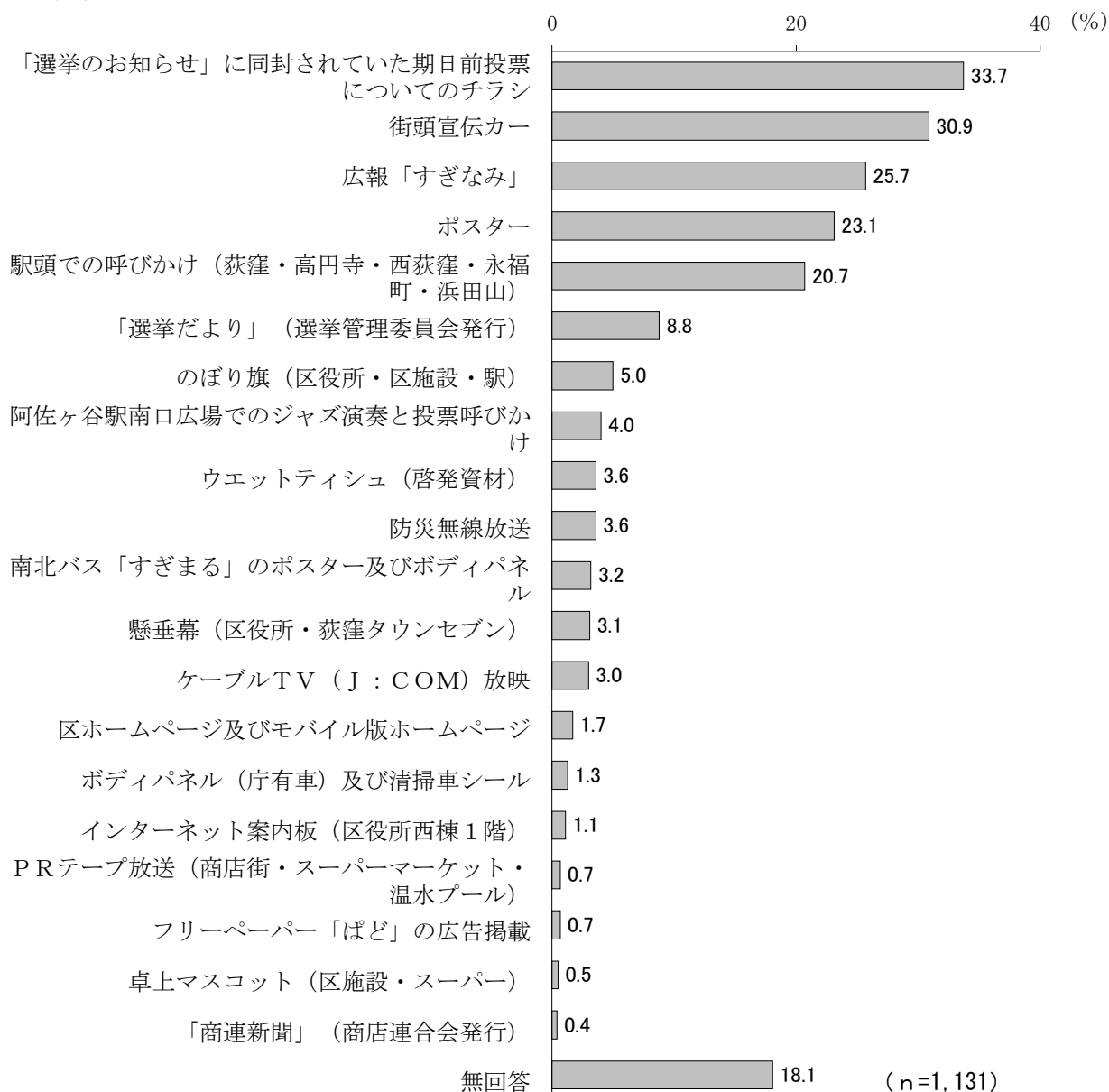
<図表7-1-2>情報入手手段／性・年代別（上位6項目）



◇ 『選挙のお知らせ』に同封されていた期日前投票についてのチラシ』が3割台半ばで最も高い

設問（２）あなたの印象に残っている啓発事業は何ですか。（いくつでも○）

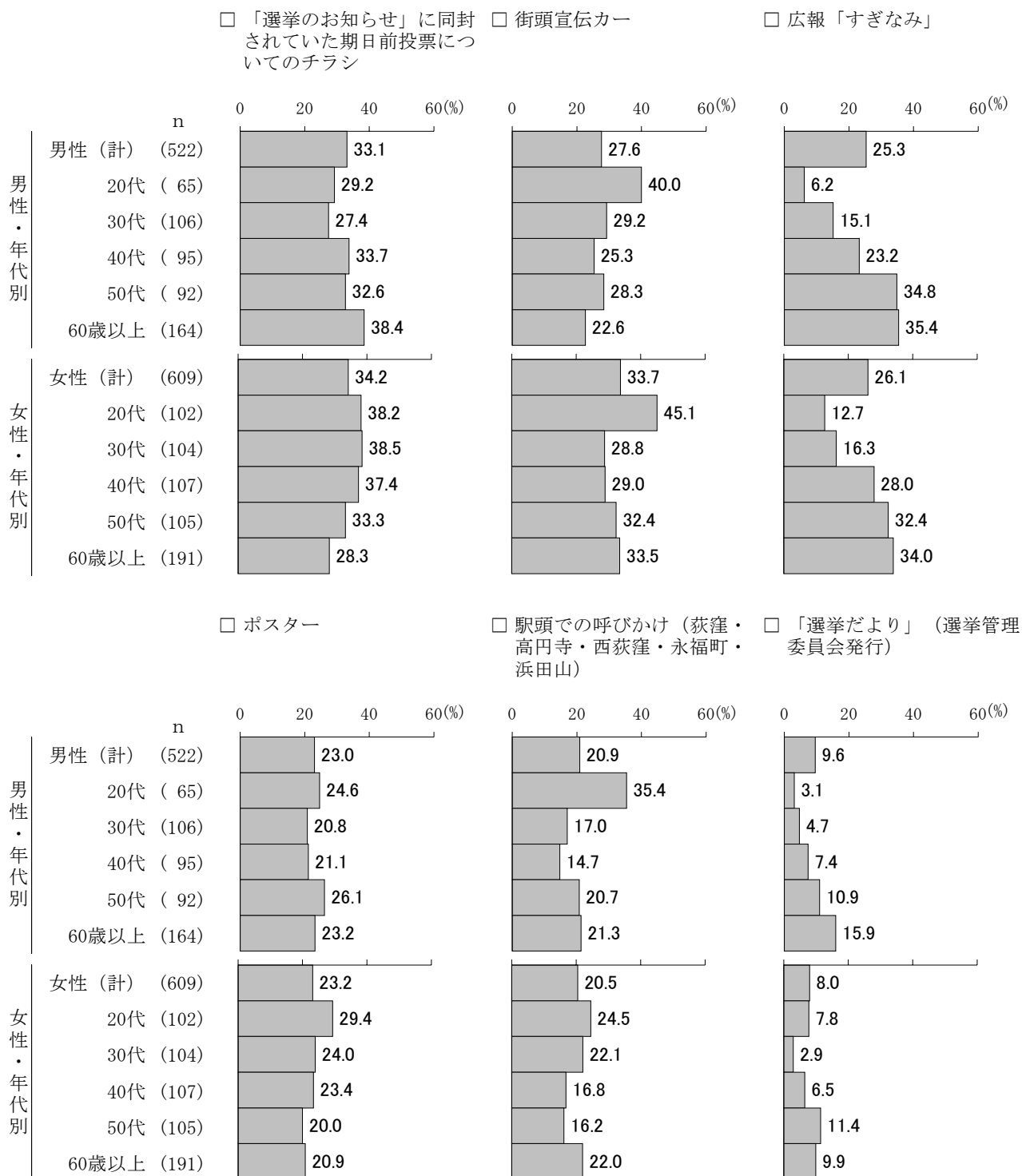
< 図表 7-1-3 >



印象に残っている啓発事業を聞いたところ、「『選挙のお知らせ』に同封されていた期日前投票についてのチラシ」（33.7%）が3割台半ばで最も高く、僅差で「街頭宣伝カー」（30.9%）が続く。以下、「広報『すぎなみ』（25.7%）、「ポスター」（23.1%）、「駅頭での呼びかけ（荻窪・高円寺・西荻窪・永福町・浜田山）」（20.7%）の順が続く。（図表 7-1-3）

性・年代別でみると、「『選挙のお知らせ』に同封されていた期日前投票についてのチラシ」は、男性の60歳以上、女性の20代～40代で約4割と比較的高い。「街頭宣伝カー」は男女ともに20代で高く、特に、女性は4割台半ばとなっている。「広報『すぎなみ』」は、男女ともに年代が上がるほど増加しており、50歳以上でおおむね3割台半ばとなっている。また、「駅頭での呼びかけ（荻窪・高円寺・西荻窪・永福町・浜田山）」は男性の20代で3割台半ばと目立つ。（図表7-1-4）

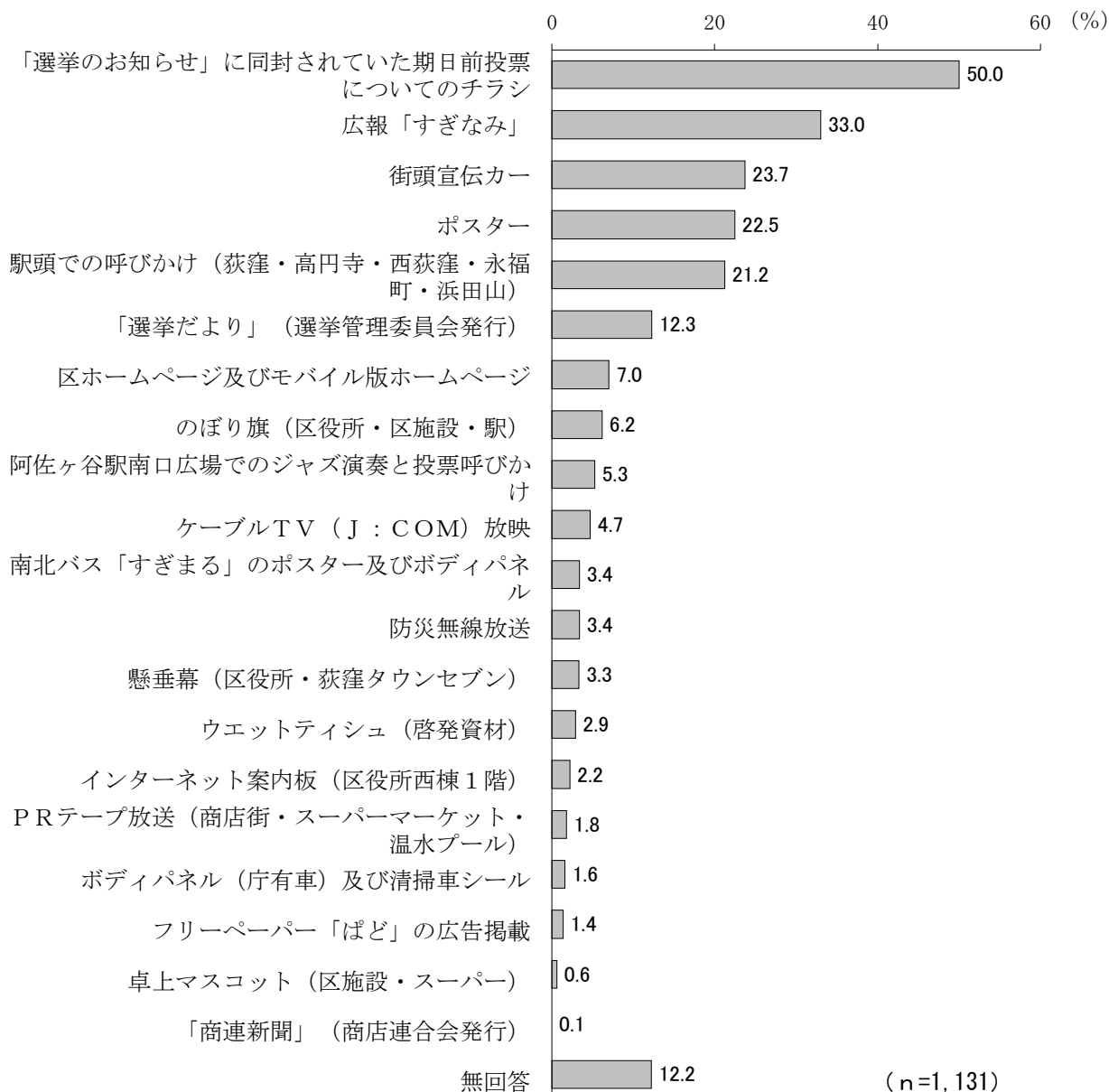
<図表7-1-4>印象に残っている啓発事業／性・年代別（上位6項目）



◇「『選挙のお知らせ』に同封されていた期日前投票についてのチラシ」が5割

設問（3）今後も実施したほうが良いと思う啓発事業は何ですか。（3つまで○）

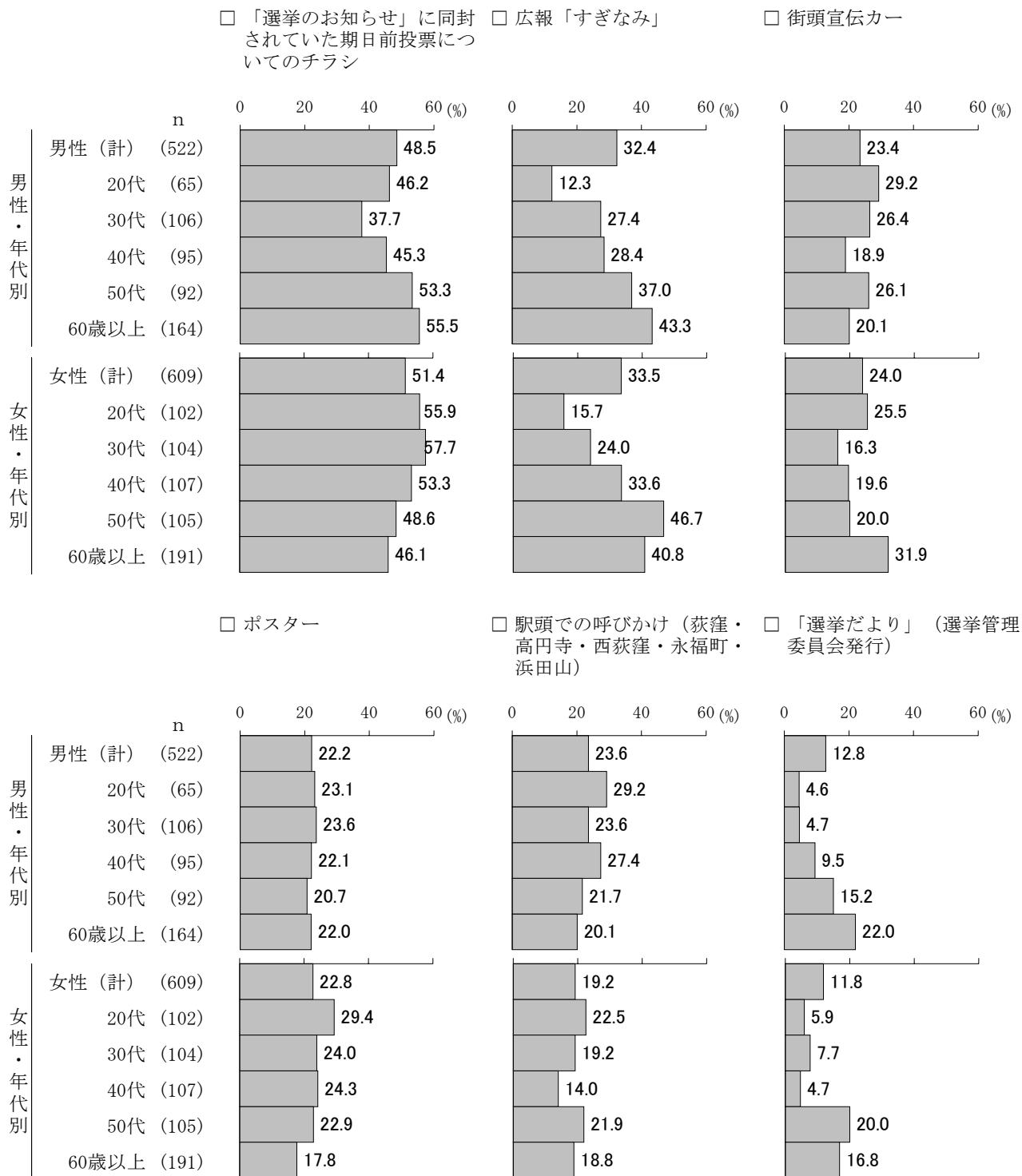
<図表7-1-5>



今後も実施したほうが良いと思う啓発事業を聞いたところ、「『選挙のお知らせ』に同封されていた期日前投票についてのチラシ」（50.0%）が5割と最も高くなっている。次いで、「広報『すぎなみ』（33.0%）、が3割台半ばである。以下、「街頭宣伝カー」（23.7%）、「ポスター」（22.5%）、「駅頭での呼びかけ（荻窪・高円寺・西荻窪・永福町・浜田山）」（21.2%）、「『選挙だより』（選挙管理委員会発行）」（12.3%）の順で続く。（図表7-1-5）

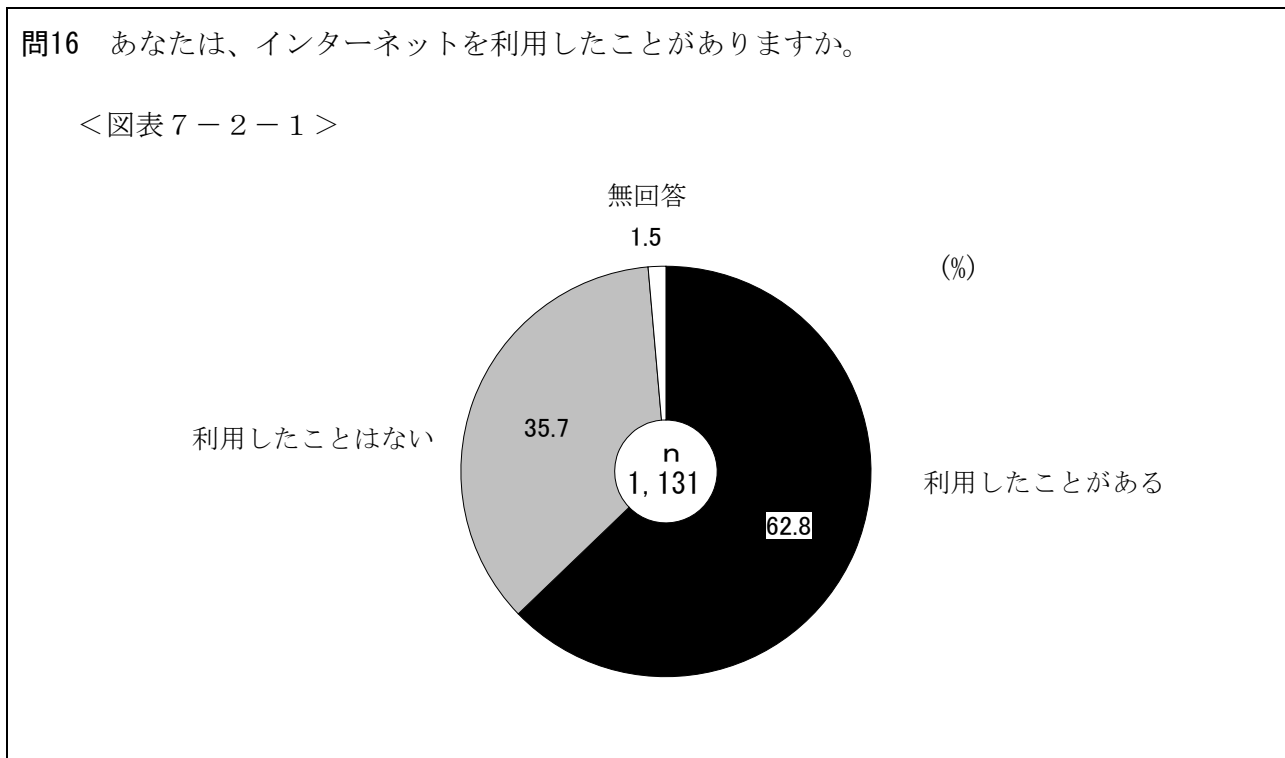
性・年代別でみると、「『選挙のお知らせ』に同封されていた期日前投票についてのチラシ」は、男性の50歳以上で5割台半ばである一方、女性では20代～30代で5割台半ばと高くなっている。また、「広報『すぎなみ』」は、男女ともにおおむね年代が上がるほど増加する傾向がみられ、特に、男性の60歳以上と女性の50代で4割台半ばとなっている。（図表7-1-6）

<図表7-1-6> 今後も実施したほうが良いと思う啓発事業／性・年代別（上位6項目）



(2) インターネット利用度

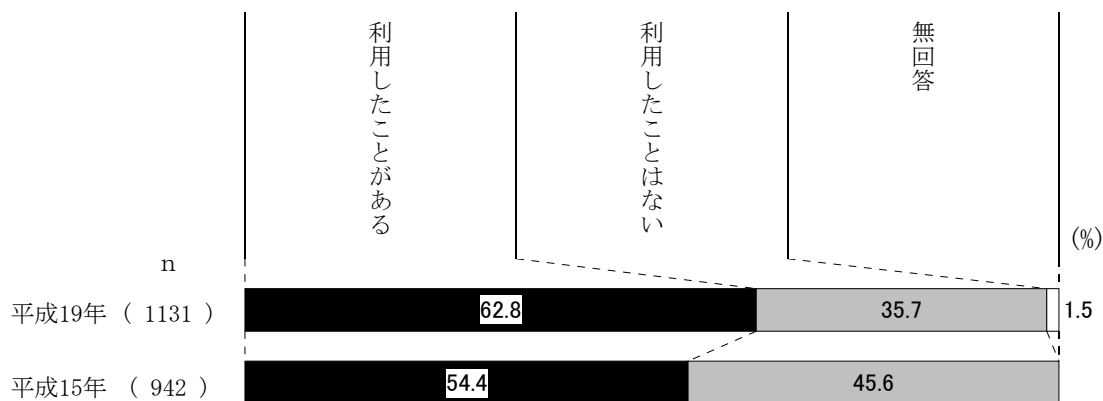
◇「利用したことがある」が6割を超える



選挙時には、区公式ホームページのトップページ「トピック」で「選挙特集」を表示しているが、区民にインターネットを利用したことがあるかを聞いたところ、「利用したことがある」(62.8%)が6割を超える。(図表7-2-1)

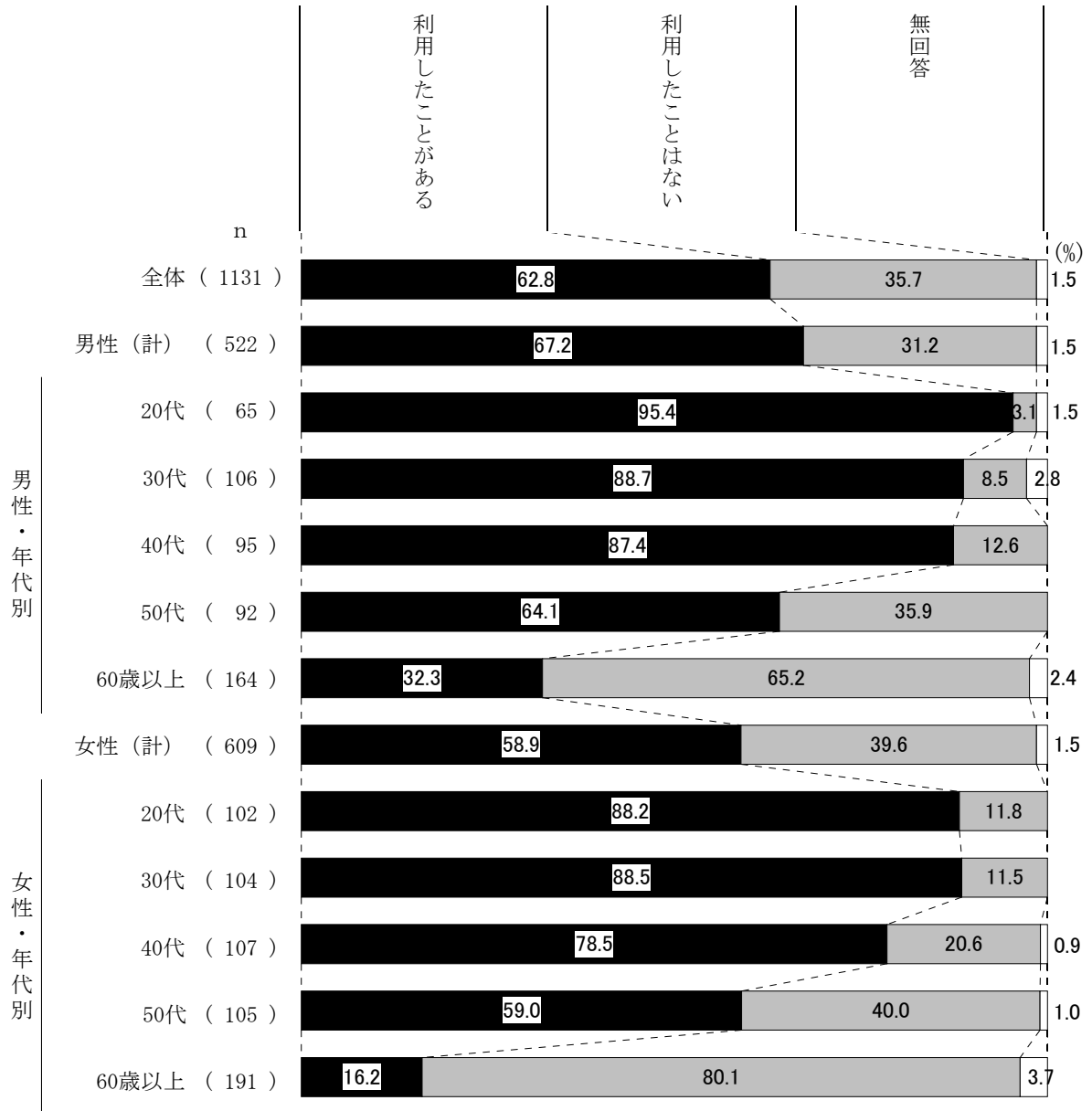
前回(平成15年)の調査結果と比較すると、「利用したことがある」が8ポイント増加している。(図表7-2-2)

<図表7-2-2>インターネット利用度/経年比較



性・年代別で見ると、「利用したことがある」は、男性では20代が9割台半ばと高く、女性では20代～30代が約9割で並び、男女ともに年代が上がるほど減少している。(図表7-2-3)

<図表7-2-3>インターネット利用度／性・年代別

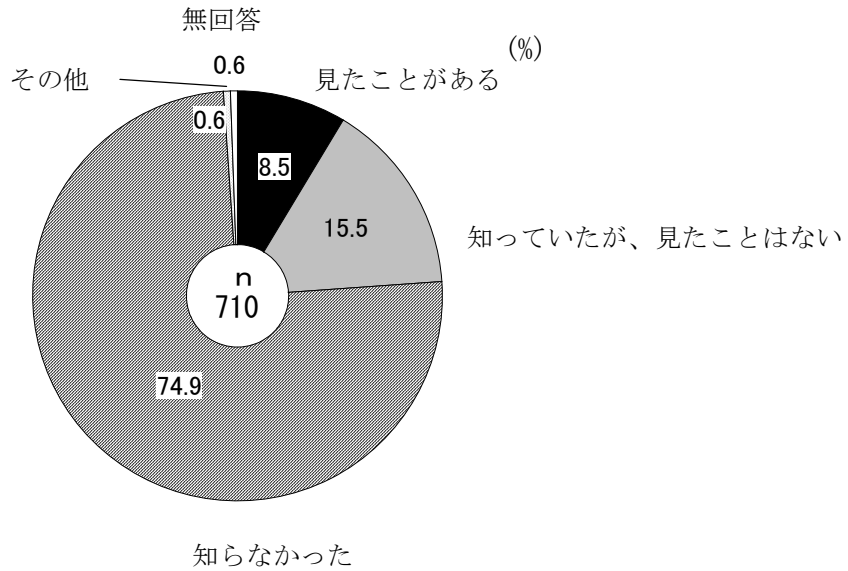


(3) 公式ホームページ及びモバイル版ホームページの「選挙特集」の閲覧度

◇「知らなかった」が7割台半ば

問16-1 杉並区公式ホームページとモバイル版ホームページに「選挙特集」を掲載しました。あなたは、見たことがありますか。(1つだけ○)

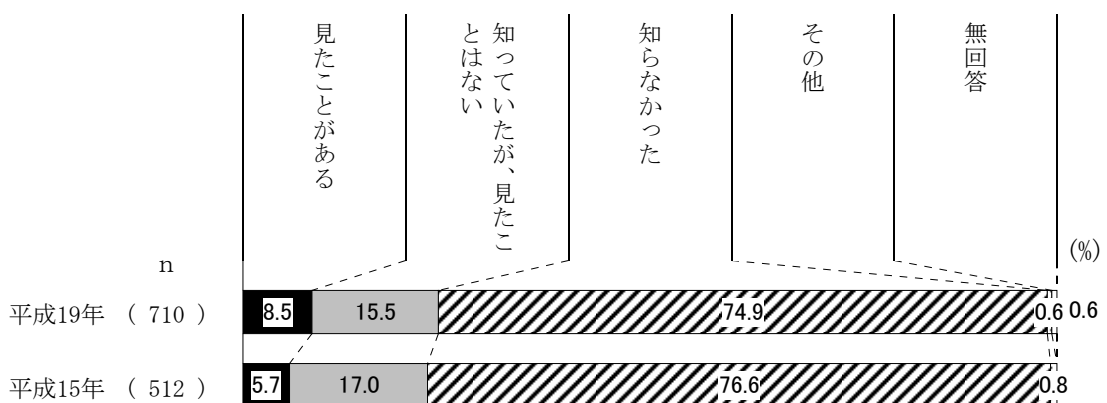
<図表7-3-1>



選挙時には、区公式ホームページのトップページ「トピック」で「選挙特集」を表示しているが、インターネットを利用したことがある人に、杉並区公式ホームページやモバイル版ホームページに掲載した「選挙特集」を見たことがあるか聞いたところ、「知らなかった」(74.9%)が7割台半ばと高くなっている。(図表7-3-1)

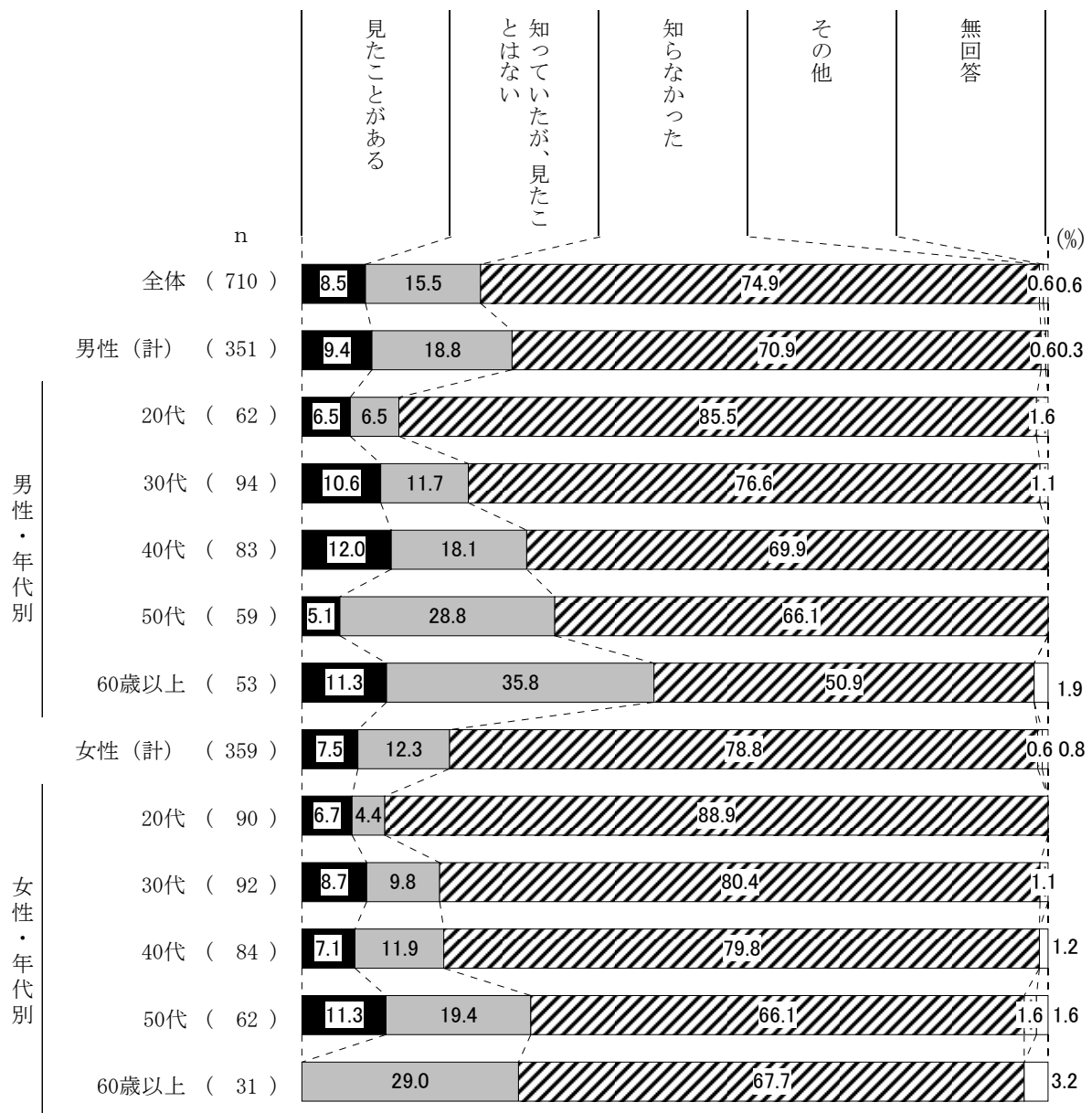
平成15年の調査結果と比較すると、わずかながら浸透してきている。(図表7-3-2)

<図表7-3-2>公式ホームページ及びモバイル版ホームページの「選挙特集」の閲覧度/経年比較



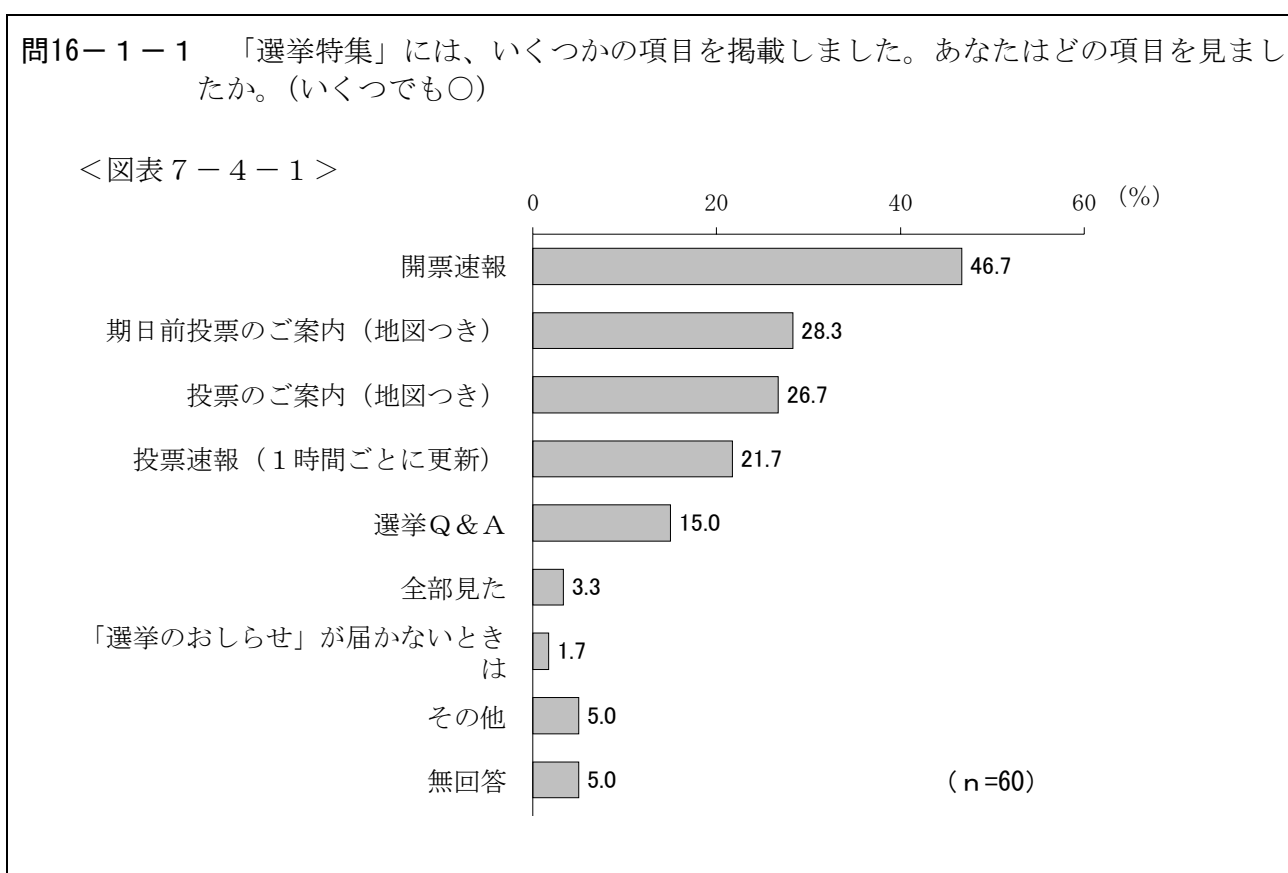
性・年代別で見ると、「知らなかった」はいずれの年代でも過半数となっているが、「知っていたが、見たことはない」は、男女ともに年代が上がるほど増加しており、特に、男性の60歳以上は3割台半ばとなっている。(図表7-3-3)

<図表7-3-3>公式ホームページ及びモバイル版ホームページの「選挙特集」の閲覧度／性・年代別



(4) 「選挙特集」の閲覧状況

◇ 「開票速報」が4割台半ばで最も高い



「選挙特集」を見たことがある人に、どの項目を見たか聞いたところ、「開票速報」(46.7%)が4割台半ばで最も高くなっている。次いで、「期日前投票のご案内」(28.3%)、「投票のご案内」(26.7%)、「投票速報」(21.7%)などと続く。なお、「全部見た」と答えた人は3.3%にとどまる。(図表7-4-1)

(5) 「選挙特集」に載せてほしい情報

問16-1-2 あなたは、ホームページの「選挙特集」にどのような情報を載せてほしいですか。

ホームページの「選挙特集」にどのような情報を載せてほしいかを自由に記入してもらったところ、各項目あわせて28件の回答を得た。

以下はそれを項目ごとにまとめたものである。回答の末尾に性別と年代を入れている。

※ 回答の中には公職選挙法上できないもの(ホームページへの選挙公報の掲載等)も含まれています。

1. 候補者のプロフィールや政策について

- 選挙法にひっかかるので難しいが、各候補者のプロフィール及びリンク集、manifestoを載せてほしい。[男性 40代]
- 候補者の政策・人柄・経歴などを載せる。[女性 30代]
- 立候補者の情報。[女性 30代]
- 候補者情報。[女性 50代]
- 候補者の実績、施策 e t c。[女性 30代]
- 候補者の情報。[男性 30代]
- 写真のない方、経歴の載っていない方がいましたが、全て調べて載せてほしい。[女性 40代]
- 候補者リストやそれぞれの政策などの情報。見ることで候補者を絞り、投票までできるページがリンクされていると、投票率が上がると思います。[女性 20代]
- 候補者の主張・政策。[男性 40代]
- 杉並だけの公約や、各議員の公約などを分かりやすく載せて欲しい。[男性 40代]
- manifestoを載せてほしい。[男性 20代]
- 候補者の名前。[男性 60歳以上]
- 立候補者の具体的な選挙公約。[女性 50代]
- 選挙公報の内容。[女性 20代]

2. 選挙に関する情報について

- 選挙制度をどの様に変えていくかを載せる。[男性 60歳以上]
- 選挙公報。新聞を取っていないのでweb上で読みたい。[女性 40代]
- 迅速な開票速報を知りたい。他の所は当日開票なのに不公平。今回は翌日開票で杉並が一番遅かったと噂で聞いた(人件費は他のところで考えて欲しいと思った)。[女性 30代]
- まず杉並区公式ホームページがあり、その中で選挙特集があることを徹底的に告知すべき。[女性 50代]
- 開票速報のリアルタイム化(特にマスコミで報道しない区長選など)。[男性 20代]

3. ホームページの仕組みや掲載方法等について

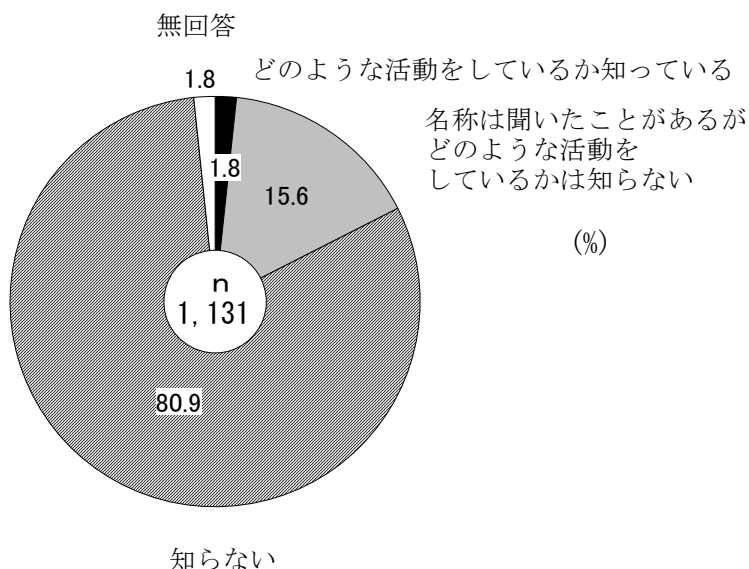
- 分かりやすく、そのページにたどり着きやすくする。[男性 40代]
- 現状のままで十分。[男性 20代]
- 各候補に同じ設問に回答してもらおう(多岐にわたる設問を5~10問程度)。[女性 40代]
- 若者が見ても、堅苦しく読みたくないと思わないような興味を示せる書き方をする。[女性 20代]
- 記憶が曖昧ですが、見たい情報にたどり着き難かった印象があります。[男性 30代]
- 見たい人が見るので、今と同じか必要と感じる方の声を取り入れてください。[女性 30代]
- 問16-1-1の選択肢にある「4 投票のご案内」、「5 『選挙のおしらせ』が届かないときは」、「6 期日前投票のご案内(地図つき)」のような事務的な情報を載せれば十分と思う。[男性 40代]
- PRをしてほしい。[男性 30代]
- 若者の生活に、区政がどのようにつながっているかを具体的に掲載する。[女性 30代]
- RSSによる情報発信を行う。[女性 30代]

(6) 「明るい選挙推進委員」の周知状況

◇ 「知らない」が8割

問17 杉並区には、明るく正しい選挙の実施、投票率の向上などをめざし、選挙啓発活動を行っている約120名の「明るい選挙推進委員」がいます。あなたは、この「明るい選挙推進委員」を知っていますか。(1つだけ○)

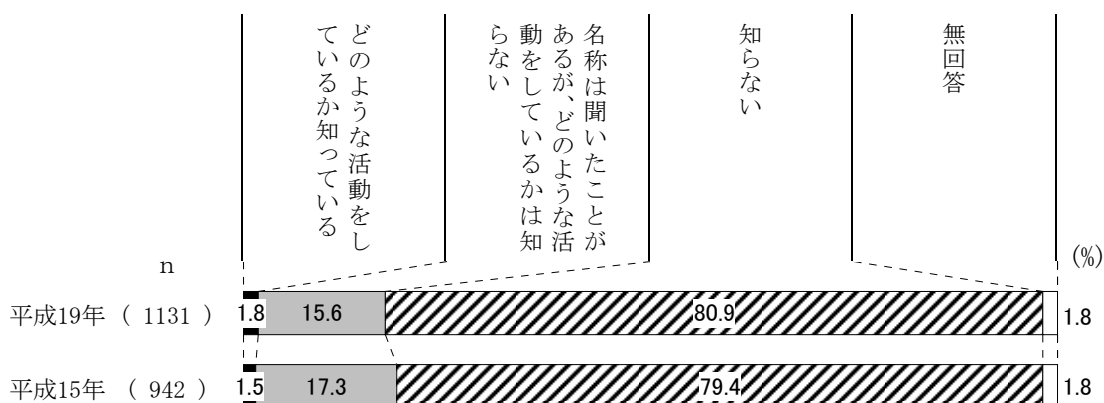
<図表7-5-1>



明るく正しい選挙の実施、投票率の向上などをめざし、選挙啓発活動を行っている約120名の「明るい選挙推進委員」を知っているかを聞いたところ、選挙の無い時期でも区公式ホームページで「明るい選挙推進委員」についてアピールしているが、「知らない」(80.9%)が8割と多数を占めている。一方、「どのような活動をしているか知っている」は1.8%にすぎない。(図表7-5-1)

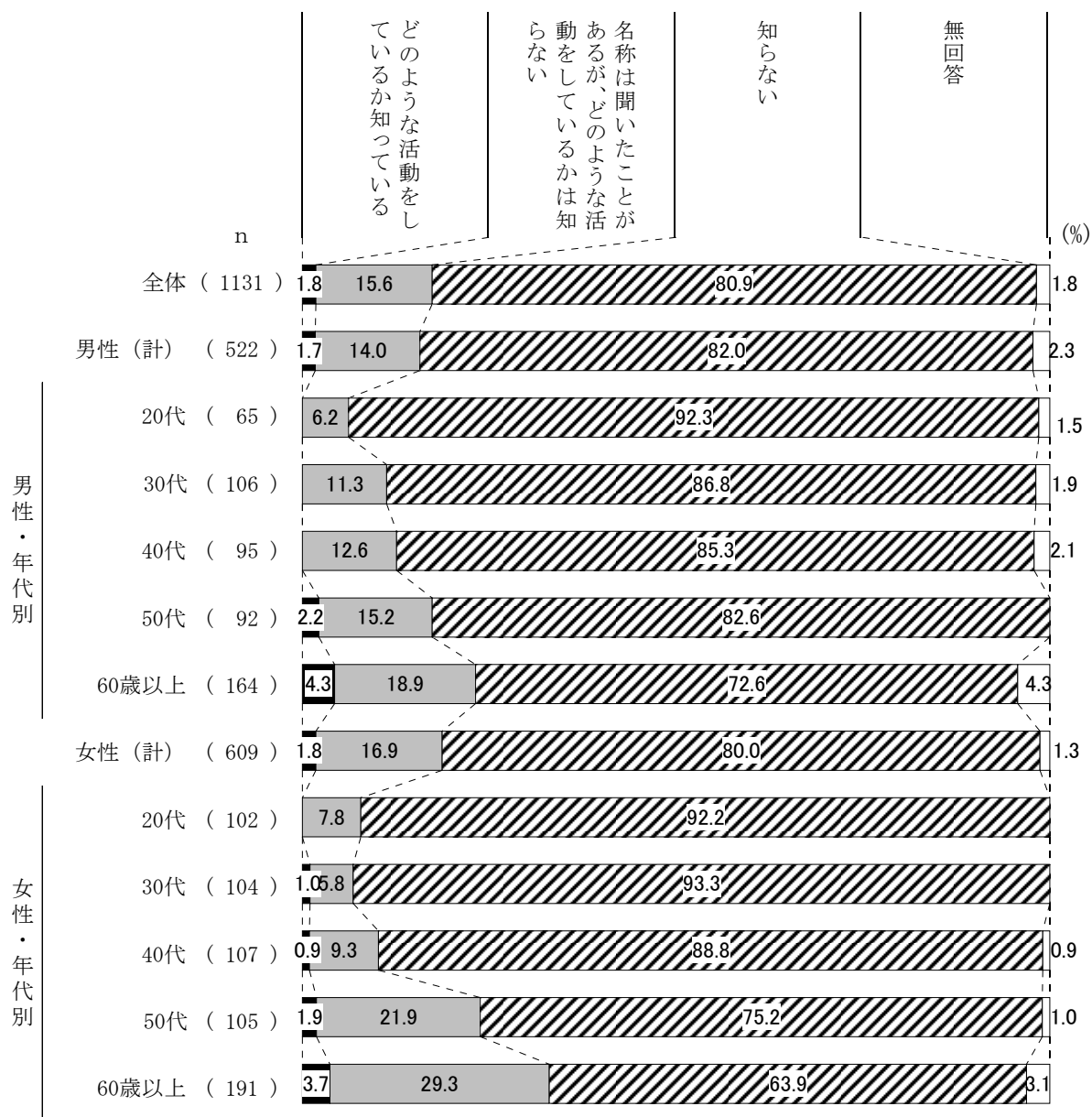
平成15年の調査結果と比較しても、特に大きな違いはみられない。(図表7-5-2)

<図表7-5-2> 「明るい選挙推進委員」の周知状況/経年比較



性・年代別でみると、「知らない」がいずれの年代でも過半数となっているが、「名称は聞いたことがあるがどのような活動をしているかは知らない」は、男女ともに年代が上がるほど増加しており、特に女性の60歳以上は約3割となっている。（図表7-5-3）

<図表7-5-3> 「明るい選挙推進委員」の周知状況／性・年代別



8. 開票について

-
- (1) 区議会議員選挙・区長選挙時の翌日開票について
 - (2) 翌日開票は経費削減になることの周知状況
 - (3) 経費と即日開票の関係
-

8. 開票について

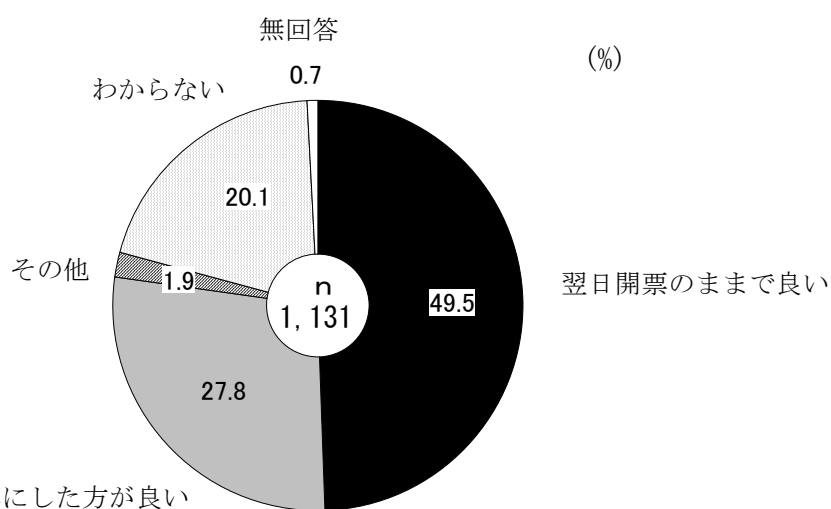
(1) 区議会議員選挙・区長選挙時の翌日開票について

◇「翌日開票のままで良い」が5割。一方、「即日開票にした方が良い」は約3割

問18 あなたは、杉並区議会議員選挙・区長選挙時の翌日開票についてどのように思われますか。

(1つだけ○)

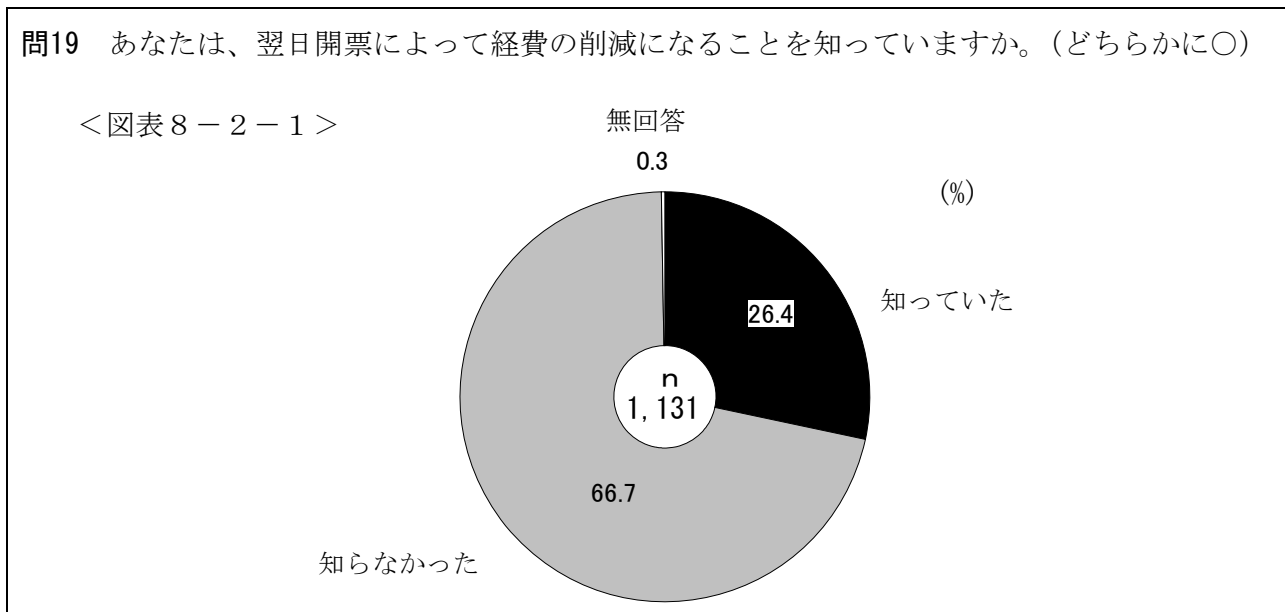
<図表8-1-1>



区議会議員選挙・区長選挙時における翌日開票についてどのように思うか聞いたところ、「翌日開票のままで良い」(49.5%)が約5割と高くなっている。一方、「即日開票にした方が良い」(27.8%)は約3割である。(図表8-1-1)

(2) 翌日開票は経費削減になることの周知状況

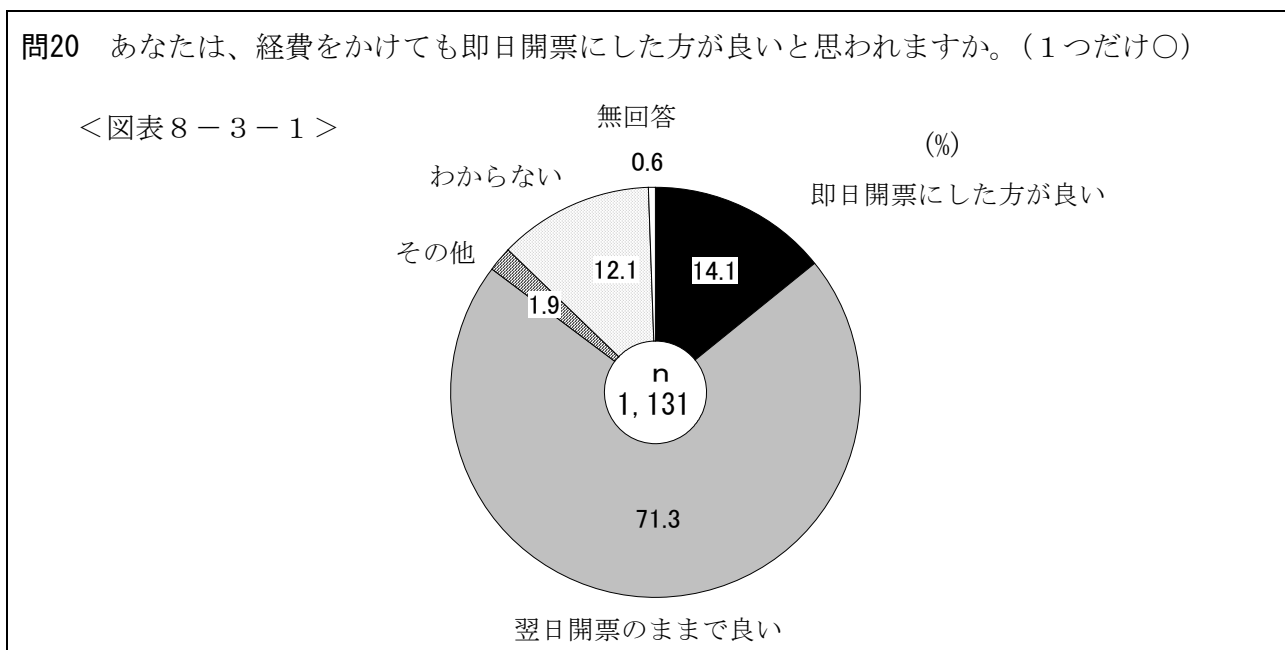
◇「知らなかった」が6割台半ば、「知っていた」が2割台半ば



翌日開票が経費削減になることについて知っていたかどうか聞いたところ、「知らなかった」(66.7%)が6割台半ばと高くなっている。一方、「知っていた」(26.4%)は2割台半ばである。(図表8-2-1)

(3) 経費と即日開票の関係

◇「翌日開票のままで良い」が7割を超える、「即日開票にした方が良い」が1割台半ば



即日開票は経費がかかることを踏まえた上で、即日開票にしたほうが良いかどうか聞いたところ、「翌日開票のままで良い」(71.3%)が7割を超える。(図表8-3-1)

9. 投票所のバリアフリーについて

-
- (1) 投票所のバリアフリーについて
 - (2) 投票所のバリアフリーに必要なこと
-

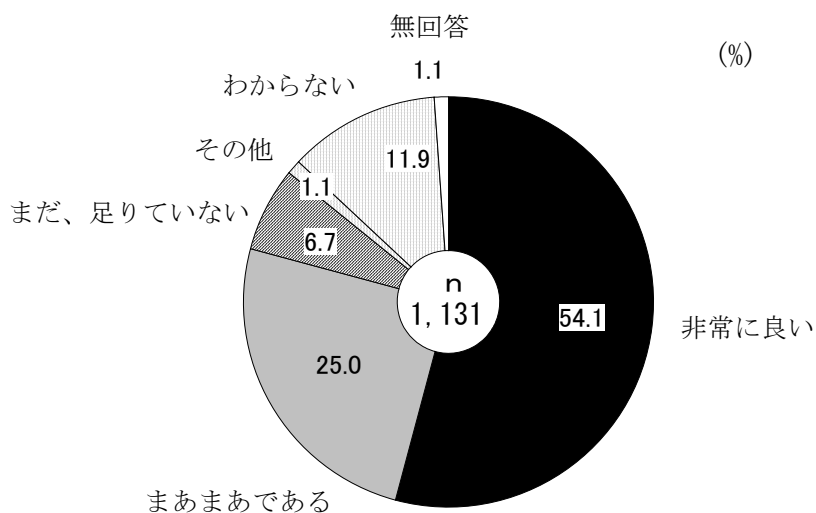
9. 投票所のバリアフリーについて

(1) 投票所のバリアフリーについて

◇「非常に良い」が5割台半ば

問21 杉並区では、投票所の段差などをなくすためスロープ等を設置し、※バリアフリーに努めてきました。このことについてどのように思いますか。(1つだけ○)

<図表9-1-1>

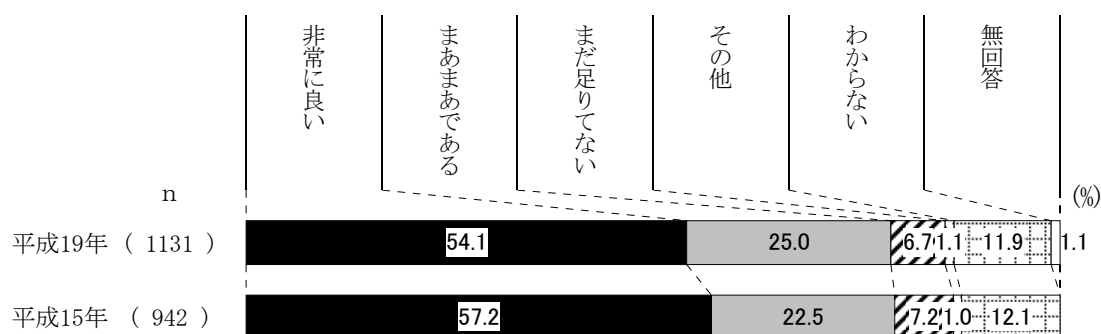


※バリアフリー：障害のある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去するという意味

投票所の段差などをなくすためスロープ等を設置し、バリアフリーに努めてきたことについて聞いたところ、「非常に良い」(54.1%)が5割台半ばと高くなっている。次いで、「まあまあである」(25.0%)が2割台半ばである。(図表9-1-1)

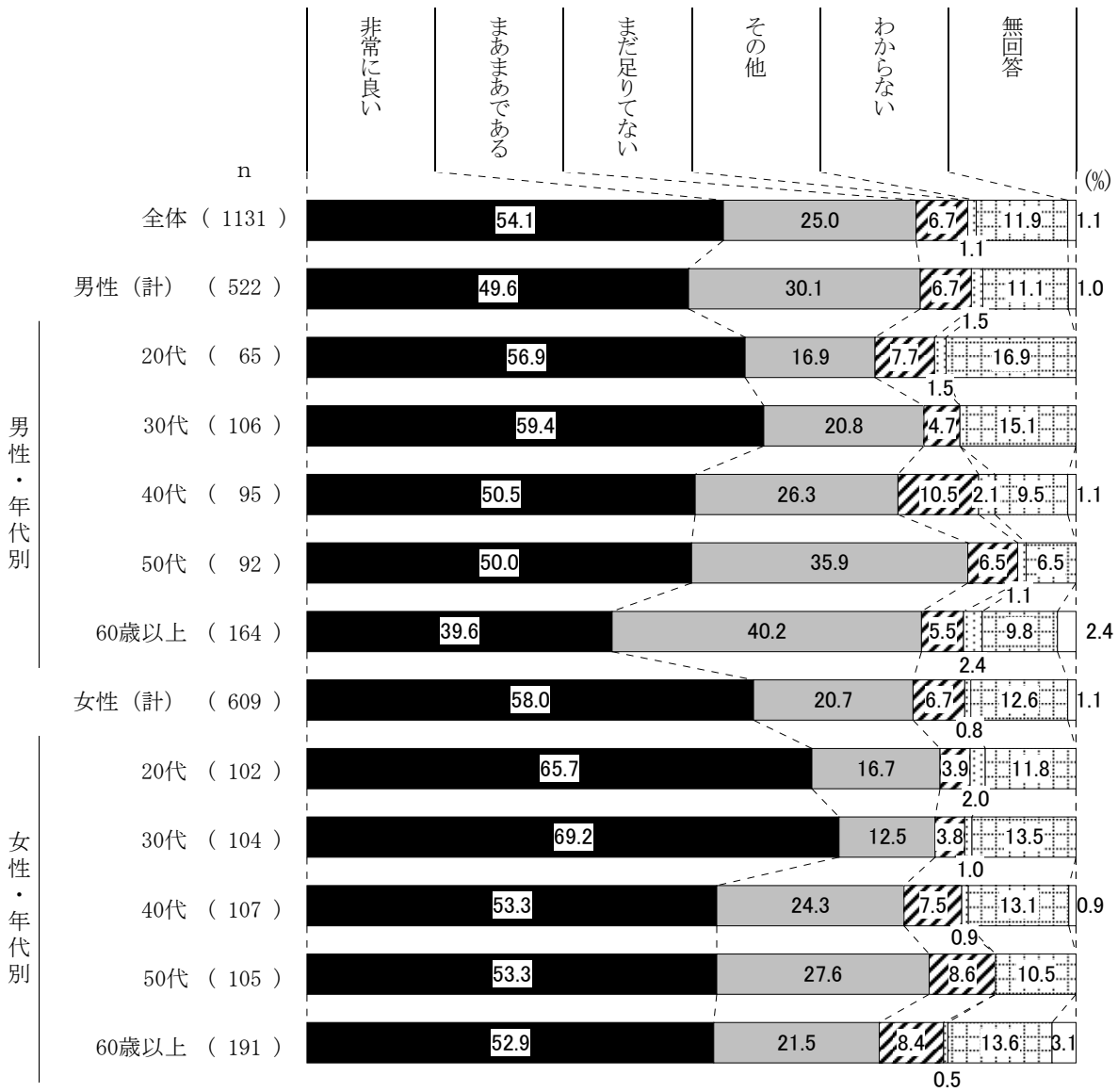
平成15年の調査結果と比較しても、特に大きな違いはみられない。(図表9-1-2)

<図表9-1-2>投票所のバリアフリーについて／経年比較



性・年代別でみると、「非常に良い」は、女性の20代で6割台半ば、30代で約7割と高くなっている。「まあまあである」は、男性で年代が上がるほど増加する傾向がみられ、60歳以上で4割となる。(図表9-1-3)

<図表9-1-3>投票所のバリアフリーについて／性・年代別



(2) 投票所のバリアフリーに必要なこと

問22 あなたは、投票所のバリアフリーには何が重要だと思いますか。

投票所のバリアフリーには何が重要かを自由に記入してもらったところ、各意見あわせて577件の回答を得た。なお、一人で複数の意見を記入している場合は、それぞれ1件として数えている。

以下はそれらをまとめ、件数の多い順に並べ替えたものである。

意見の内容	件数
・介添人や誘導スタッフ、専門知識を持ったスタッフ等の充実	101
・(安全な) スロープ設置	52
・手すり設置	50
・段差解消	31
・車いすでも投票しやすい、低い記帳台や投票箱を用意する	27
・自宅で投票できるようにする(郵送、インターネット、携帯電話等)	24
・当事者の意見聴取などで要望を把握し、当事者の身になって考える	24
・一般的なバリアフリー、バリアフリー全般	24
・心のバリアフリー(思いやり、気づかい、協力等)	20
・駐車場の整備・確保	16
・現状のままでよい	15
・広いスペースの確保	15
・スロープの角度を緩やかにする	14
・投票所内、通路、グラウンドの整備	11
・投票所の数を増やしたり行きやすい場所に変え、どこでも投票できるようにする	11
・床を整備し、滑らない、つまづかないようにする	10
・筆記が困難な方への配慮、筆記方式の改正	10
・入り口から受付までの距離を短くする	10
・投票所に行くまでの道のりも、バリアフリーにする	9
・案内などに点字を用いる	9
・視覚障害を持つ方への配慮	8
・トイレの整備	8
・送迎	7
・聴覚障害を持つ方への配慮(手話の導入)	6
・椅子、荷物台、車椅子の用意	6
・音声ガイダンスの導入	5
・悪天候の場合の対策	5
・案内板の設置やわかりやすい案内をする	4
・本当に役立つ(役立った)かを確認する	4
・プライバシーを保護する	4
・文字を大きしたり、色分けして表示する	3
・バリアフリーな建物を投票所に使用する	3
・エレベーターの設置	3
・期日前投票できるようにする	3
・バリアフリーに配慮していることや必要性をもっとアピールした方がよい	2
・休憩所の設置や子供の預け場所の設置	2
・照明を用意する	2
・その他	19

Ⅲ 相 関 表

(回答選択肢の表現は、簡略化したものを用いている。)

IV 調 査 票

統一地方選挙に関する世論調査

2007年12月
杉並区選挙管理委員会

杉並区選挙管理委員会では、明るい選挙の実現と投票率向上のため努力を重ねております。今後、明るい選挙と有権者の投票参加を推進し、また、選挙の執行管理の参考資料とするために、このたび区民の皆様のご意見・ご意向をお聞きすることになりました。

今年度の実施に当り、全区民の方々を対象に、選挙人名簿から偏ることのないよう統計的な方法で無作為に選ばせていただきましたところ、あなた様にご意見をお伺いすることになりました。ご協力の程お願い申し上げます。

今回の調査は、調査専門機関の「株式会社 サーベイリサーチセンター」に委託して実施し、調査結果はすべて統計的に処理いたします。皆様のご意見やお名前などを本調査以外に使用することや、その内容が外部に流出することは決してありませんのでご安心ください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力の程重ねてお願い申し上げます。

ご記入に際してのお願い

- アンケートのご回答は、必ずご本人が行ってください。
- ご回答は、次の要領で行ってください。
 - 各項目について、お気軽に感じたままをお答えください。
 - 回答項目のうち、あてはまると思われるものの番号に○をつけてください。
 - ○の数は、(1つだけ○)(3つまで○)といった()内の指示に合わせてつけてください。
 - 内や「その他」の()内には、ご意見を具体的にお書きください。
- 質問内容など不明な点がございましたら、下記の調査実施機関までご連絡ください。

調査主体 杉並区選挙管理委員会事務局
東京都杉並区阿佐谷南1-15-1
TEL 03-3312-2111 (代)

調査実施機関 株式会社サーベイリサーチセンター
〒116-8581 荒川区西日暮里2-40-10
TEL 0120-396-740 (フリーダイヤル)
(受付時間/平日9:00~17:00)

■【投票率の評価】

今年4月に行われた杉並区議会議員・杉並区長選挙及び東京都知事選挙の投票率についてうかがいます。今回の杉並区における各選挙の投票率は以下のとおりでした。

選挙名	投票率 (今回)	H11年 (前回)	H7年 (前々回)
杉並区議会議員選挙	42.10%	39.82%	42.87%
杉並区長選挙	42.10%	39.81%	42.85%
東京都知事選挙	54.28%	44.69%	57.40%

問1 あなたは、この投票率の結果を見て、区民の関心の程度をどのように思いますか。(ア)と(イ)の項目について、それぞれ1つずつ選んでください。(n=1,131)

項目	関心度						
	高いほうである	まあまあである	低いほうである	区民の関心と投票率とは関係ない	区民の関心と投票率とは関係ない	わからない	
(ア) 杉並区議会議員・杉並区長選挙	3.8% (43)	33.4% (378)	51.7% (585)	4.9% (55)	5.5% (62)	0.7% (8)	
(イ) 東京都知事選挙	11.6% (131)	47.7% (540)	31.1% (352)	3.8% (43)	4.6% (52)	1.1% (13)	

問2 今回の選挙では、前回(平成11年)と比較して投票率が下降しましたが、あなたは、投票率が下がったのはどのような原因があると思われますか。以下の3つの設問についてそれぞれお答えください。

設問(1) 杉並区議会議員選挙の投票率が上がった原因。(いくつでも○)

設問(2) 杉並区長選挙の投票率が上がった原因。(いくつでも○)

設問(3) 東京都知事選挙の投票率が上がった原因。(いくつでも○)

(n=1,131)

項目	設問		
	設問(1) 杉並区議会議員選挙 (いくつでも○)	設問(2) 杉並区長選挙 (いくつでも○)	設問(3) 東京都知事選挙 (いくつでも○)
(ア) 投票することで区政(都政)を変えようとする人が多くなったから	31.7% (358)	31.5% (356)	38.2% (432)
(イ) 区政(都政)に対して関心や興味を持つ人が増えたから	39.6% (448)	43.3% (490)	46.0% (520)
(ウ) 魅力ある候補者が多かったから	3.7% (42)	4.7% (53)	22.0% (249)
(エ) 投票場所や投票時間など、投票しやすい環境が整ってきたから	28.1% (318)	27.0% (305)	23.9% (270)
(オ) マスコミが取り上げたから	6.8% (77)	5.7% (65)	46.6% (527)
(カ) 投票しやすい天気(気候)だったから	21.5% (243)	19.7% (223)	18.1% (205)

設 問 項 目	設問 (1)	設問 (2)	設問 (3)
	杉並区議会 議員選挙 (ぐんぴょう) (〇)	杉並区長選挙 (ぐんちやう) (〇)	東京都知事選挙 (ぐんとう) (〇)
(キ) その他	5.3% (60)	5.7% (65)	3.4% (39)
(ク) わからない	20.1% (227)	19.0% (215)	7.6% (86)
無回答	2.7% (31)	2.8% (32)	2.2% (25)

■【有権者の投票行動】

問3 杉並区議会議員・杉並区長選挙についてうかがいます。あなたは、それぞれの選挙に投票しましたか。(1つだけ〇) (n=1,131)

1 両方の選挙で投票した	59.2% (670)
2 杉並区議会議員選挙のみ投票した	1.4% (16)
3 杉並区長選挙のみ投票した	1.6% (18)
4 どちらの選挙も投票しなかった	29.8% (337)
5 忘れた、答えたくない	5.4% (61)
6 無回答	2.6% (29)

(問3で「1」「2」「3」のいずれかをお答えの方に)

問3-1 あなたが投票した主な理由は何ですか。(1つだけ〇)

(n= 704)

1 区政に関心があるから	21.6% (152)
2 支持する政党・団体の候補者だから	6.1% (43)
3 当選させたい候補者がいたから	11.5% (81)
4 投票することは国民の権利だと思うから	25.6% (180)
5 投票することは国民の義務だと思うから	29.4% (207)
6 知人や団体・組織の推薦があったから	1.6% (11)
7 その他	2.4% (17)
8 わからない、なんとなく	1.0% (7)
9 無回答	0.9% (6)

(問3で「1」「2」「3」のいずれかをお答えの方に)

問3-2 あなたが、その候補者に投票した主な理由は何ですか。(1つだけ○) (n=704)

1	支持する政党・団体の候補者だから	17.3% (122)
2	候補者の政策や主張に賛同したから	27.3% (192)
3	人柄や経歴などから最適な人だと思ったから	18.3% (129)
4	自分の仕事や職業上の利益を代表してくれる人だと思ったから	1.1% (8)
5	日常の暮らしを守ってくれる人だと思ったから	14.9% (105)
6	知人や団体・組織の推薦があったから	3.8% (27)
7	その他	3.7% (26)
8	特に理由はない	4.4% (31)
9	無回答	9.1% (64)

(問3で「1」「2」「3」のいずれかをお答えの方に)

問3-3 あなたが、候補者を決めるのに役立ったものは何ですか。(いくつでも○) (n=704)

1	選挙公報	48.0% (338)
2	候補者のポスター	28.3% (199)
3	候補者の新聞広告	17.8% (125)
4	候補者等のハガキ	2.8% (20)
5	候補者等の街頭演説	16.6% (117)
6	候補者の宣伝カー	4.3% (30)
7	候補者等の個人演説会	5.3% (37)
8	電話による投票依頼	0.6% (4)
9	マスコミ(テレビ・新聞)の選挙報道	21.4% (151)
10	新聞・雑誌の選挙報道	18.8% (132)
11	知人・友人からの勧め	8.0% (56)
12	仕事関係の団体(同業組合・商店会など)の推薦	4.3% (30)
13	地域団体(町内会・自治会・婦人会など)の推薦	1.8% (13)
14	その他の団体の推薦	2.8% (20)
15	家族との話し合い	9.9% (70)
16	選挙運動用ビラ(区長のみ)	4.8% (34)
17	その他	3.8% (27)
18	役に立ったものはない	3.1% (22)
19	無回答	8.5% (60)

(問3で「4 どちらの選挙も投票しなかった」とお答えの方に)

問3-4 あなたが、投票しなかった主な理由は何ですか。(1つだけ○)

(n=337)

1 区政に関心がないから	9.8% (33)
2 候補者や政策や人物がよくわからなかったから	20.5% (693)
3 適当な候補者がいなかったから	7.7% (26)
4 選挙によって政治や暮らしが良くなるとは思わないから	7.7% (26)
5 自分ひとりが投票しなくても影響ないから	3.3% (11)
6 誰に投票しても同じだから	3.9% (13)
7 仕事などで忙しく、投票する時間がなかったから	26.1% (88)
8 選挙より重要な予定があったから	4.2% (14)
9 投票所が遠かった(不便だった、わからなかった)	0.6% (2)
10 病気、体が不自由なため	6.5% (22)
11 その他	3.6% (12)
12 選挙があることを知らなかった	1.5% (5)
12 選挙があることを忘れていた	2.4% (8)
13 無回答	2.4% (8)

問4 あなたは、東京都知事選挙で投票しましたか。(1つだけ○)

(n=1,131)

1 投票した	69.3% (784)
2 投票しなかった	24.8% (280)
3 忘れた、答えたくない	2.6% (29)
4 無回答	3.4% (38)

(問4で「1 投票した」とお答えの方に)

問4-1 あなたが投票したのは、どのような理由からですか。(1つだけ○)

(n=784)

1 都政に関心があるから	35.5% (278)
2 支持する政党・団体の候補者だから	3.2% (25)
3 当選させたい候補者がいたから	17.0% (133)
4 投票することは国民の権利だと思うから	17.0% (133)
5 投票することは国民の義務だと思うから	22.8% (179)
6 知人や団体・組織の推薦があったから	0.65% (5)
7 その他	1.8% (14)
8 わからない、なんとなく	0.8% (6)
9 無回答	1.4% (11)

(問4で「1 投票した」とお答えの方に)

問4-2 あなたが、その候補者に投票した主な理由は何ですか。(1つだけ○) (n=784)

1 支持する政党・団体の候補者だから	6.0% (47)
2 候補者の政策や主張に賛同したから	42.3% (332)
3 人柄や経歴などから最適な人だと思ったから	24.92% (195)
4 自分の仕事や職業上の利益を代表してくれる人だと思ったから	1.5% (12)
5 日常の暮らしを守ってくれる人だと思ったから	11.4% (89)
6 知人や団体・組織の推薦があったから	1.0% (8)
7 その他	5.7% (45)
8 特に理由はない	3.7% (29)
9 無回答	3.4% (27)

(問4で「1 投票した」とお答えの方に)

問4-3 あなたが、候補者を決めるのに役に立ったものを、次の中から選んでください。(いくつでも○) (n=784)

1 選挙公報	45.0% (353)
2 候補者のポスター	20.7% (162)
3 候補者の新聞広告	16.1% (126)
4 候補者等のハガキ	0.6% (5)
5 候補者等の街頭演説	14.4% (113)
6 選挙運動用ビラ	3.6% (28)
7 テレビ・ラジオの政見放送	31.9% (250)
8 候補者の宣伝カー	3.6% (28)
9 候補者等の個人演説会	5.0% (39)
10 電話による投票依頼	0.5% (4)
11 マスコミ (テレビ・新聞) の選挙報道	45.4% (356)
12 新聞・雑誌の選挙報道	32.3% (253)
13 知人・友人からの勧め	2.3% (18)
14 仕事関係の団体 (同業組合・商店会など) の推薦	2.0% (16)
15 地域団体 (町内会・自治会・婦人会など) の推薦	1.0% (8)
16 その他の団体の推薦	1.1% (9)
17 家族との話し合い	8.0% (63)
18 その他	3.6% (28)
19 役に立ったものはない	3.1% (24)
20 無回答	0.9% (7)

(問4で「2 投票しなかった」とお答えの方に)

問4-4 あなたが、投票しなかったのは、どのような理由からですか。(1つだけ○) (n=280)

1 都政に関心がないから	6.8% (19)
2 候補者や政策、人物がよくわからなかったから	6.1% (17)
3 適当な候補者がいなかったから	13.6% (38)
4 選挙によって政治や暮らしが良くなるとは思わないから	7.5% (21)
5 自分ひとりが投票しなくても影響ないから	7.5% (21)
6 誰に投票しても同じだから	4.3% (12)
7 仕事などで忙しく、投票する時間がなかったから	30.0% (84)
8 選挙より重要な予定があったから	6.4% (18)
9 投票所が遠かった(不便だった、わからなかった)	1.4% (4)
10 病気、体が不自由なため	7.1% (20)
11 その他	5.7% (16)
12 選挙があることを知らなかった	1.1% (3)
13 選挙があることを忘れていた	2.1% (6)
14 無回答	0.4% (1)

■【有権者の関心】

問5 次にあげる選挙について、あなたの関心が高い順番に番号(1~6)を、記入してください。

(n=1,131)

1 衆議院議員選挙	89.0% (1007)
2 参議院議員選挙	88.1% (996)
3 東京都議会議員選挙	85.1% (963)
4 杉並区議会議員選挙	84.7% (958)
5 杉並区長選挙	86.4% (977)
6 東京都知事選挙	88.8% (1004)
7 いずれも関心がない	7.5% (85)
8 無回答	2.0% (23)

1位	2位	3位	4位	5位	6位

問6 あなたはふだん政治の動きについて、どの程度関心がありますか。(1つだけ○)

(n=1,131)

1 非常に関心がある	15.5% (175)
2 ある程度関心がある	62.8% (710)
3 あまり関心がない	17.5% (198)
4 まったく関心がない	2.7% (31)
5 無回答	1.5% (17)

問7 あなたが現在関心を持っていることは何ですか。(3つまで○)

(n=1,131)

1 政治	25.1%(284)
2 経済	38.3%(433)
3 福祉	31.7%(359)
4 医療	37.0%(418)
5 環境	28.0%(317)
6 教育	21.7%(245)
7 国際問題	11.7%(132)
8 生活・暮らし	48.7%(551)
9 地域	5.7%(64)
10 ボランティア	2.7%(30)
11 科学・技術	4.4%(50)
12 IT (情報技術)	5.0%(57)
13 防災・防犯	12.6%(142)
14 その他	1.5%(17)
15 特にない	2.3%(26)
16 無回答	0.8%(9)

■【地方政治・地域への関心】

問8 あなたは区政及び都政についてどの程度関心を持っていますか。(ア)と(イ)の項目について、それぞれ選んでください。(1つずつ○)

(n=1,131)

項目 \ 関心度	非常に 関心が ある	ある 程度 関心 がある	あまり 関心 がない	関心 が ない	無 回 答
(ア) 区政	11.0% (124)	59.0% (667)	24.7% (279)	4.7% (53)	0.7% (8)
(イ) 都政	12.9% (146)	61.7% (698)	20.8% (235)	3.7% (42)	0.9% (10)

問9 区議会議員・区長選挙は、国政選挙と比較して、投票率が低い傾向にあります。この原因として考えられることを次の中から選んでください。(2つまで○) (n=1,131)

1 国政選挙と比較してマスコミの報道が少ないから	31.7% (359)
2 国政選挙と比較して選挙の争点が明確でないから	33.7% (381)
3 候補者の政策・人物についての情報が少ないから	46.2% (523)
4 東京の住民は移動が激しく、地域に定着していないから	12.5% (141)
5 東京の住民はサラリーマンの世帯が多いので、地域とのつながりがもてないから	15.4% (174)
6 区政は、自分の生活とあまり関係がないと思う人が多いから	18.5% (209)
7 その他	4.8% (54)
8 わからない	8.0% (91)
9 無回答	1.1% (12)

問10 地域活動への参加についてお答えください。

あなたは、下記のような地域での行事や活動に参加していますか。(1つだけ○) (n=1,131)

- | | | |
|---|----------------------|----------------|
| { | ・祭り、町内会などの活動 | ・子供会、青年団体などの活動 |
| | ・趣味やスポーツなどのサークル活動 | ・ボランティア活動 |
| | ・都・区などが主催する地域での行事・活動 | |

1 積極的に参加している	4.4% (50)
2 関心があるものについては参加している	25.5% (288)
3 あまり参加していない	19.5% (221)
4 まったく参加していない	49.9% (564)
5 無回答	0.7% (8)

■【選挙制度について】

問11 今回の統一地方選挙から、高円寺北区民集会所を期日前投票所として指定し、従来の13箇所から14箇所にしました。あなたはご存知でしたか。(どちらかに○) (n=1,131)

1 知っていた	7.8% (88)
2 知らなかった	91.2% (1032)
3 無回答	1.0% (11)

(問11で「1 知っていた」とお答えの方に)

問11-1 あなたはそのことを何によって知りましたか。(いくつでも○) (n=88)

1 「選挙のお知らせ」に同封されていた期日前投票についてのチラシ	65.9% (58)
2 街頭宣伝カー	2.3% (2)
3 駅頭での呼びかけ (荻窪・高円寺・西荻窪・永福町・浜田山)	6.8% (6)
4 阿佐ヶ谷駅南口広場でのジャズ演奏と投票呼びかけ	2.3% (2)
5 ケーブルTV (J:COM) 放映	6.8% (6)
6 PRテープ放送 (商店街・スーパーマーケット・温水プール)	1.1% (1)
7 区ホームページ及びモバイル版ホームページ	3.4% (3)
8 インターネット案内板 (区役所西棟1階)	3.4% (3)
9 ポスター	4.5% (4)
10 広報「すぎなみ」	58.0% (51)
11 「選挙だより」(選挙管理委員会発行)	21.6% (19)
12 「商連新聞」(商店連合会発行)	0.0% ()
13 フリーペーパー「ぱど」の広告掲載	1.1% (1)
14 候補者等の個人演説会	1.1% (1)
15 電話による投票依頼	3.4% (3)
16 家族から	8.0% (7)
17 知人・友人から	11.4% (10)
18 仕事関係の団体 (同業組合・商店会など) から	1.1% (1)
19 地域団体 (町内会・自治会・婦人会など) から	2.3% (2)
20 その他の団体の推薦	2.3% (2)
21 その他	2.3% (2)

問12 杉並区では、候補者の経歴や政見などを載せた「選挙公報」を、新聞折込みで各家庭に配布しているほか、区施設（区民事務所・図書館・地域区民センター等）、区内各駅などに備えおいています。

あなたは、「選挙公報」を読みましたか。（ア）と（イ）の項目について、それぞれ選んでください。（1つずつ○）
(n=1, 131)

項目	精読度					
	よく読んだ	ざっと読んだ	一部読んだ	読まなかった (手元にあったが)	入手しなかった (できなかった)	無回答
(ア) 杉並区議会議員・杉並区長選挙	8.8% (100)	31.2% (353)	15.6% (176)	13.0% (147)	29.3% (331)	2.1% (24)
(イ) 東京都知事選挙	10.8% (122)	32.4% (366)	14.8% (167)	10.3% (117)	29.2% (330)	2.6% (29)

(問12の（ア）または（イ）の項目で「1」～「4」のいずれかをお答えの方に)

問12-1 あなたが、「選挙公報」を入手した方法は、次のうちどれに該当しますか。（いくつでも○）
(n=791)

1 自宅に新聞折込みで届いた	86.9% (687)
2 区の施設で入手した	7.8% (62)
3 駅で入手した	4.8% (38)
4 公衆浴場・新聞販売所で入手した	1.3% (10)
5 選挙管理委員会に直接請求した	0.5% (4)
6 投票所で読んだ	1.8% (14)
7 無回答	2.5% (20)

■【若者の低投票率について】

問13 今回の杉並区議会議員選挙では、40歳以上の投票率が約53%であるのに対して、20歳代の若者の投票率は約20%という結果が出ています。あなたは、若い人の投票率が低い原因は何だと思えますか。（2つまで○）
(n=1, 131)

1 政治や行政が自分の生活と関わるのが少ない、と考える人が多いから	29.9% (338)
2 選挙によって、政治や暮らしが良くなると思わない人が多いから	36.9% (417)
3 自分ひとりが投票しなくても選挙に影響がない、と思う人が多いから	34.9% (395)
4 政治や選挙に関心がない人が多いから	36.5% (413)
5 若い人の感覚にあった候補者が少ないから	9.5% (108)
6 投票がめんどろだと思える人が多いから	27.3% (309)
7 その他	4.2% (48)
8 わからない	2.7% (31)
9 無回答	0.7% (8)

問14 今後、若者の投票率を向上させるためにはどのようにしたらよいと思いますか。次の中から選んでください。また、具体例がありましたらお書きください。(いくつでも○) (n=1,131)

1 選挙管理委員会のPR活動をもっと活発に行う	14.9% (169)
2 マスコミのPR活動をもっと活発に行う	27.6% (312)
3 学校の教育の場で、選挙の重要性について教える	53.3% (603)
4 若い人の政治的関心を高める	55.7% (630)
5 投票しやすい選挙制度を整える	33.8% (382)
6 その他	12.5% (141)
7 無回答	1.9% (21)

■【選挙啓発について】

問15 杉並区では、今回の選挙で次のような種々の啓発事業を行いました。以下の3つの設問についてそれぞれお答えください。

設問(1) あなたは、今回の選挙の投票日や選挙に関する情報は何かから知りましたか。(いくつでも○)

設問(2) あなたの印象に残っている啓発事業は何ですか。(いくつでも○)

設問(3) 今後も実施したほうが良いと思う啓発事業は何ですか。(3つまで○) (n=1,131)

項目	設問	設問(1)	設問(2)	設問(3)
		情報入手手段 (いくつでも○)	印象に残っている もの(いくつでも○)	(3つまで○) 今後も実施したほう が良いもの
(ア) 「選挙のお知らせ」に同封されていた期日前投票についてのチラシ		62.5% (707)	33.7% (381)	50.0% (566)
(イ) 街頭宣伝カー		38.7% (438)	30.9% (349)	23.7% (268)
(ウ) 駅頭での呼びかけ (荻窪・高円寺・西荻窪・永福町・浜田山)		27.6% (312)	20.7% (234)	21.2% (240)
(エ) 阿佐ヶ谷駅南口広場でのジャズ演奏と投票呼びかけ		2.2% (25)	4.0% (45)	5.3% (60)
(オ) ケーブルTV (J-c om) 放映		4.4% (50)	3.0% (34)	4.7% (53)
(カ) PRテープ放送 (商店街・スーパーマーケット・温水プール)		0.8% (9)	0.7% (8)	1.8% (20)
(キ) 区ホームページ及び**モバイル版ホームページ		2.7% (31)	1.7% (19)	7.0% (79)
(ク) インターネット案内板 (区役所西棟1階)		1.4% (16)	1.1% (13)	2.2% (25)
(ケ) 懸垂幕 (区役所・荻窪タウンセブン)		5.3% (60)	3.1% (35)	3.3% (37)

設 問 項 目	設問 (1)	設問 (2)	設問 (3)
	情報入手手段 (いくつでも○)	印象に残っている もの(いくつでも○)	今後も実施したほうが 良いもの (3つまで○)
(コ) 卓上マスコット (区施設・スーパー)	0.4% (5)	0.5% (6)	0.6% (7)
(サ) ボディパネル (庁有車) 及び清掃車シール	1.6% (18)	1.3% (15)	1.6% (18)
(シ) 南北バス「すぎまる」のポスター及びボディパネル	2.7% (31)	3.2% (36)	3.4% (38)
(ス) のぼり旗 (区役所・区施設・駅)	9.4% (106)	5.0% (56)	6.2% (70)
(セ) ウェットティッシュ (啓発資材)	4.2% (47)	3.6% (41)	2.9% (33)
(ソ) ポスター	40.2% (455)	23.1% (261)	22.5% (255)
(タ) 広報「すぎなみ」	47.3% (535)	25.7% (291)	33.0% (373)
(チ) 「選挙だより」(選挙管理委員会発行)	19.8% (224)	8.8% (99)	12.3% (139)
(ツ) 「商連新聞」(商店連合会発行)	0.4% (4)	0.4% (5)	0.1% (1)
(テ) フリーペーパー「ぼど」の広告掲載	1.2% (14)	0.7% (8)	1.4% (16)
(ト) 防災無線放送	4.0% (45)	3.6% (41)	3.4% (38)
無回答	5.2% (59)	18.1% (205)	12.2% (138)

問16 あなたは、インターネットを利用したことがありますか。

(n=1,131)

1 利用したことがある	62.8% (710)
2 利用したことはない	35.7% (404)
3 無回答	1.5% (17)

(問16で「1 利用したことがある」とお答えの方に)

問16-1 杉並区公式ホームページとモバイル版ホームページに「選挙特集」を掲載しました。あなたは見たことがありますか。次の中から選んでください。(1つだけ○) (n=710)

1 見たことがある	8.5% (60)
2 知っていたが、見たことはない	15.5% (110)
3 知らなかった	74.9% (532)
4 その他	0.6% (4)
5 無回答	0.6% (4)

(問16-1で「1 見たことがある」とお答えの方に)

問16-1-1 「選挙特集」には、いくつかの項目を掲載しました。あなたはどの項目を見ましたか。
次の中から選んでください。(いくつでも○) (n= 60)

1 全部見た	3.3% (2)
2 投票速報 (1時間ごとに更新)	21.7% (13)
3 開票速報	46.7% (28)
4 投票のご案内	26.7% (16)
5 「選挙のおしらせ」が届かないときは	1.7% (1)
6 期日前投票のご案内 (地図つき)	28.3% (17)
7 選挙Q&A	15.0% (9)
8 その他	5.0% (3)
9 無回答	5.0% (3)

(問16-1で「1 見たことがある」とお答えの方に)

問16-1-2 あなたは、ホームページの「選挙特集」にどのような情報を載せてほしいですか。

具体的に：

問17 杉並区には、明るく正しい選挙の実施、投票率の向上などをめざし、選挙啓発活動を行っている約120名の「明るい選挙推進委員」がいます。あなたは、この「明るい選挙推進委員」を知っていますか。
(1つだけ○) (n=1, 131)

1 どのような活動をしているか知っている	1.8% (20)
2 名称は聞いたことがあるが、どのような活動をしているかは知らない	15.6% (176)
3 知らない	80.9% (915)
4 無回答	1.8% (20)

■【開票について】

問18 あなたは、杉並区議会議員選挙・区長選挙時の翌日開票についてどのように思われますか。(1つだけ○)
(n=1, 131)

1 翌日開票のままで良い	49.5% (560)
2 即日開票にした方が良い	27.8% (314)
3 その他	1.9% (22)
4 わからない	20.1% (227)
5 無回答	0.7% (8)

問19 あなたは、翌日開票によって経費の削減になることを知っていますか。(どちらかに○) (n=1, 131)

1 知っていた	26.4% (299)
2 知らなかった	73.3% (829)
3 無回答	0.3% (3)

問20 あなたは、経費をかけても即日開票にした方が良いと思われますか。(1つだけ○) (n=1, 131)

1 即日開票にした方が良い	14.1% (159)
2 翌日開票のままで良い	71.3% (806)
3 その他	1.9% (22)
4 わからない	12.1% (137)
5 無回答	0.6% (7)

■【投票所のバリアフリーについて】

問21 杉並区では、投票所の段差などをなくすためスロープ等を設置し、※バリアフリーに努めてきました。このことについて次の中から選んでください。(1つだけ○) (n=1, 131)

1 非常に良い	54.1% (612)
2 まあまあである	25.0% (283)
3 まだ足りてない	6.7% (76)
4 その他	1.1% (13)
5 わからない	11.9% (135)
6 無回答	1.1% (12)

※バリアフリー：障害のある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去するという意味。

問22 あなたは、投票所のバリアフリーには何が必要だと思いますか。

具体的に：

■以上で質問は終わりですが、調査結果を統計的に分析するために必要なことからを少しお聞かせください。

F 1 あなたの性別は (n=1, 131)

1 男性	46.2% (522)	2 女性	53.8% (609)
------	-------------	------	-------------

F 2 あなたの年齢は (n=1, 131)

1 20～24歳	6.3% (71)	4 40～49歳	17.9% (202)
2 25～29歳	8.5% (96)	5 50～59歳	17.4% (197)
3 30～39歳	18.6% (210)	6 60歳以上	31.4% (355)

F 3 あなたの職業は何ですか。(1つだけ○) (n=1, 131)

1 商工・サービス業	11.4% (129)
2 自由業	5.0% (57)
3 経営・管理職	9.6% (109)
4 事務職・専門技術職	26.0% (294)
5 労務職	3.2% (36)
6 主婦	22.4% (253)
7 年金生活者	9.6% (109)
8 フリーター	3.6% (41)
9 学生	3.6% (41)
10 その他	5.0% (57)
11 無回答	0.4% (5)

F 4 杉並区に住んで何年になりますか。(1つだけ○) (n=1, 131)

1 3年未満	9.6% (109)
2 3～6年	11.1% (125)
3 7～10年	8.5% (96)
4 11年～19年	15.0% (170)
5 20年以上	55.5% (628)
6 無回答	0.3% (3)

F 5 あなたは、支持している政党がありますか。(1つだけ○) (n=1, 131)

1 支持する政党がある	19.5% (220)
2 ある程度支持する政党がある	36.0% (407)
3 支持する政党はない	43.7% (494)
4 無回答	0.9% (10)

■アンケートはこれで終わりです。

ご協力いただきましてありがとうございました。記入もれがないかどうかお確かめの上、調査員にお渡しください。

統一地方選挙に関する世論調査

平成20年3月発行

【発行】 杉並区選挙管理委員会事務局

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1

電話：03-3312-2111（代）

【実施】 株式会社サーベイリサーチセンター

〒116-8581 荒川区西日暮里2-40-10

電話：03-3802-6724

登録印刷物番号

19-0114
